仙台市文化財調查報告書第365集

# 上野遺跡

第6.7次発掘調査

—都市計画道路「富沢山田線」関連遺跡発掘調査報告書—

第2分冊

2010年3月

仙台市教育委員会

# 上野遺跡

第6.7次発掘調査

一都市計画道路「富沢山田線」関連遺跡発掘調査報告書—

第2分冊

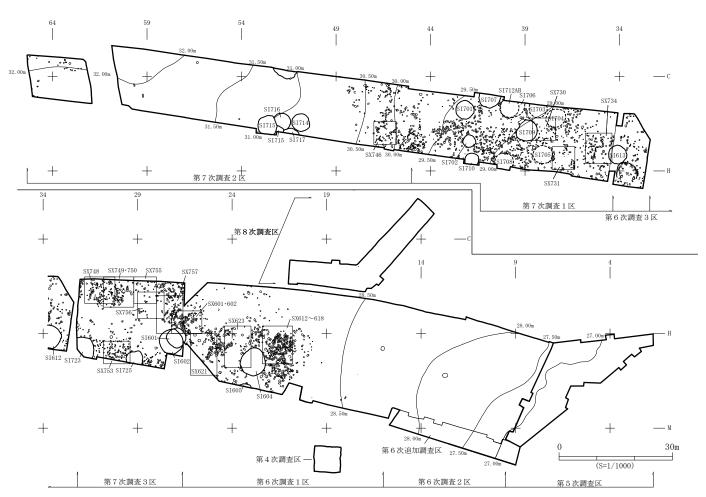
2010年3月

仙台市教育委員会

# 3. 燒土跡

焼土跡は第6次調査で11基、第7次調査で11基の計22基が検出されている。これらは第6次調査1区から第7次調査2区東側までの範囲で検出されており、特に第6次調査01区中央部周辺および第7次調査3区北寄りにおいては複数の焼土跡が近接して検出されるなど、まとまった状況を窺うことができる(第327図)。焼土跡は $\square$ 層上面で検出されたものが多く、竪穴や周溝等の施設が確認されなかった住居跡の可能性もあることから、下層にあたる abla層上面の焼土跡周辺で検出されたピットを平面図に合成した。なお、ピットの深さについては焼土跡の検出面からの深さを表記しており、表に対応するよう各図ごとにP番号を付している。そのため近接して存在しているものは紙面の都合上、同一図に掲載しているが、できなかったものについてはピットが一部別の図面で異なる番号となる場合もある。遺構番号には埋設土器や配石遺構などabla8 X 全体で通し番号を付していることから連番とはならないためabla8 X 一覧表を合わせて参照されたい(第34・35表)。

以下、各遺構ごとに説明する。



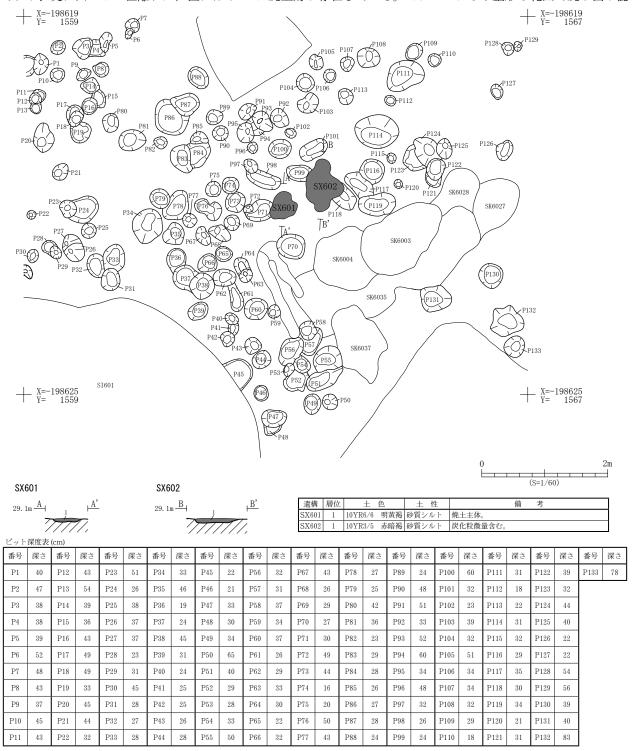
第327図 縄文時代焼土跡配置図

### SX601焼土跡 (第328図)

第6次調査1区西側中央のG-26グリッドに位置し、III層上面で検出された。東側にはSX602焼土跡が隣接しており、西へ6m程離れた位置にはSX757焼土跡が存在している。84cm×60cmの南北に長い不整形の範囲で焼け面が認められ、深さ6cmまで火熱の影響によって赤変している。周辺では炭化物粒の分布が認められた。本遺構周辺のV層上面からは多数のピットが密集した状態で検出されているが、本遺構との関係は確認できなかった。

# SX602焼土跡 (第328図)

第6次調査1区西側中央のG-26グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。西側にはSX601焼土跡が隣接しており、更に西へ6m程離れた位置にはSX757焼土跡が存在している。45cm×41cmの不整形の範囲で焼け面が認



第328図 縄文時代焼土跡(1)

められ、深さ6cmまで火熱の影響によって赤変している。本遺構周辺の∇層上面からは多数のピットが検出されているが、本遺構との関係は確認できなかった。

# SX612焼土跡 (第329図)

第6次調査1区中央のH-21グリッドに位置し、III層上面で検出された。西側にSX613・614・618焼土跡などが隣接しており、大珠が検出されたP60911ピットから南西3.3mの距離に位置する。北西から南東に長い76cm×40cmの不整楕円形の範囲に焼け面が認められ、深さ5cmまで火熱の影響によって赤変している。本遺構を囲む周辺からは多数のピットが検出されているが、本遺構との関係は確認できなかった。

### SX613焼土跡 (第329図)

第6次調査1区中央のH-21グリッドに位置し、III層上面で検出された。東側にSX612・618焼土跡、西側にSX614焼土跡が隣接する。大珠が検出されたP60911ピットから北北東2.5m程の距離に位置する。 $80 \, \mathrm{cm} \times 62 \, \mathrm{cm}$ の東西に長い不整な楕円形の範囲で焼け面が認められ、深さ $8 \, \mathrm{cm}$ まで火熱の影響によって赤変している。本遺構を囲む周辺からは多数のピットが検出されているが、本遺構との関係は確認できなかった。

### SX614焼土跡 (第329図)

第6次調査1区中央のH-21グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。東側にSX612・613・618焼土跡が、 南側にSX615焼土跡が隣接する。大珠が検出されたP60911ピットから北へ1.3m程の距離である。95cm×78cmの 東西に長い不整楕円形の範囲で焼け面が認められ、深さ5cmまで火熱の影響によって赤変している。本遺構を囲む 周辺からは多数のピットが検出されているが、本遺構との関係は確認できなかった。

### SX615燒土跡 (第329図)

第6次調査1区中央のH -21グリッドに位置し、III層上面で検出された。北側にSX614焼土跡、南側にSX616焼土跡が隣接する。大珠が検出されたP60911ピットからは北へ0.7mの距離である。36cm×35cmの円形の範囲で焼け面が認められ、深さ6cmまで火熱の影響によって赤変している。本遺構を囲む周辺からは多数のピットが検出されているが、本遺構との関係は確認できなかった。

# SX616焼土跡 (第329図)

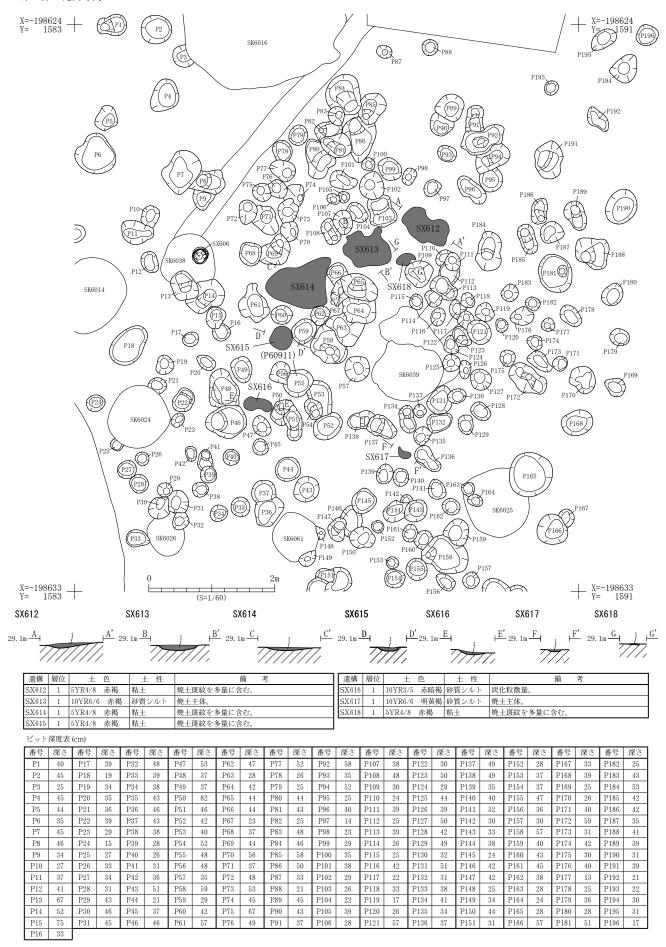
第6次調査1区中央のH・I -21グリッドに位置し、III層上面で検出された。北側にSX615焼土跡が、東側にSX617焼土跡が隣接する。大珠が検出されたP60911ピットから南西へ0.5mに位置する。48cm×20cmの東西に長い楕円形の範囲で焼け面が認められ、断面では深さ4cmまで火熱の影響によって赤変している。本遺構を囲む周辺からは多数のピットが検出されているが、本遺構との関係は確認できなかった。

# SX617燒土跡 (第329図)

第6次調査1区中央南寄りのI-21グリッドに位置し、III層上面で検出された。西側にSX616焼土跡が隣接し、大珠が検出されたP60911ピットから南東2.0mに位置する。25cm×10cmの東西に長い不整な楕円形の範囲に焼け面が認められ、深さ3cmまで火熱の影響によって赤変している。本遺構の周囲では多数のピットが検出されているが、本遺構との関係は確認できなかった。

# SX618焼土跡 (第329図)

第6次調査1区中央のH -21グリッドに位置し、III層上面で検出された。 $SX612 \cdot 613$ 焼土跡の間に挟まれた位置に存在する。大珠が検出されたP60911ピットから北東へ2.6mの距離にあたる。30cm  $\times$  17cmの東西に長い楕円形の範囲に焼け面が認められ、深さ4cmまで火熱の影響によって赤変している。本遺構を囲む周辺からは多数のピットが検出されているが、本遺構との関係は確認できなかった。



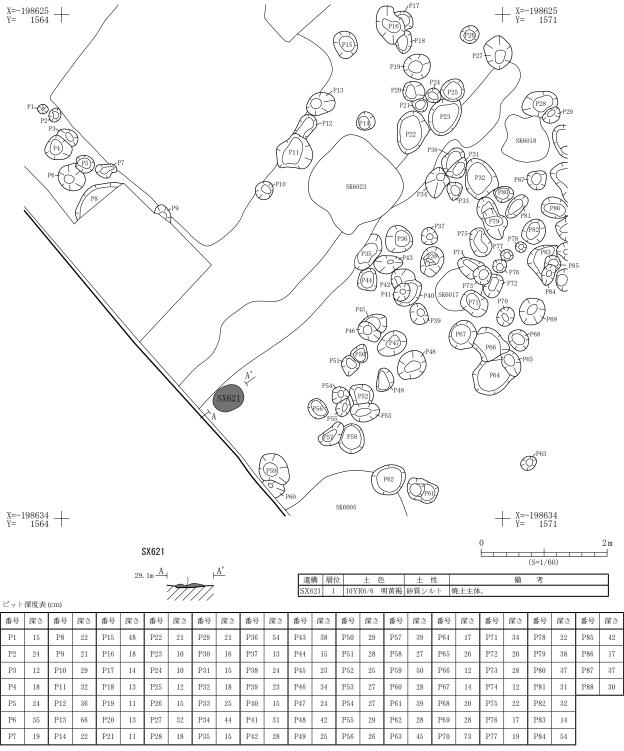
第329図 縄文時代焼土跡(2)

### SX621焼土跡 (第330図)

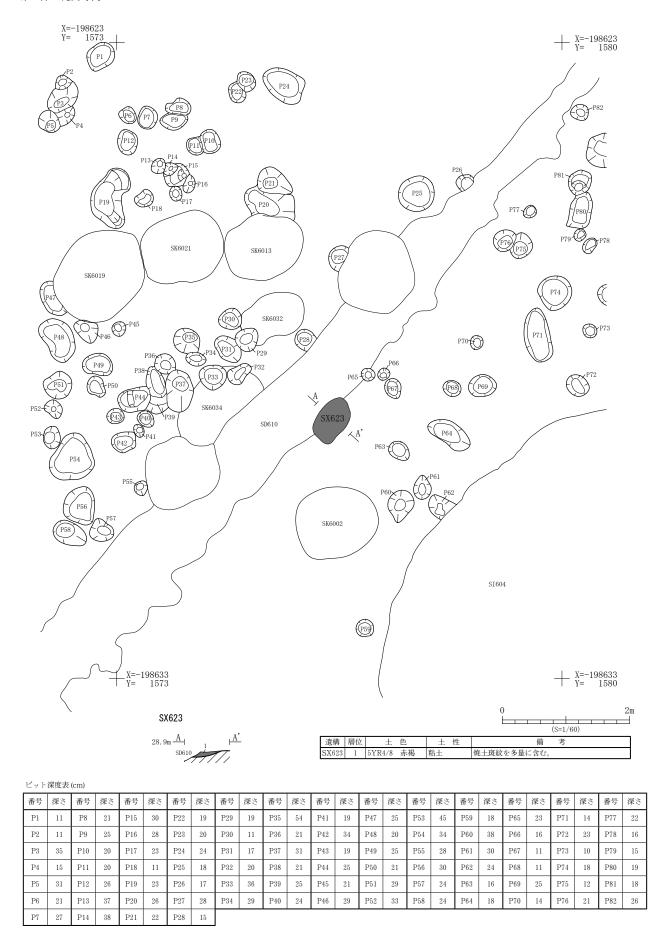
第6次調査1区西側南寄りのI-25グリッドに位置し、III層上面で検出された。周辺にはS K 6005・6023土坑などが存在し、S I 603竪穴住居跡や撹乱等により周辺は大きく削平されている。43 cm  $\times$  32 cm の長楕円形の範囲に焼け面が認められ、深さ6 cm まで火熱の影響によって赤変している。V 層上面では本遺構の東から北西側にかけてピットが密集した状態で検出されているが、本遺構との関係は確認できなかった。

# SX623焼土跡 (第331図)

第6次調査1区西側中央のH-23グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。SD610溝跡と重複関係にあり、



第330図 縄文時代燒土跡(3)



第331図 縄文時代焼土跡(4)

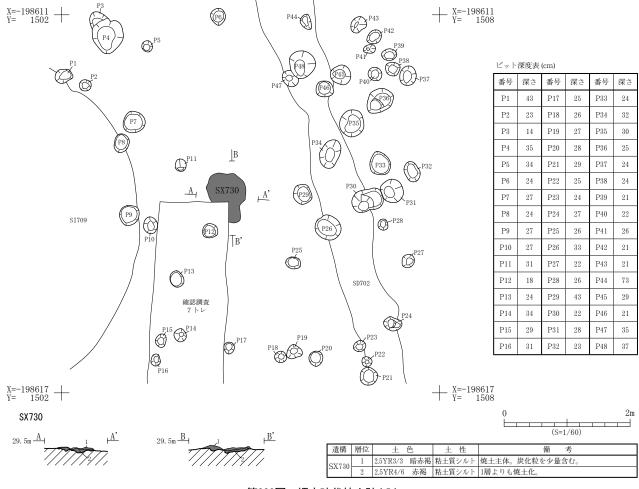
本遺構が古く、西側の一部が削平されている。SK6013土坑をはじめとする土坑7基が東側を除いて本遺構を取り囲む位置に存在している。72cm×46cmの北東から南北方向に長い楕円形の範囲に焼け面が認められ、深さ7cmまで火熱の影響で赤変している。V層上面では本遺構の西側を中心にして多数のピットが検出されているが、南側にはほとんど存在していない。ピットと本遺構との関係は確認できなかった。

### SX730焼土跡 (第332図、図版94)

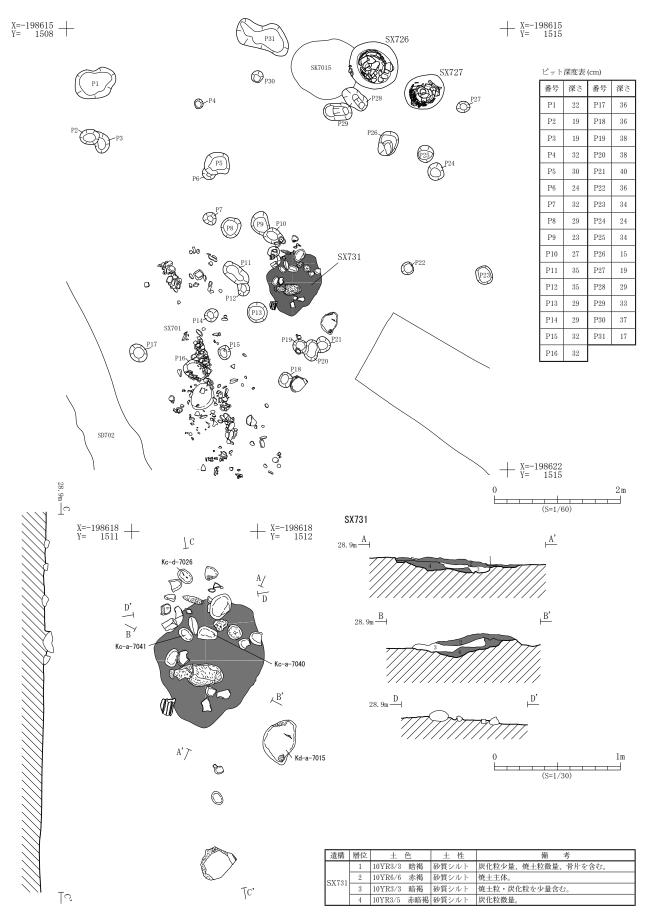
第7次調査1区中央のE-38グリッドに位置し、III層上面で検出された。南側が平成15年度確認調査7トレンチによって一部削平されている。西側にSI709竪穴住居跡が存在する。84cm×60cmの南北に長い不整な楕円形の範囲に焼け面が認められ、深さ15cmまで火熱の影響によって赤変している。V層上面では本遺構の東側周辺でややピットが密集した状況が窺えるが、本遺構との関係は確認できなかった。

### SX731焼土跡 (第333図、図版94)

第7次調査1区東側中央の $F-36\cdot 37$ 、G-36グリッドに位置し、III層上面で検出された。南側にはSI711竪穴住居跡、南西にSX701集石が存在する。 $100\,cm \times 88\,cm$ の南北にやや長い楕円形の範囲に焼け面が認められ、深さ $20\,cm$ まで火熱の影響により赤変している。土層断面では3層の暗褐色土層の上下に焼け面が存在していることから2時期にわたるものと考えられる。1層中からは骨片が検出された。焼土跡の周囲から礫がまとまって検出されており、北側では円形に組んだような部分も認められることから、石囲炉に用いられた礫が残存した可能性も考えられるが、礫の間に抜き取り痕は確認されなかった。V層上面から検出されたピットは焼け面に近接する南西側と北東側付近でのまとまりを見てとることが出来るが、本遺構との関係は確認できなかった。焼け面の上面から検出さ



第332図 縄文時代焼土跡(5)

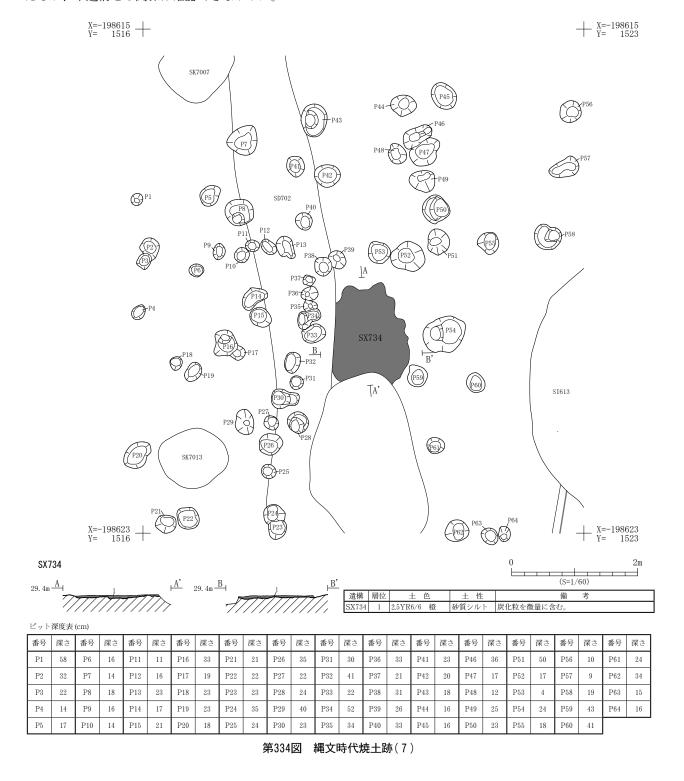


第333図 縄文時代焼土跡(6)

れた石器を第342・343図に示した。

# SX734焼土跡 (第334図)

第7次調査1区東側中央のF・G-34・35グリッドに位置し、 $\mathbb{N}$ 層上面で検出された。西側7.5 $\mathbb{m}$ の地点に $\mathbb{S}$   $\mathbb{X}$  731焼土跡が存在する。西側の $\mathbb{S}$  D702溝跡と重複関係にあり、本遺構が古く、南側に存在する撹乱によって一部削平されているため全体は不明である。 $\mathbb{S}$  150 $\mathbb{m}$  にしたの南北に長い不整な楕円形の範囲で焼け面が認められ、深さ9 $\mathbb{m}$  まで火熱の影響によって赤変している。 $\mathbb{N}$  層上面で検出されたピットは本遺構の西側にやや多い傾向が窺えるが、本遺構との関係は確認できなかった。

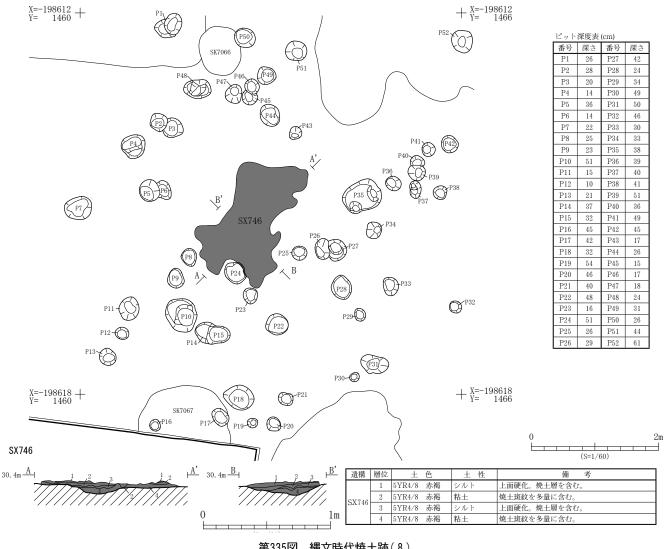


### SX746焼土跡 (第335図、図版94)

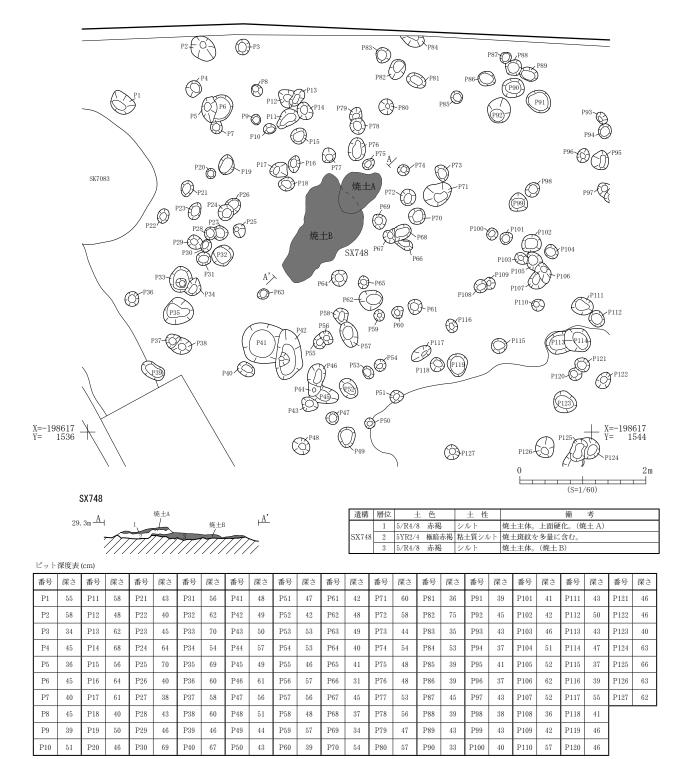
第7次調査2区東側中央のE・F−46グリッドに位置し、N層上面で検出された。今回検出された焼土跡の中で は調査区内で最も西にあたり、SI702竪穴住居跡とSI714竪穴住居跡との中間地点の竪穴住居跡が検出されてい ない地域に存在する。220cm×132cmの北東から南西に長い不整形の範囲に焼け面が認められ、深さ18cmまで火熱の 影響によって赤変している。本遺構の周辺からは多数のピットが検出されているが、本遺構との関係は確認できな かった。

# SX748焼土跡 (第336図)

第7次調査3区西側北寄りのE-30・31グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。東側6m付近にSX749・ 750焼土跡、SX751埋設土器が存在する。北東から南東方向に延びる不整楕円形の範囲で焼け面が認められた。土 層断面では2層の上下に焼け面が存在していることから焼土Aが新しく、焼土Bが古い。焼土Aは80cm×57cmの北 東から南西に長い不整楕円形の範囲に焼け面が認められ、深さ12㎝まで火熱の影響によって赤変しており、上面は 硬化していた。焼土Bは焼土A同様に162cm×105cmの北東から南西に延びる不整楕円形の範囲で焼け面が認められ、 深さ20cmまで火熱の影響によって赤変している。V層上面では本遺構の周囲から多くのピットが検出されている。 焼土Aと焼土Bが連なる方向を主軸方向ととらえた場合、その延長部分にあたる北東側ならびに南西側ではピット の少ない空閑地が見られるが、本遺構との関係は確認できなかった。



第335図 縄文時代焼土跡(8)



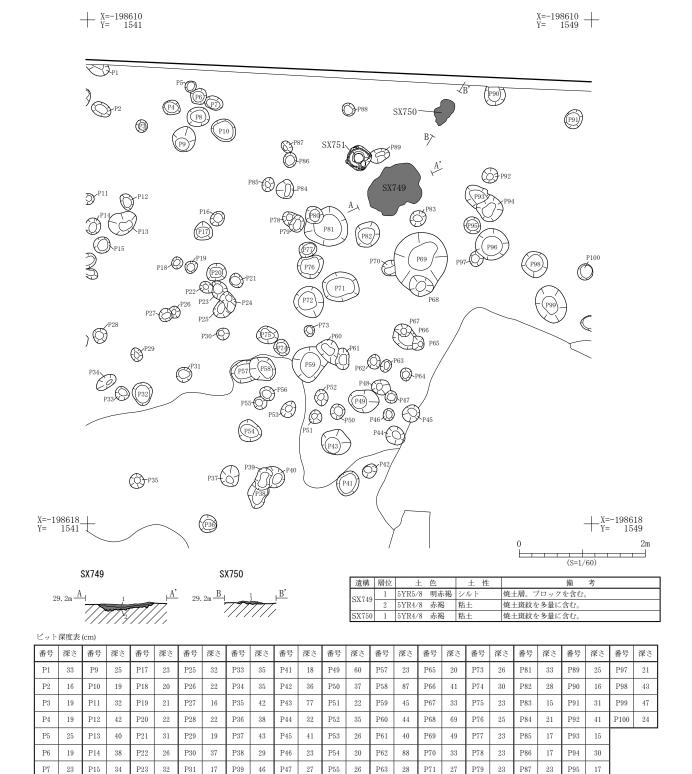
第336図 縄文時代焼土跡(9)

# SX749焼土跡 (第337図)

第7次調査3区中央北寄りのE-29グリッドに位置し、III層上面で検出された。北東にSX750焼土跡、北西にはSX751埋設土器が隣接し、西側6 m付近にはSX748焼土跡が存在する。95cm×75cmの北東から南西に長い楕円形の範囲で焼け面が認められ、深さ20cmまで火熱の影響により赤変している。本遺構の周辺からは多数のピットが検出されているが、本遺構との関係は確認できなかった。

### SX750焼土跡 (第337図)

第7次調査3区中央北寄りのE-29グリッドに位置し、III層上面で検出された。南西には隣接してSX749焼土跡、SX751埋設土器が存在する。42cm×26cmの北東から南西に長い楕円形の範囲で焼け面が認められ、深さ10cmまで火熱の影響によって赤変している。本遺構の周辺から多数のピットが検出されているが、本遺構との関係は確認できなかった。



第337図 縄文時代焼土跡(10)

22 P72

62 P80

P88

18

30

P8

P16

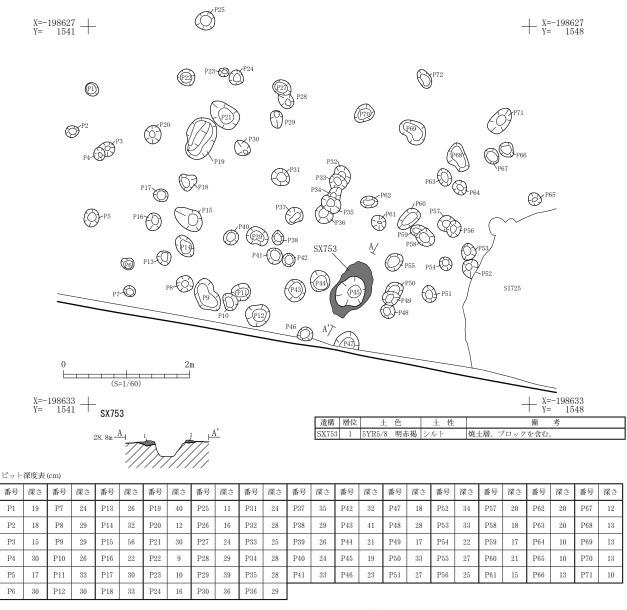
P24 49

P32

26 P40 43 P48 24 P56 26 P64

### SX753焼土跡 (第338図)

第7次調査 3 区中央南寄りの I-29 グリッドに位置し、III 層上面で検出された。東側に S I 725 竪穴住居跡、西側に S I 723 竪穴住居跡が存在する。90 cm  $\times$  52 cm の北東から南西に長い楕円形の範囲で焼け面が認められ、深さ 15 cm まで火熱の影響によって赤変している。中央にピットが存在していることから土器埋設炉の土器が取り除かれたものであることが考えられ、竪穴住居跡の炉であった可能性もある。本遺構を中心にして V 層上面から多数のピットが検出されたが、本遺構との関係は確認できなかった。



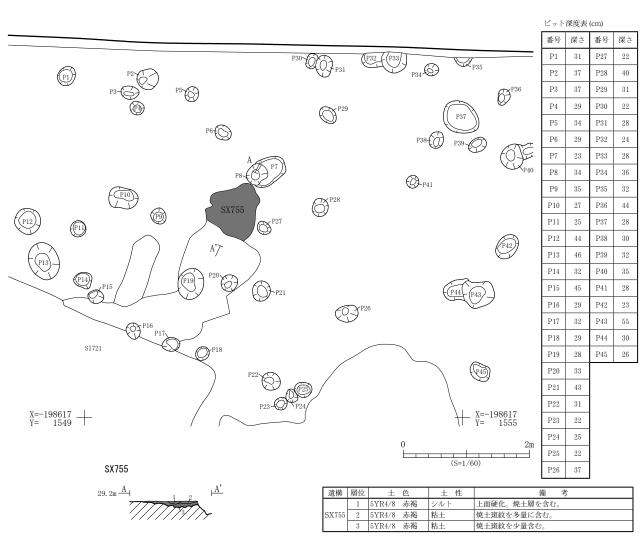
第338図 縄文時代焼土跡(11)

X=-198610 Y= 1549

# SX755焼土跡(第339図、図版94)

第7次調査 3 区中央北寄りのE-28グリッドに位置し、III層上面で検出された。西側にはS X X 7 50 焼土跡および S X 751 埋設土器が、南東にS X 756 焼土跡が存在している。南側が撹乱によって削平されており全体は不明であるが、85 cm 以上×84 cm の北東から南西に長い不整楕円形の範囲で焼け面が認められ、深さ 18 cm まで火熱の影響で赤変している。本遺構の周辺からは多数のピットが検出されており、本遺構の北西に隣接するP 7 \* 8 が複式炉の土器埋設部の掘り方とした場合には、礫の抜き取り痕は確認されなかったが本遺構が石囲部の残存である可能性もある。

X=-198610 Y= 1555



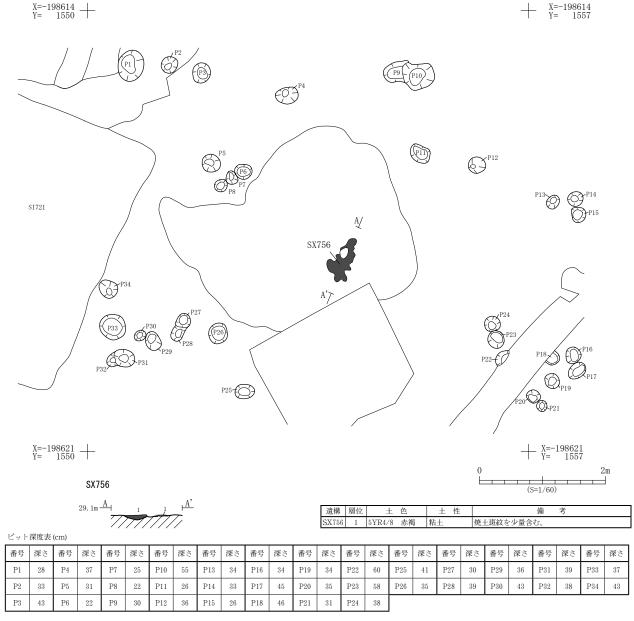
第339図 縄文時代焼土跡(12)

### SX756焼土跡 (第340図、図版94)

第7次調査3区中央のG-28グリッドに位置し、上面がSX756風倒木痕によって削平されていたことから $\mathbb{N}$ 層上面で検出された。北西にSX755焼土跡、南東にSX757焼土跡が存在している。73cm×40cmの北東から南西に長い不整形の範囲で焼け面が認められ、深さ6cmまで火熱の影響で赤変している。本遺構周辺では2m程離れてピットが検出されているが、本遺構との関係は確認できなかった。

# SX757焼土跡 (第341図)

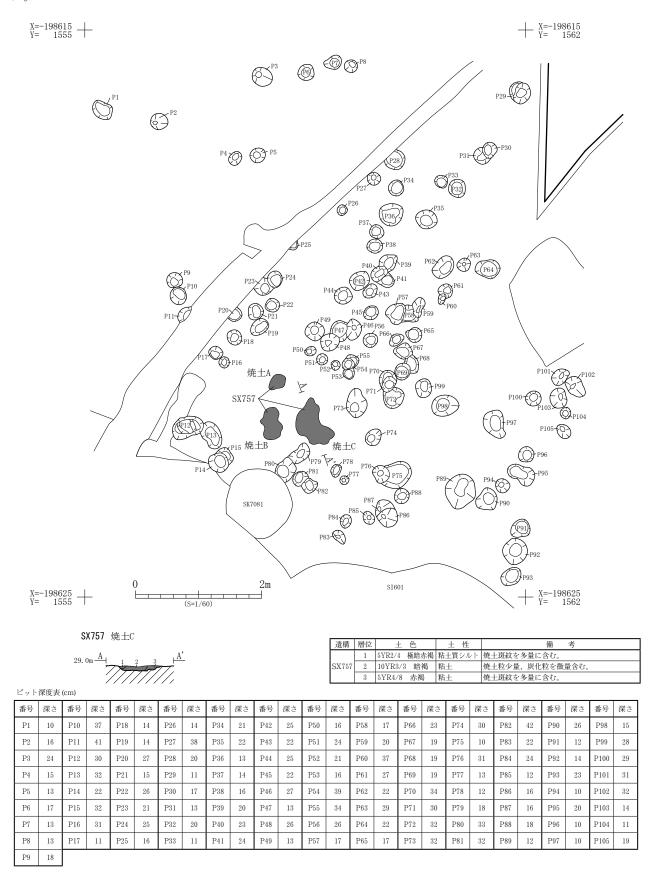
第7次調査3区東側中央のG-27グリッドに位置し、III層上面で検出された。東側に $S \times 601 \cdot 602$ 焼土跡、北西側に $S \times 756$ 焼土跡が存在している。120cm  $\times 100$ cm O不整形の範囲で焼け面が認められ、最も焼けて赤変した部分が3ヵ所であったため北側のものを焼土A、西側のものを焼土B、東側のものを焼土Cとした。焼土Aは30cm  $\times 23$  cm O6有円形の範囲に焼け面が認められ、深さ5 cm まで火熱の影響で赤変している。焼土Bは50cm  $\times 30$  cm O7 cm まで火熱の影響で赤変している。焼土Cはこれらのなかで最も規模が大きく、O75cm  $\times 40$  cm O7 cm まで火熱の影響で赤変している。焼土Cはこれらのなかで最も規模が大きく、O75cm  $\times 40$  cm O10 三日月状の範囲に焼け面が認められる。断面では3層に分層され、深さ7 cm まで火熱の影響で赤変している。南側が重複する遺構や撹乱によって削平されているため不明であるが、本遺構の周辺からは多



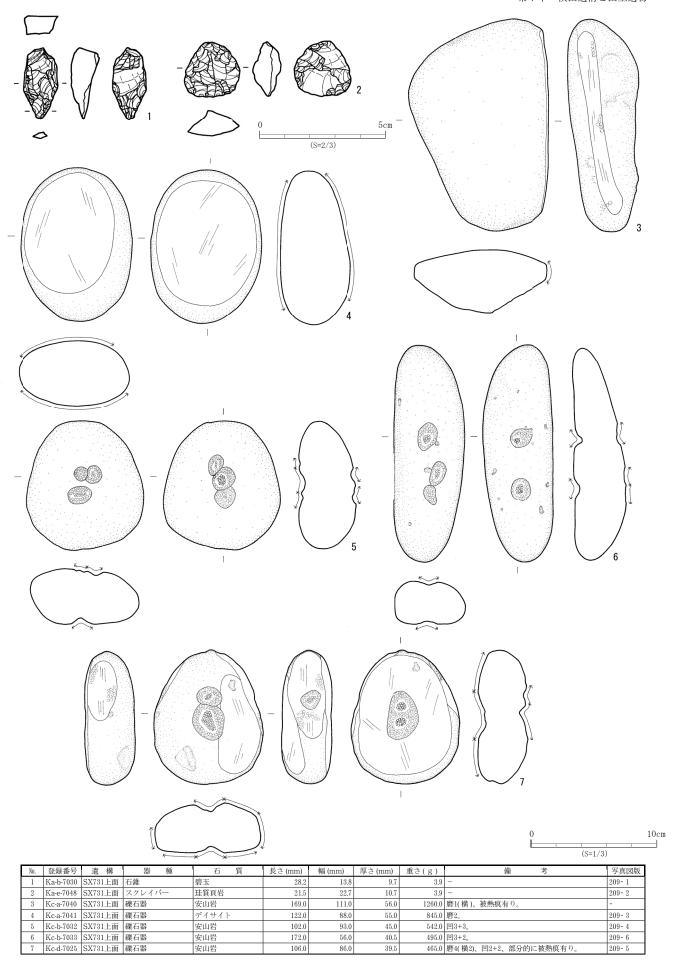
第340図 縄文時代焼土跡(13)

# 第1節 縄文時代

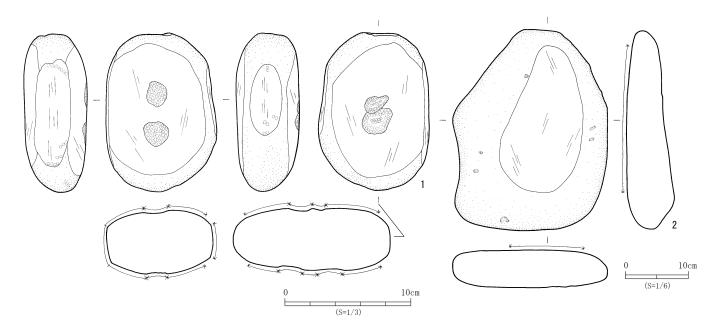
数のピットが検出されており、特に北東側付近での集中が認められる。ピットと本遺構との関係は確認出来なかった。



第341図 縄文時代焼土跡(14)



第342図 縄文時代焼土跡出土遺物(1)



|   | No. | 登録番号      | 遺構      | 器   | 種 | 石   | 質 | 長さ (mm) | 幅 (mm) | 厚さ (mm) | 重さ(g)  | 備考              | 写真図版 |
|---|-----|-----------|---------|-----|---|-----|---|---------|--------|---------|--------|-----------------|------|
| Г | 1   | Kc-d-7026 | SX731上面 | 礫石器 |   | 安山岩 |   | 125.0   | 88.0   | 48.0    | 855.0  | 磨4(横2)、凹2+2。    | -    |
|   | 2   | Kd-a-7015 | SX731上面 | 石皿  |   | 安山岩 |   | 319.0   | 245.0  | 73.0    | 8800.0 | 磨1、被熱痕有り、S=1/6。 | -    |

第343図 縄文時代焼土跡出土遺物(2)

# 4. 埋設土器

埋設土器は第6次調査で10基、第7次調査で19基の計29基が検出されている。第6次調査1区から第7次調査1区の間に分布が認められ、特に第7次調査1区西側周辺でまとまった状況が窺える(第344図)。埋設された土器は全て深鉢形土器であり、出土状態には正位、横位、逆位が認められた。土器の残存状態では正位の場合に口縁部~胴部、あるいは逆位の場合に胴部~底部を欠くものは、後世の耕作等による削平によって埋設時の状態を留めていないことが考慮される。以下、各遺構毎に説明する。

# SX603埋設土器 (第345図、図版89)

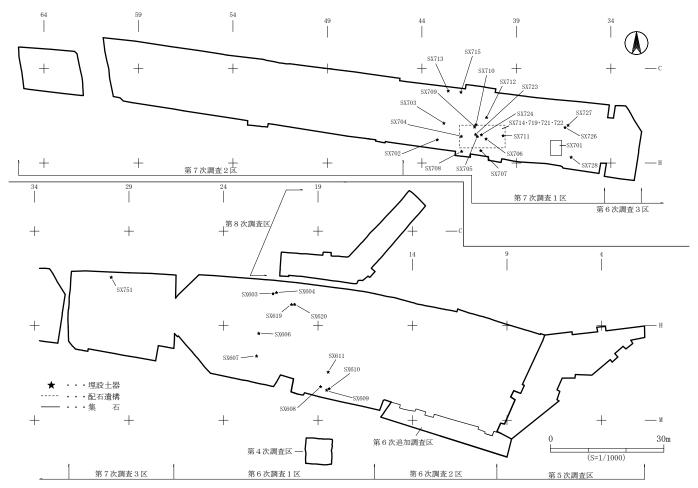
第6次調査1区中央北寄りのF-21グリッドに位置し、III層上面で検出された。東側にSX604埋設土器が存在する。SX625溝状の落ち込みと重複関係にあり、本遺構が新しい。掘り方の平面形は $39\,cm \times 37\,cm$ の円形で、深鉢胴部が正位に埋設されていた。検出された土器の最も高い位置から掘り方底面までの深さは $8\,cm$ である。掘り方の底面は平坦で、南西側へ向かって緩やかに傾斜している。壁は底面から外側へ緩やかに開いて立ち上がり、断面形は皿形である。堆積土は暗褐色粘土質シルトの単層である。遺物は埋設されていた土器を第349図に示した。

# SX604埋設土器 (第345図、図版89)

第6次調査1区中央北寄りのF-21グリッドに位置し、III層上面で検出された。西側にSX603埋設土器が存在する。SX625溝状の落ち込みと重複関係にあり、本遺構が新しい。III層上面で土器が検出された段階では掘り方が確認されず、8 CIII程掘り下げて確認した。掘り方の平面形は28 CIII CIIII CIII CIII CIII CIIII CIII CIIII CIIIII CIIII CIIII CIIII CIIII CIIIII CIIIII CIIII CIIII CIIII CIIIII CIIII CIIII CIIII CIIII CIIII CIIII CIIIII CIIII CIIII CIIII CIIII CIIIII CIIII CIIIII CIIIII CIIII CIIIII CIIIII CIIIII CIIIII CIIII CIIIII CIII

# SX606埋設土器 (第345図、図版89)

第 6 次調査 1 区中央の $H-21\cdot 22$ グリッドに位置し、III層上面で検出された。S K6038土坑の上面に位置し、東側に $S X612 \sim 618$ 焼土跡やピットが密集して存在している。S K6038土坑と重複関係にあり、本遺構が新しい。



第344図 埋設土器·配石遺構·集石配置図

Ⅲ層上面で土器が検出された段階では掘り方は確認できず、13cm程掘り下げて確認した。掘り方の平面形は27cm×25cmの円形で、口縁部~頸部を欠いた深鉢が正位に埋設されていた。検出された土器の最も高い位置から掘り方底面までの深さは25cmである。底面は平坦で、壁は若干外側に開いて立ち上がり、断面形はU字形である。堆積土は3層に分層され、炭化物粒・V層粒を含む。遺物は埋設されていた土器を第350図に示した。

# SX607埋設土器 (第345図、図版89)

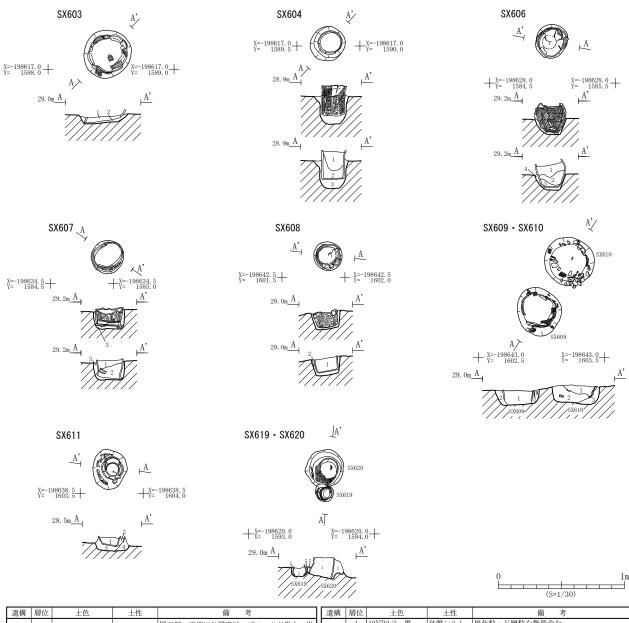
# SX608埋設土器 (第345図、図版89)

第6次調査1区東側南寄りのK-18グリッドに位置し、III層上面で検出された。東側には $SX609 \cdot 610$ 埋設土器が存在する。掘り方の平面形は23cm×22cmの円形で、口縁部~胴部を欠いた深鉢が正位に埋設されていた。検出面から掘り方の底面までの深さは14cmである。底面は平坦であるが東側に向かって緩やかに傾斜している。壁はほぼ垂直に立ち上がり、断面形はU字形である。堆積土は単層である。遺物は埋設されていた土器を第351図に示した。

# SX609埋設土器 (第345図、図版89)

第6次調査1区東側南寄りのK-18グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。北東側に隣接してSX610埋設 土器が存在する。掘り方の平面形は39cm×36cmの円形で、内部には口縁部~胴部を欠いた深鉢が正位に埋設されて

# 第1節 縄文時代



| 遺構    | 層位 | 土色      | į  | 土性     | 備考                                   |
|-------|----|---------|----|--------|--------------------------------------|
| SX603 | 1  | 10YR3/4 | 暗褐 | 粘土質シルト | 層両側〜下端にV層斑紋・ブロックが集中。炭<br>化粒・円礫を微量含む。 |
|       | 2  | 10YR3/3 | 暗褐 | 粘土質シルト | V層粒を少量含む。(掘り方)                       |
|       | 1  | 10YR3/4 | 暗褐 | 粘土質シルト | V層斑紋少量、炭化粒を微量含む。                     |
| SX604 | 2  | 10YR4/4 | 暗褐 | 粘土質シルト | 層全体に淡いV層斑紋を少量含む。                     |
|       | 3  | 10YR2/2 | 黒褐 | 粘土質シルト | 炭化粒・焼土粒を微量含む。(掘り方)                   |
|       | 1  | 10YR2/3 | 黒褐 | 砂質シルト  | 炭化粒多量、焼土粒少量、V層粒を微量含む。                |
| SX606 | 2  | 10YR3/3 | 暗褐 | 砂質シルト  | 1層に類似。炭化粒を多量に含む。 V 層粒子増加。            |
| SA000 | 3  | 10YR2/2 | 黒褐 | 砂質シルト  | 焼土粒を微量含む。シルト質強い。                     |
|       | 4  | 10YR2/2 | 黒褐 | 粘土質シルト | 炭化粒微量、V層粒を微量含む。(掘り方)                 |
|       | 1  | 10YR2/3 | 黒褐 | 砂質シルト  | 炭化粒・焼土粒を微量含む。                        |
| SX607 | 2  | 10YR2/2 | 黒褐 | 砂質シルト  | 1層に類似。炭化物・焼土粒やや増加。                   |
|       | 3  | 10YR2/3 | 黒褐 | 砂質シルト  | V 層斑紋を少量含む。(掘り方)                     |
| SX608 | 1  | 10YR2/3 | 黒褐 | 砂質シルト  | 層左側上半にV層粒集中。焼土粒を微量含む。                |
| SA000 | 2  | 10YR3/4 | 暗褐 | 砂質シルト  | 炭化粒少量、淡い V 層斑紋を含む。(掘り方)              |

| ı | 遺構    | 僧位 | 土色         | 土性     | / / / / / / / / / / / / / / / / / / / |
|---|-------|----|------------|--------|---------------------------------------|
| ı | SX609 | 1  | 10YR2/3 黒  | 砂質シルト  | 炭化粒・V層粒を微量含む。                         |
| l | SX009 | 2  | 10YR3/2 黒褐 | 砂質シルト  | V層少量、炭化粒を微量含む。(掘り方)                   |
|   |       | 1  | 10YR2/2 黒褐 | 粘土質シルト | V 層粒・炭化粒を微量含む。                        |
|   | SX610 | 2  | 10YR3/3 暗褐 | 粘土質シルト | 炭化粒を微量含む。                             |
|   | ĺĺ    | 3  | 10YR3/3 暗褐 | 粘土質シルト | 締まり・粘性が強い。炭化粒・V層粒を微量含む。(掘り方)          |
|   | SX611 | 1  | 10YR3/4 暗褐 | 粘土質シルト | 炭化粒微量、V層粒少量含む。                        |
|   |       | 2  | 10YR3/4 暗褐 | 粘土質シルト | 炭化粒・V層粒を少量含む。                         |
|   |       | 3  | 10YR4/4 暗褐 | 粘土質シルト | 層下端に V 層斑紋・粒集中。 炭化粒を微量含む。 (掘り方)       |
| ] |       | 4  | 10YR4/4 暗褐 | 粘土質シルト | V 層斑紋多い。(掘り方)                         |
| 1 | SX619 | 1  | 10YR2/2 黒褐 | 砂質シルト  | 炭化粒・焼土粒を微量、下端にV層斑紋を含む。                |
| 1 | SA019 | 2  | 10YR3/2 黒褐 | 砂質シルト  | 炭化粒を微量含む。(掘り方)                        |
| ] | SX620 | 1  | 10YR3/3 暗褐 | 粘土質シルト | 炭化粒を少量含む。下半にV層斑紋集中。                   |
| 1 | 3A020 | 2  | 10YR2/3 黒褐 | 粘土質シルト | 炭化粒を微量含む。(掘り方)                        |

第345図 埋設土器(1)

いた。検出面から掘り方底面までの深さは12cmである。底面は平坦であるが南西側に向かって緩やかに傾斜している。壁はほぼ垂直に立ち上がり、断面形はU字形である。堆積土は黒褐色砂質シルトの単層である。遺物は埋設されていた土器を第351図に示した。

### SX610埋設土器 (第345図、図版89)

第6次調査1区東側南寄りのK-18グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。南西側に隣接してSX609埋設土器が存在する。掘り方の平面形は直径40㎝の円形で、内部には深鉢の胴部から底部が正位に埋設されていた。検出面から掘り方底面までの深さは39㎝である。底面はほぼ平坦であるが、北側に向かって緩やかに傾斜している。壁はほぼ垂直に立ち上がり、断面形はU字形である。堆積土は単層で、掘り方埋土は炭化物粒を含み2層に分層される。遺物は埋設されていた土器を第351図に示した。

### SX611埋設土器 (第345図、図版89)

第6次調査1区東側南寄りのJ-18グリッドに位置する。南側にSX610埋設土器が存在する。III層上面で土器は検出されたが、掘り方が確認されず5cm程掘り下げて確認した。掘り方の平面形は32cm×28cmの円形で、口縁部~胴部上半を欠いた深鉢が正位に埋設されていた。検出された土器の最も高い位置から掘り方底面までの深さは12cmである。底面はほぼ平坦で、中央に向かって緩やかに傾斜している。壁は緩やかに開いて立ち上がり、断面形は皿形である。堆積土は暗褐色粘土質シルトを主体にして2層に分層され、掘り方埋土は2層に分層される。遺物は埋設されていた土器を第351図に示した。

### SX619埋設土器 (第345図、図版89)

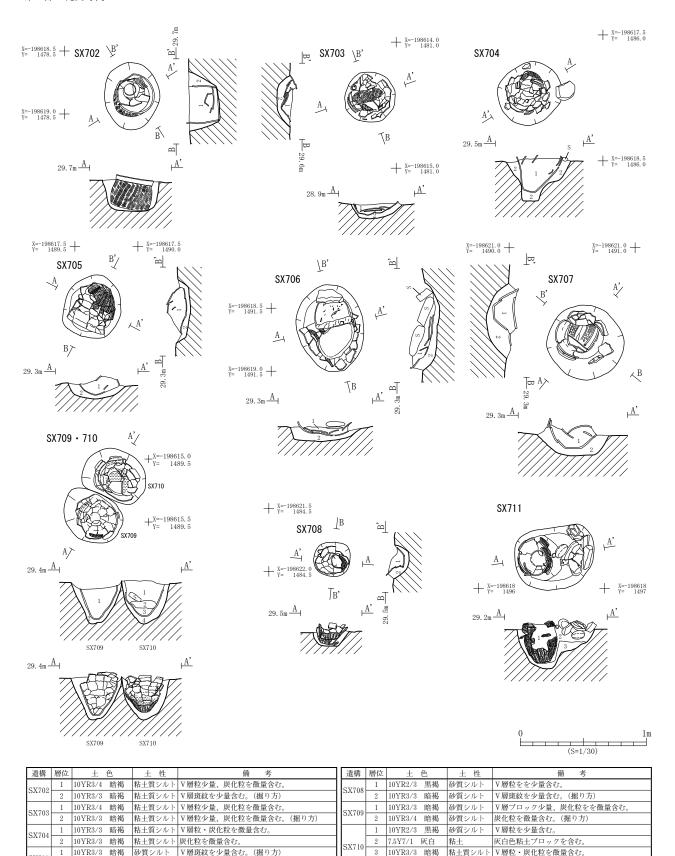
第6次調査1区中央のG-20グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。SX620埋設土器と重複関係に有り、本遺構が新しい。掘り方の平面形は16cm×14cmの円形で、胴部から底部を欠いた小型の深鉢が逆位に埋設されていた。検出面から掘り方底面までの深さは10cmである。底面は平坦であり、壁は底面から緩やかに立ち上がり断面形はU字形である。堆積土は黒褐色砂質シルトを主体とする単層である。遺物は埋設されていた土器を第349図に示した。

# SX620埋設土器 (第345図、図版89)

第6次調査1区中央のG-20グリッドに位置し、IIII層上面で検出された。SX619埋設土器と重複関係にあり、本遺構が古い。土器はIIII層上面で検出されたが、掘り方が確認されずSCIII0円形で、口縁部から頸部および底部を欠いた深鉢形土器が逆位に埋設されていた。検出された土器の最も高い位置から掘り方底面までの深さはI60mである。底面は平坦であるが北側へ緩やかに落ち込み、壁は底面から緩やかに立ち上がり、断面形はIIII1のである。堆積土は暗褐色粘土質シルトの単層である。遺物は埋設されていた土器を第349図に示した。

# SX702埋設土器 (第346図、図版90)

第7次調査1区西側南寄りのF-43グリッドに位置し、IV層上面で検出された。南側にSK7005土坑が存在する。掘り方の平面形は53cm×44cmの南北に伸びる楕円形で、胴部下半から底部を欠いた深鉢が正位に埋設されていた。検出面から掘り方底面までの深さは24cmである。底面は平坦で壁は緩やかに立ち上がり、断面形はU字形である。堆積土は単層で、土器内から埋設土器に用いられた土器の胴部大型破片が内面を上に向けた状態で出土し、更にその上に同じく埋設土器と同一個体の胴部下半から底部が伏せた状態で出土している。埋設土器に使用された土器は胴部中位付近の輪積み部分周辺で綺麗に整形されているのに対し、胴部下半以下は不規則に割られた状態であり、埋設する土器を得るため胴部下半が打ち割られたものである可能性がある。遺物は埋設されていた土器を第352図に示した。



第346図 埋設土器(2)

4 10YR3/2 黒褐

1

10YR2/3 黒褐

2 10YR3/2 黒褐 砂質シルト

3 10YR3/4 暗褐 砂質シルト

砂質シルト

砂質シルト

V 層斑紋を少量含み、下部に集中。(掘り方)

V 層斑紋少量、焼土粒を微量含む。(掘り方)

V層粒少量、炭化粒を微量含む。

V層斑紋を多量に含む。(掘り方)

SX705

SX706

2 10YR3/4 暗褐 砂質シルト 炭化粒を微量含む。(掘り方)

 1
 10YR3/4
 暗褐
 砂質シルト
 炭化粒微量、V層粒を少量含む。

 2
 10YR3/4
 暗褐
 砂質シルト
 V層粒を多量に含む。(掘り方)

 1
 10YR2/3 黒褐
 砂質シルト
 V層ブロックを少量含む。

 2
 10YR3/4 暗褐
 砂質シルト
 炭化粒を微量含む。(掘り方)

### SX703埋設土器 (第346図、図版90)

第7次調査1区西側中央のE-42グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。北東側にSI701竪穴住居跡、南東にSI702竪穴住居跡が存在する。掘り方の平面形は直径40cmの円形で、深鉢が東側に口縁部を向けて横位に埋設されていたものが、上からの圧力で潰れた状態で検出された。検出された土器の最も高い位置から掘り方底面までの深さは39cmである。底面はほぼ平坦で、壁は緩やかに開いて立ち上がり、断面形は皿形である。堆積土は単層である。遺物は埋設されていた土器を第352図に示した。

### SX704埋設土器 (第346図、図版90)

第7次調査1区西側南寄りF-41グリッドに位置し、Ⅲ層上面、SI702竪穴住居跡の堆積土上面で検出された。このことからSI702竪穴住居跡より本遺構が新しい。掘り方の平面形は52cm×46cmの北東から南西方向に伸びる楕円形で、口縁部から胴部上半を欠いた深鉢が正位に埋設されていた。検出された土器の最も高い位置から掘り方底面までの深さは36cmである。底面は平坦で、壁は底部が埋設された凹んだ部分からやや急角度で立ち上がった後に緩やかに開いて立ち上がり、断面形は漏斗形となる。堆積土は単層である。遺物は埋設されていた土器および堆積土中から出土した土製品を第353図に示した。

# SX705埋設土器 (第346図、図版90)

第7次調査1区西側南寄りF-41グリッドに位置し、III層上面で検出された。北西側に隣接してSX723埋設土器、北東側にSX724埋設土器が存在する。ピットと重複関係にあり、本遺構が新しい。 III層上面で土器が検出された段階では掘り方が確認されず、8 cm程掘り下げて掘り方を確認した。掘り方の平面形は南北に伸びる51 cm  $\times$  46 cm の 楕円形で、底部穿孔された深鉢が南側に口縁部を向けて横位に埋設されていた。検出された土器の最も高い位置から掘り方底面までの深さは19 cm である。底面はほぼ平坦で中央部に向かって緩やかに傾斜しており、壁は底面から緩やかに立ち上がり断面形は皿形である。堆積土は単層である。遺物は埋設されていた土器を第354図に示した。

# SX706埋設土器 (第346図、図版90)

第7次調査1区中央のF-40グリッドに位置し、III層上面で検出された。北西にSX724埋設土器が存在する。ピットと重複関係にあり、本遺構が新しい。III層上面で土器および礫が検出された段階では掘り方が確認されず、10cm程掘り下げて掘り方を確認した。掘り方の平面形は68cm×53cmの南北に伸びる楕円形で、深鉢が北側に口縁部を向けて横位に埋設されていた。上面で20~30cm大の礫3個が土器を覆った状態で検出された。検出された土器の最も高い位置から掘り方底面までの深さは16cmである。底面はほぼ平坦で、壁は緩やかな角度で立ち上がり、断面形は皿形である。堆積土は暗褐色砂質シルトを主体とした単層である。遺物は埋設されていた土器を第355図に示した。石器は礫石器2点、砥石1点が出土しているが図化はしていない。

### SX707埋設土器 (第346図、図版91)

第7次調査1区中央南寄りのG-40グリッドに位置し、III層上面で検出された。北側にはSX705・706埋設土器が存在する。III層上面で土器が検出された段階では掘り方が確認されず、13cm程掘り下げて掘り方を確認した。掘り方の平面形は60cm×58cmの円形で、口縁部から胴部上半を欠いた深鉢が正位に埋設されていた。検出された土器の最も高い位置から掘り方底面までの深さは30cmである。底面は中央に向かって傾斜しているがほぼ平坦で、壁は緩やかに立ち上がり断面形は皿形である。堆積土はV層ブロックを少量含む単層である。本遺構から出土した土器を第356図に示した。1・2は埋設されていた土器で、3は埋設土器内から横位に潰れた状態で検出された別個体の土器である。

### SX708埋設土器 (第346図、図版91)

第7次調査1区西側南寄りG-41グリッドに位置し、Ⅲ層上面、SI710竪穴住居跡の堆積土上面で検出された。 このことからSI710竪穴住居跡より本遺構が新しい。土器が検出された段階では掘り方が確認されず、8cm程掘

### 第1節 縄文時代

り下げて掘り方を確認した。掘り方の平面形は29cm×27cmの円形で、口縁部から胴部上半を欠いた深鉢が正位に埋設されていた。検出された土器の最も高い位置から掘り方底面までの深さは18cmである。底面は平坦で、壁は外側に開いて立ち上がり、断面形はU字形である。堆積土はV層粒を含む単層である。遺物は埋設されていた土器を第356図に示した。

### SX709埋設土器 (第346図、図版92)

第7次調査1区中央のF-40グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。北側に隣接してSX710埋設土器が、西側にSX719埋設土器が存在する。SX710埋設土器、ピットと重複関係にあり、本遺構が最も新しい。Ⅲ層上面で土器が検出された段階では掘り方が確認されず、6 cm程掘り下げて掘り方を確認した。掘り方の平面形は50cm×38cmの楕円形で、口縁部を欠いた深鉢が正位に埋設されていた。検出された土器の最も高い位置から掘り方底面までの深さは38cmである。底面はほぼ平坦で、壁は外側に開いた角度で立ち上がり、断面形はU字形である。堆積土は暗褐色砂質シルトの単層である。遺物は埋設されていた土器を第352図に示した。

### SX710埋設土器 (第346図、図版92)

第7次調査1区中央のF-40グリッドに位置し、III層上面で検出された。南側に隣接してSX709埋設土器、北東側にSX712埋設土器が存在する。SX709埋設土器、ピットと重複関係にあり、SX709埋設土器より古く、ピットよりも新しい。III層上面で土器が検出された段階では掘り方が確認されず、6 cm程掘り下げて掘り方を確認した。掘り方の平面形は56cm  $\times$  44cm の楕円形で、深鉢が正位に埋設されていた。検出された土器の最も高い位置から掘り方底面までの深さは39cm である。底面は中央が凹んでおり、壁は外側に開いて立ち上がり、断面形はU字形である。堆積土は3層に分層され、灰白色粘土ブロックが検出された。遺物は埋設されていた土器を第357図に示した。

### SX711埋設土器 (第346図、図版91)

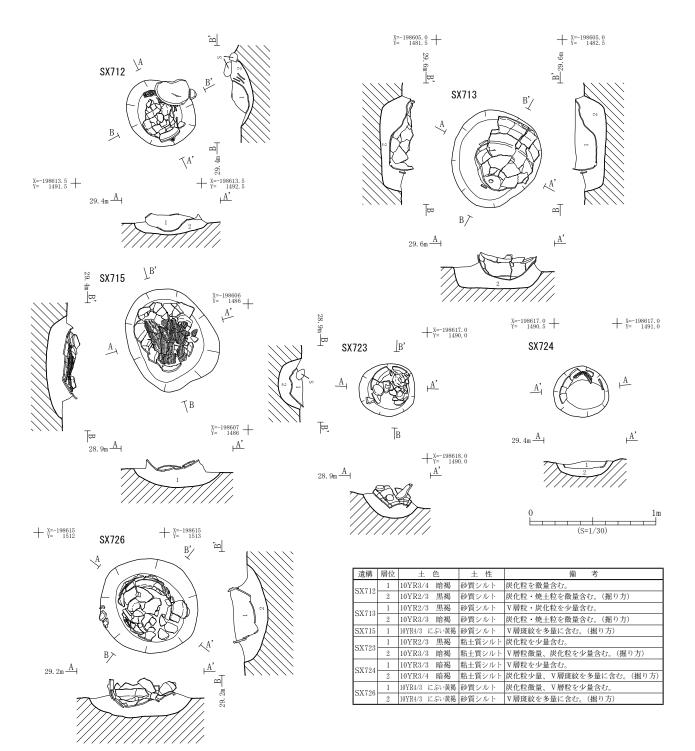
第7次調査1区中央のF-39グリッドに位置し、III層上面で検出された。北側にSX722配石遺構が存在する。III層上面で土器および礫が検出された段階では掘り方が確認されず、8 cm程掘り下げて掘り方を確認した。掘り方の平面形は64cm×48cmの東西方向に伸びる楕円形で、深鉢が正位に掘り方の西側に埋設されていた。また、東側からは円礫および角礫が集積状態で検出された。土器の最も高い位置から掘り方底面までの深さは38cmである。底面は西側が最も深く東側に緩やかなテラス状の平坦面を有し、壁は緩やかな角度で立ち上がり断面形はU字形~皿形である。堆積土は黒褐色砂質シルトの単層で、掘り方埋土は2層に分層され、上層に多数の礫が含まれている。本遺構から出土した遺物を第358・359図に示した。第358図1は埋設土器で、第359図1は埋設土器内の堆積土中より出土した。その他、土器の東側で集積された状態で検出された礫の中に礫石器2点、砥石1点が含まれており、礫石器1点を図化した。

### SX712埋設土器 (第347図、図版92)

第7次調査1区中央のE-40グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。南東側にSX709・710埋設土器は存在する。Ⅲ層上面で土器が検出された段階では掘り方が確認されず、8㎝程掘り下げて掘り方を確認した。掘り方の平面形は56㎝×51㎝の不整な円形で、深鉢が南東側に口縁部を向けて横位に埋設されていた。北東側から規模28㎝の扁平な礫が検出されている。土器の最も高い位置から掘り方底面までの深さは18㎝である。底面はほぼ平坦で壁は緩やかに立ち上がり、断面形は皿形である。堆積土は炭化粒を含む単層である。遺物は埋設されていた土器を第360図に示した。

# SX713埋設土器 (第347図)

第7次調査1区西側北寄りのD-42グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。東側にSX715埋設土器が存在する。Ⅲ層上面で土器が検出された段階では掘り方が確認されず、12cm程掘り下げて掘り方を確認した。掘り方の平面形は78cm×70cmの北東から南西に伸びる不整な楕円形で、底部が穿孔された深鉢が北東側へ傾けた斜位に埋設



第347図 埋設土器(3)

### 第1節 縄文時代

されていた。検出された土器の最も高い位置から掘り方底面までの深さは28cmである。底面は平坦で壁は開いた角度で立ち上がり、断面形は逆台形である。堆積土は炭化物粒を含む単層である。遺物は埋設されていた土器を第361図に示した。その他、埋設土器内から礫石器1点が出土したが図化はしなかった。

### SX715埋設土器 (第347図、図版91)

第7次調査1区中央のF-40グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。西側にSX713埋設土器が存在する。Ⅲ層上面で土器が検出された段階では掘り方が確認されず、10㎝程掘り下げて掘り方を確認した。掘り方の平面形は78㎝×68㎝の南北に伸びる不整な楕円形で、口縁部から胴部上半を欠いた深鉢形土器が北側に口縁部を向けて横位に埋設されていた。検出された土器の最も高い位置から掘り方底面までの深さは26㎝である。底面は緩やかに底面中央に向かって傾斜し、壁は緩やかに立ち上がり断面形は皿形である。堆積土は削平のため残存していない。遺物は埋設されていた土器を第362図に示した。

# SX723埋設土器 (第347図、図版92)

第7次調査1区西側南寄りのF-41グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。南東側に隣接してSX705埋設土器、東側にSX724埋設土器が存在する。ピットと重複関係にあり、本遺構が新しい。Ⅲ層上面で土器が検出された段階では掘り方が確認されず、10㎝程掘り下げて掘り方を確認した。掘り方の平面形は44㎝×42㎝の不整な円形で、口縁部から胴部上半を欠いた深鉢が正位に埋設されていた。検出された土器の最も高い位置から掘り方底面までの深さは22㎝である。底面は中央に向かって緩やかに落ち込み、壁は緩やかに立ち上がり断面形はU字形である。堆積土は炭化物粒を含む単層で、内部から円礫が検出された。遺物では埋設されていた土器を第360図に示した。石器は堆積土中から石錐1点、微細剥離痕のある剥片1点が出土し、石錐1点を図化した。

### SX724埋設土器 (第347図、図版92)

第7次調査1区中央のF-40グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。西側にSX705・723埋設土器、東側にSX706埋設土器が存在する。掘り方の平面形は44cm×40cmの不整な円形で、口縁部から胴部上半および底部を欠いた深鉢が正位に埋設されていた。検出面から掘り方底面までの深さは13cmである。堆積土は黒褐色粘土質シルト層の単層である。遺物は埋設されていた土器を第362図に示した。

# SX726埋設土器 (第347図、図版93)

第7次調査1区東側中央のF-36グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。東側に隣接してSX727埋設土器が存在する。SK7015土坑とは重複関係にあり、本遺構が新しい。Ⅲ層上面で土器が検出された段階では掘り方が確認されず、16cm程掘り下げて掘り方を確認した。掘り方の平面形は78cm×75cmの不整な円形で、口縁部から頸部を欠く深鉢が南東側に口縁部を傾けて斜位に埋設されていた。検出された土器の最も高い位置から掘り方底面までの深さは32cmである。底面はほぼ平坦で、壁は緩やかに立ち上がり、断面形は皿形である。堆積土はにぶい黄褐色砂質シルト層の単層である。遺物は埋設されていた土器を第363図に示した。

### SX727埋設土器 (第348図、図版93)

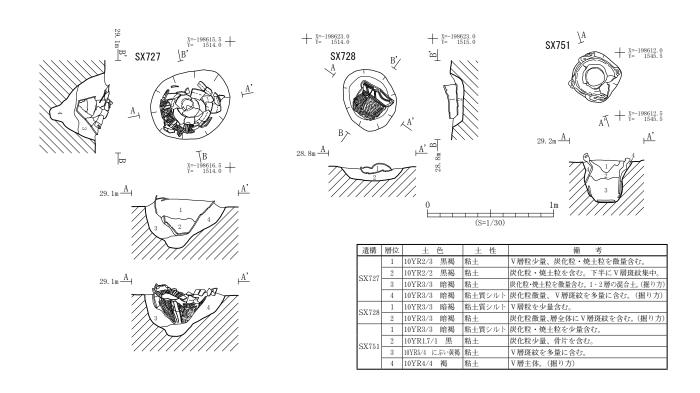
第7次調査1区東側中央のF-36グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。西側に隣接してSX726埋設土器が存在する。Ⅲ層上面で土器が検出された段階では掘り方が確認されず、10cm程掘り下げて掘り方を確認した。掘り方の平面形は64cm×54cmの東西に延びる楕円形で、口縁部から胴部上半を欠いた深鉢が正位に埋設されていた。検出された土器の最も高い位置から掘り方底面までの深さは40cmである。底面は中央部分が凹んでおり、壁は緩やかに開きながら立ち上がり、断面形は漏斗形である。堆積土は2層に分層され、炭化物粒・焼土粒を含む。遺物は埋設されていた土器を第364図に示した。

# SX728埋設土器 (第348図、図版92)

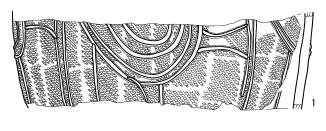
第7次調査1区東側南寄りのG-36グリッドに位置し、Ⅲ層上面で検出された。西側にSI711竪穴住居跡が存

在する。Ⅲ層上面で土器が検出された段階では掘り方が確認されず、5 cm程掘り下げて掘り方を確認した。掘り方の平面形は49cm×40cmの南北に伸びる楕円形で、底部を欠く深鉢が口縁部を北東側に向けて横位に埋設されていたものが上からの圧力で潰れた状態で検出された。検出された土器の最も高い位置から掘り方底面までの深さは14cmである。底面はほぼ平坦で、壁は開いた角度で立ち上がり、断面形は皿形である。堆積土は∇層粒を含む単層である。遺物は埋設されていた土器を第359図に示した。

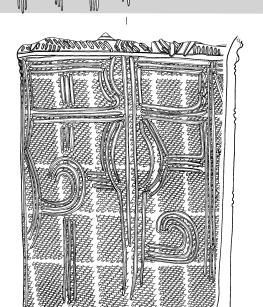
# SX751埋設土器 (第348図、図版93)

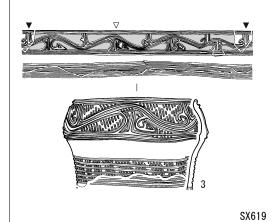


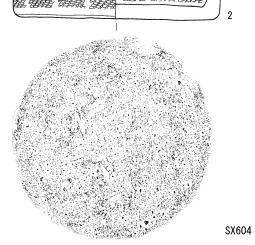
第348図 埋設土器(4)

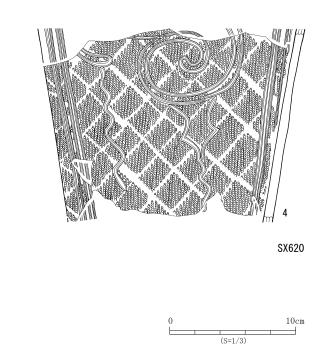






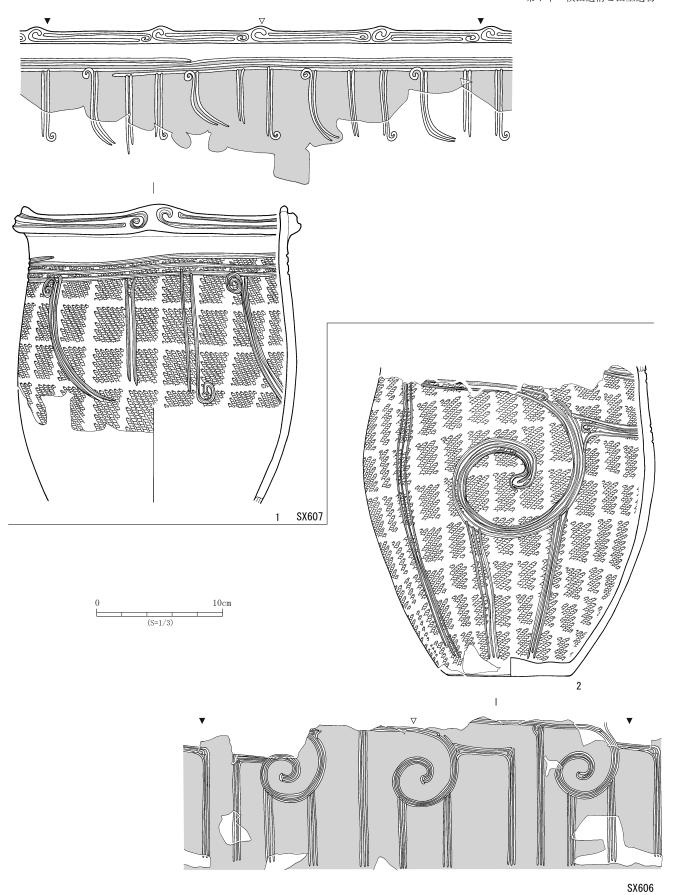






| No. | 登録番号    | 遺構    | 器形・部位    | 文様等  | 備考 | 写真図版    |
|-----|---------|-------|----------|--|----|---------|
| 1   | A-60695 | SX603 | 深鉢・胴部    | 渦巻・弧状・縦位隆線文。縄文 LR 縦位施文。                              | -  | 206 - 7 |
| 2   | A-60696 | SX604 | 深鉢・頸部〜底部 | 頭部:短沈線状刺突文。胴部:渦巻·孤状·横位·縦位沈線文、縄文 RL 縦位施文。底部:網代痕。      | -  | 206 - 1 |
| 3   | A-60697 | SX619 | 深鉢・口縁~胴部 | 口縁部: 横位渦巻隆沈線文、縄文 LR 斜位施文。頸部:無文。胴部: 横位沈線文、縄文 LR 縦位施文。 | -  | 206 - 3 |
| 4   | A-60698 | SX620 | 深鉢・胴部    | 渦巻・剣先状・波状・縦位沈線文、縄文 LR 斜位施文。                          | -  | -       |

第349図 埋設土器出土遺物(1)



| <b>第350</b> 図 |  |
|---------------|--|

文様等

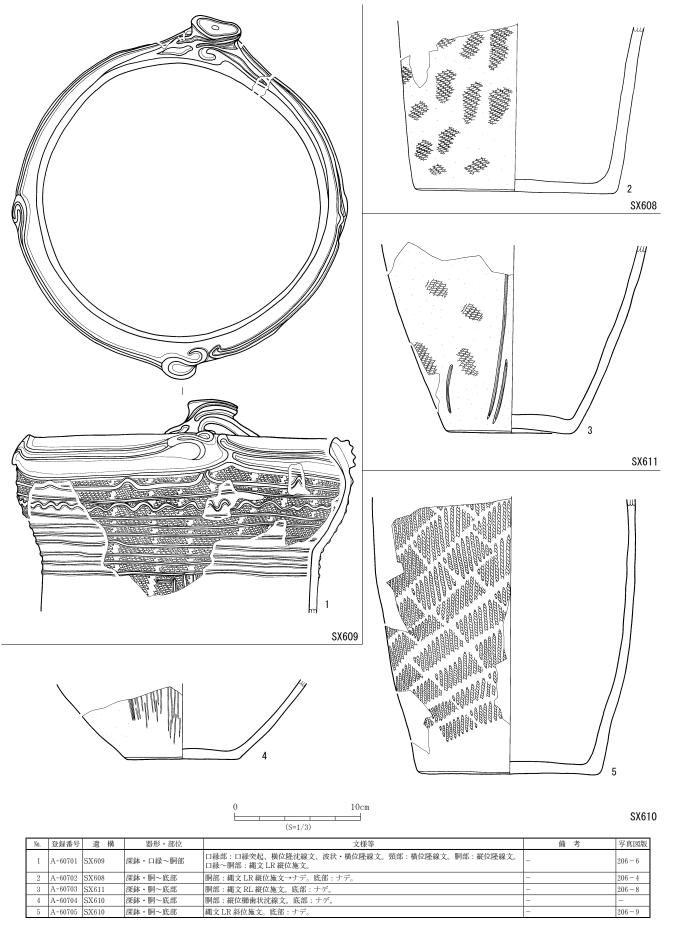
口緣部: 横位渦巻隆沈線文。頸部:無文。胴部: 渦巻·弧状・横位・縦位沈線文、縄文 LR 縦位施文。 渦巻・横位・縦位沈線文、縄文 RL 縦位施文。

器形・部位 深鉢・口縁~胴部 深鉢・胴部

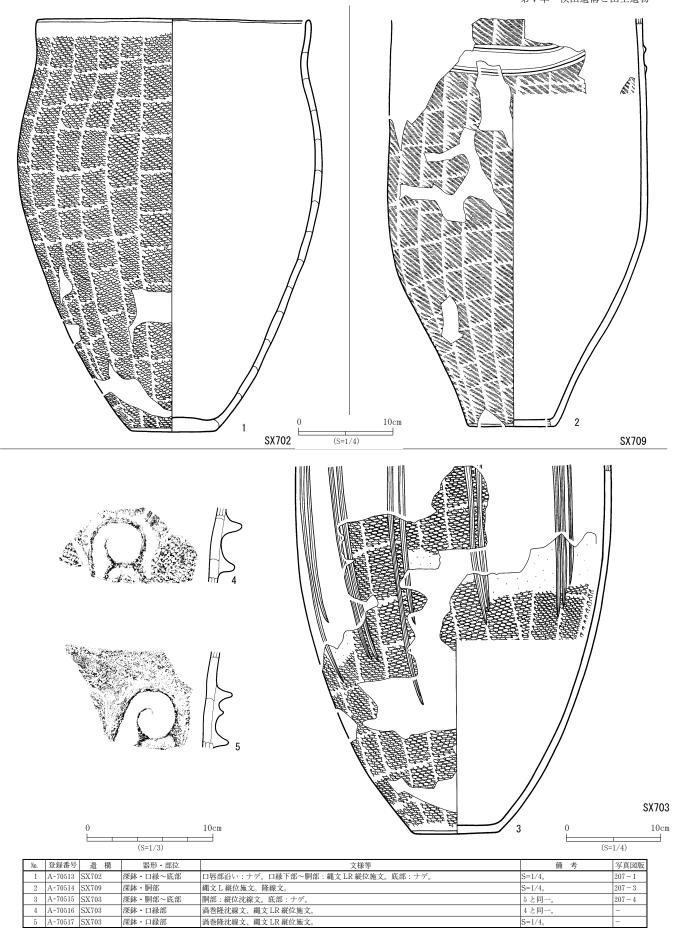
No. 登録番号 遺 構

1 A-60699 SX607 2 A-60700 SX606 写真図版

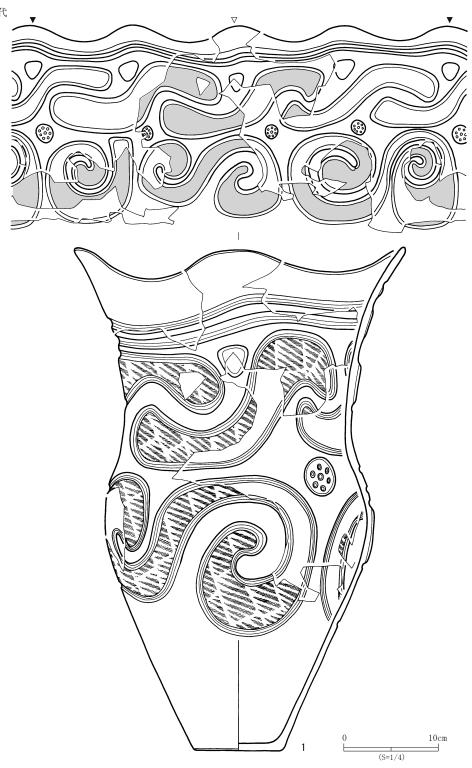
206 - 5



第351図 埋設土器出土遺物(3)



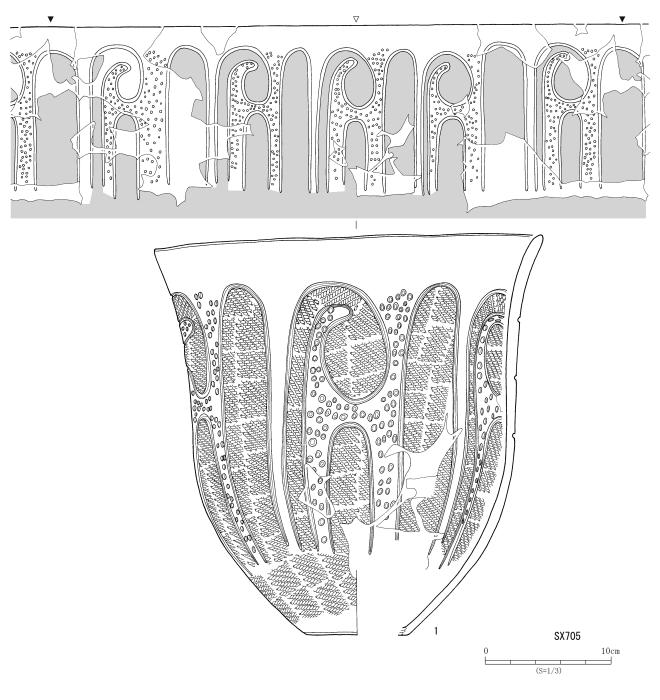
第352図 埋設土器出土遺物(4)





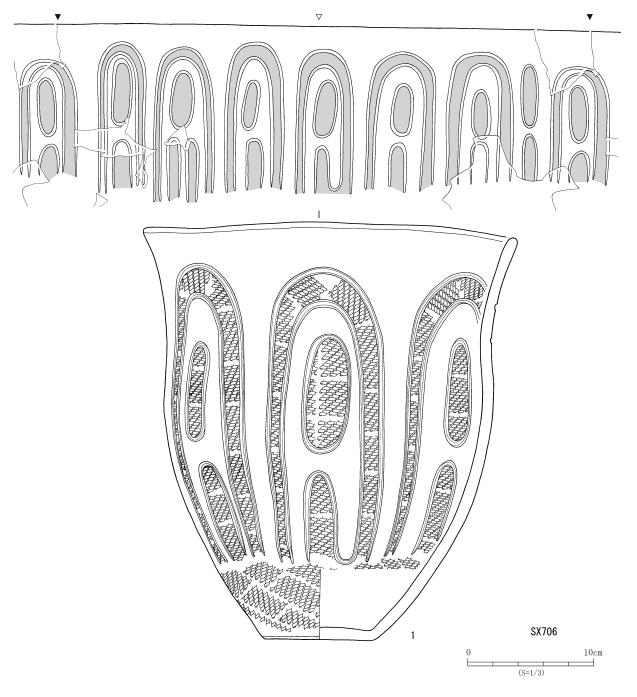
| No. | 登録番号    | 遺構    | 器形・部位    | 文様等                                       | 備考                 | 写真図版  |
|-----|---------|-------|----------|---|--------------------|-------|
| 1   | A-70518 | SX704 | 深鉢・口縁~底部 | 口縁部:無文。頸部:横位隆沈線文。胴部:渦巻隆沈線文、縄文L斜位施文。底部:ナデ。 | 波状口縁。S=1/4。        | 207-5 |
| 2   | P-7092  | SX704 | 土製品      | 土偶・腕。                                     | S=1/2 <sub>o</sub> | -     |
| 3   | P-7093  | SX704 | 三角形土製品   | 沈線文、円形刺突文。                                | S=1/2 <sub>o</sub> | -     |

第353図 埋設土器出土遺物(5)



| _ |     |              |    |          |  |    |         |
|---|-----|--------------|----|----------|--|----|---------|
| I | No. | 登録番号 遺       | 構  | 器形・部位    | 文様等                                      | 備考 | 写真図版    |
| Π | 1   | A-70519 SX70 | )5 | 深鉢・口縁~胴部 | 口縁部:無文。胴部:渦巻・逆「∩」字状沈線文、円形刺突文、縄文 LR 縦位施文。 | _  | 207 - 7 |

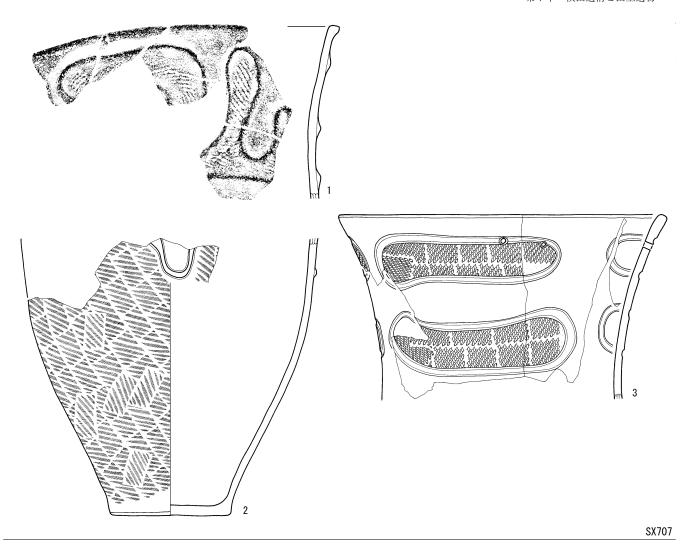
第354図 埋設土器出土遺物(6)

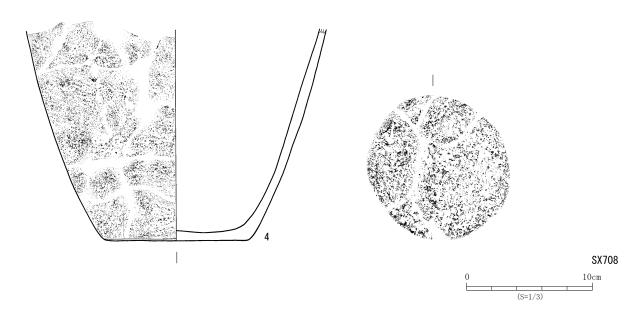


 №
 登録番号
 遺 構
 器形・部位
 文様等
 備 考
 写真図版

 1
 A-70520
 SX706
 深鉢・口縁~底部
 口縁部:無文。胴部:「∩」状沈線文、縄文 RL 縦位施文。底部:ナデ。
 207-8

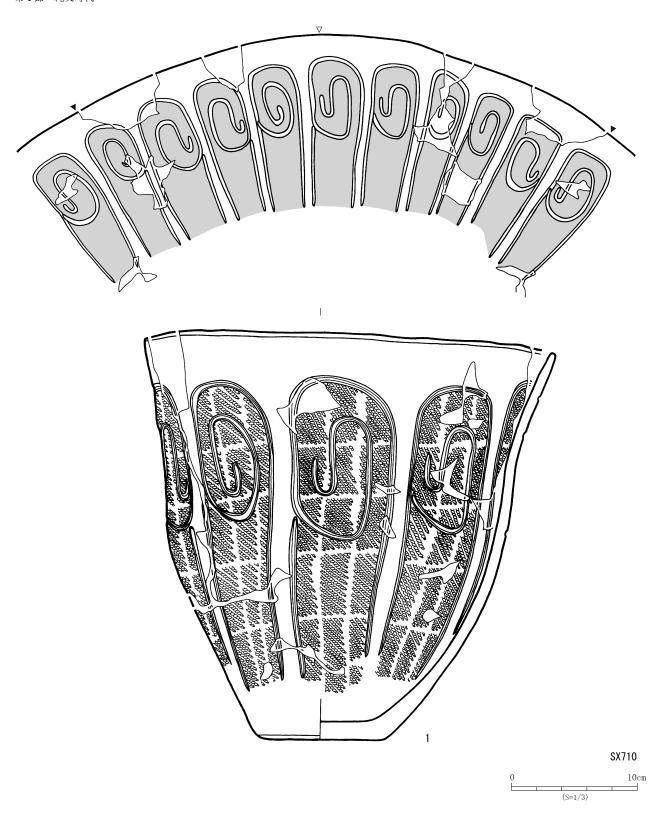
第355図 埋設土器出土遺物(7)





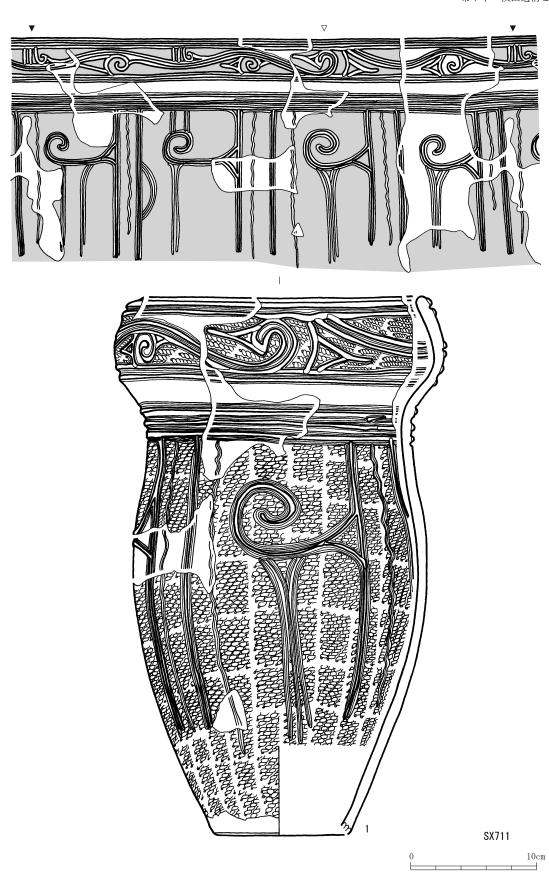
| No. | 登録番号    | 遺構    | 器形・部位    | 文様等                  | 備考     | 写真図版  |
|-----|---------|-------|----------|----------------------|--------|-------|
| 1   | A-70521 | SX707 | 深鉢・口縁部   | 波状・横位隆線文、縄文 LR 縦位施文。 | -      | 207-2 |
| 2   | A-70522 | SX707 | 深鉢・胴部    | 隆線文、縄文L斜位施文。底部:ナデ。   | -      | -     |
| 3   | A-70523 | SX707 | 深鉢・口縁~胴部 | 横位楕円沈線文、縄文 LR 横位施文。  | 補修孔有り。 | -     |
| 4   | A-70524 | SX708 | 深鉢・胴〜底部  | 胴部:縄文 LR 縦位施文。底部:ナデ。 | -      | -     |

第356図 埋設土器出土遺物(8)



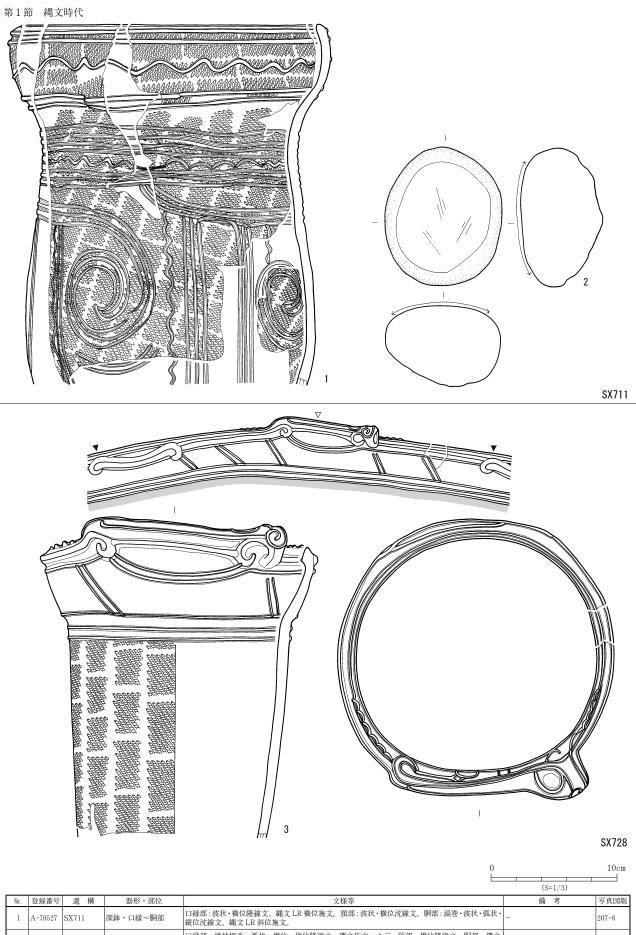
| N | No. | 登録番号    | 遺構    | 器形・部位    | 文様等                     | 備考 | 写真図版  |
|---|-----|---------|-------|----------|-------------------------|----|-------|
|   | 1   | A-70525 | SX710 | 深鉢・口縁~底部 | 胴部:渦巻・縦位沈線文、縄文 LR 縦位施文。 | -  | 208-1 |

第357図 埋設土器出土遺物(9)



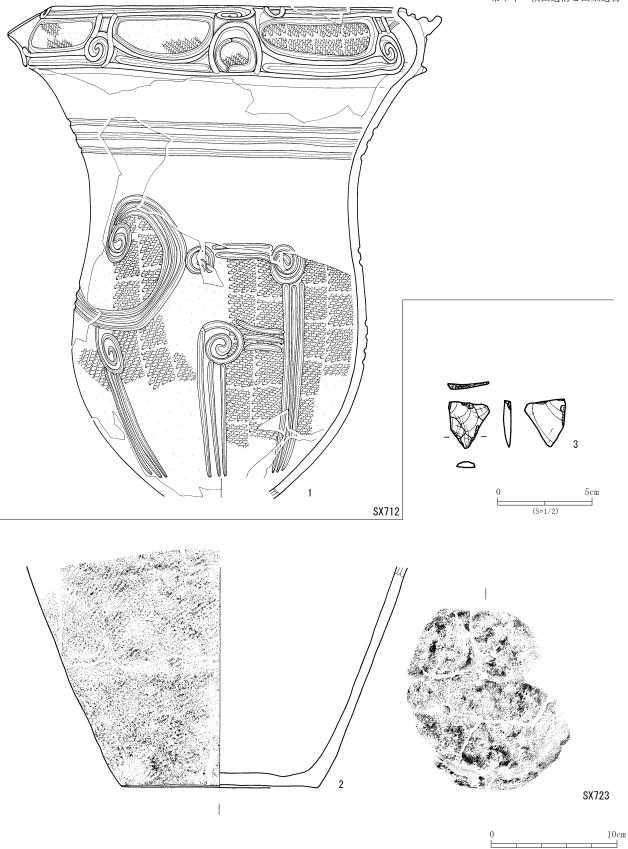
| Γ | No. | 登録番号    | 遺構    | 器形・部位     | 文様等  | 備考 | 写真図版  |
|---|-----|---------|-------|-----------|--|----|-------|
| Ī | 1   | A-70526 | SX711 | 深鉢・口縁部~胴部 | 口縁部:有棘・渦巻・波状・横位隆沈線文、縄文 RL 横位施文、頸部:無文部+横位隆沈線文。胴部:<br>渦巻・縦位隆線文。縄文 RL 縦位施文。 | _  | 207-9 |

第358図 埋設土器出土遺物(10)



| No. | 登録番号    | 遺構    | 器形・部位 | 文様等  | 備 | 考 | 写真図版  |
|-----|---------|-------|-------|--|---|---|-------|
| 1   | A-70527 | SX711 |       | 口縁部: 波状・横位隆線文、縄文 LR 横位施文。頸部: 波状・横位沈線文。胴部: 渦巻・波状・弧状・縦位沈線文、縄文 LR 斜位施文。 | ı |   | 207-6 |
| 3   | A-70528 | SX728 |       | 口縁部:橋状把手、弧状・横位・縦位隆線文、縄文施文→ナデ。頸部:横位隆線文。胴部:縄文<br>LR 縦位施文。              | ı |   | 208-5 |

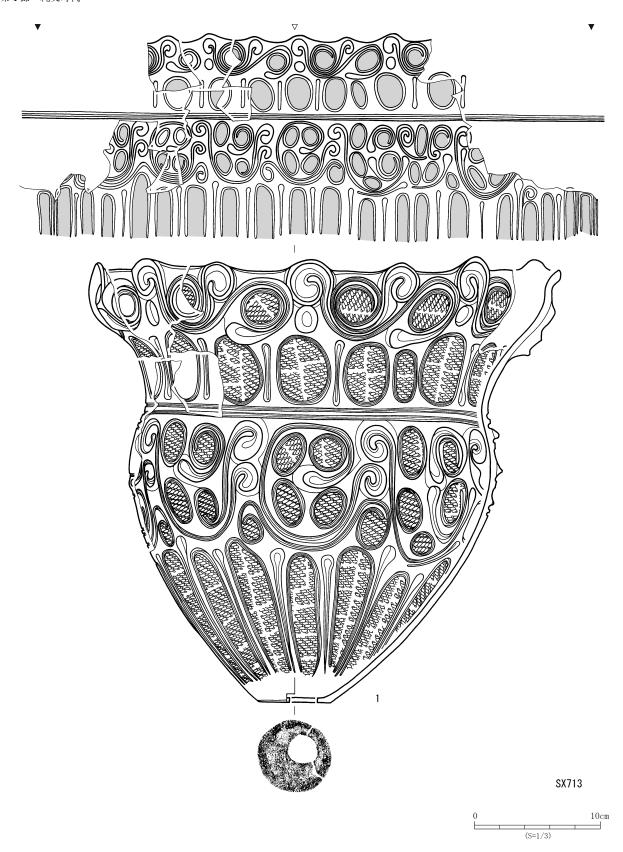
| No. | 登録番号      | 遺構    | 器   | 種 | 石   | 質 | 長さ (mm) | 幅 (mm) | 厚さ (mm) | 重さ(g) | 備考              | 写真図版 |
|-----|-----------|-------|-----|---|-----|---|---------|--------|---------|-------|-----------------|------|
| 2   | Kc-a-7042 | SX711 | 礫石器 |   | 安山岩 |   | 110.5   | 91.5   | 64.5    | 822.0 | 磨1、被熱によるヒビ割れ有り。 | -    |



| No. | 登録番号    | 遺構    | 器形・部位   | 文様等   | 備 | 考 | 写真図版 |
|-----|---------|-------|---------|---|---|---|------|
| 1   | A-70529 | SX712 |         | 口縁部・横位渦巻隆沈線文、縄文 RL 横位施文。頸部:横位沈線文。胴部:渦巻・横位・縦位沈線文、縄文 RL 縦位施文。 | - |   | -    |
| 2   | A-70530 | SX723 | 深鉢・胴〜底部 | 胴部:縄文 RL 縦位施文。底部:ナデ。  | _ |   | -    |

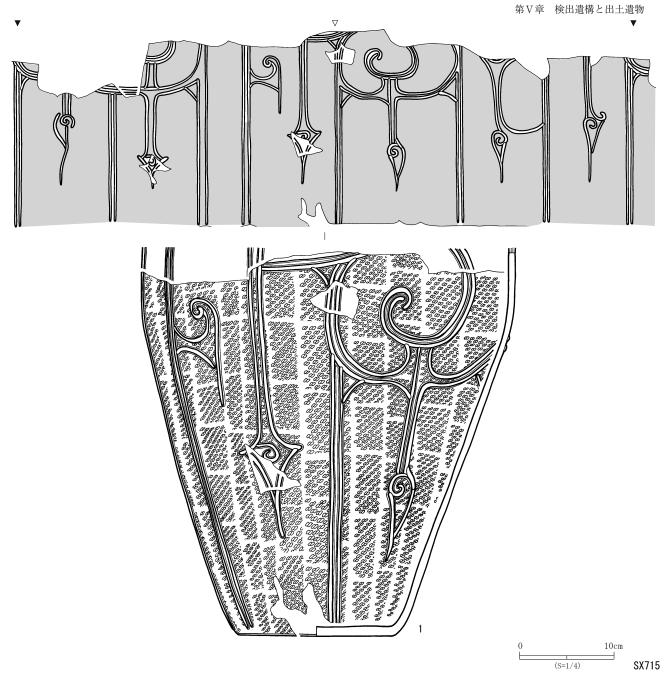
| No. | 登録番号      | 遺構    | 器 種 | 石    | 質 | 長さ (mm) | 幅 (mm) | 厚さ (mm) | 重さ(g) | 備考 | 写真図版 |
|-----|-----------|-------|-----|------|---|---------|--------|---------|-------|----|------|
| 3   | Ka-b-7031 | SX723 | 石錐  | 珪質頁岩 |   | 17.8    | 15.9   | 2.7     | 0.7   | _  | -    |

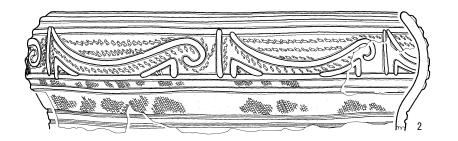
(S=1/3)



|   | No. | 登録番号    | 遺構    | 器形・部位    | 文様等   | 備考          | 写真図版  |
|---|-----|---------|-------|----------|---|-------------|-------|
| Γ | 1   | A-70531 | SX713 | 深鉢・口縁~底部 | □縁部~胴部:渦巻・横「S」字状・円形隆線文、「∩」状沈線文、縄文 LR 縦位・斜位施文。底部:ナデ。 | 底部穿孔。S=1/4。 | 208-3 |

第361図 埋設土器出土遺物(13)

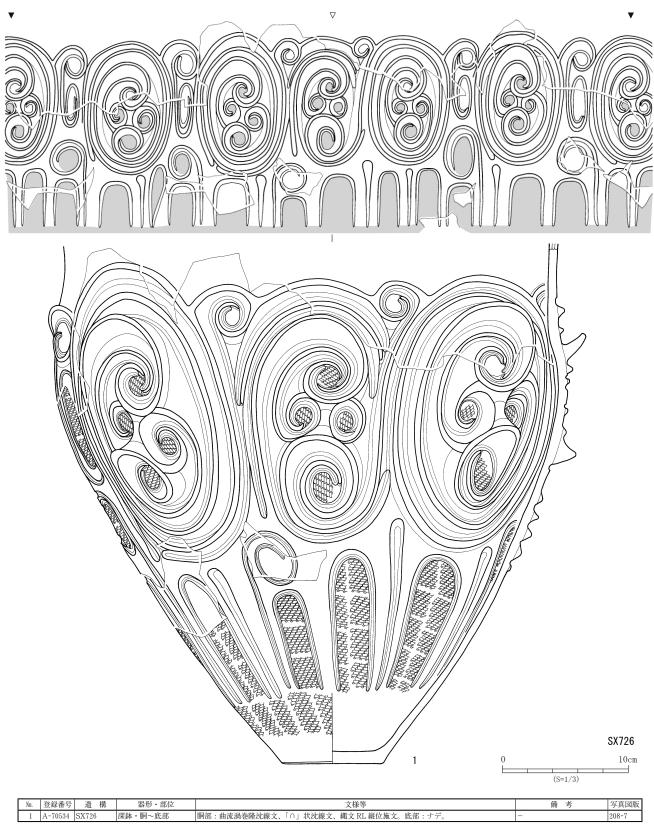




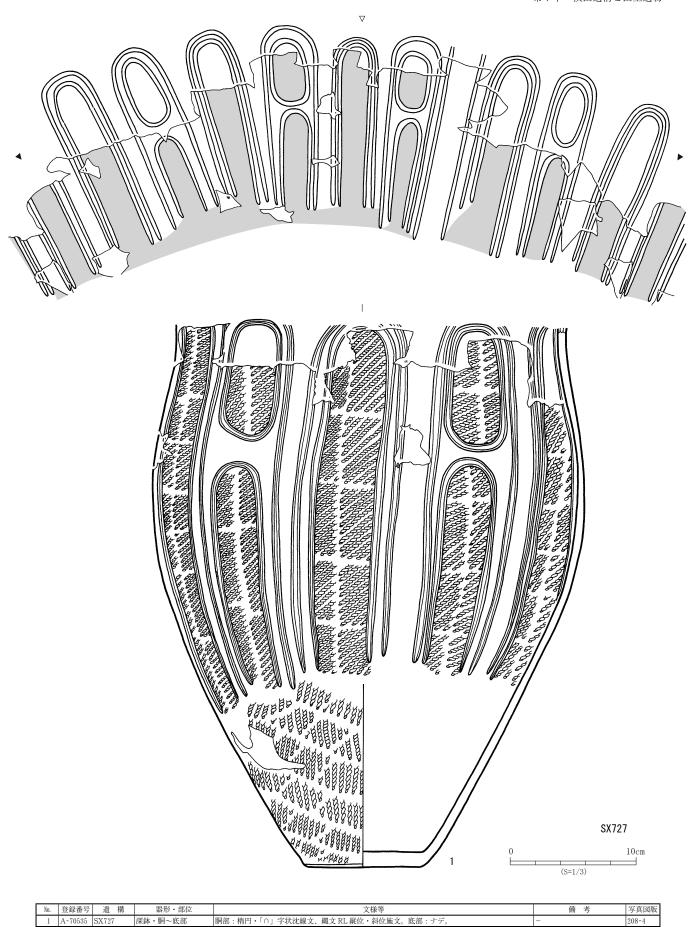
SX724

| 0 |         |   | 10cm |
|---|---------|---|------|
|   | (S=1/3) | ) |      |

| No. | 登録番号    | 遺構    | 器形・部位    | 文様等  | 備考                 | 写真図版  |
|-----|---------|-------|----------|--|--------------------|-------|
| 1   | A-70532 | SX715 | 深鉢・胴〜底部  | 胴部:有棘・渦巻・縦位隆線文、縄文 RL 縦位施文。底部:ナデ。                     | S=1/4 <sub>o</sub> | 208-2 |
| 2   | A-70533 | SX724 | 深鉢・口縁~頸部 | 口縁部:渦巻・弧状隆線文、押圧縄文 LR 横位・斜位施文。頸部:横位沈線文、縄文 LR 縦位施文→ナデ。 | _                  | -     |



第363図 埋設土器出土遺物(15)



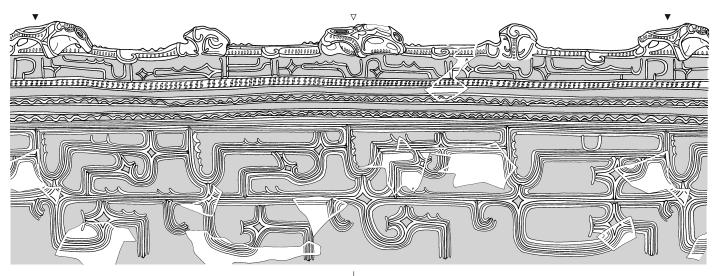
第364図 埋設土器出土遺物(16)

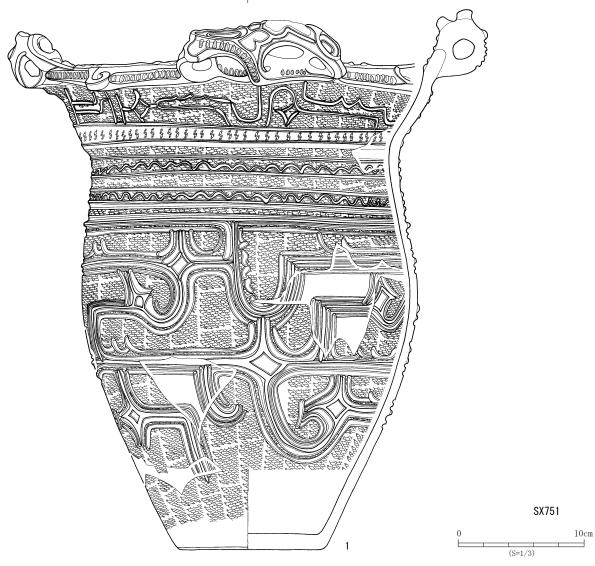
胴部:楕円・「∩」字状沈線文、縄文 RL 縦位・斜位施文。底部:ナデ。

深鉢・胴〜底部

写真図版

208-4





| No. | 登録番号    | 遺構    | 器形・部位    | 文様等  | 備 | 考 | 写真図版  |
|-----|---------|-------|----------|--|---|---|-------|
| 1   | A-70536 | SX751 | 深鉢・口縁~底部 | 口縁部:橋状把手、連続刺突文、クランク状・菱形・弧状隆線文、押圧縄文 LR 縦位施文、縄文 LR 縦位施文。頸部:横位・波状隆線文。胴部:クランク状・菱形・弧状隆沈線文、縄文 LR 縦位施文。底部:ナデ。 |   |   | 208-6 |

第365図 埋設土器出土遺物(17)

## 5. 配石遺構

配石遺構は第7次調査で4基が検出された。いずれも第7次調査1区中央に位置し、III層上面で検出された(第366図)。第7次調査1区では表土掘削後の遺構確認を行う段階で多数の礫が検出されたことから、主に10㎝以上の礫について出土地点を記録してから礫の取り外しを行った。以下、ここで説明する配石遺構は、この段階で検出された礫の中で連なった状態の配列が認められるものや、大型の礫がまとまった状態で検出された部分について遺構認定したものである。第366図には配石遺構が検出されたE・F  $-39 \sim 41$ グリッド周辺から同一面で検出された礫を合わせて図化している。なお、図中に記した標高は配石および礫の検出面のものであり、東側に向かって緩やかに傾斜している。以下、各遺構毎に説明する。

### SX714配石遺構 (第366図、図版95)

第7次調査1区西側南寄りのF-41グリッドに位置し、III層上面で検出された。北東側にSX705・714埋設土器、西側にSI702・710竪穴住居跡、北東側にSX719配石遺構が存在する。重複する位置の下層および周辺からピットが検出されているが本遺構との関係は不明である。 $20 \sim 30\,\mathrm{cm}$ 大のやや大型で扁平な礫を用いて南北方向に $110\,\mathrm{cm}$ の範囲で長軸方向に連なる配石がなされ、中央では一部重複して二列になる部分も認められる。北側で礫の配置が東側へと湾曲していくことから、当初複式炉の石囲部の残存である可能性も考えられたが、東側で礫が検出されなかったことや焼け面が認められなかったことなどから配石遺構とした。長軸方向は $N-22^\circ-W$ である。本遺構に伴う明瞭な掘り方は確認されなかった。遺物は二次加工のある剥片 $1\,\mathrm{点}$ 、微細剥離痕のある剥片 $1\,\mathrm{c}$ 、礫石器 $1\,\mathrm{c}$ 、石皿 $1\,\mathrm{c}$ 、を第367図に示した。

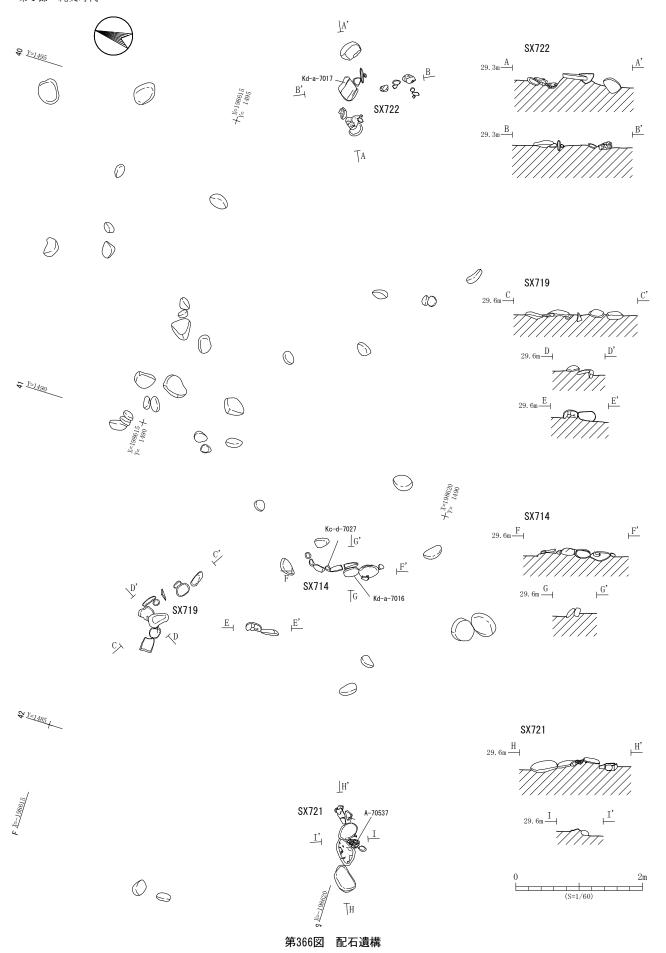
## SX719配石遺構 (第366図、図版95)

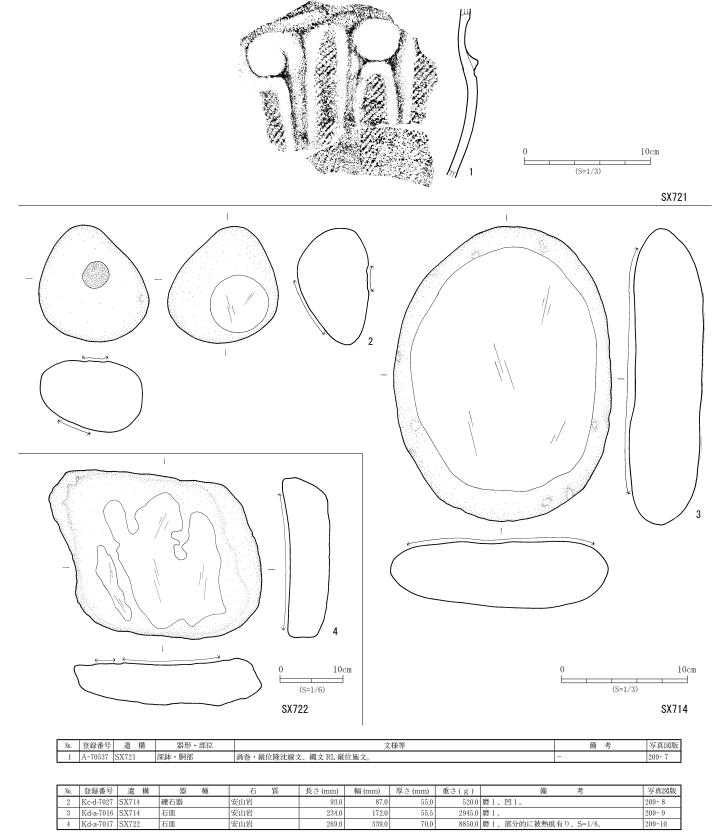
第7次調査1区西側南寄りのF-41グリッドに位置し、III層上面で検出された。北側に隣接してSK7011土坑、西側にSI702竪穴住居跡、南東側にSX714配石遺構が存在する。重複する位置の下層および周辺からピットが検出されているが本遺構との関係は不明である。 $20\sim30$ cm大の大型で扁平な礫を用いて北西から南東方向へ160cmの範囲に配石がなされている。中央付近では礫が検出されず、扁平な角礫が垂直に立った状態で検出されている。また同地点から南方へ150cm付近のSX714配石遺構との中間地点付近では $25\sim30$ cmの扁平礫が垂直に2個並んだ状態で検出された。長軸方向はN-69°-Wである。本遺構にともなう明瞭な掘り方は確認されていない。遺物では微細剥離痕のある剥片2点、礫石器1点が出土しているが図化はしていない。

## SX721配石遺構 (第366図、図版95)

第7次調査1区西側南寄りのG-42グリッドに位置し、III層上面で検出された。北側のS K7012土坑、南側のS K7019土坑に挟まれた位置に存在する。重複する位置の下層からピットが検出されているが本遺構との関係は不明である。 $30 \sim 45$ cmの大型で扁平な礫を用いて東西方向に140cmの範囲で配石がなされており、大型の礫は全て平坦な面を上に向けた状態で検出された。長軸方向は $N-68^\circ-E$ である。本遺構に伴う掘り方などは確認されていない。第367図に礫の間から出土した深鉢の胴部破片を図示した。石器は礫石器 1 点、砥石 1 点が検出されたが図化はしていない。

### SX722配石遺構 (第366図)





第367図 配石遺構出土遺物

## 6. 集 石

集石は第7次調査1区の皿層上面において検出されている(第368図)。第7次調査1区は表土掘削後に行った遺構確認の精査時において調査区のほぼ全面から礫が検出されていたが、本遺構が存在している $F \cdot G - 36 \cdot 37$ グリッド周辺では特に礫が密集した状態にあった。礫を残しながら下層へと掘り下げていった結果、中央で $42 \,\mathrm{cm} \times 36 \,\mathrm{cm}$ の大型の石皿(Kd-a-7018)が平坦な面を上に向けた状態で検出され、そのやや東側からは南北方向へ広がる $15 \,\mathrm{cm}$ 以下の小型礫を主体とする集中部が $3 \,\mathrm{n}$ 所認められた。ここでは石皿を中心とした周囲に大小の礫が分布している範囲全体を $S \, X \, 701$ 集石とし、特に礫が集中していた部分を北側のものから順に集中部 $A \cdot B \cdot C$ とした。個別の位置を示す際には上記の石皿を用いて以下説明する。

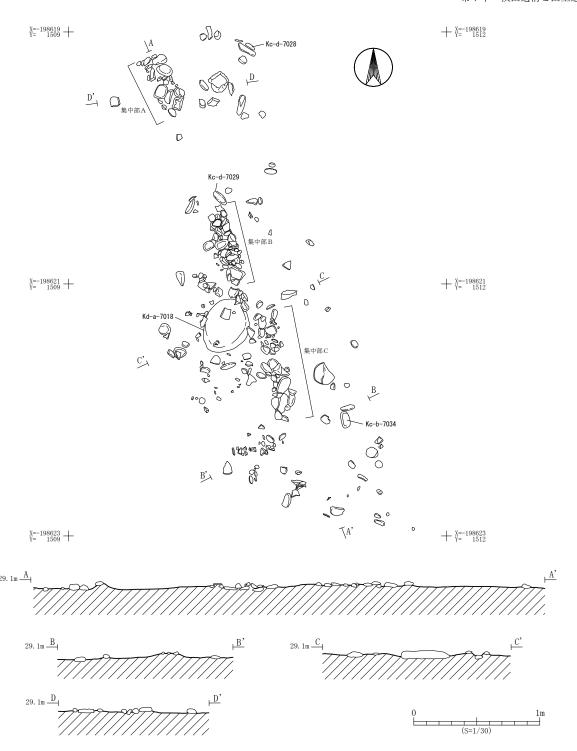
### SX701集石 (第368図、図版96)

第7次調査1区東側中央のF・G-36・37グリッドに位置し、III層上面で検出された。東側にSX731焼土跡が存在する。また南東側にはSI711竪穴住居跡の複式炉が存在し、本遺構とは位置的に重複関係にあるものと考えられるが直接の関係は不明である。南北約4.0m、東西約2.0mの範囲に礫の集中した分布が認められる。中央で42 cm×36cmの石皿が平坦な面を上に向けた状態で検出され、そのやや東側では15cm以下の小型礫を主体とする集中部が3ヵ所で認められた。集中部全体の軸方向はN-21°-Wである。

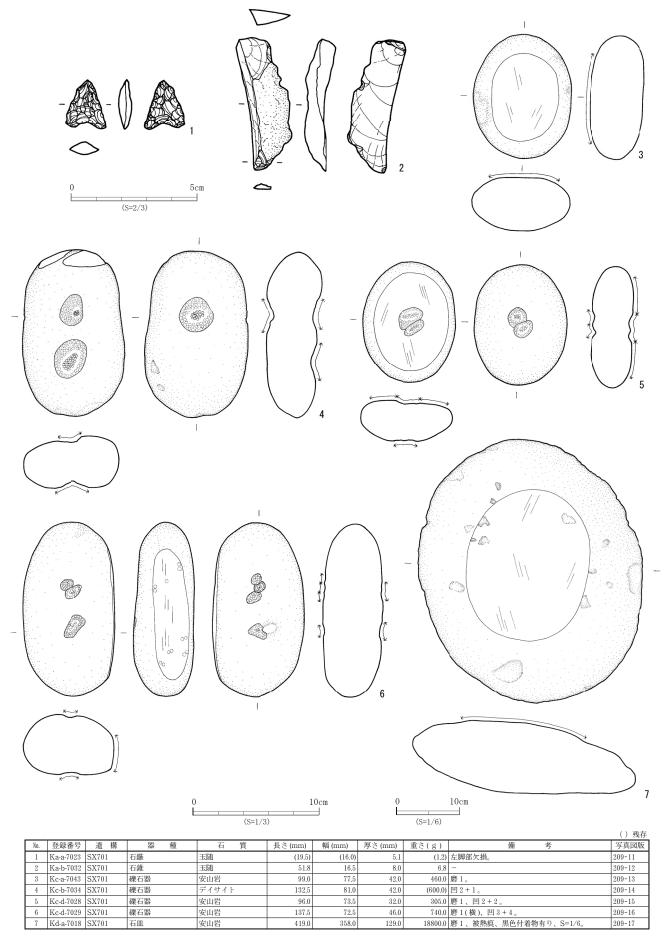
集中部Aは石皿から北へ2.0mの位置にあり、平面形が51cm×22cmの長方形の範囲に15cm未満の礫が集積された状態で検出された。長軸方向は $N-25^{\circ}-W$ である。特に礫の大きさや配置に規則性は認められず、掘り方も確認されていない。その他、集中部Aの東側部は礫がやや散漫な状態で分布している。

集中部Bは石皿の北側に隣接し、平面形が $100 \, \mathrm{cm} \times 20 \, \mathrm{cm}$ の長方形の範囲に $10 \, \mathrm{cm}$ 未満の礫が集積された状態で検出された。長軸方向は $N-18^\circ-W$ である。集中部Aから約 $80 \, \mathrm{cm}$ 程離れる。礫の大きさや配置は規則性は認められないが、礫が重なり合って重層的に存在しており、この集中部の中では最も多くの礫が検出された。掘り方などは確認されていない。

集中部 C は石皿の南東に接し、平面形が $95 \, cm \times 19 \, cm$ の長方形の範囲に $10 \sim 15 \, cm$ の礫が集積された状態で検出された。長軸方向は $N-13^\circ$  – Wである。集中部 C は中間の空白地帯を挟んで礫がやや散漫な状態の北側と礫が密に存在する南側の $2\pi$  所にまとまりをみることもできるが、同じ長軸方向であることから同一のものとして扱っておく。礫の配置などに規則性は認められず、掘り方なども確認されていない。また、集中部 C の周辺に礫が散漫な状態で分布している。出土遺物は石器では石鏃2 点、石錐2 点、礫石器5 点、石皿2 点が出土しており、その中から石鏃1 点、飛石器4 点、飛石器4 点、石皿1 点を第369図に示した。



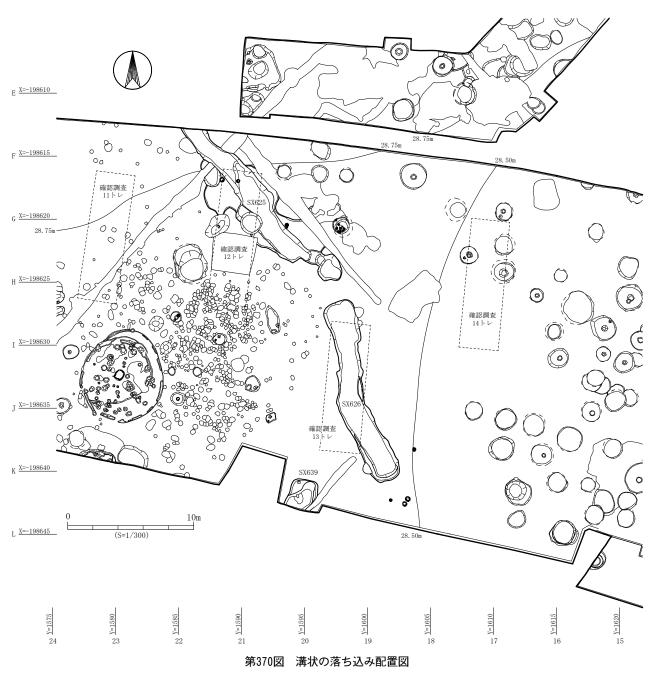
第368図 集 石

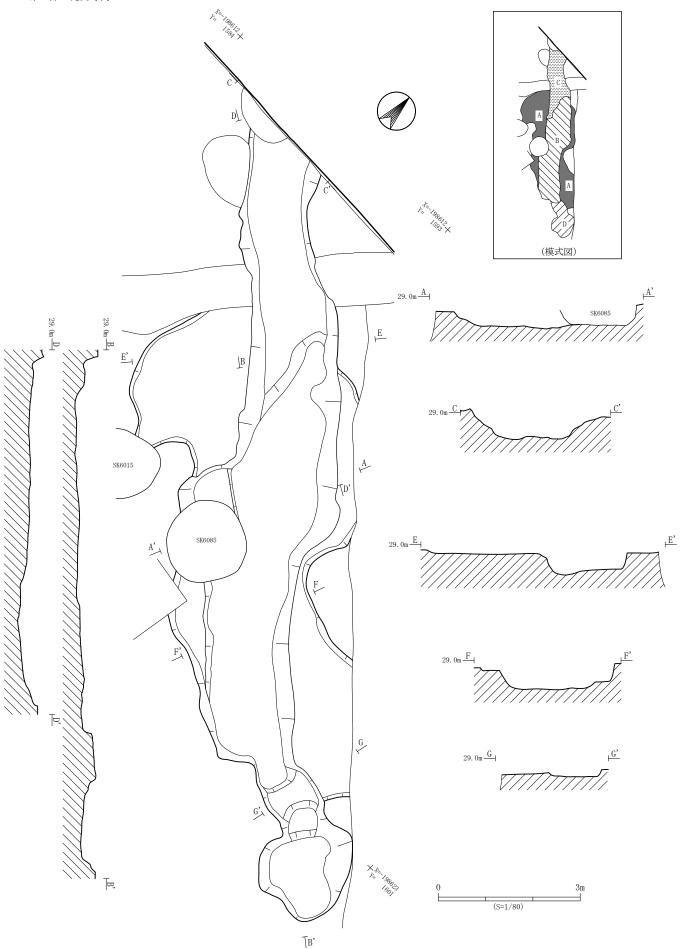


第369図 集石出土遺物

## 7. 溝状の落ち込み

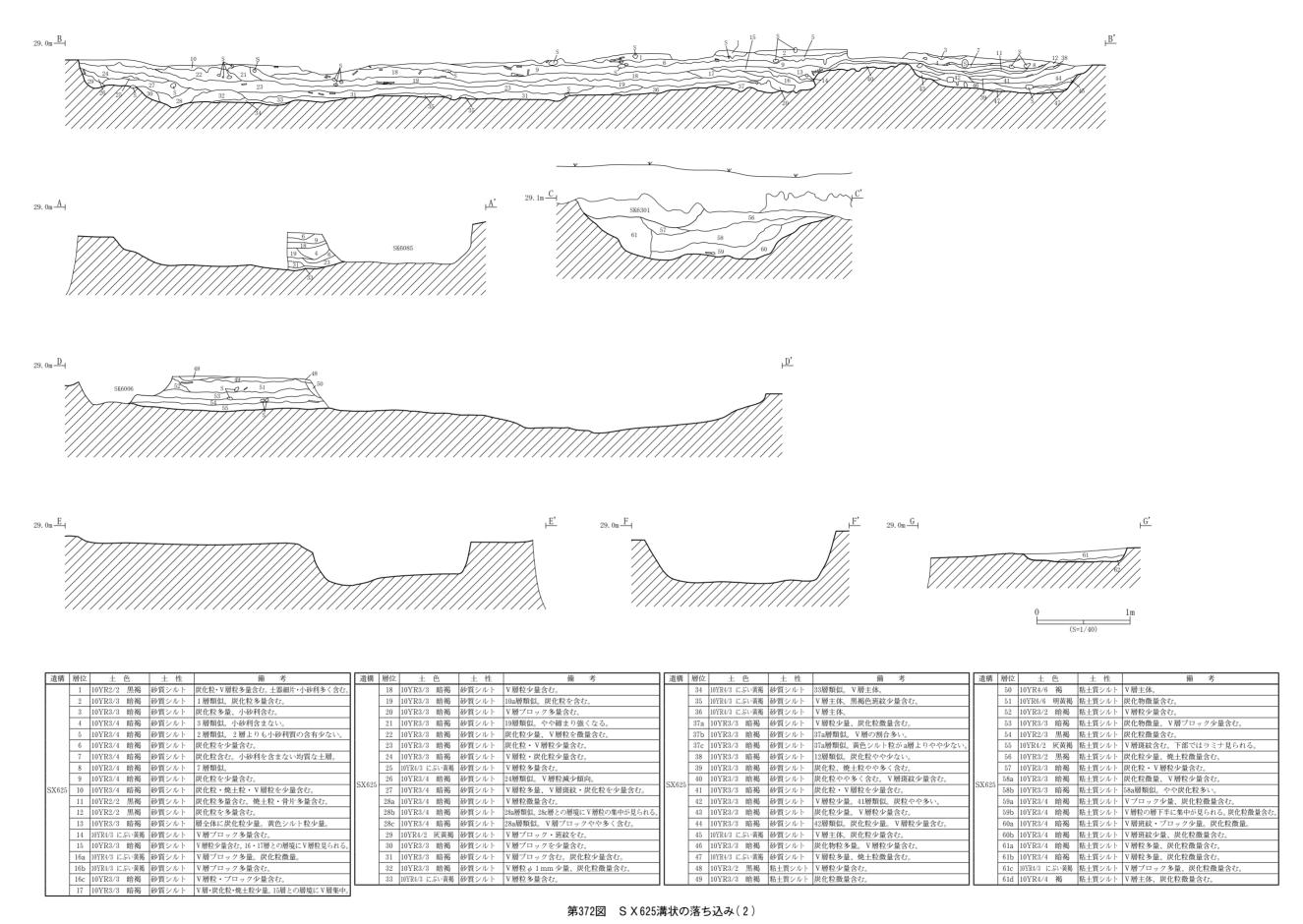
第6次調査1区では東側部分の表土掘削後に行った遺構確認の精査時に、大量の土器・石器がまとまって分布する状態が認められた。平成15年度の確認調査で多量の土器や石器などの遺物が検出されていた12トレンチの「遺構重複状プラン」と13トレンチの「SX1」は前記した遺物分布範囲の遺物集中部分にあたる。これらの土器の中には完形土器や大型破片などが多く含まれており、遺物を現位置に保ったまま掘り下げていったところ北側と南側に分布のまとまりが認められ、北側のものを「遺物集中1」、南側のものを「遺物集中2」とした。更に掘り下げを行って、溝状に長く延びた楕円形あるいは長方形が連結したような不整な溝状のプランを検出し、北側のものをSX25、南側のものをSX26とし、名称については形態から「溝状の落ち込み」とした(※1)。また、調査区南壁際で検出された、調査時にSK65土坑としたものも堆積土中から完形土器を含む土器が多量に出土しており、上記の遺構と類似点が認められることから整理時に「SX639溝状の落ち込み」への遺構名称の振り替えを行った。また、前記した遺物集中1・2については、前者をSX637としてSX625溝状の落ち込みの上層遺物、後者をSX638と





第371図 SX625溝状の落ち込み(1)

453 · 454



してSX626溝状の落ち込み上層遺物に振り替えてそれぞれを扱っている。

第370図は上記した $SX625 \cdot 626 \cdot 639$ 溝状の落ち込みとその周辺から検出された縄文時代の遺構を図示したものである。北から順に $SX625 \cdot 626 \cdot 639$ 溝状の落ち込みが西側を円の中心点とした弧状に配置がなされる。各遺構間には重複がなく、 $SX625 \cdot SX626 \cdot SX626 \cdot SX639$ の間は遺構が検出されない空白地帯となっている。また溝状の落ち込みに注目して周りの縄文時代の遺構の配置を見ると、これらの遺構を境に西側ではSI604竪穴住居跡をはじめ多数のピットが存在するなど遺構の密度が高いのに対し、東側では北側のSX626周辺で一部土坑が見られるものの、SX626溝状の落ち込みの東側には遺構が存在せず空白地帯となる。その東側ではフラスコ状土坑を主体とする土坑群が広がり、遺構を挟んだ東西で検出される遺構の様相が異なっている。

以下、それぞれの遺構毎に説明する。

※1 名称を「溝」とした場合には区画や流・排水などを目的とした意味を含む用語であると考えたためその平面形態から「溝状」とし、これまでの調査例ではこのような溝状の掘り方はあまり知られていないことから「落ち込み」という名称を用いた。

#### SX625溝状の落ち込み(第371・372図、図版97 ~ 100)

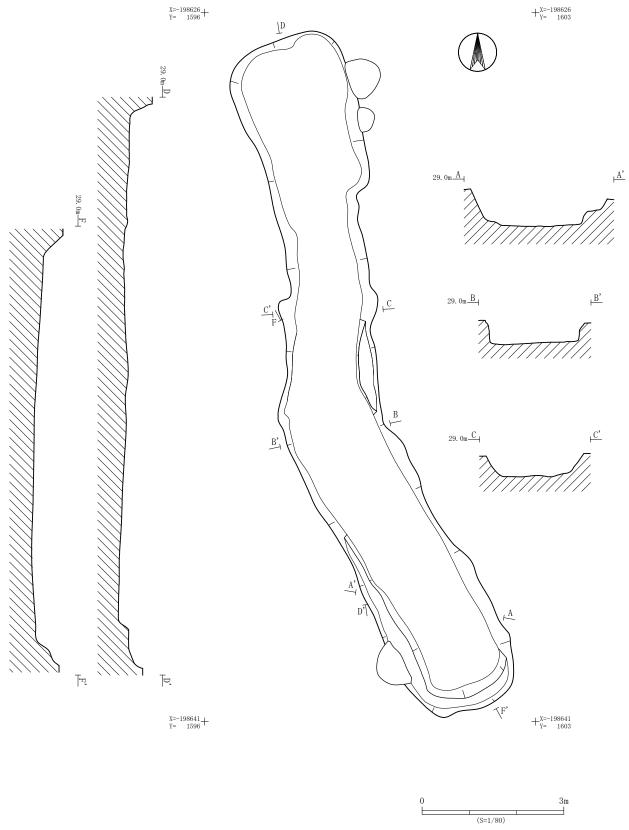
第6次調査1区中央から北側のE-21・F-20・21、G-19・20グリッドに位置する。平成15年度確認調査12トレンチで遺構重複状プランとして検出されたものと同一である。遺物はⅢ層上面から出土しているが、遺構の平面形はV層上面で確認された。東側にSK6012・6046~6048・6059・6087土坑、南東側にSK626溝状の落ち込みが存在する。SK6015・6083・6085・6300土坑、SD610溝跡と重複関係にあり、本遺構はSK6015・6085・6300土坑、SD610溝跡より古く、SK6083土坑よりも新しい。また、堆積土中にSX603・604・619・620埋設土器が存在する。複数の不整形の掘り込みがおおむね北西から南東方向へ溝状に連なっている。平面や断面での新旧関係は認められず、北側を除いて遺物の分布がこれらの全範囲におよぶことなどからこれら全てを同一遺構として扱った。北側が調査区外のため全体の規模は不明であるが、南東端部から北西壁際までの長さは16.8mである。これらは断面形が皿形となる浅い部分と、逆台形となる深い部分から成り、前者の平面形は東西に広がる不整形である。また後者では方向がほぼ同一であることから一連のものと考えられるが、底面に段差が認められることから、ここでは各部分を説明する際には便宜的に浅い部分をSX625A、中央の深い部分をSX625B、これよりも北側の部分をSX625C、また南側をSX625Dと呼称する(第371図模式図参照)。また断面図で直接連続しないものは全て通し番号で表記した

SX625AはSX625Bの東西およびSX625Dの南側に広がる浅い部分である。底面はほぼ平坦で、検出面からの深さは6~cmである。堆積土は黒褐色粘土質シルトを主体とし、南側のSX625Dの北側部分で土器がややまとまって出土している。

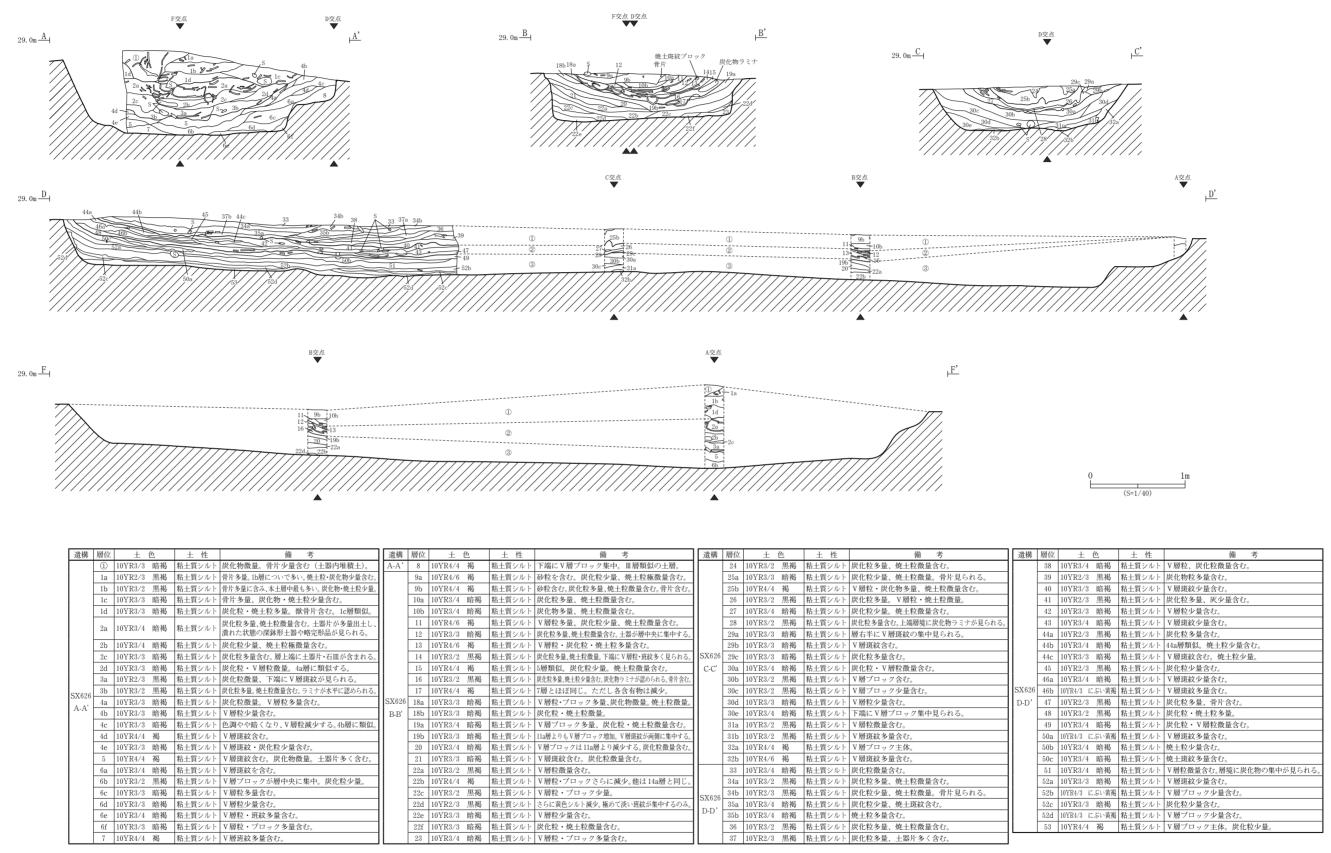
SX625Bは長方形または長楕円形で長さ9.7m、最大幅110cmである。SX625B中央を通る方向は北側で $N-22^\circ$  -W、南側はこれからやや西に傾いて $N-47^\circ$  -Wとなる。礫層を底面としており凹凸が見られるがほぼ平坦である。北側の底面における SX625C との高低差は 4 cm CSX625Bの方が深い。堆積土は黒褐色粘土質シルトを主体とする。遺物は堆積土の上層から中層にかけて出土しており SX625溝状の落ち込みの中で最も多く遺物が出土した部分でもある。

SX625 C は北側が調査区外に延びており、6.6mの長さで検出され、幅は1.4~1.0mである。底面が砂礫層であるため凹凸があり、壁は底面から開いた角度で立ち上がり、断面形は逆台形である。検出面からの深さは調査区北壁の断面では62cmである。堆積土は黒褐色砂質シルト~暗褐色粘土質シルトを主体として V 層粒や炭化物粒の混入により細分される。遺物は土器・石器が出土しているが、その他の部分に比べて極端に少ない。

SX625Dは南西の200cm×195cmの歪んだ形の落ち込みとSX626Bが幅1.1mの溝状の浅い落ち込みからなって



第373図 SX626溝状の落ち込み(1)



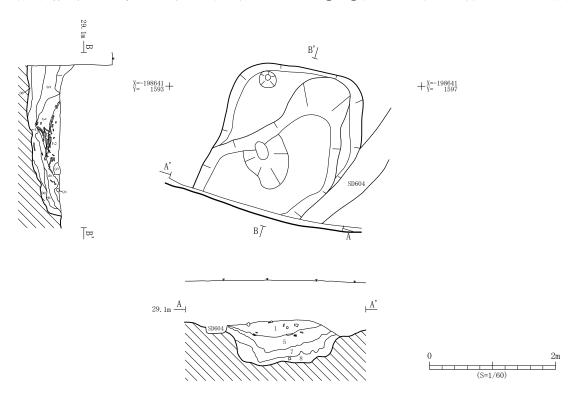
第374図 SX626溝状の落ち込み(2)

いる。これらを結んだ中央を通る方向は $N-57^\circ-W$ である。底面はほぼ平坦で壁は開いて立ち上がり、断面形は 逆台形である。堆積土では暗褐色粘土質シルトを主体としており焼土や炭化物が互層状に認められた。遺物では土器・石器が上層から中層にかけて多く出土している。

本遺構ではSX625Bを中心とする部分の堆積土上層から中層にかけて多量の土器・石器が出土している。中には土器が潰れた状態で検出されたものもある。土器・土製品を第376  $\sim413$ 図、石器を第505  $\sim513$ 図に示した。

### SX626溝状の落ち込み (第373・374図、図版101 ~ 105)

第6次調査1区東側中央のH・I -19、J-18・19、K-18グリッドに位置し、III層上面で検出された。平成15年度確認調査13トレンチのSX1として確認されていたものである。北西側にSK625溝状の落ち込み、南側にSX608~611埋設土器、南西側にSX639溝状の落ち込みが存在する。SK6060・6100土坑と重複関係にあり、本遺構はSK6060土坑より古く、SK6100土坑よりも新しい。隅丸長方形が連結した溝状のもので、中心を通る長さは13.9mで、方向は北側部分からN $-10^\circ$ -W、N $-6^\circ$ -E、N $-28^\circ$ -Wとなり中央部で屈折して「く」の字状となっている。幅は1.7~2.4mである。底面には細かい凹凸があるが概ね平坦で、壁は底面からほぼ垂直あるいはやや開いた角度で立ち上がり、断面形は箱形~逆台形である。検出面からの深さは北側で43cm、中央で36cm、南側で56cmである。堆積土は黒褐色~暗褐色粘土質シルトを主体にしており、上層から中層にかけて炭化物または焼土を含む層などが圧縮されて互層になった状態が確認され、一部ラミナ状の堆積も見られる。なお、第374図の断面では断面図が連続していない場合、各部分の断面毎にA~Dの順に通しの番号をふっており、全体が連番となるような整合性はとれていない。D-D'の断面にB・Cの断面の交点、F-F'にはA・Bの交点を加え、対応関係が想定される層を点線で表現した。土器を多量に含む層とその上下で①~③層に大別し、その特徴をB-B'断面をもと



| 遺構    | 層位 | 土       | 色  | 土 性    | 備考                      | 遺構    | 層位 | 土 色           | 土 性    | 備考              |
|-------|----|---------|----|--------|-------------------------|-------|----|---------------|--------|-----------------|
|       | 1  | 10YR3/2 | 黒褐 | 粘土質シルト | 炭化少量、焼土粒微量、土器片・遺物等多く含む。 |       | 5  | 10YR4/3 にぶい黄褐 | 粘土質シルト | Ⅴ層粒多量含む。        |
| SX639 | 2  | 10YR3/3 | 暗褐 | 粘土質シルト | 炭化粒少量、V層斑紋多量、層下端に遺物多い。  | SX639 | 6  | 10YR3/4 暗褐    | 粘土質シルト | V層斑紋含む。炭化粒少量含む。 |
| SY099 | 3  | 10YR2/2 | 黒褐 | 粘土質シルト | 炭化粒多量、焼土粒少量含む。遺物等多量出土。  | SAUGO | 7  | 10YR2/1 黒     | 粘土質シルト | 炭化物・焼土多量含む。     |
|       | 4  | 10YR3/3 | 暗褐 | 粘土質シルト | 炭化粒がラミナ状に堆積見られる。        | П     | 8  | 10YR4/3にぶい黄褐  | 粘土質シルト | V層斑紋主体。         |

第375図 SX639溝状の落ち込み

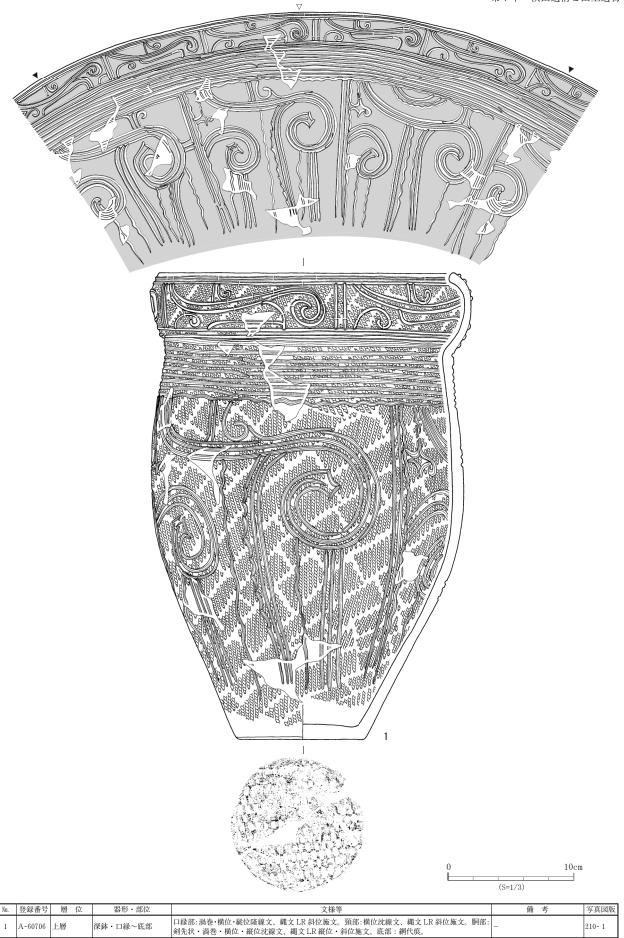
#### 第1節 縄文時代

に説明する。①層 $-1\sim3$ 層は黒褐色~暗褐色粘土質シルトを主体とするもので炭化粒・焼土粒を含み、これらに混じって骨片も検出されている。②層 $-4\sim10$  同間は黒褐色粘土質シルトを主体としており多量の遺物が出土している。また堆積土中から検出された微少な骨片の中に刺突具およびヤスの骨角器が含まれ、炭化粒・焼土粒を多量に含む。③層 $-11\sim15$  同は暗褐色粘土質シルト主体で遺物の出土は全体として少ない。中央の深い部分に向かって緩やかに落ち込むラミナ状の堆積なども一部で認められる。

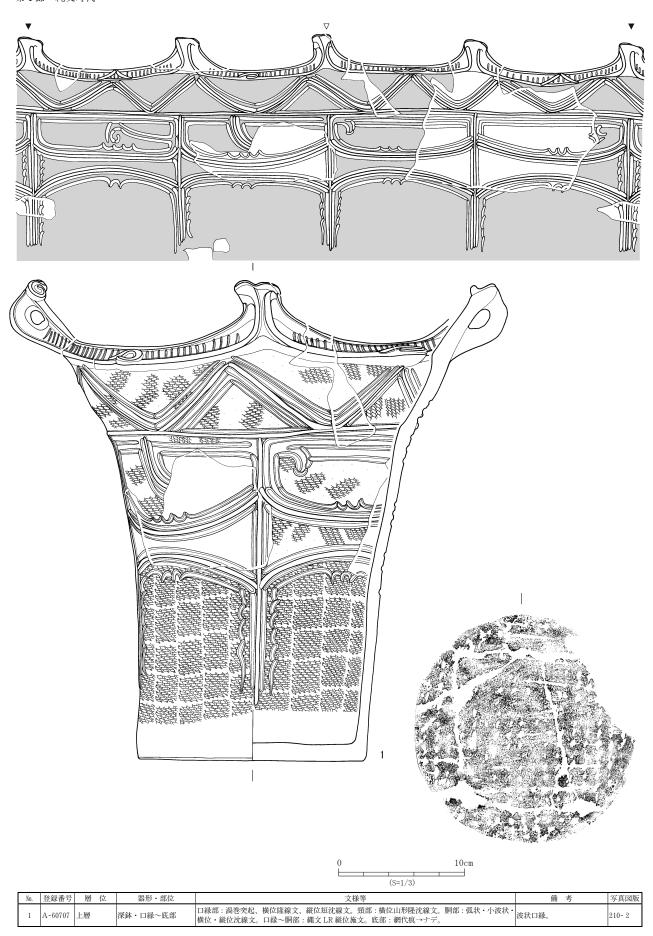
出土遺物ではSX625溝状の落ち込みと同様に完形土器を含む多量の土器・石器が出土しており、土製品では皮袋形土製品などが含まれていた。土器・土製品類を第414~434図、石器を第513~526図に示した。

# SX639溝状の落ち込み (第375図、図版106)

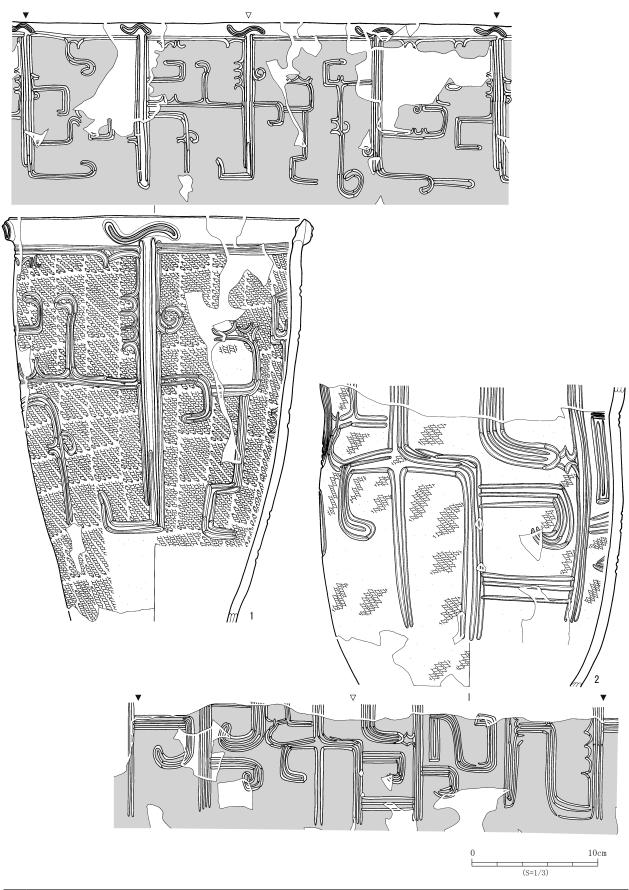
第6次調査1区東側中央南側の $K-19\cdot20$ グリッドに位置し、III層上面で検出された。北側にSX626溝状の落ち込みが存在する。SD604溝跡とは重複関係にあり本遺構が古く、東側が一部削平されている。南側が調査区外のため全体は不明であるが、検出された部分では南北2.4m以上、東西2.2mの歪んだ隅丸方形である。上端の平面形を基準にして長軸を南北とした場合の方向は $N-18^\circ$  – Eである。底面には凹凸が認められるがほぼ平坦であり、検出面からの深さは南壁断面で $70\,\mathrm{cm}$ 、北側で $42\,\mathrm{cm}$ である。底面の中央からやや西ではピット状の落ち込みが見られ、底面からの深さは $23\,\mathrm{cm}$ である。また、北西側では検出面から $14\,\mathrm{cm}$ の浅いテラス状の平坦部を有しており南側に向かって緩やかに傾斜している。また北壁際からは $28\times25\,\mathrm{cm}$ の円形のピットが検出され、テラス面からの深さは $27\,\mathrm{cm}$ である。壁は底面からほぼ垂直またはやや開いた角度で立ち上がり、断面形は逆台形となる。堆積土は暗褐色粘土質シルトを主体とし、上層から中層にかけて完形土器となるものを含み、土器・石器などの遺物が多く出土した。遺物は土器を第 $435\sim504$ 図、石器を第 $527\sim529$ 図に示した。



第376図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(1)

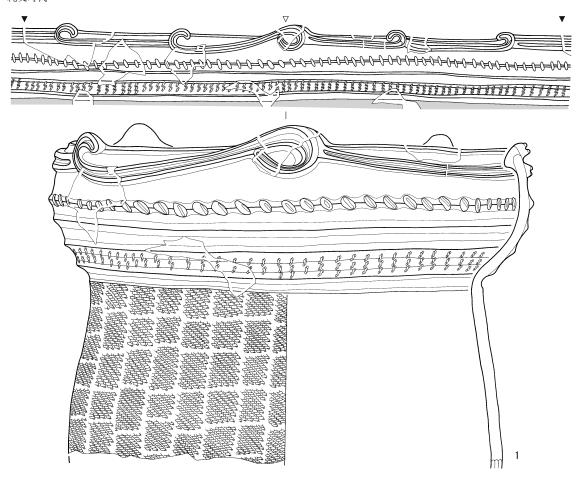


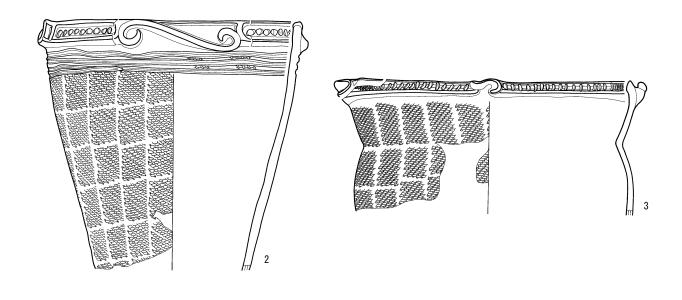
第377図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(2)



| No. | 登録番号    | 層位  | 器形・部位    | 文様等   | 備 | 考 | 写真図版  |
|-----|---------|-----|----------|---|---|---|-------|
| 1   | A-60708 | 堆積土 | 深鉢・口縁~胴部 | 口縁部:「S」字状貼付文。胴部:縦位隆沈線文、渦巻·狐状・「コ」字状・横位・縦位沈線文、縄文 LR 縦位施文。 | _ |   | 210-8 |
| 2   | A-60709 | 中層  | 深鉢・胴部    | 弧状・横位・縦位沈線文、縄文 LR 縦位施文。                                 | _ |   | 210-3 |

第378図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(3)



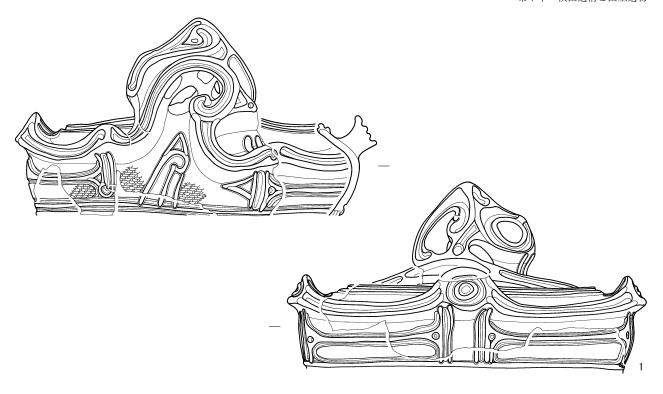


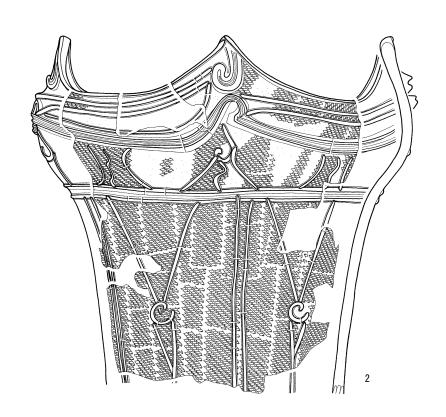
| No. | 登録番号    | 層位 | 器形・部位    | 文様等  | 備 | 考 | 写真図版  |
|-----|---------|----|----------|--|---|---|-------|
| 1   | A-60710 | 上層 |          | 口縁部:渦巻突起、横位隆沈線文、横位押圧隆線文、横位隆線文。頸部:押圧縄文 RL 縦位施文。胴部:縄文 LR 縦位施文。 | _ |   | 210-4 |
| 2   | A-60711 | 上層 | 深鉢・口縁~胴部 | 口縁部:「S」字状貼付文、横位連続刺突文。頸部:横位沈線文。胴部:縄文 LR 縦位施文。                 | - |   | 210-5 |
| 3   | A-60712 | 上層 | 深鉢・口縁~胴部 | 口縁部:渦巻突起、縦位短沈線文。胴部:縦位縄文 RL 施文。                               | _ |   | 210-6 |

10cm

(S=1/3)

第379図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(4)

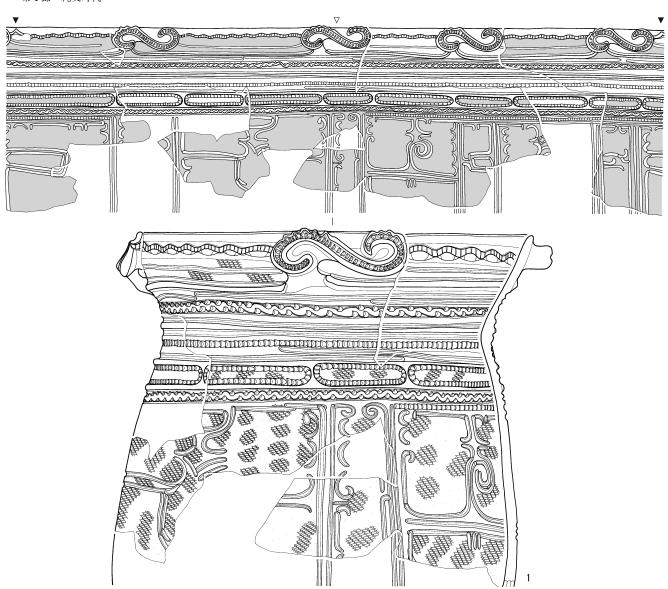


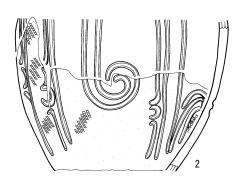


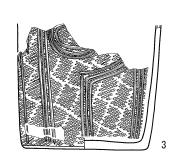
| No. | 登録番号    | 層位  | 器形・部位    | 文様等   | 備     | 考 | 写真図版  |
|-----|---------|-----|----------|---|-------|---|-------|
| 1   | A-60713 | 堆積土 | 深鉢・口縁部   | 袋状把手、円形突起、円形刺突文、弧状隆沈線文、弧状・横位・縦位沈線文、縄文 LR 横位施文。                        | -     |   | 210-7 |
| 2   | A-60714 | 上層  | 深鉢・口縁~胴部 | 口縁部:渦巻・横位隆沈線文、弧状・横位・縦位隆線文、縄文 LR 縦位施文。胴部:渦巻・「Y」字状・横位・縦位隆線文、縄文 LR 縦位施文。 | 波状口縁。 |   | 210-9 |

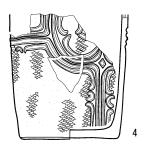
第380図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(5)

10cm



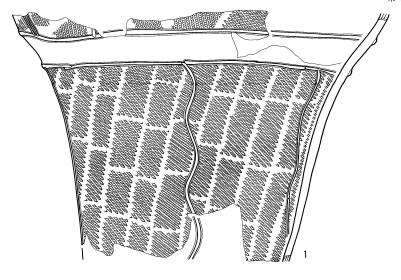


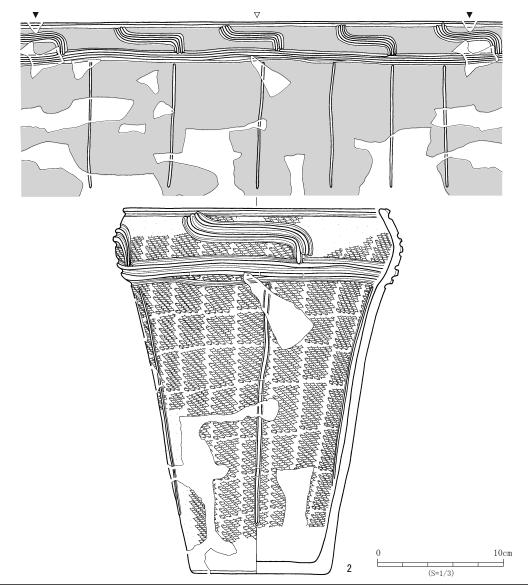




| 0 |         |   | 10cm |
|---|---------|---|------|
|   | (S=1/3) | ) |      |

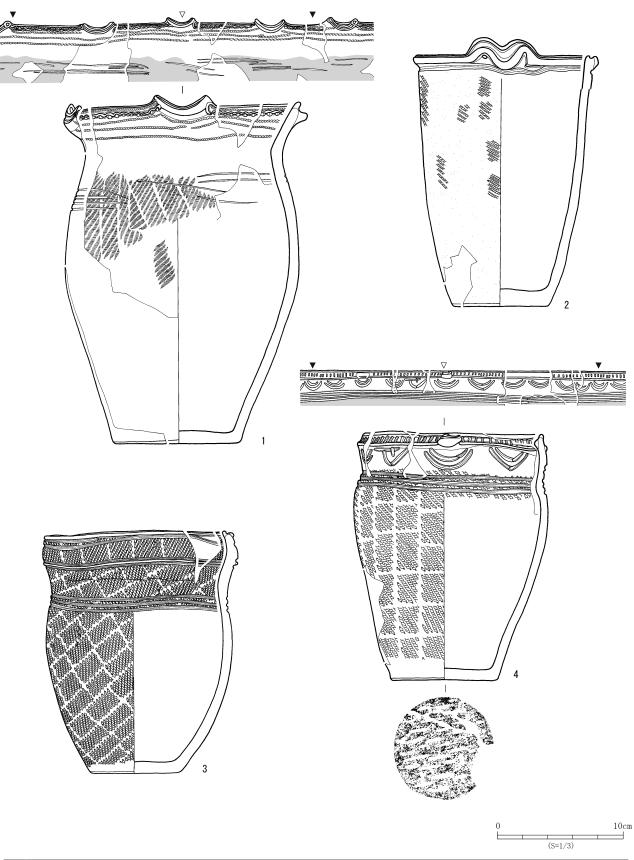
| No. | 登録番号    | 層位  | 器形・部位     | 文様等   | 備 | 考 | 写真図版   |
|-----|---------|-----|-----------|---|---|---|--------|
| 1   | A-60715 | 中層  | 深鉢・口縁~胴部  | 口縁部:有刻「S」字状貼付文、押圧+有刻小波状文、横位隆線文、横位沈線文、横位交互刺突小波状文。頭部:横位押引文、横位沈線文。胴部:横位交互刺突小波状文、楕円形・横位押引文、渦巻・弧状・横位・縦位沈線文。口縁・胴部:縄文 LR 縦位施文。 | _ |   | 211- 1 |
| 2   | A-60716 | 堆積土 | 深鉢・胴下部    | 渦巻・弧状・縦位沈線文、縄文 RL 横位施文。   | - |   | -      |
| 3   | A-60717 | 堆積土 | 小型深鉢・胴〜底部 | 胴部:渦巻・弧状・縦位沈線文、縄文 RL 斜位施文。底部:ナデ。  | - |   | -      |
| 4   | A-60718 | 堆積土 | 小型深鉢・胴〜底部 | 胴部:渦巻・菱形・弧状・横位・縦位沈線文、縄文 RL 横位施文。底部:ナデ。  | _ |   | -      |





| No. | 登録番号    | 層位 | 器形・部位      | 文様等   | 備 | 考 | 写真図版   |
|-----|---------|----|------------|---|---|---|--------|
| 1   | A-60719 | 上層 | 深鉢・口縁下部~胴部 | ス (   | - |   | -      |
| 2   | A-60720 |    |            | 口縁部: 横位・クランク状隆沈線文。胴部: 縦位隆線文。口縁部〜胴部: 縄文 LR 縦位施文。底部:ナデ。 |   |   | 210-10 |

第382図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(7)

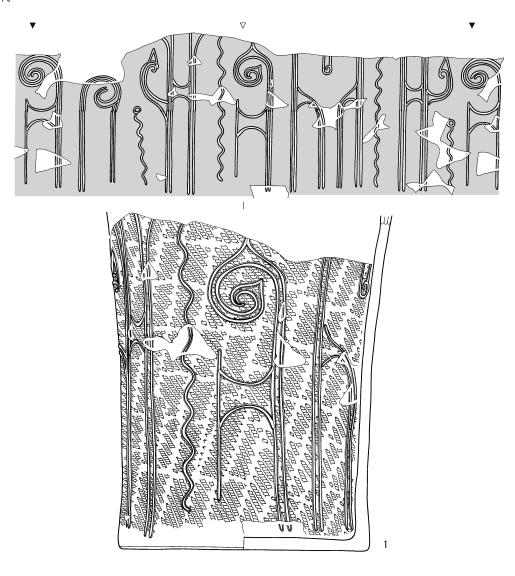


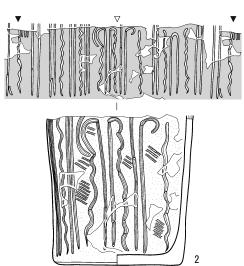
| No. | 登録番号    | 層位 | 器形・部位    | 文様等   | 備 | 考 | 写真図版   |
|-----|---------|----|----------|---|---|---|--------|
| 1   | A-60721 | 上層 |          | 口縁部:弧状突起、刺突小波状隆線文、押圧縄文 LR 横位施文。胴部:横位沈線文、縄文 L 横位施文。底部:ナデ。        | _ |   | 211- 2 |
| 2   | A-60722 | 上層 | 深鉢・口縁~底部 | 口縁部:口縁突起、横位隆線文、横位沈線文。胴部:縄文 LR 縦位施文。底部:ナデ。                       | - |   | 213-1  |
| 3   | A-60723 | 上層 | 深鉢・口縁~底部 | 口縁部:横位隆沈線文、縄文 RL 縦位施文。胴部:横位沈線文、縄文 LR 斜位施文。底部:ナデ。                | - |   | 213-4  |
| 4   | A-60724 | 上層 | 深鉢・口縁〜底部 | 口縁部: 横位隆線文, 狐状沈線文, 横位短沈線状刺突文。 預部: 横位沈線文, 胴部: 縄文 LR 縦位施文。底部:網代痕。 | _ |   | 213-6  |

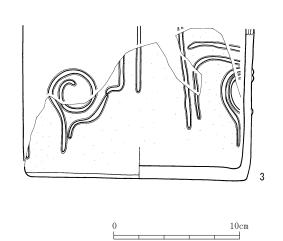
第383図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(8)



| No. | 登録番号    | 層位 | 器形・部位      | 文様等  | 備考     | 写真図版   |
|-----|---------|----|------------|--|--------|--------|
| 1   | A-60725 | 上層 | 深鉢・口縁~胴部   | 口縁部:渦巻突起、横位隆沈線文、横位沈線文。頸部:無文。胴部:渦巻・弧状・横位・縦位沈線文、縄文 LR 斜位施文。                      | 波状口縁。  | 211-3  |
| 2   | A-60726 | 上層 |            | 口縁部:渦巻突起、横位隆沈線文、横位小波状沈線文、横位沈線文、縄文 LR 縦位施文。胴部:渦巻・弧状・小波状・横位・縦位北線文、縄文 LR 縦位・斜位施文。 | _      | 213- 2 |
| 3   | A-60727 | 上層 | 深鉢・口縁下部〜底部 | 口縁部: 横位隆線文。頸部: 横位沈線文。胴部: 渦巻・縦位沈線文、縄文 RL 横位施文。底部: ナデ。                           | 摩滅激しい。 | 211-4  |



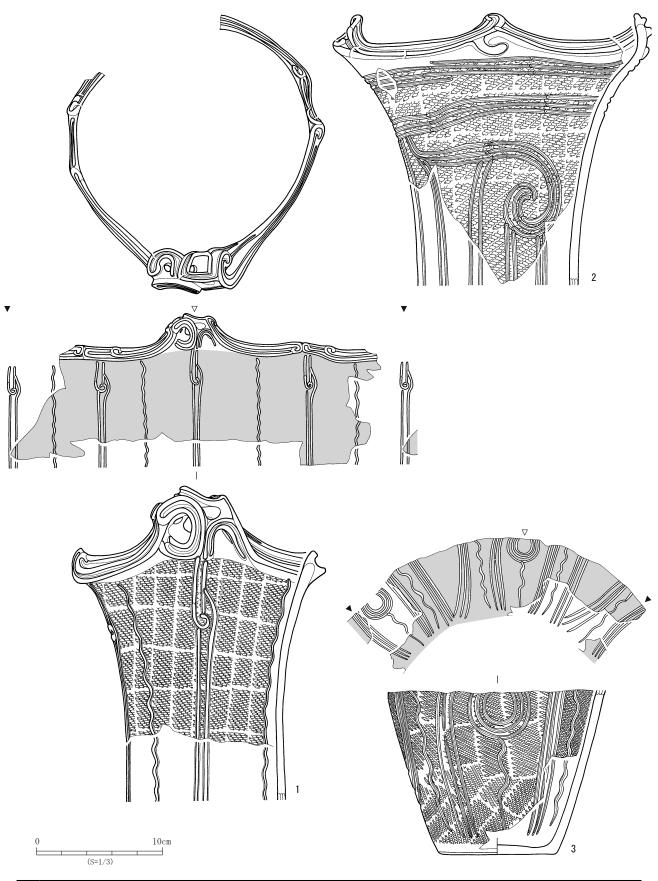




| (S=1/    | /3) |       |
|----------|-----|-------|
|          | 備考  | 写真図版  |
| 文。底部:ナデ。 | -   | 211-5 |
| _        |     |       |

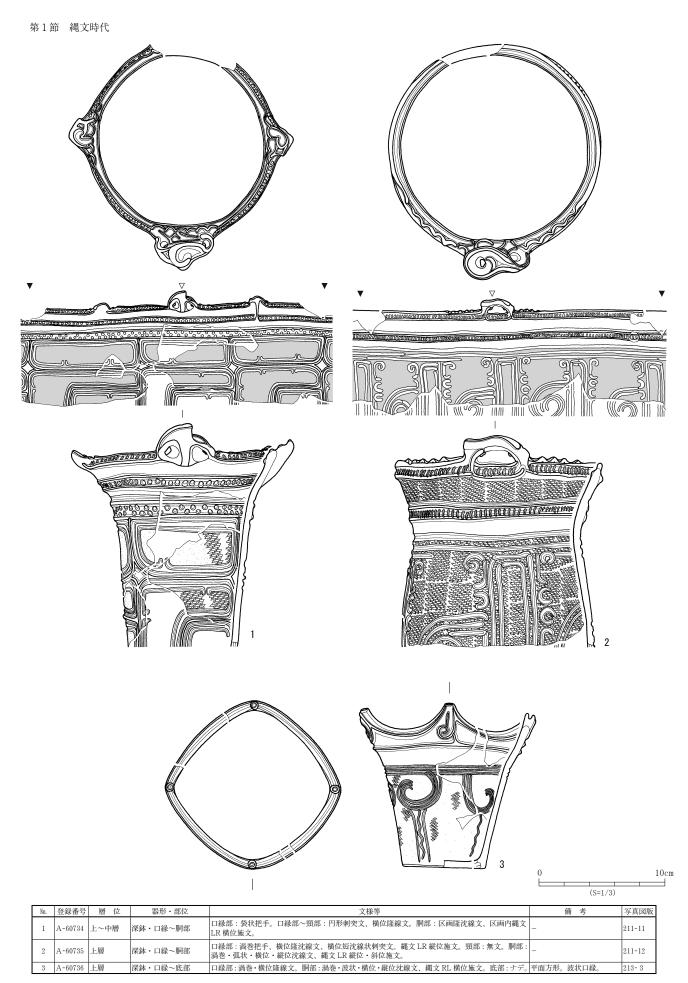
| No. | 登録番号    | 層位 | 器形・部位     | 文様等                                       | 備考     | 写真図版  |
|-----|---------|----|-----------|---|--------|-------|
| 1   | A-60728 | 上層 | 深鉢・胴〜底部   | 胴部:有棘渦巻・渦巻・波状・弧状・縦位隆沈線文、縄文 LR 縦位施文。底部:ナデ。 | -      | 211-5 |
| 2   | A-60729 | 上層 | 深鉢・胴〜底部   | 胴部:渦巻・弧状・波状・縦位沈線文、縄文 LR 縦位施文。底部:ナデ。       | -      | -     |
| 3   | A-60730 | 上層 | 深鉢・胴下部〜底部 | 胴部:渦巻・弧状・横位・縦位隆線文。底部:ナデ。                  | 摩滅激しい。 | -     |

第385図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(10)



| No. | 登録番号 層 位   | 器形・部位    | 文様等  | 備考    | 写真図版  |
|-----|------------|----------|--|-------|-------|
| 1   | A-60731 上層 | 深鉢・口縁~胴部 | 口縁部:渦巻把手、渦巻・波状・横位・縦位隆線文、縄文 LR 縦位施文。        | -     | 211-6 |
| 2   | A-60732 上層 | 深鉢・口縁~胴部 | 口縁部:渦巻突起、横位隆沈線文。胴部:渦巻・横位・縦位沈線文。縄文 RL 縦位施文。 | 波状口縁。 | 211-8 |
| 3   | A-60733 上層 | 深鉢・胴部〜底部 | 胴部:円形・波状・弧状・縦位沈線文、縄文LR縦位・斜位施文。底部:ナデ。       | _     | 211-7 |

第386図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(11)

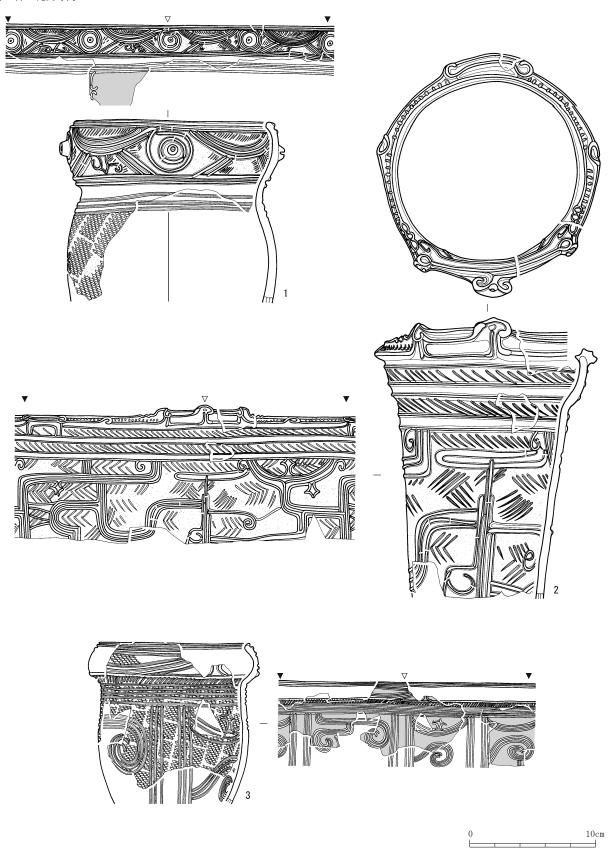


第387図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(12)



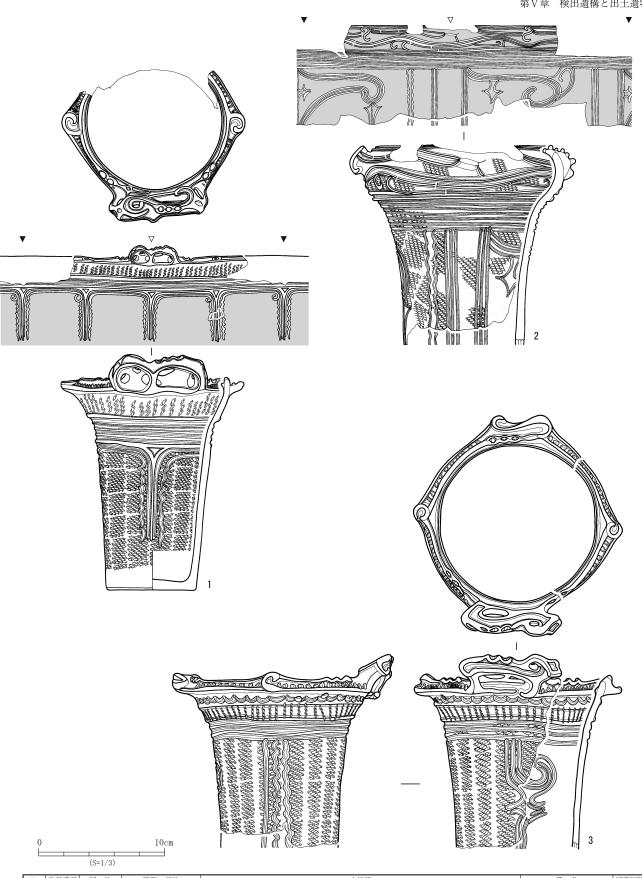
| No. | 登録番号    | 層位 | 器形・部位    | 文様等   | 備 | 考 | 写真図版   |
|-----|---------|----|----------|---|---|---|--------|
| 1   | A-60737 | 上層 |          | 口縁部:押圧縄文 LR 縦位施文。頸部:横位沈線文。胴部:「U」字状・弧状・横位・縦位沈線文、縄文 RL 横位施文。                  | _ |   | 211-9  |
| 2   | A-60738 | 上層 | 深鉢・口縁~胴部 | 口緣部:渦巻·有刻隆線文、渦巻隆沈線文、横位·縦位沈線文、縄文 LR 斜位施文。頭部:横位隆線文。胴部:弧状・横位・縦位沈線文、縄文 LR 斜位施文。 | _ |   | 211-10 |
| 3   | A-60739 | 上層 | 深鉢・口縁~胴部 | 口縁部:口縁把手、剣先・弧状・横位隆線文。頸部: 横位沈線文。胴部: 渦巻・弧状・横位・縦位沈線文。縄文 LR 横位・斜位施文。            | - |   | 213-7  |

第388図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(13)



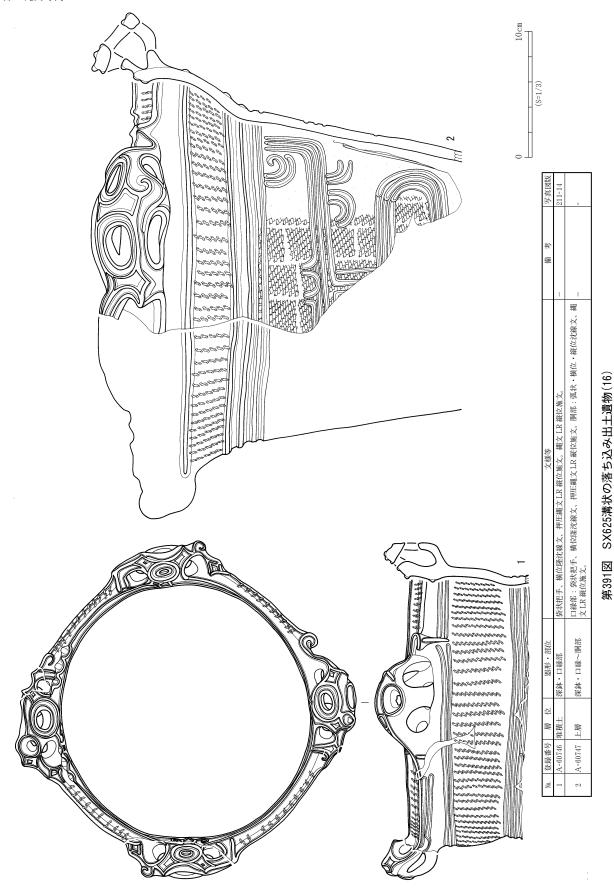
|     |         |    |          |   | (5-1/ | 3) |        |
|-----|---------|----|----------|---|-------|----|--------|
| No. | 登録番号    | 層位 | 器形・部位    | 文様等   | 備     | 考  | 写真図版   |
| 1   | A-60740 | 上層 | 深鉢・口縁~胴部 | 口縁部:円形貼付文、横位隆沈線文、円形·弧状·斜位隆線文。胴部:横位沈線文、縄文 LR 斜位施文。                             | _     |    | 212- 1 |
| 2   | A-60741 | 上層 |          | 口縁部:渦巻突起、横位隆線文、斜位沈線文。胴部:渦巻・剣先状・クランク状・弧状・横位・縦位隆線文、斜位・綾杉状沈線文。                   | _     |    | 212- 2 |
| 3   | A-60742 | 上層 |          | 口縁部: 横位・弧状隆沈線文、横位短沈線状刺突文、弧状隆線文。頸部: 横位沈線文。胴部: 渦巻・剣先・弧状・横位・縦位沈線文。縄文 LR 斜位・縦位施文。 | _     |    | 213-5  |

第389図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(14)

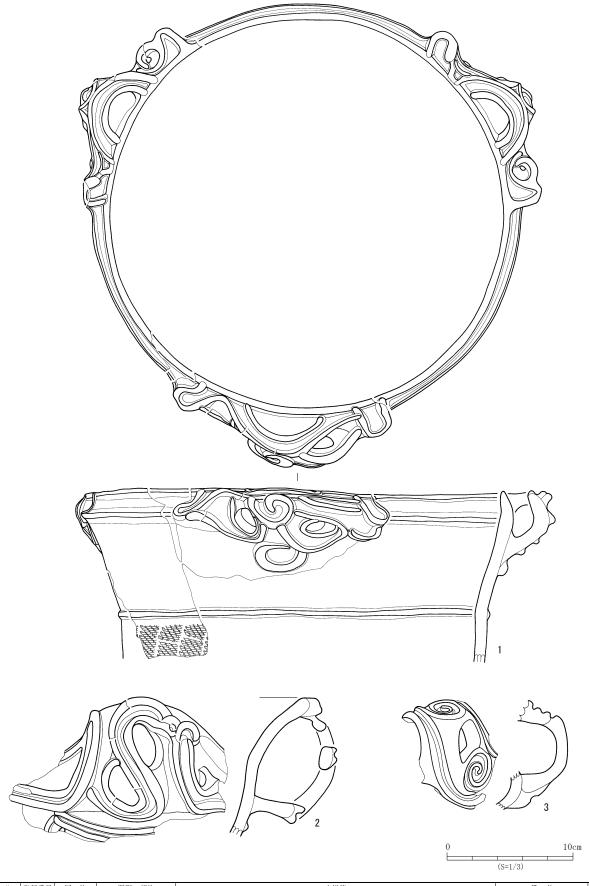


| No. | 登録番号    | 層位 | 器形・部位 | 文様等  | 備 | 考 | 写真図版   |
|-----|---------|----|-------|--|---|---|--------|
| 1   | A-60743 | 上層 |       | 口縁部:「S」字状把手、渦巻突起、押圧縄文 LR 縦位施文。頸部:横位沈線文。胴部:横位・縦位隆沈線文、渦巻・縦位小波状沈線文、縄文 LR 縦位施文。    | - |   | 213-8  |
| 2   | A-60744 | 上層 |       | 口縁部:「S」字状貼付文、渦巻・横位波状・弧状・横位隆線文。頭部: 横位沈線文。胴部: 渦巻・剣先・弧状・小波状・縦位沈線文。縄文 LR 縦位施文。     | _ |   | 211-13 |
| 3   | A-60745 | 上層 |       | 口縁部:「S」字状把手、渦巻突起、横位刺突文、弧状沈線文、押圧縄文 LR 縦位施文。頸部:横位沈線文。胴部:渦巻・小波状・縦位沈線文、縄文 LR 縦位施文。 | - |   | 214- 1 |

第390図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(15)

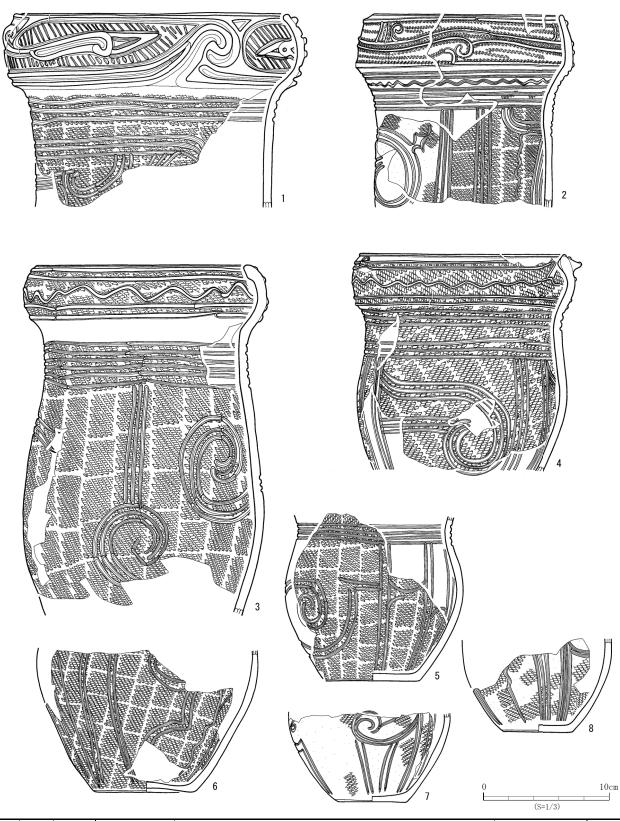


476

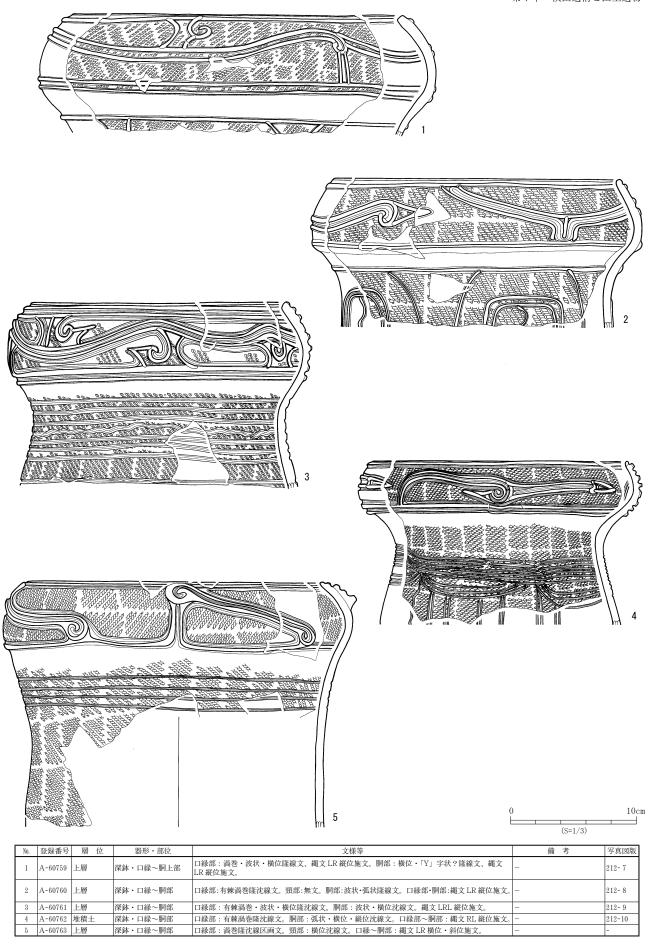


| No. | 登録番号 層 位   | 器形・部位          | 文様等                                 | 備考 | 写真図版   |
|-----|------------|----------------|-------------------------------------|----|--------|
| 1   | A-60748 上層 | 深鉢・口縁~胴部       | 口縁部:袋状把手、横位隆線文。胴部:横位隆線文、縄文 LR 縦位施文。 | -  | 211-15 |
| 2   | A-60749 上層 | 深鉢・口縁把手        | 橋状把手、「S」字状・弧状隆沈線文。                  | -  | -      |
| 3   | A-60750 上屋 | <b>深盆・口縁押手</b> | 極景相手 温券・研状隆津線立                      | _  | -      |

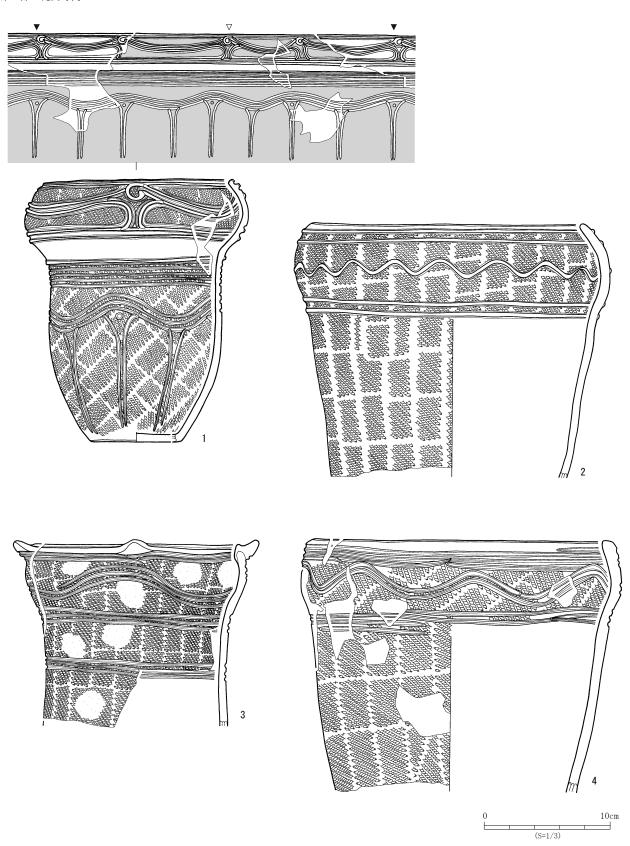
第392図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(17)



| No. | 登録番号    | 層位  | 器形・部位       | 文様等  | 備考 | 写真図版   |
|-----|---------|-----|-------------|--|----|--------|
| 1   | A-60751 | 上層  | 深鉢・口縁~胴部    | 口縁部:有棘渦巻隆沈線文。頸部:横位沈線文。胴部:渦巻·横位·斜位沈線文、縄文 LR 縦位施文。                       | -  | 212-3  |
| 2   | A-60752 | 上層  |             | 口縁部: 渦巻隆線文、押圧縄文 LR 縦位施文。預部: 波状・横位沈線文。胴部: 渦巻・剣先・弧状・波状・縦位沈線文、縄文 LR 縦位施文。 | _  | 212- 4 |
| 3   | A-60753 | 上層  |             | 口縁部:波状・横位隆線文。頸部:無文。胴部:渦巻・横位・縦位沈線文。口縁部・胴部:縄文<br>LR 縦位施文。                | _  | 212-5  |
| 4   | A-60754 | 上層  | 深鉢・口縁~胴部    | 口縁部: 波状·横位隆線文。頸部: 横位沈線文。胴部: 渦巻·横位·縦位沈線文。縄文 RL 斜位施文。                    | -  | 212-6  |
| 5   | A-60755 | 上層  | 深鉢・頸部〜底部    | 頸部:横位沈線文。胴部:渦巻・弧状・縦位沈線文。縄文 LR 縦位施文。底部:ナデ。                              | -  | -      |
| 6   | A-60756 | 堆積土 | 深鉢・胴〜底部     | 胴部:波状・弧状・縦位沈線文、縄文 LR 縦位施文。底部:ナデ。                                       | _  | -      |
| 7   | A-60757 | 上層  | 小型深鉢・胴下部〜底部 | 胴部:渦巻・縦位沈線文、縄文 RL 縦位施文。底部:ナデ。  | -  | -      |
| 8   | A-60758 | 上層  | 小型深鉢・胴下部〜底部 | 胴部:波状・弧状・縦位沈線文、縄文 RL 横位・斜位施文。底部:ナデ。                                    | =  | -      |

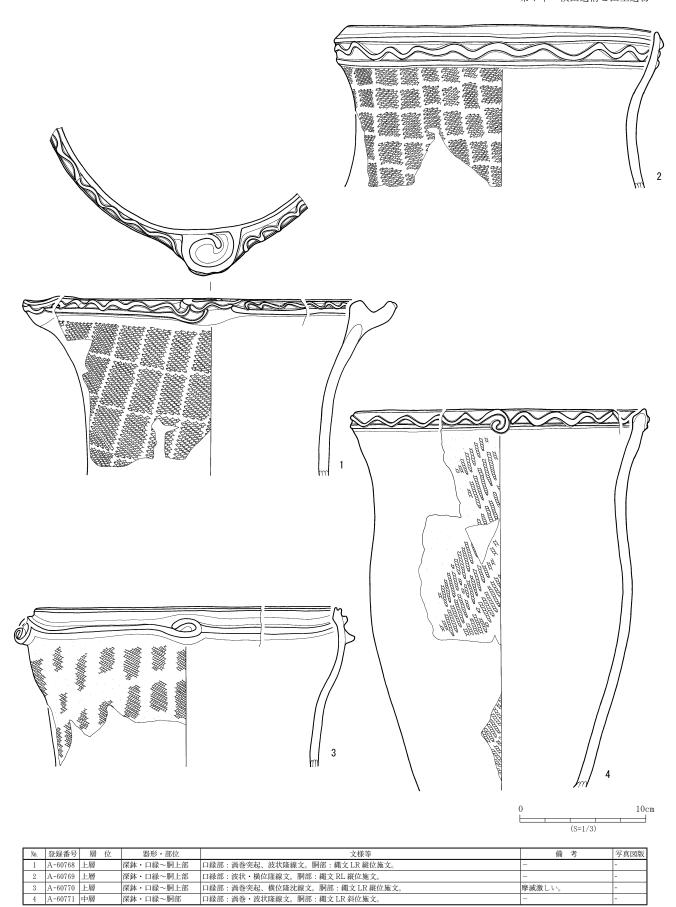


第394図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(19)

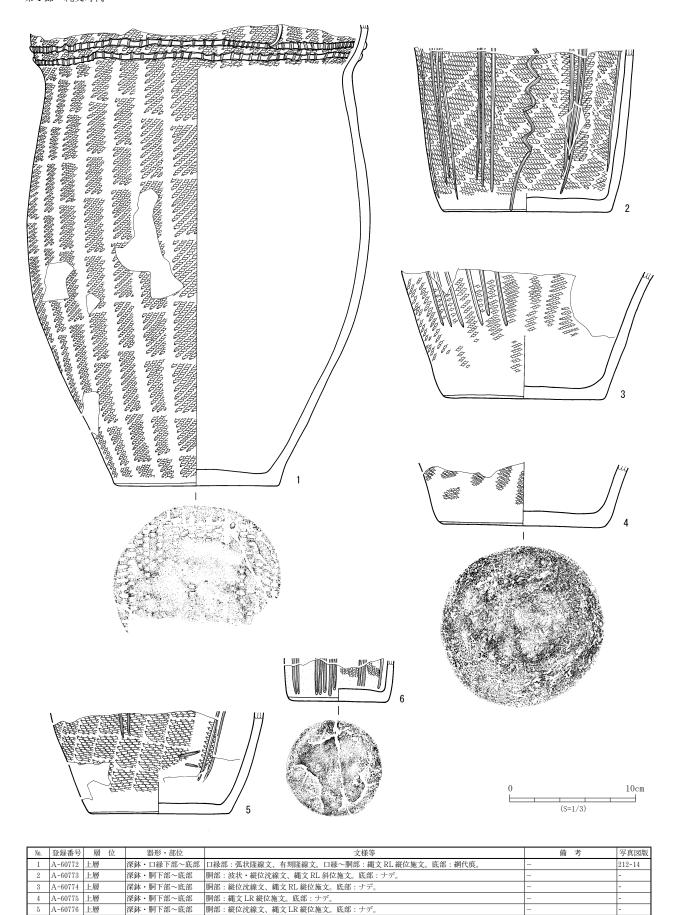


| No. | 登録番号    | 層位 | 器形・部位    | 文様等  | 備 | 考 | 写真図版   |
|-----|---------|----|----------|--|---|---|--------|
| 1   | A-60764 | 上層 |          | 口縁部:渦巻隆沈線区画文、縄文 LR 縦位施文。頸部:無文。胴部:波状・横位・縦位沈線文、円形刺突文。縄文 LR 斜位施文。 | - |   | 212-12 |
| 2   | A-60765 | 上層 | 深鉢・口縁~胴部 | 口縁部:波状・横位隆線文。口縁~胴部:縄文 LR 縦位施文。                                 | - |   | 212-13 |
| 3   | A-60766 | 中層 | 深鉢・口縁~胴部 | 口縁部:小突起、波状・横位沈線文。頸部:横位沈線文。胴部:横位沈線文。縄文 LR 縦位施文。                 | _ |   | 212-11 |
| 4   | A-60767 | 上屋 | 深鉢・口縁~胴部 | 口縁部·波状・構位隆線文 頸部・構位沙線文 口縁~胴部・縄文 LR 斜位・縦位施文                      | _ |   | 212-15 |

第395図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(20)



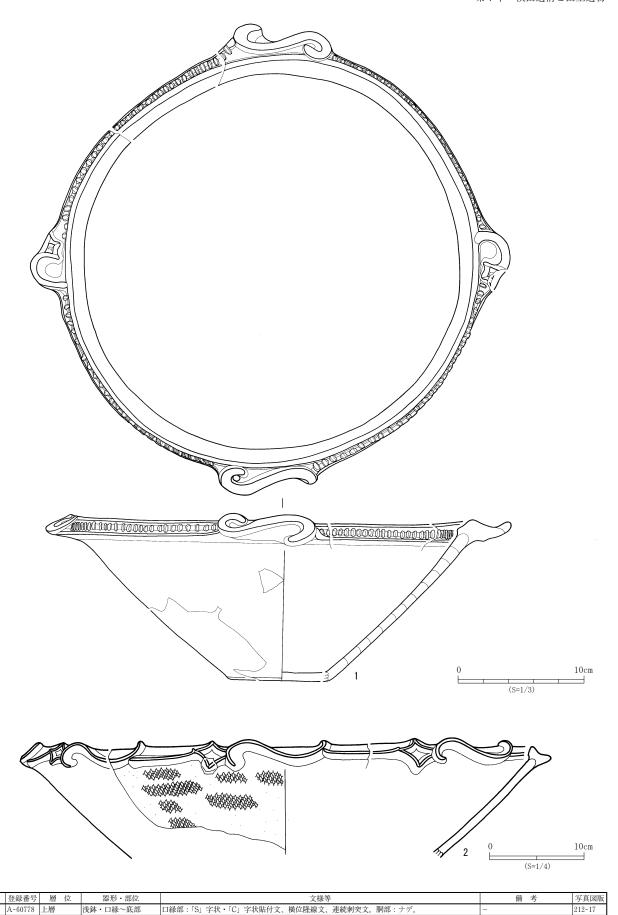
第396図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(21)



第397図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(22)

小型深鉢・胴下部~底部 胴部:縦位沈線文、縄文 LR 斜位施文。底部:木葉痕→ナデ

A-60777 上層



第398図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(23)

口縁部:「S」字状・「C」字状貼付文、横位隆線文、連続刺突文。胴部:ナデ。

口縁部:「S」字状・菱形隆線文。胴部:縄文 LR 横位施文。

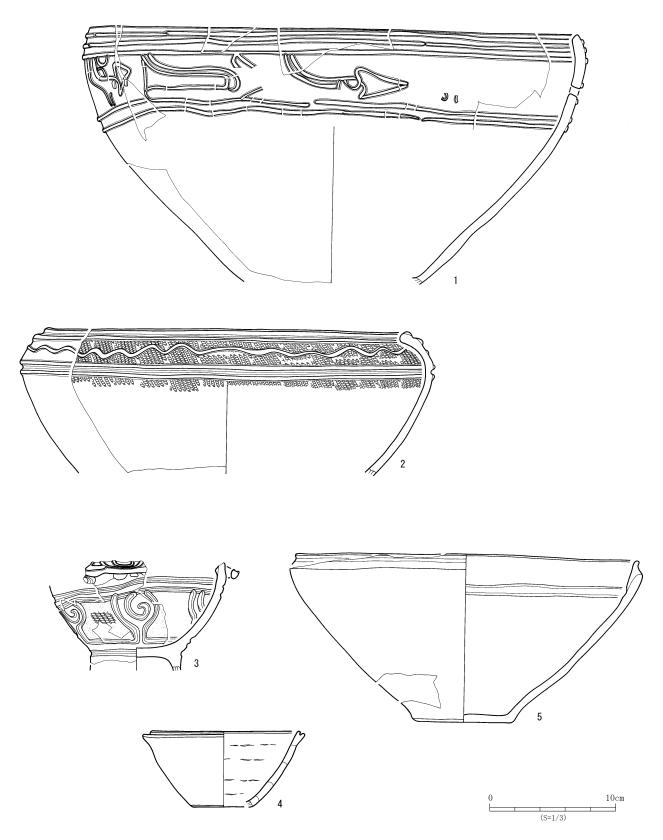
浅鉢・口縁~底部

浅鉢・口縁~胴部

A-60779 上層

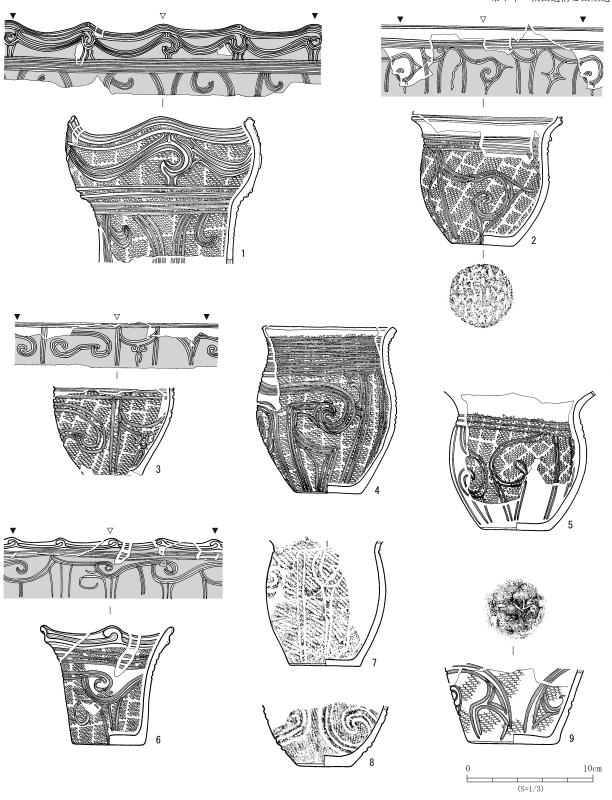
文様等

212-17



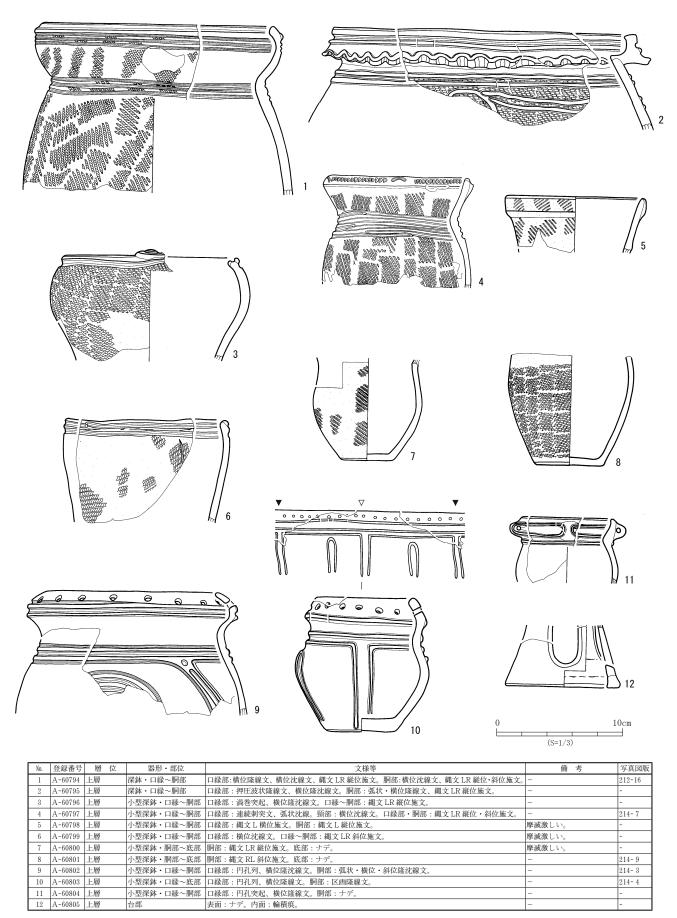
| No. | 登録番号    | 層位  | 器形・部位     | 文様等                                 | 備考      | 写真図版 |
|-----|---------|-----|-----------|-------------------------------------|---------|------|
| 1   | A-60780 | 上層  | 浅鉢・口縁~胴部  | 口縁部:棘状・弧状・横位・縦位隆線文。胴部:ナデ。補修孔。       | 隆線剥落。   | -    |
| 2   | A-60781 | 上層  | 浅鉢・口縁~胴部  | 口縁部:波状・横位隆沈線文、縄文 LR 縦位施文→ナデ。        | -       | -    |
| 3   | A-60782 | 堆積土 | 台付鉢・胴〜台部  | 胴部:渦巻・横位沈線文、縄文 LR 縦位施文。台部接合部:横位沈線文。 | -       | -    |
| 4   | A-60783 | 堆積土 | 小型鉢・口縁~胴部 | 口縁部:横位隆沈線文。胴部:ナデ。                   | 内面に輪積痕。 | -    |
| 5   | A-60784 | 上層  | 浅鉢・口縁~底部  | 口縁部:横位隆沈線文。胴部:ナデ。内面:横位沈線文。底部:ナデ。    | -       | -    |

第399図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(24)

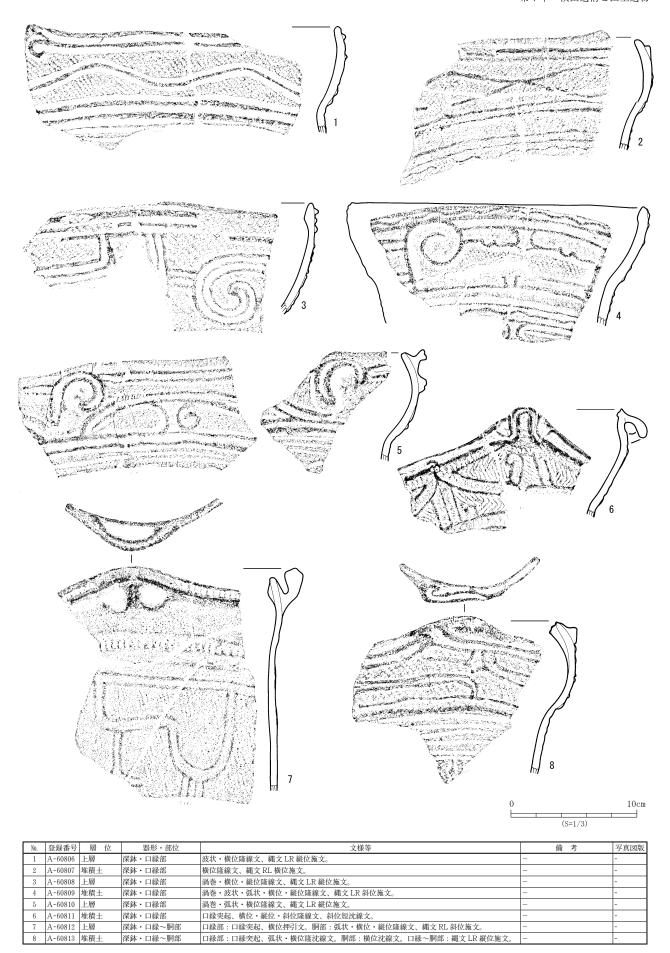


| No. | 登録番号    | 層位 | 器形・部位       | 文様等   | 備考       | 写真図版   |
|-----|---------|----|-------------|---|----------|--------|
| 1   | A-60785 | 上層 | 小型深鉢・口縁~胴部  | 口緣部:渦巻·弧状·縦位隆沈線文。頸部:横位沈線文·隆線文。胴部:弧状·縦位沈線文。縄文 LR 縦位施文。             | 波状口縁。    | 214-2  |
| 2   | A-60786 | 上層 | 小型深鉢・口縁~底部  | 口緣部: 橫位隆沈線文。頸部: 橫位隆沈線文。胴部: 有棘渦巻·弧状·縱位沈線文。縄文 LR 斜位施文。底部:網代痕。       | _        | 214-8  |
| 3   | A-60787 | 上層 | 小形深鉢・胴部     | 渦巻・弧状・横位・縦位沈線文、縄文 LR 縦位施文。  | -        | 214-12 |
| 4   | A-60788 | 上層 |             | 口縁部: ナデ。頸部: 横位沈線文。胴部: 渦巻・弧状・横位・縦位沈線文。頸部~胴部: 縄文<br>LR 縦位施文。底部: ナデ。 | _        | 214- 5 |
| 5   | A-60789 | 上層 | 小型深鉢・頸部〜底部  | 頸部:無文。胴部:渦巻・横位・縦位沈線文、縄文 LR 縦位・斜位施文。底部:ナデ。                         | -        | 214-6  |
| 6   | A-60790 | 上層 | 小型深鉢・口縁〜底部  | 口縁部: 渦巻突起、横位隆線文。胴部: 渦巻・弧状・横位・縦位沈線文、縄文 LR 縦位施文。底部:<br>ナデ。          | 波状口縁。    | 214-10 |
| 7   | A-60791 | 上層 | 小型深鉢・頸部〜底部  | 胴部:渦巻・横位・縦位沈線文。頸部~胴部:縄文 LR 縦位施文。底部:ナデ。                            | -        | -      |
| 8   | A-60792 | 上層 | 小型深鉢・胴下部〜底部 | 胴部:渦巻沈線文、縄文 LR 斜位施文。底部:ナデ。  | -        | -      |
| 9   | A-60793 | 上層 | 小型深鉢・胴下部〜底部 | 胴部:渦巻・弧状・斜位沈線文、縄文 LR 斜位施文。底部:ナデ。                                  | 底部内面に「∨」 | 214-11 |

第400図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(25)



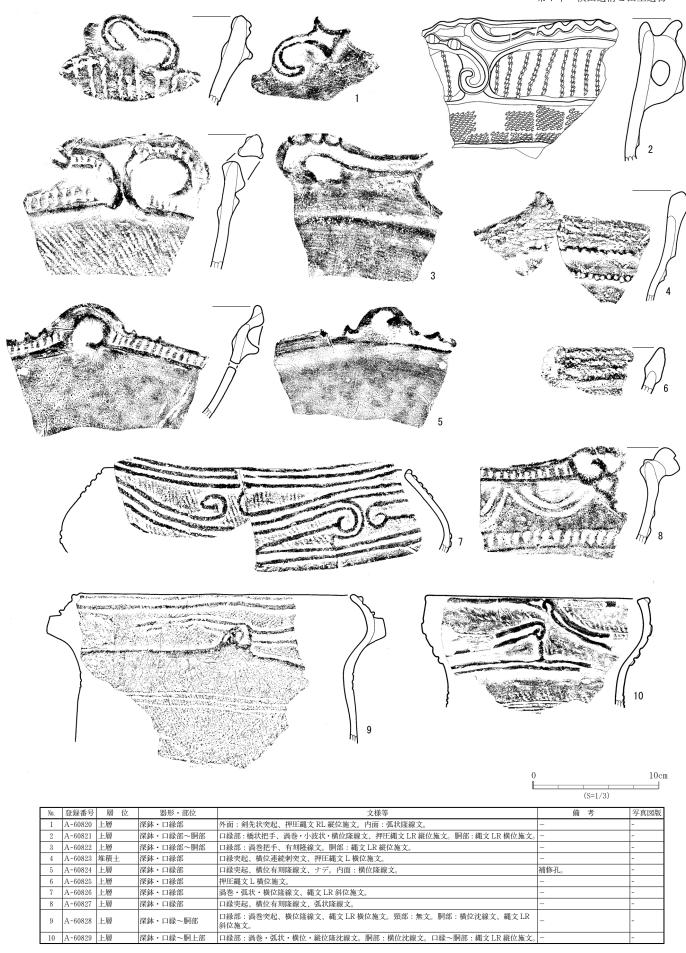
第401図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(26)



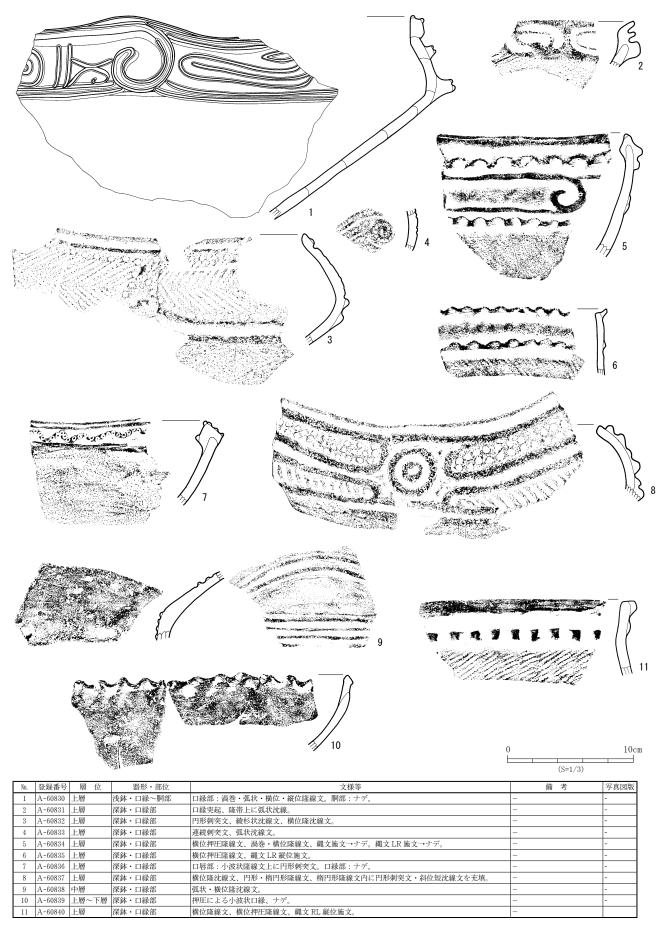
第402図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(27)



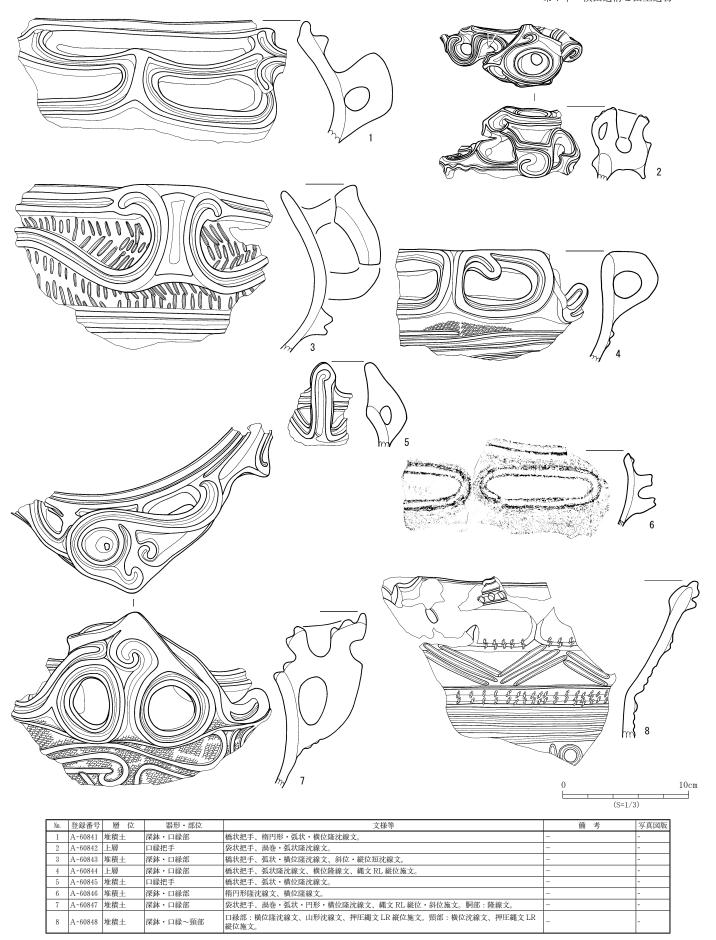
第403図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(28)



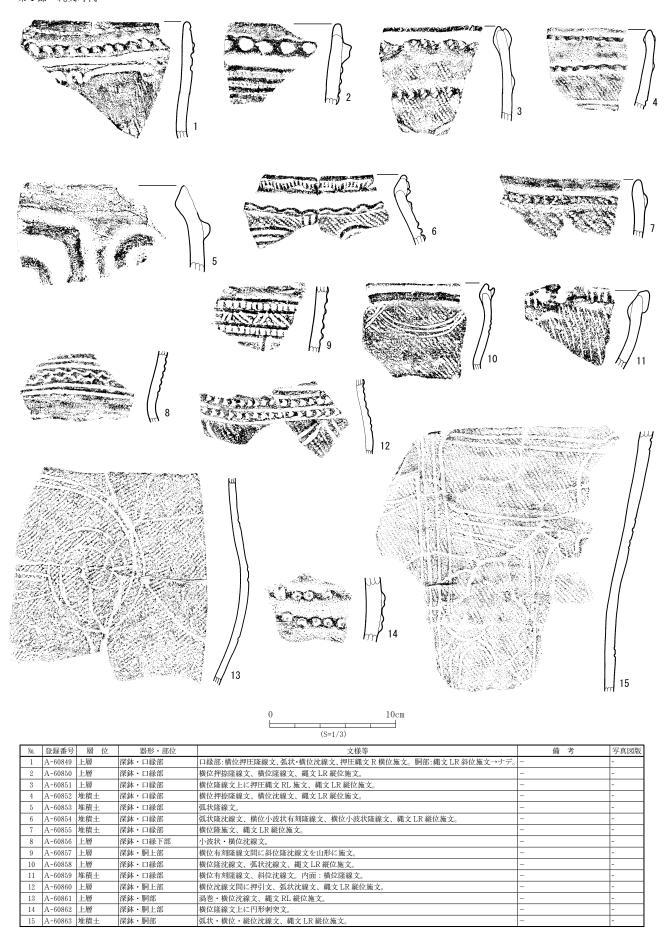
第404図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(29)



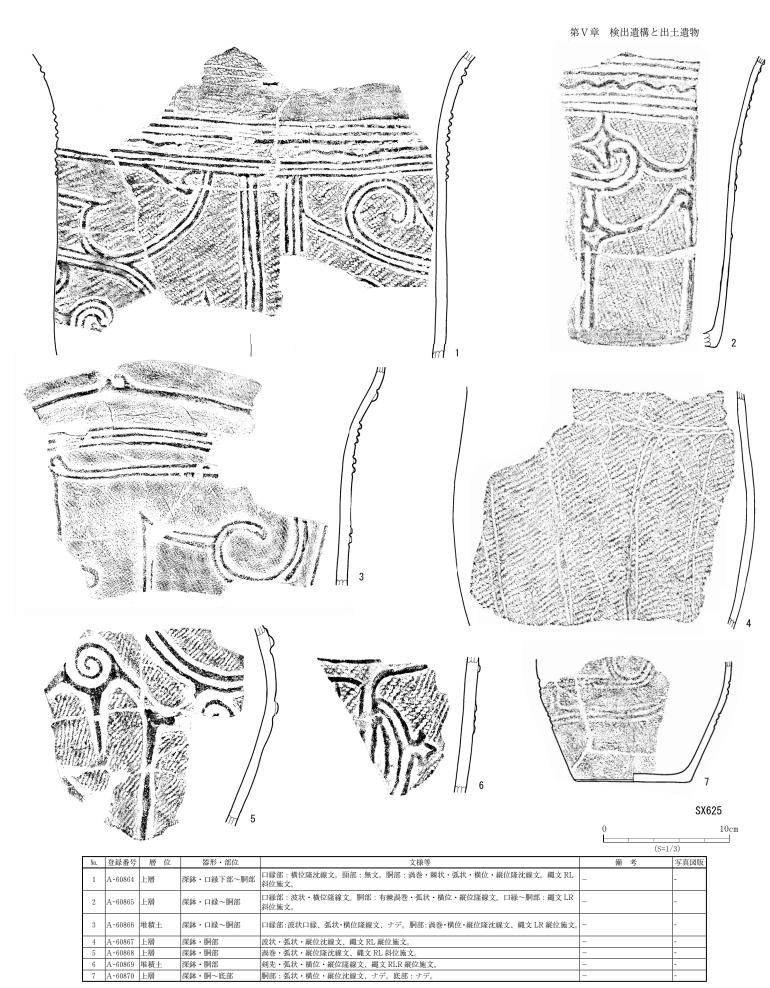
第405図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(30)



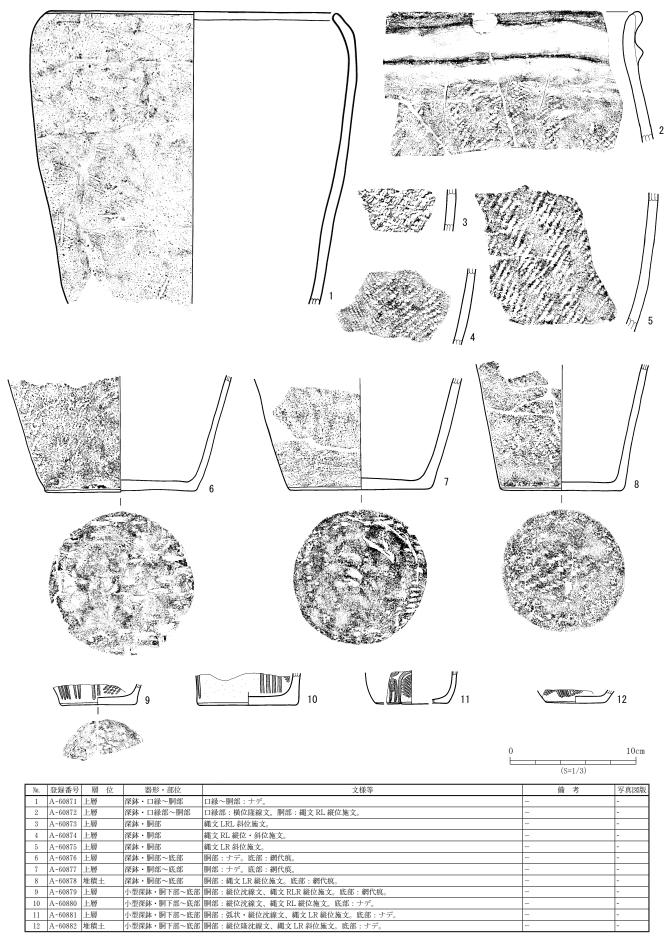
第406図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(31)



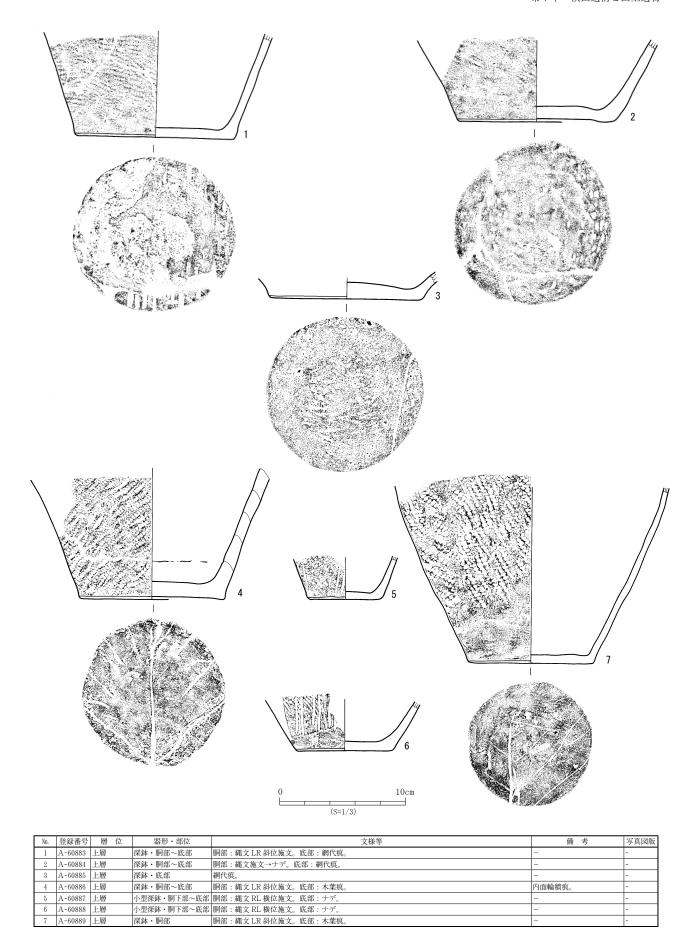
第407図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(32)



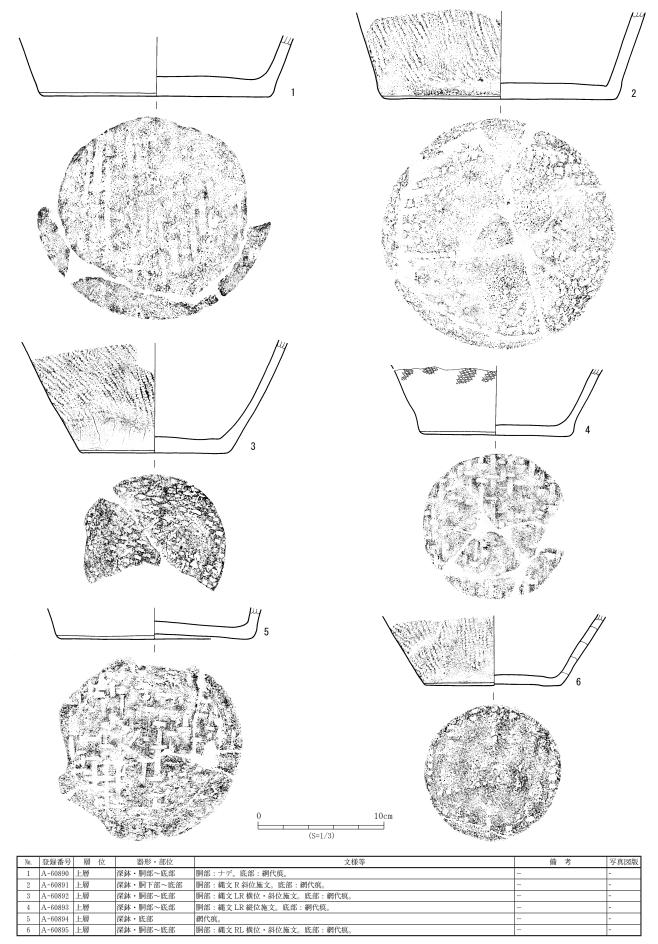
第408図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(33)



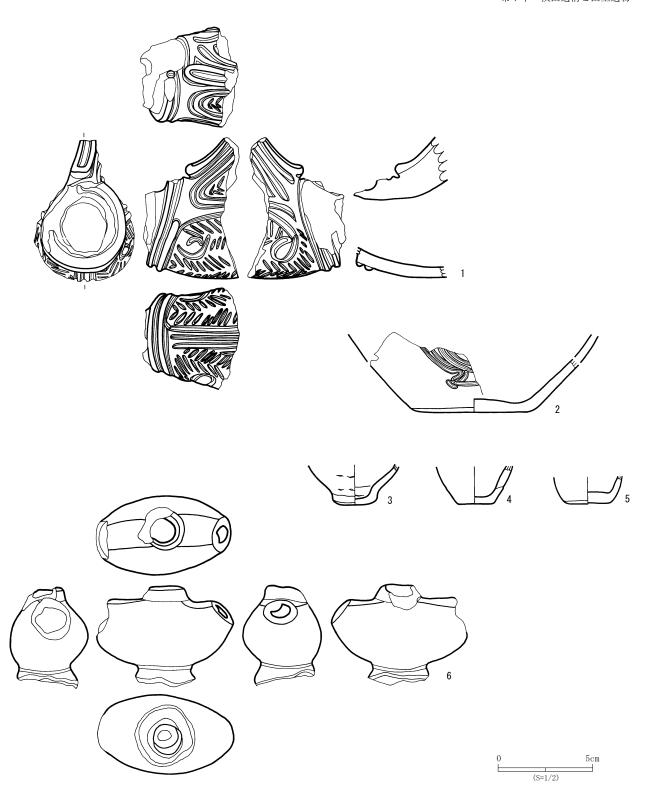
第409図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(34)



第410図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(35)

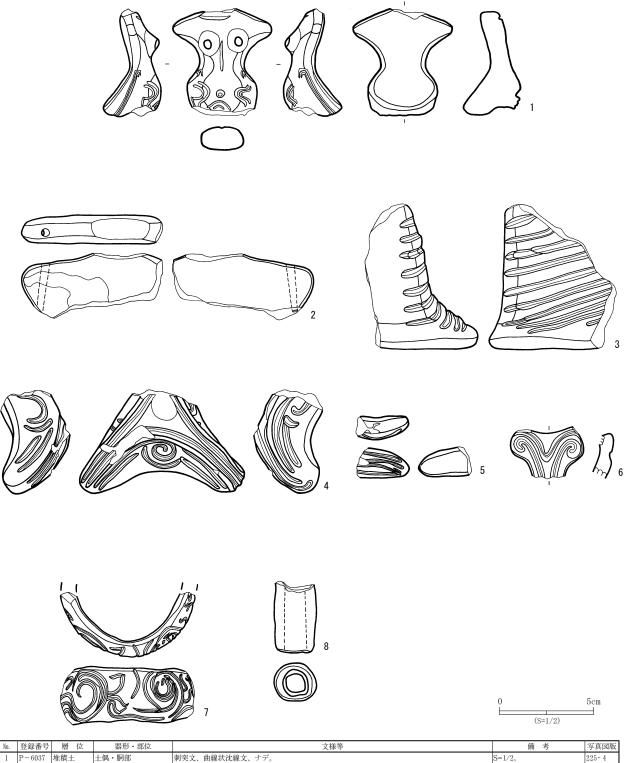


第411図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(36)



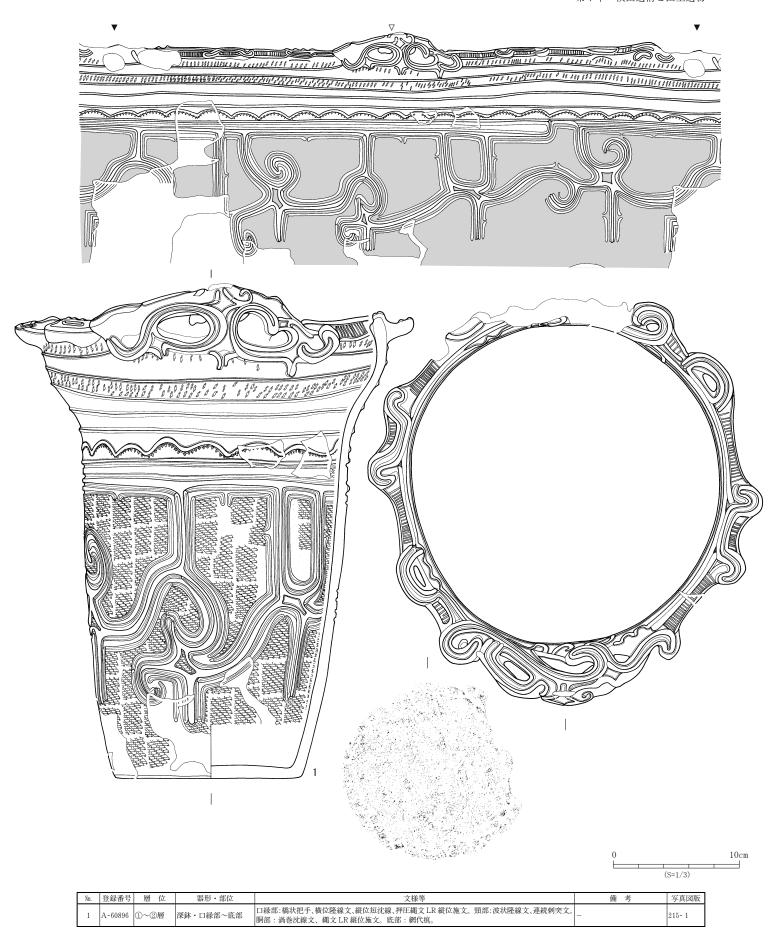
| No. | 登録番号   | 層位  | 器形・部位        | 文様等                   | 備考                 | 写真図版   |
|-----|--------|-----|--------------|-----------------------|--------------------|--------|
| 1   | P-6031 | 上層  | 皮袋形土製品?      | 隆沈線文、綾杉状沈線文。          | S=1/2 <sub>o</sub> | 225-11 |
| 2   | P-6032 | 上層  | 皮袋形土製品       | 胴部:弧状・横位沈線文、ナデ。底部:ナデ。 | 平面楕円形。S=1/2。       | 225-8  |
| 3   | P-6033 | 上層  | ミニチュア土器・胴〜底部 | 胴部:ナデ。底部:ナデ。          | S=1/2 <sub>o</sub> | -      |
| 4   | P-6034 | 堆積土 | ミニチュア土器・胴〜底部 | 胴部:ナデ。底部:ナデ。          | S=1/2 <sub>o</sub> | -      |
| 5   | P-6035 | 上層  | ミニチュア土器・胴〜底部 | 胴部:ナデ。底部:ナデ。          | S=1/2 <sub>o</sub> | -      |
| 6   | P-6036 | 上層  | 笛形土製品        | ナデ。                   | S=1/2 <sub>o</sub> | 225-3  |

第412図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(37)



刺突文、曲線状沈線文、ナデ。 円孔。ナデ。 1 P-6037 堆積土 2 P-6038 堆積土 225-7 土偶・胸部〜腕部 横位沈線文、ナデ。 P-6039 上層 上偶・脚部 S=1/2<sub>o</sub> 225-1 4 P-6040 上層 三角形土製品 渦巻・弧状沈線文。 S=1/2<sub>o</sub> 225-2 P-6041 上層 三角形土製品 弧状・横位沈線文。 S=1/2<sub>o</sub> 6 P-6042 上層 三角形土製品 渦巻沈線文。 S=1/2<sub>o</sub> 225-5 P-6043 上層 腕輪形土製品 渦巻・弧状沈線文。 S=1/2<sub>o</sub> 225-9 8 P-6044 上層 筒形土製品 ナデ S=1/2<sub>o</sub> 225-10

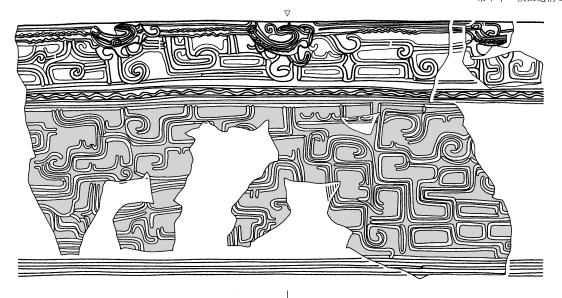
第413図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(38)

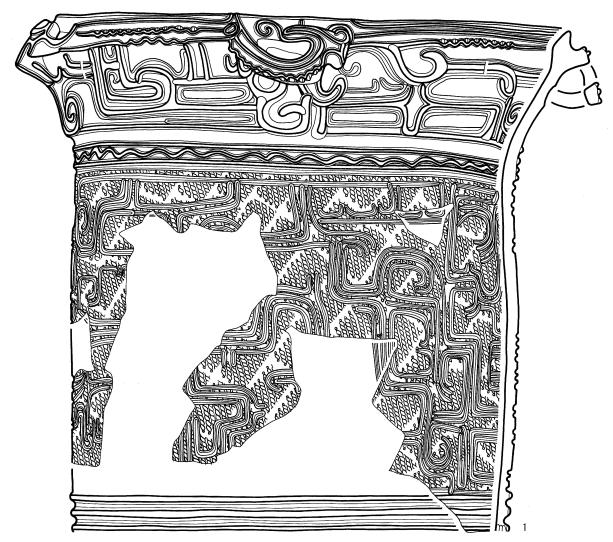


第414図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(1)



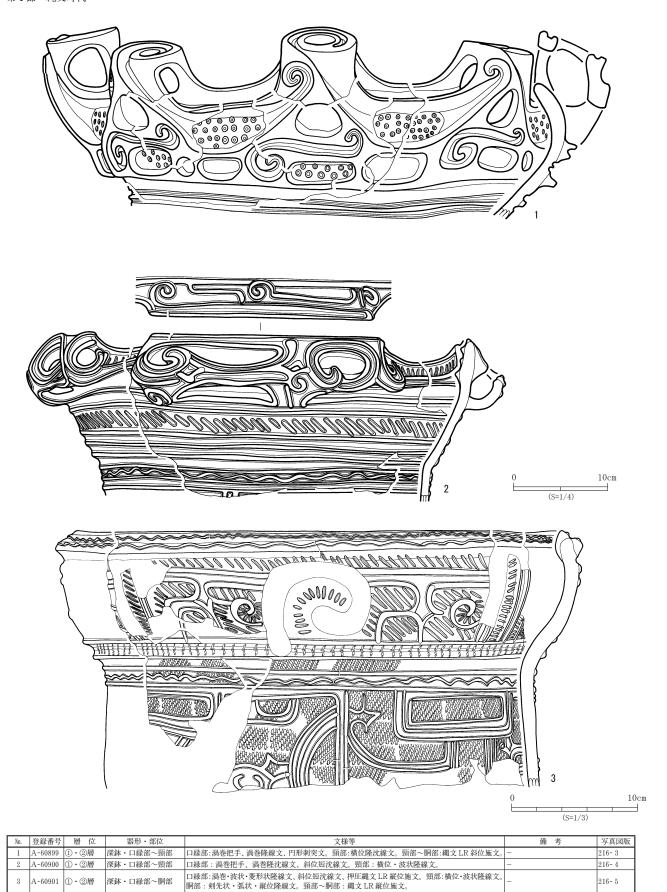
第415図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(2)



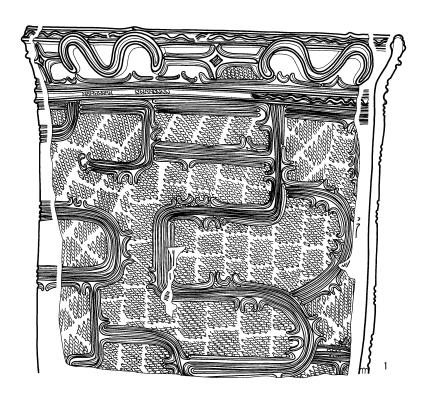


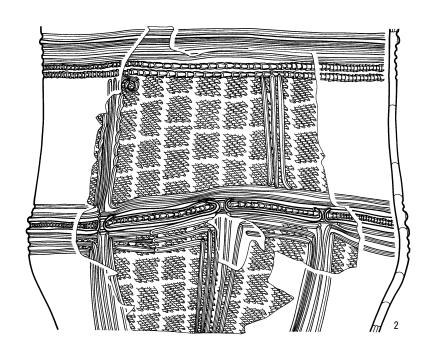


| No. | 登録番号    | 層位   | 器形・部位     | 文様等   | 備考 | 写真図版   |
|-----|---------|------|-----------|---|----|--------|
| 1   | A-60898 | ①・②層 | 深鉢・口縁部~胴部 | 口縁部:橋状把手、刺突小波状隆線文、渦巻・菱形状・区画状隆沈線文。胴部:渦巻・クランク状・菱形状・弧状沈線文、横位隆沈線文、縄文 LR 斜位施文。 | _  | 216- 1 |



第417図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(4)

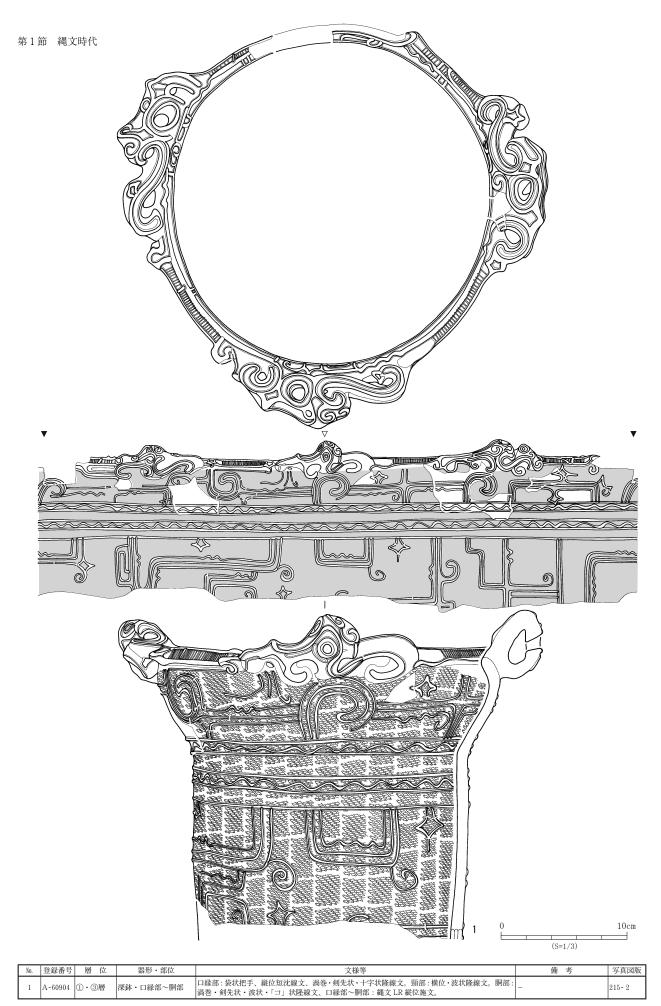




| 0 |         | 10cm |
|---|---------|------|
|   | (S=1/4) |      |

| No. | 登録番号    | 層位   | 器形・部位     | 文様等   | 備考                 | 写真図版  |
|-----|---------|------|-----------|---|--------------------|-------|
| 1   | A-60902 | 25b層 | 深鉢・口縁部~胴部 | 口縁部:波状・菱形状・横位隆沈線文。頸部:横位・波状隆沈線文。胴部:クランク状・弧状沈<br>線文。縄文 LR 斜位施文。 | S=1/4 <sub>o</sub> | 216-8 |
| 2   | A-60903 | ①・②層 | 深鉢・胴部     | 横位隆沈線文、横位・縦位沈線文、横位押引文、縄文 LR 縦位施文。                             | S=1/4 <sub>o</sub> | 215-5 |

第418図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(5)

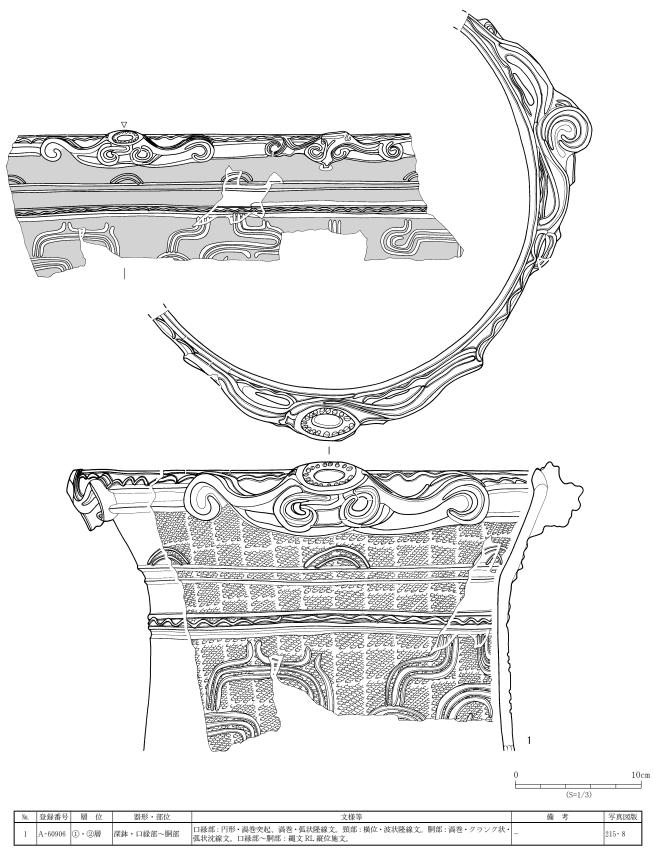


第419図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(6)

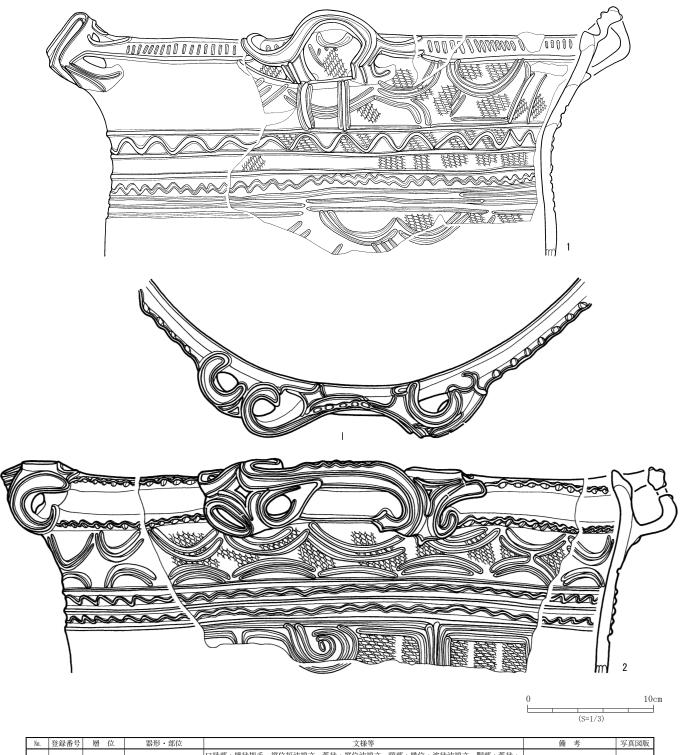


|   | No. | 登録番号    | 層位 | 器形・部位 | 文様等  | 備考 | 写真図版  |
|---|-----|---------|----|-------|--|----|-------|
| ſ | 1   | A-60905 | 上層 |       | 口縁部:橋状把手、渦巻突起、横位隆沈線文、押圧縄文 LR 縦位施文。頸部:横位・波状隆線文。<br>胴部:渦巻・剣先状・弧状・縦位隆線文、縄文 LR 縦位施文。 | _  | 215-3 |

第420図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(7)

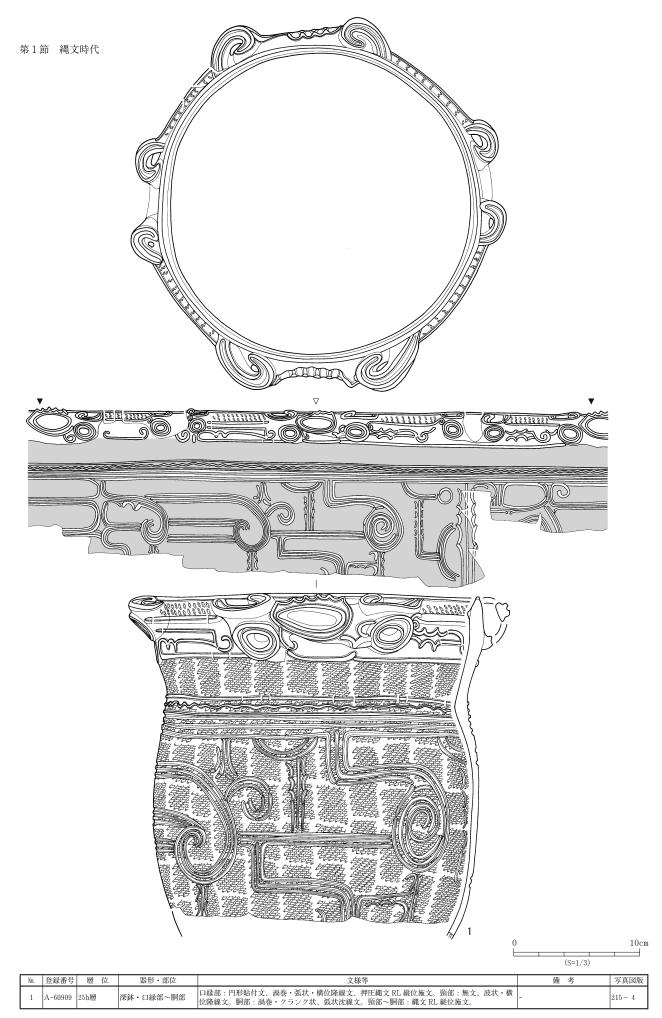


第421図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(8)

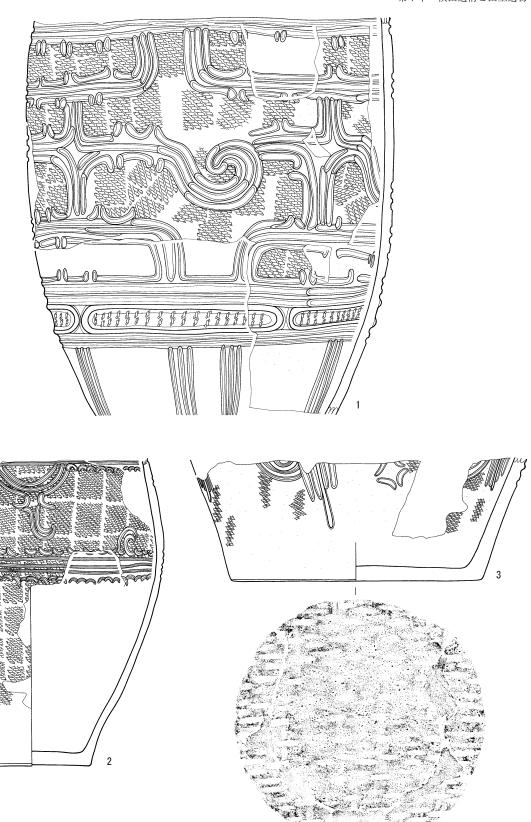


| No. | 登録番号    | 層位   | 器形・部位 | 文様等   | 備 | 考 | 写真図版 |
|-----|---------|------|-------|---|---|---|------|
| 1   | A-60907 | ①・②層 |       | 口縁部:橋状把手、縦位短沈線文、弧状・縦位沈線文。頭部:横位・波状沈線文。胴部:弧状・縦位沈線文。口縁部~胴部:縄文 LR 斜位施文。               | _ |   | -    |
| 2   | A-60908 | ①・②層 |       | 口縁部: 袋状・橋状把手、交互刺突小波状隆線文、弧状沈線文。頸部: 横位・波状隆線文。胴部:<br>渦巻・横位・縦位沈線文。口縁部〜胴部: 縄文 LR 縦位施文。 | _ |   | -    |

第422図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(9)



第423図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(10)

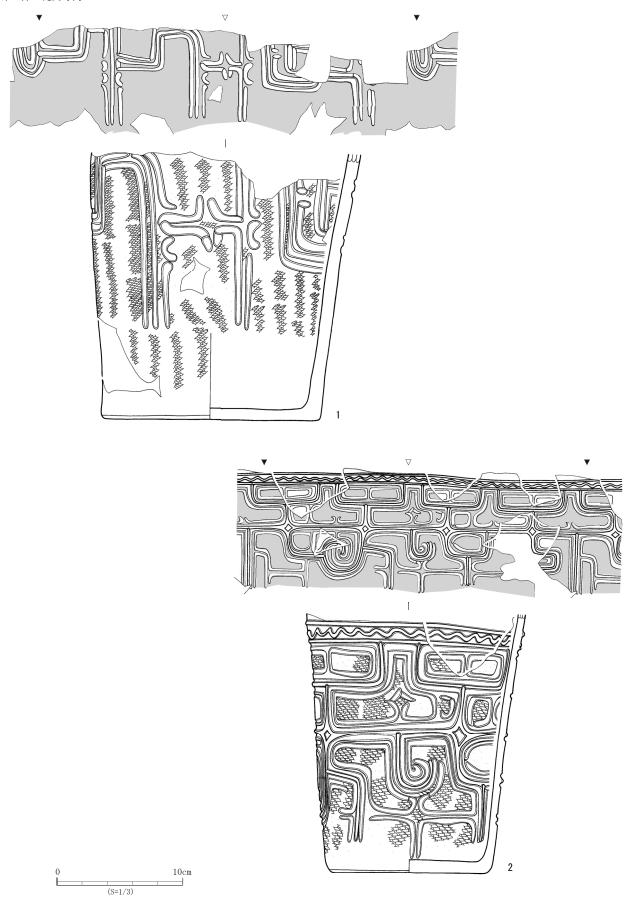


|   | No. | 登録番号    | 層位   | 器形・部位    | 文様等  | 備      | 考 | 写真図版   |
|---|-----|---------|------|----------|--|--------|---|--------|
|   | 1   | A-60910 | ①・②層 |          | 渦巻・クランク状・菱形状・縦位沈線文、刺突状短沈線文、横位楕円隆線文、押圧縄文 LR 縦位施文。胴部上位:縄文 LR 縦位施文。 | -      |   | 215- 7 |
| ſ | 2   | A-60911 | ①・②層 | 深鉢・胴部〜底部 | 胴部:渦巻・弧状・横位沈線文、縄文 LR 縦位施文。底部:ナデ。                                 | -      |   | 215-9  |
| ſ | 3   | A-60912 | ①・②層 | 深鉢・胴部〜底部 | 胴部: 渦巻?・菱形状・縦位沈線文、縄文 LR 縦位施文。底部:網代痕。                             | 摩滅激しい。 |   | -      |

10cm

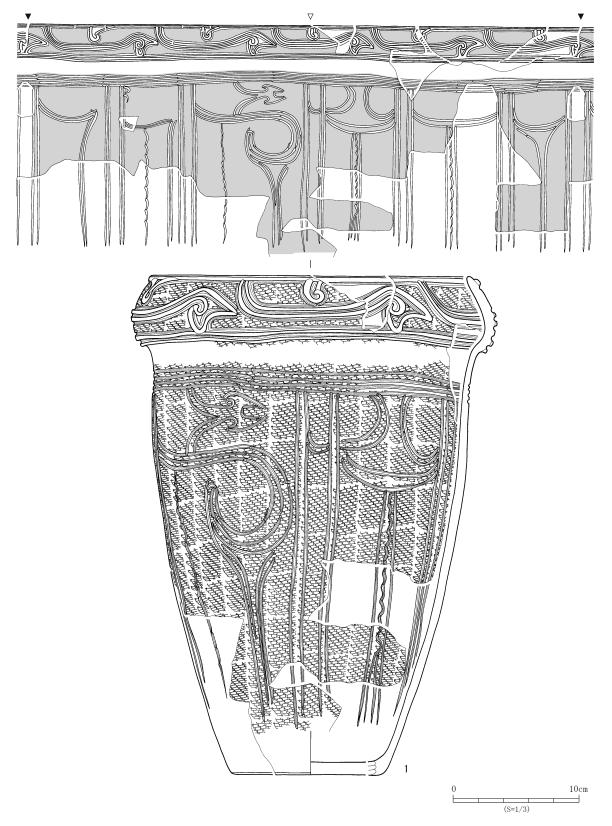
(S=1/3)

第424図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(11)



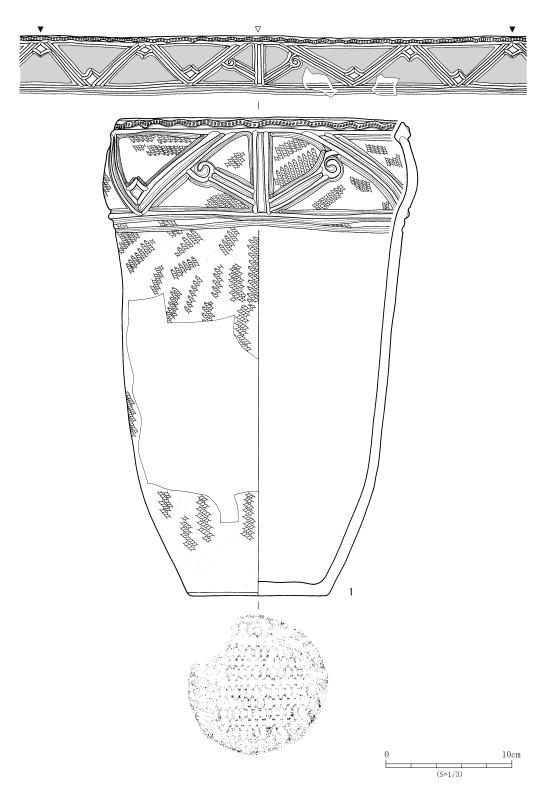
| No. | 登録番号 層 個      | と 器形・部位  | 文様等  | 備考 | 写真図版   |
|-----|---------------|----------|--|----|--------|
| 1   | A-60913 ① · ② | 深鉢・胴部〜底部 | 胴部:菱形状・弧状・縦位沈線文、縄文 RL 縦位施文。底部:ナデ。            | -  | 215-6  |
| 2   | A-60914 ① · ② | 深鉢・胴部〜底部 | 胴部:波状・横位隆沈線文、渦巻・菱形状・弧状隆沈線文、縄文 LR 縦位施文。底部:ナデ。 | -  | 215-10 |

第425図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(12)



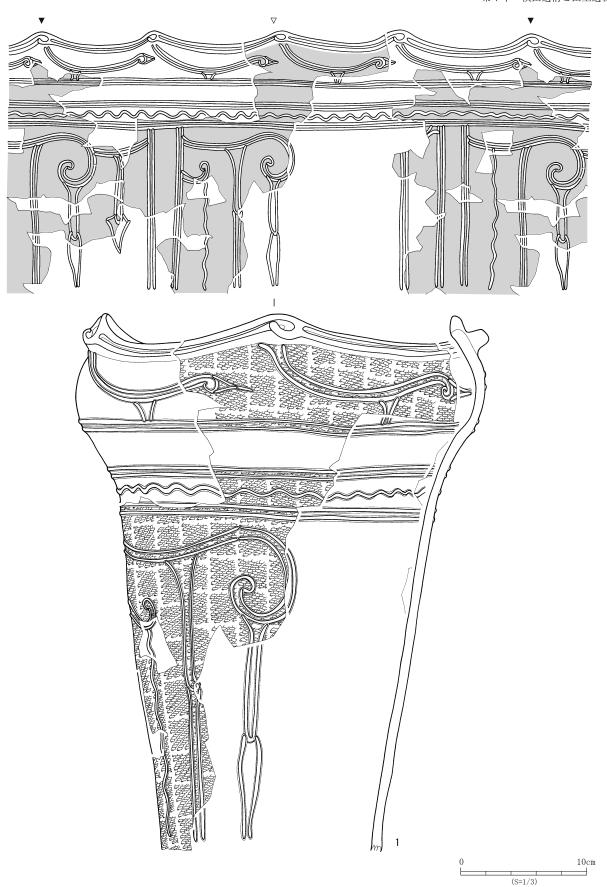
| No. | 登録番号    | 層位 | 器形・部位     | 文様等  | 備考 | 写真図版  |
|-----|---------|----|-----------|--|----|-------|
| 1   | A-60915 | ①層 | 深鉢・口縁部〜底部 | 口縁部:有棘・渦巻・弧状・横位隆沈線文。頸部:無文。胴部:渦巻・弧状・波状・縦位沈線文。口縁部・胴部:縄文 LR 縦位施文。 | _  | 217-1 |

第426図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(13)



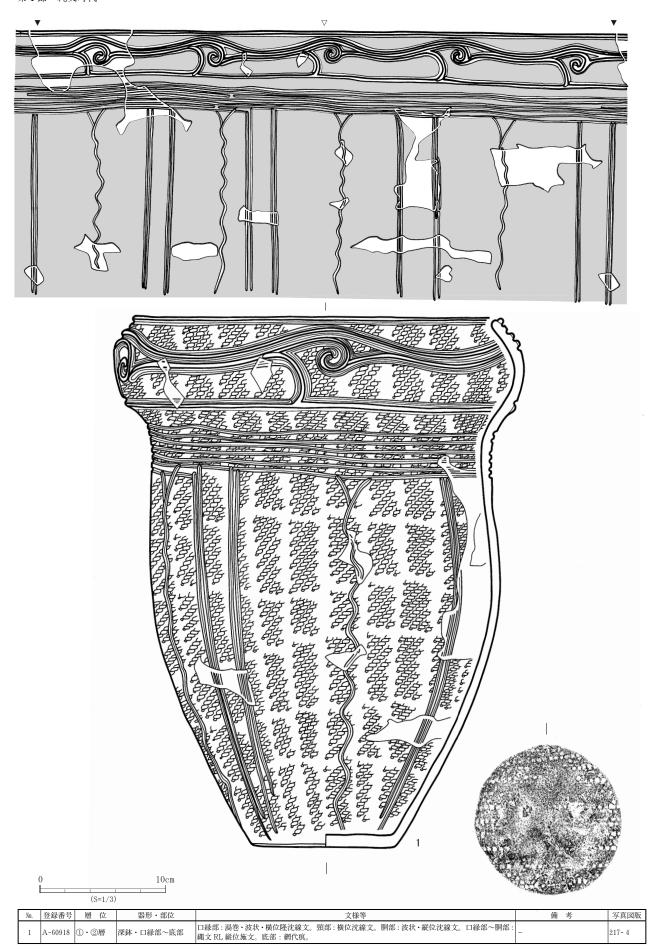
| No. | 登録番号     | 層位    | 器形・部位     | 文様等   | 備考 | 写真図版  |
|-----|----------|-------|-----------|---|----|-------|
| 1   | Δ -60016 | ①· @屬 | 遲鉢,口縁郭~庇部 | 口緣部·有刻波状降線文 温券·山形·構位降沖線文 口緣~胴部·縄文IR 縦位施文 底部·網代痕 | _  | 917-9 |

第427図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(14)

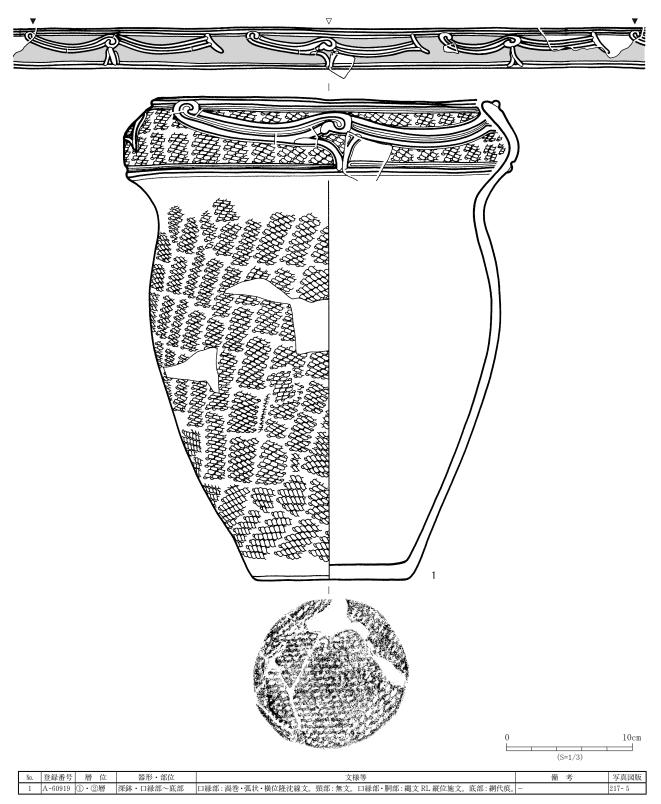


| [ | No. | 登録番号    | 層位   | 器形・部位 | 文様等  | 備考    | 写真図版  |
|---|-----|---------|------|-------|--|-------|-------|
|   | 1   | A-60917 | ①・②層 |       | 口縁部:渦巻突起、横位隆沈線文、有棘渦巻・波状・横位・縦位沈線文。頸部:波状・横位隆線文。胴部:渦巻・波状・縦位隆線文。口縁部~胴部:縄文 RL 縦位施文。 | 波状口縁。 | 217-3 |

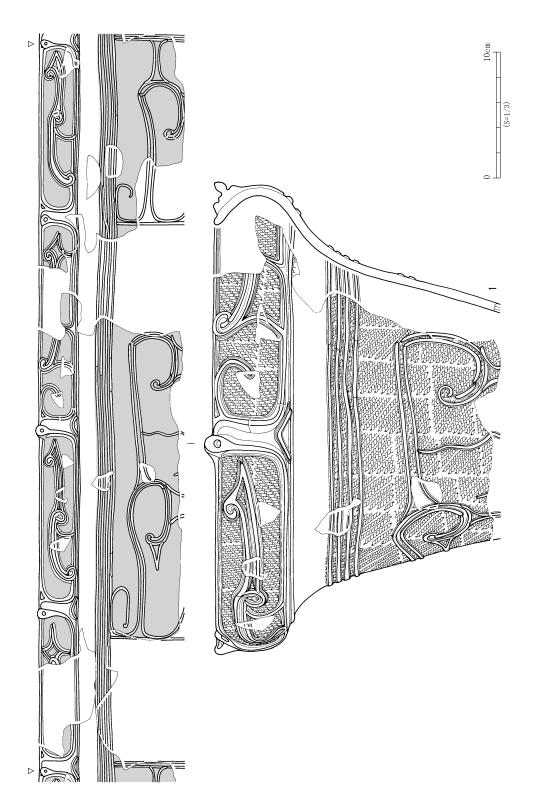
第428図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(15)



第429図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(16)

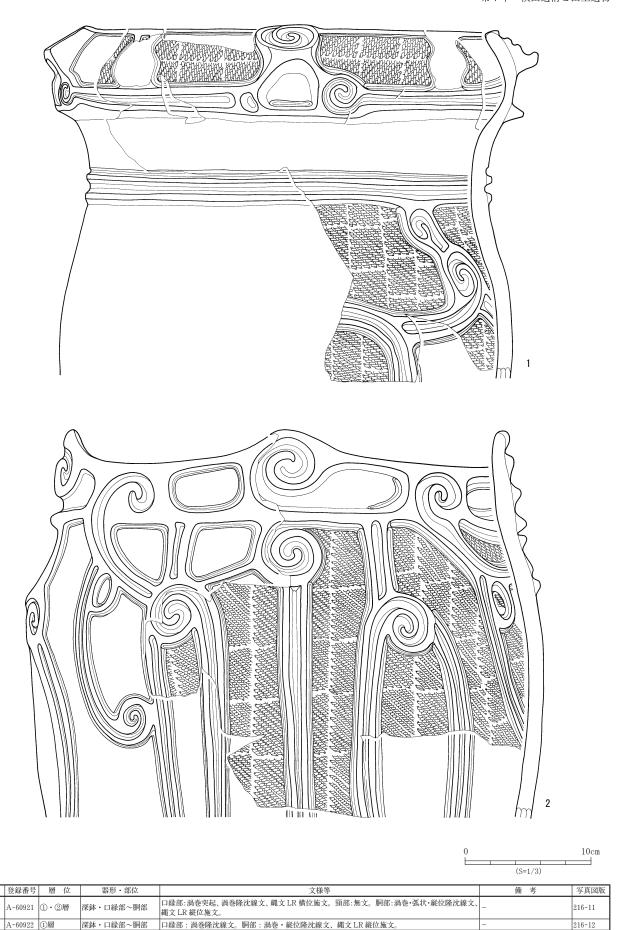


第430図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(17)

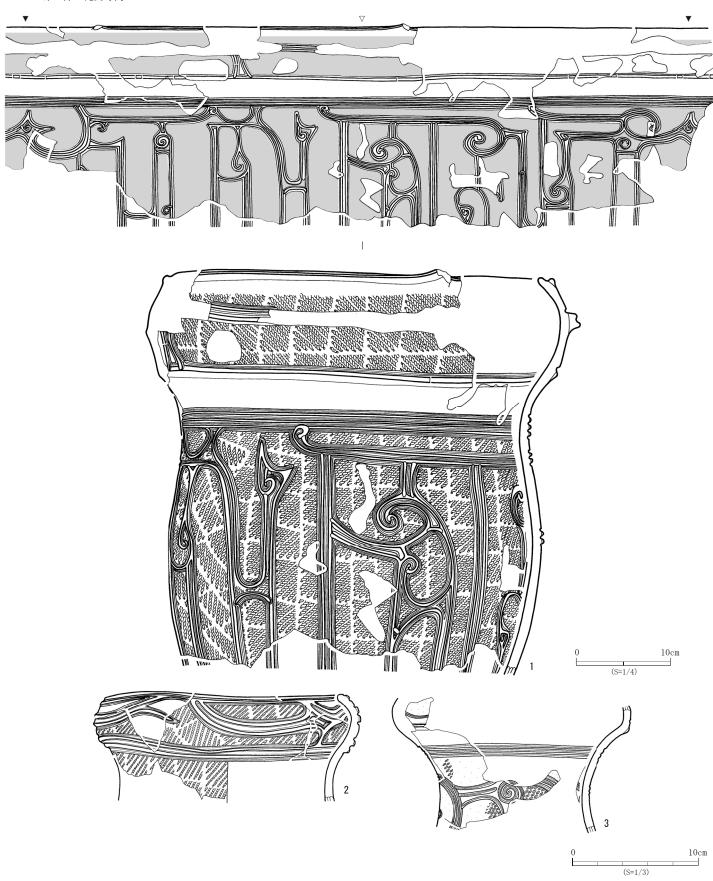


| 備考   写真図版 | 217-10  |
|-----------|---|
| 4         | I   |
| 文様等       | 口祿部:有棘渦巻隆沈徽文, 円形刺突文, 縄文 LR 樹位施文。類部: 無文+ 樹位隆線文。胴部:<br> 有棘渦巻隆線文、縄文 LR 雑位版文。 |
| 器形・部位     | 深鉢・口縁部〜胴部   |
| 層         | <b>國②・①</b>   |
| 登録番号      | A-60920   |
| No.       | -   |

第431図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(18)

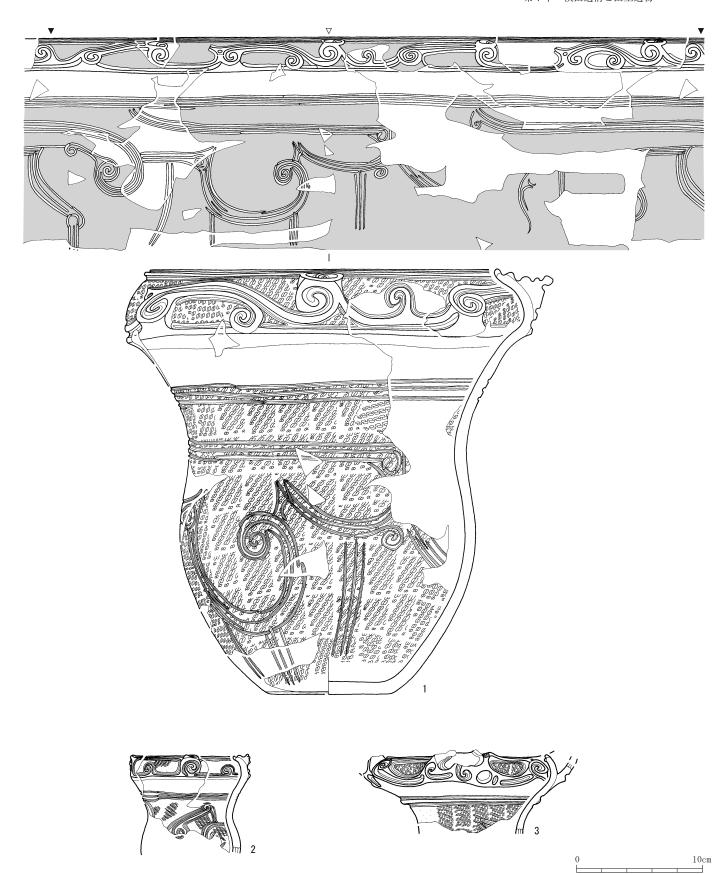


第432図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(19)



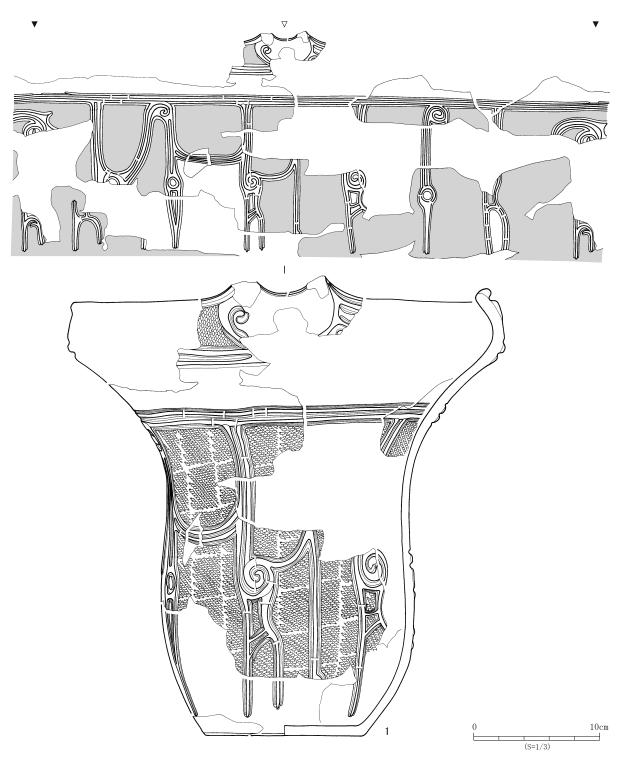
| _ |     |         |      |           |   |   |   |        |
|---|-----|---------|------|-----------|---|---|---|--------|
|   | No. | 登録番号    | 層位   | 器形・部位     | 文様等   | 備 | 考 | 写真図版   |
|   | 1   | A-60923 | ①・②層 |           | 口縁部:横位・縦位隆沈線文、縄文 RL 横位施文。頸部:無文。胴部:有棘渦巻・縦位隆沈線文、縄文 RL 縦位施文。 | _ |   | 216- 2 |
|   | 2   | A-60924 | 堆積土  | 深鉢・口縁部~胴部 | 口縁部:菱形・弧状・横位隆沈線文。口縁部~胴部:縄文 RL 縦位施文。                       | - |   | -      |
| ſ | 3   | A-60925 | 堆穑十  | 深鉢・口縁部~胴部 | 口縁部: 隆線文の一部。 頸部: 無文+構位沈線文。 胴部: 曲流渦巻沈線文、 縄文 RLR 縦位施文。      | _ |   | -      |

第433図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(20)



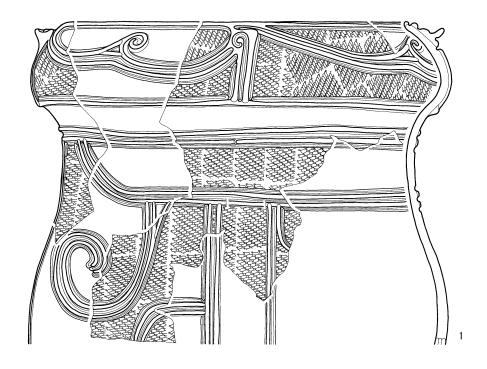
| No | . 登録番号  | 層位   | 器形・部位       | 文様等  | 備 | 考 | 写真図版    |
|----|---------|------|-------------|--|---|---|---------|
| 1  | A-60926 | ①・②層 |             | 口縁部: 渦巻突起、渦巻隆沈線文。 頸部: 無文。 胴部: 有棘渦巻・横位・縦位沈線文。 口縁部・胴部: 縄文 RLR 縦位施文。 頸部:無文。 | - |   | 217 - 6 |
| 2  | A-60927 | ①・②層 | 小型深鉢・口縁部~胴部 | 口縁部:渦巻突起、渦巻隆沈線文。頸部:横位沈線文。胴部:曲流渦巻沈線文。                                     | - |   | -       |
| 3  | A-60928 | ①・②層 | 小型深鉢・口縁部~胴部 | 口縁部:橋状把手、渦巻隆沈線文。頸部:横位隆沈線文。胴部:沈線文の一部。                                     | _ |   | I-      |

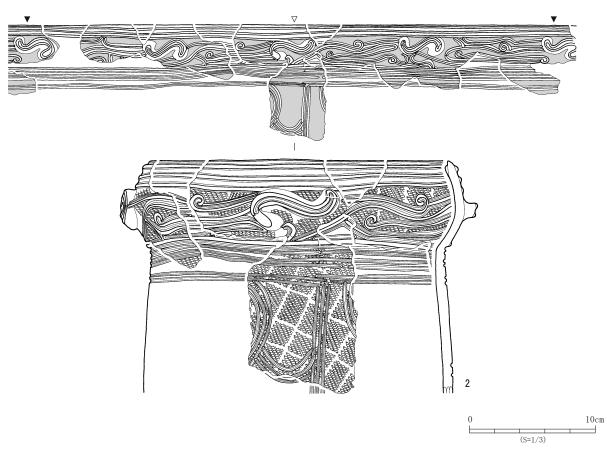
第434図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(21)



| [ | No. | 登録番号    | 層位   | 器形・部位 | 文様等   | 備考    | 写真図版   |
|---|-----|---------|------|-------|---|-------|--------|
|   | 1   | A-60929 | ①・②層 |       | 口縁部: 渦巻・横位隆沈線文、縄文 LR 横位施文。頸部: 無文。胴部: 渦巻・横位・縦位隆沈線文、縄文 LR 縦位施文。 | 把手剥離。 | 218- 9 |

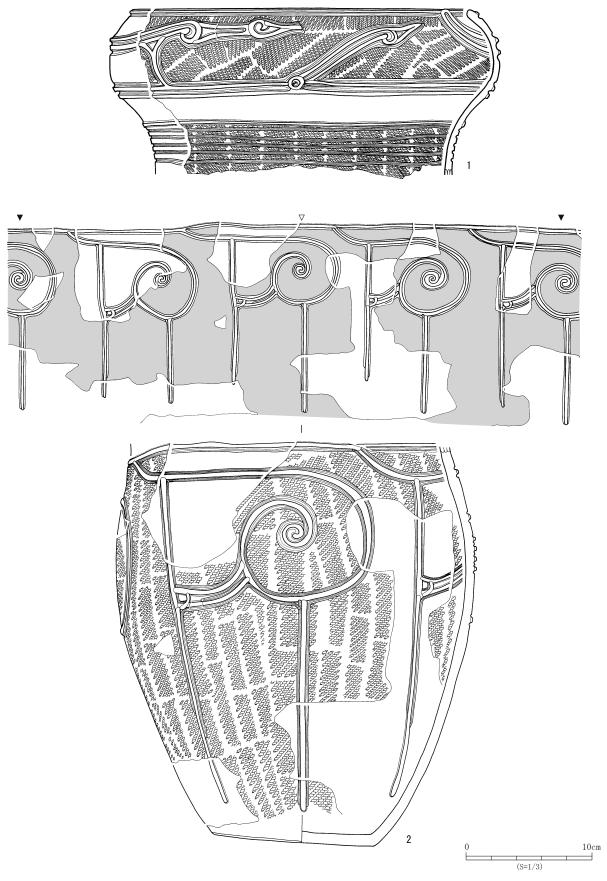
第435図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(22)





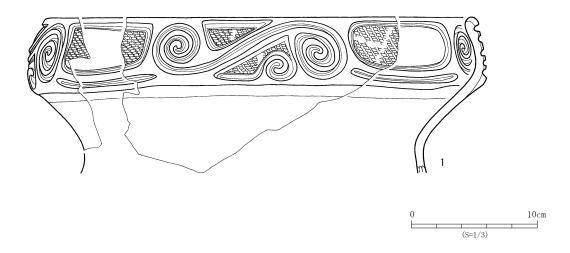
| No. | 登録番号    | 層位   | 器形・部位 | 文様等   | 備 | 考 | 写真図版   |
|-----|---------|------|-------|---|---|---|--------|
| 1   | A-60930 | ①・②層 |       | 口縁部:渦巻・横位隆沈線文、縄文 LR 縦位・斜位施文。頸部:無文。胴部:渦巻・弧状・横位・縦位隆沈線文、縄文 LR 縦位施文。                    | - |   | -      |
| 2   | A-60931 | ①・②層 |       | 口縁部:「S」字状貼付文、渦巻・横位隆線文、縄文 LR 縦位・斜位施文。頸部: 横位沈線文。胴部:<br>渦巻?・弧状・縦位沈線文。頸部~胴部:縄文 LR 斜位施文。 | - |   | 218- 2 |

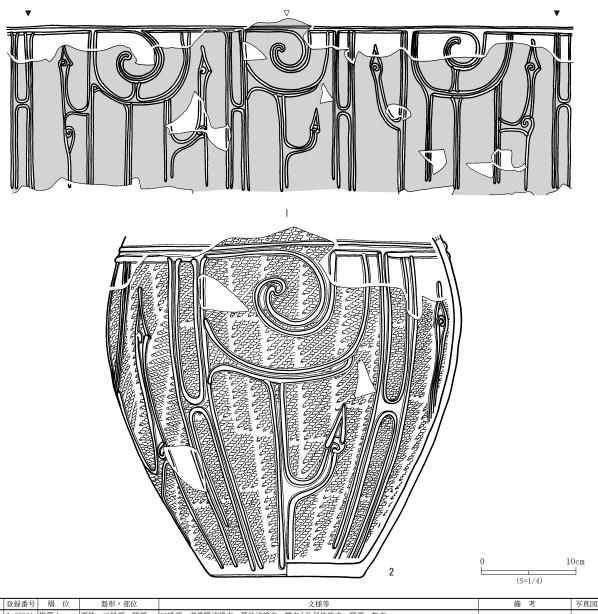
第436図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(23)



| No. | 登録番号    | 層位   | 器形・部位 | 文様等  | 備考 | 写真図版  |
|-----|---------|------|-------|--|----|-------|
| 1   | A-60932 | ①・②層 |       | 口縁部:有棘渦巻・横位隆沈線文、縄文 LR 横位・斜位施文。頸部:無文。胴部:横位隆線文、横位沈線文、縄文 LR 縦位施文。 | _  | -     |
| 2   | A-60933 | ①・②層 | 深鉢・胴部 | 渦巻・弧状・縦位隆沈線文、縄文 RL 縦位施文。                                       | -  | 218-5 |

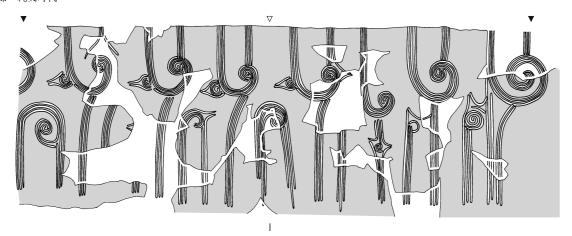
第437図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(24)

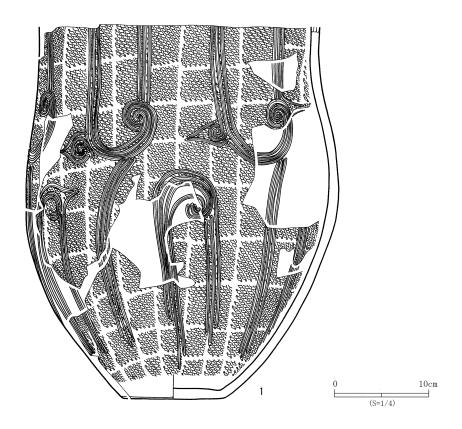


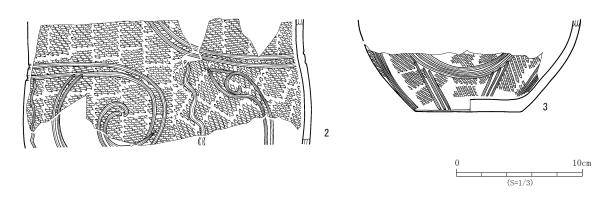


| No. | 登録番号    | 層位   | 器形・部位     | 文様等                                | 備考 | 写真図版  |
|-----|---------|------|-----------|------------------------------------|----|-------|
| 1   | A-60934 | 堆積土  | 深鉢・口縁部~頸部 | 口縁部:渦巻隆沈線文、弧状沈線文、縄文 LR 斜位施文。頸部:無文。 | -  | -     |
| 2   | A-60935 | ①・②層 | 深鉢・胴部〜底部  | 胴部:有棘・渦巻・縦位隆沈線文、縄文 RL 縦位施文。底部:ナデ。  | =  | 218-6 |

第438図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(25)

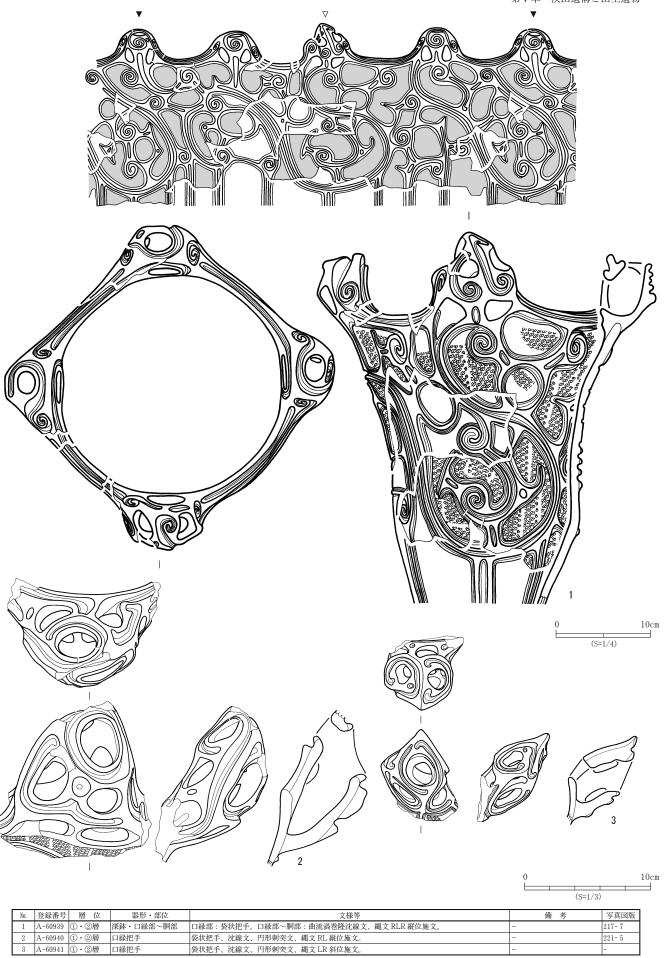






| No. | 登録番号 層 位     | 器形・部位    | 文様等                             | 備考 | 写真図版  |
|-----|--------------|----------|---------------------------------|----|-------|
| 1   | A-60936 ①・②層 | 深鉢・胴部〜底部 | 胴部:有棘渦巻・縦位沈線文、縄文 LR 縦位施文。底部:ナデ。 | -  | 218-7 |
| 2   | A-60937 ①・②層 | 深鉢・胴部    | 有棘渦巻・波状沈線文、縄文 LR 縦位施文。          | -  | -     |
| 3   | A-60938 ①・②層 | 深鉢・胴部〜底部 | 胴部:弧状・斜位沈線文、縄文 LR 縦位施文。         | -  | -     |

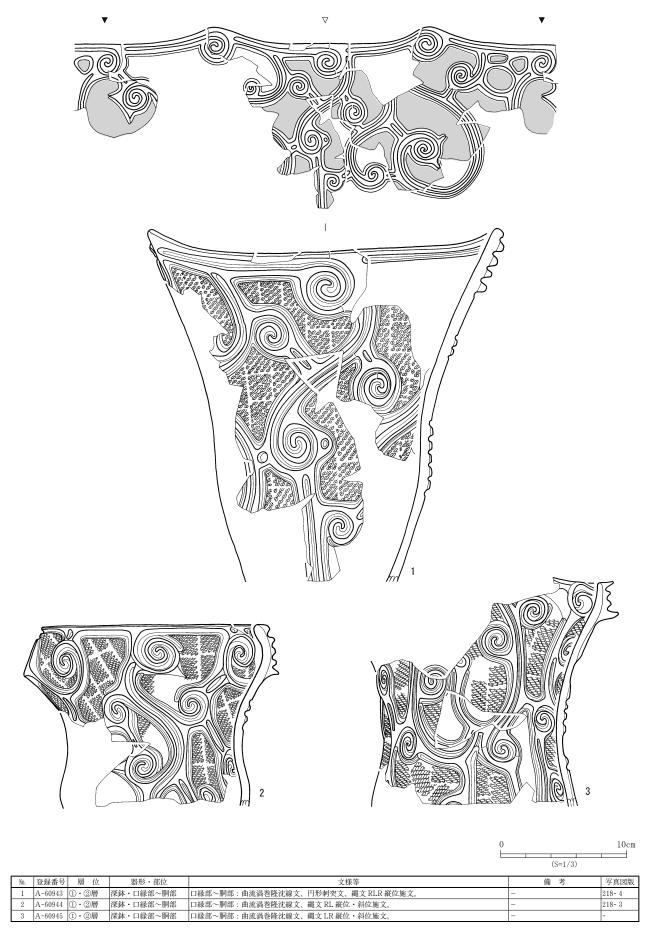
第439図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(26)



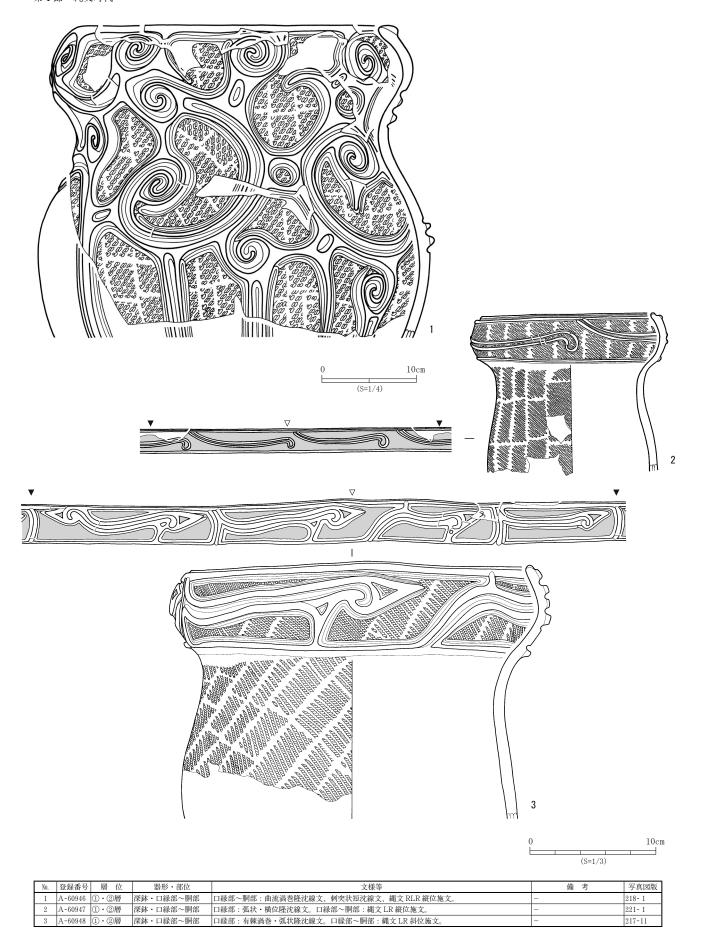
第440図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(27)



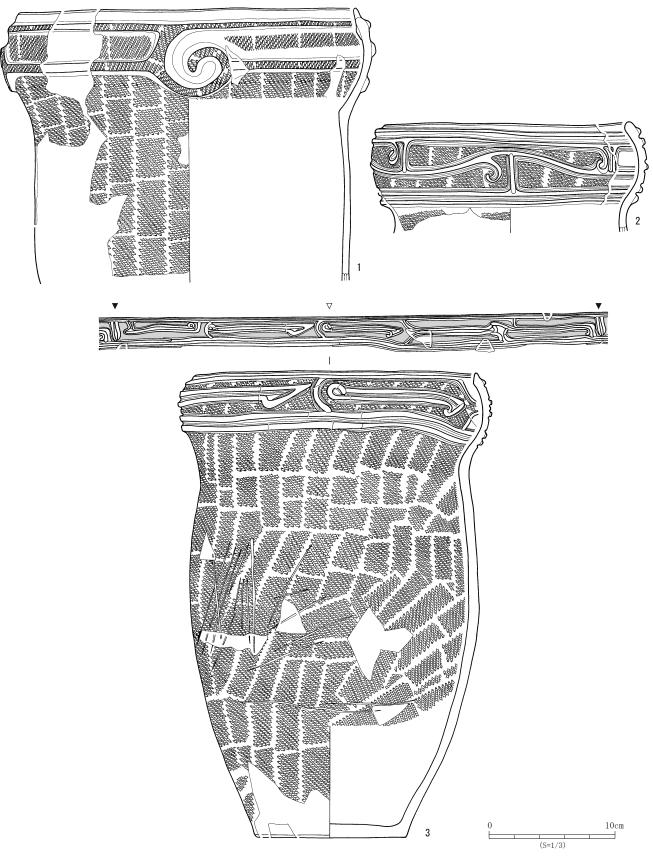
第441図 SX626溝状落ち込み出土遺物(28)



第442図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(29)

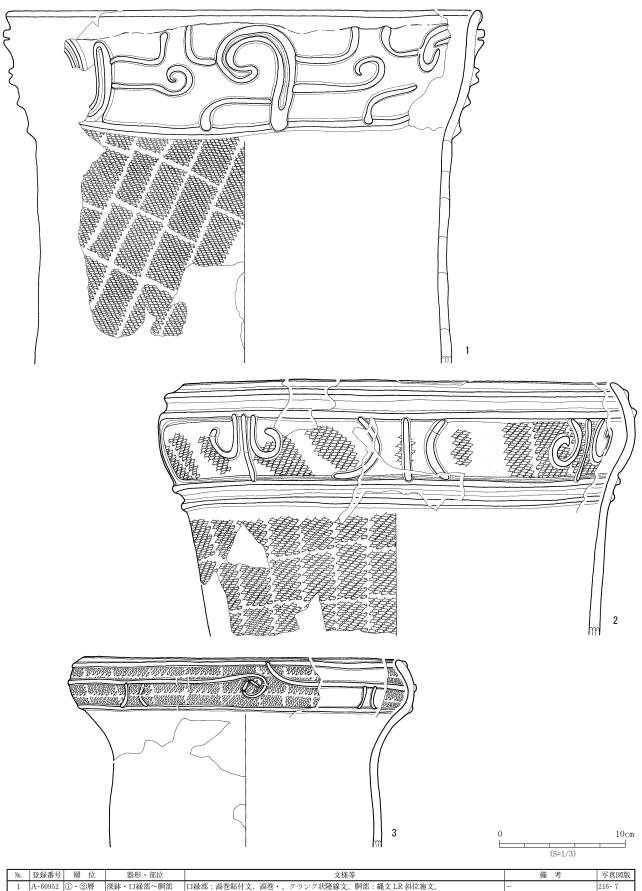


第443図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(30)



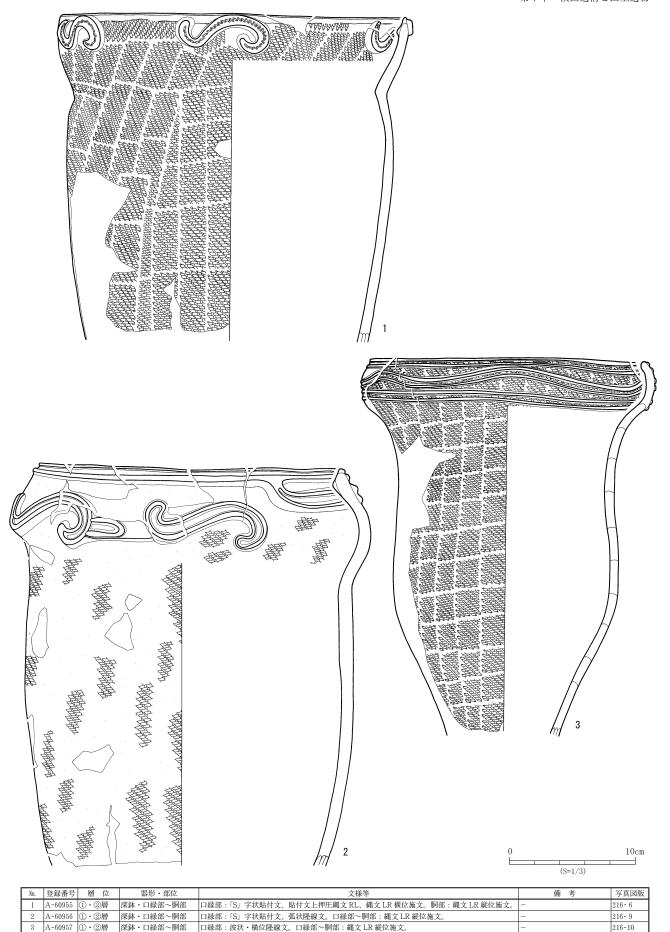
| No. | 登録番号    | 層位   | 器形・部位     | 文様等                                       | 備 | 考 | 写真図版   |
|-----|---------|------|-----------|---|---|---|--------|
| 1   | A-60949 | ①・②層 | 深鉢・口縁部~胴部 | 口縁部:渦巻・横位隆線文、縄文 LR 横位施文。頸部~胴部:縄文 LR 縦位施文。 | - |   | 217-12 |
| 2   | A-60950 | ①・②層 | 深鉢・口縁部〜頸部 | 口縁部:渦巻・波状・横位・縦位隆沈線文。口縁部~胴部:縄文 LR 縦位施文。    | - |   | -      |
| 3   | A-60951 | ①・②層 | 深鉢・口縁部~胴部 | 口縁部:有棘渦巻・弧状・横位隆沈線文。口縁部~胴部:縄文 LR 縦位・斜位施文。  | _ |   | 216-13 |

第444図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(31)

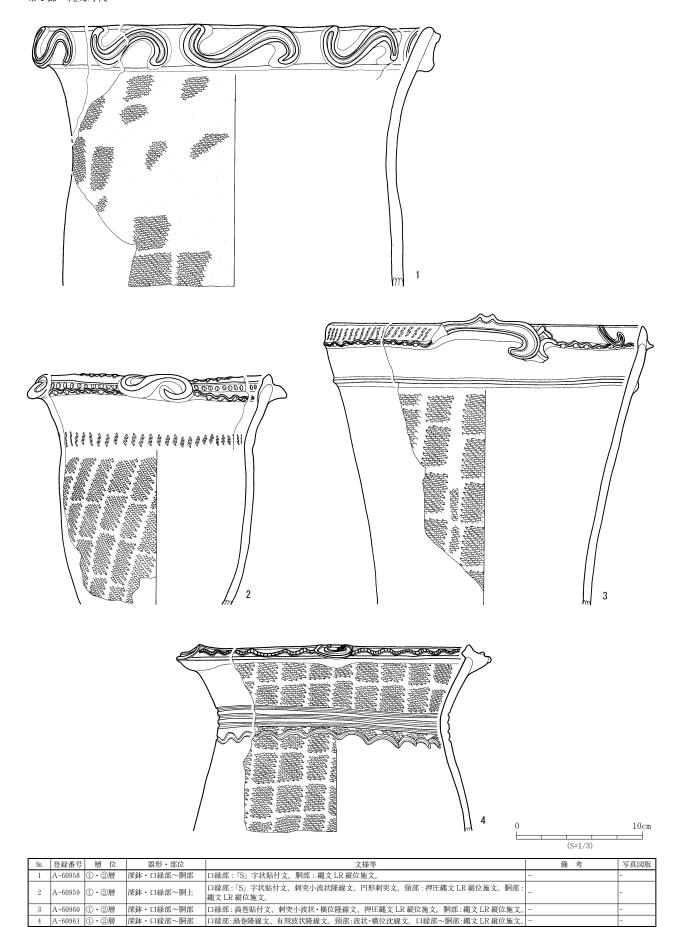


| No. | 登録番号    | 層位   | 器形・部位     | 文様等  | 備 | 考 | 写真図版  |
|-----|---------|------|-----------|--|---|---|-------|
| 1   | A-60952 | ①・②層 | 深鉢・口縁部~胴部 | 口縁部:渦巻貼付文、渦巻・、クランク状隆線文。胴部:縄文 LR 斜位施文。                    | - |   | 216-7 |
| 2   | A-60953 | ①・②層 |           | 口縁部:渦巻・弧状・横位隆線文、縄文 RL 縦位・斜位施文。頸部:横位隆線文。胴部:縄文<br>RL 縦位施文。 | _ |   | -     |
| 3   | A-60954 | 堆積土  | 深鉢・口縁部~胴部 | 口縁部:渦巻・弧状・横位・縦位隆線文、縄文 LR 横位施文。胴部:ナデ。                     | _ |   | -     |

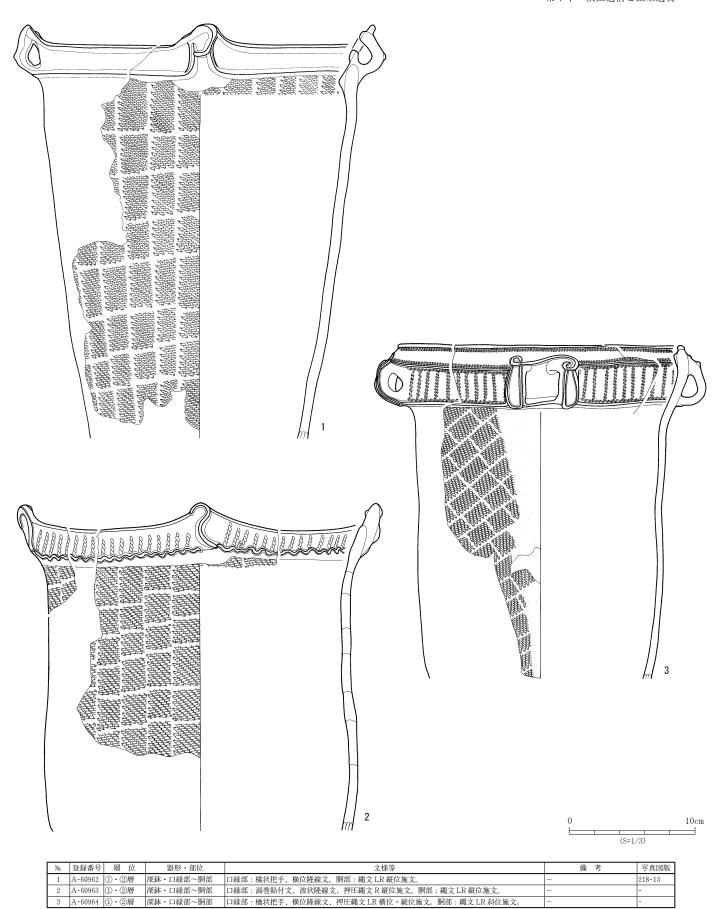
第445図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(32)



第446図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(33)



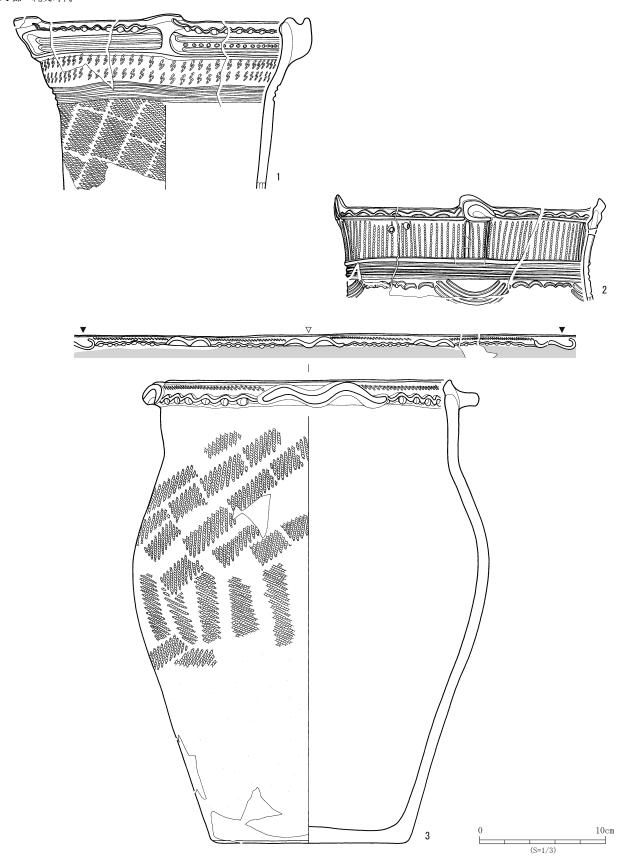
第447図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(34)



第448図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(35)

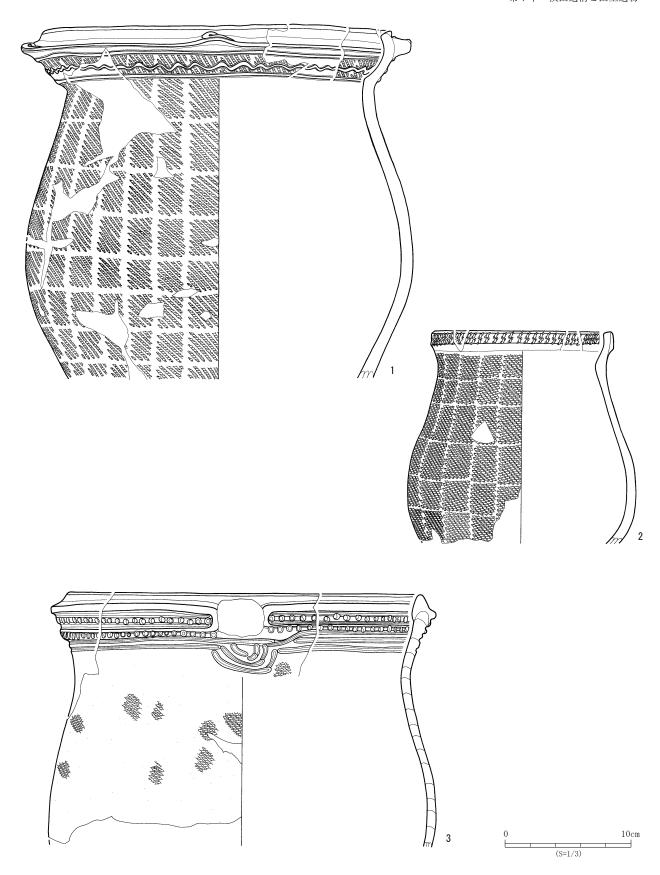
A-60964 ①・②層

深鉢・口縁部~胴部



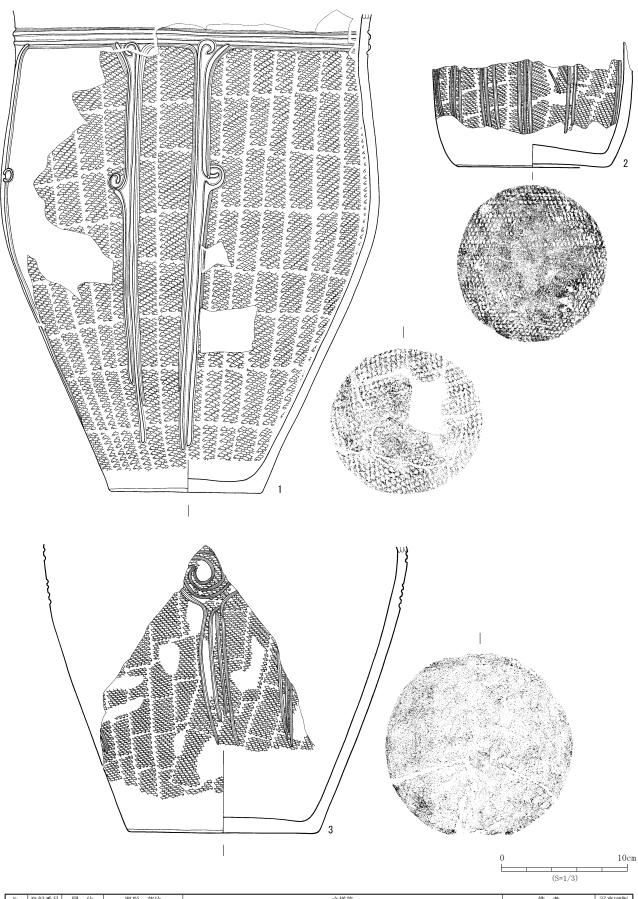
|   | No. | 登録番号    | 層位   | 器形・部位      | 文様等  | 備 | 考 | 写真図版   |
|---|-----|---------|------|------------|--|---|---|--------|
|   | 1   | A-60965 | ①・②層 |            | 口縁部:橋状把手、刺突小波状隆線文、円形刺突文、押圧縄文 LR 縦位施文。頸部:横位沈線文。胴部:縄文 LR 斜位施文。 | _ |   | 219-15 |
| Γ | 2   | A-60966 | ①・②層 | 深鉢・口縁部~胴上部 | 口緣部:渦巻突起、波状隆線文、押圧縄文 R 維位施文。頸部:横位沈線文。胴部:弧状沈線文。                | - |   | -      |
| ſ | 3   | A-60967 | ①・②層 |            | 口縁部:波状貼付文、刺突小波状隆線文、押圧縄文 LR 斜位施文。胴部:縄文 LR 斜位・縦位施文。<br>底部:ナデ。  | - |   | 217-8  |

第449図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(36)



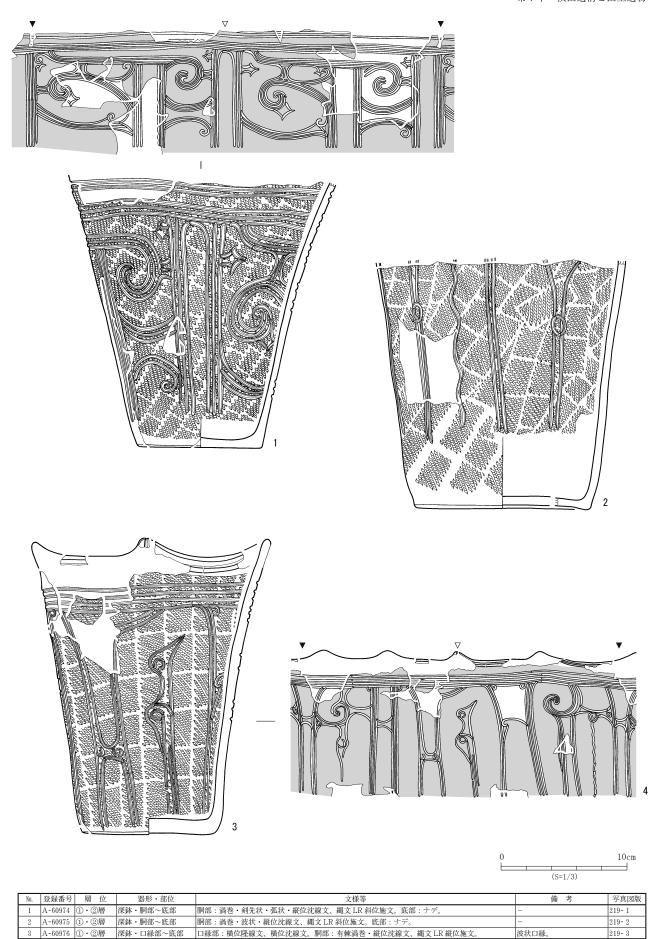
| No. | 登録番号    | 層位   | 器形・部位     | 文様等                                   | 備考    | 写真図版   |
|-----|---------|------|-----------|---------------------------------------|-------|--------|
| 1   | A-60968 | ①・②層 | 深鉢・口縁部~胴部 | 口縁部:渦巻突起、波状・横位隆線文。口縁下部~胴部:縄文 LR 縦位施文。 | -     | 218-14 |
| 2   | A-60969 | ①・②層 | 深鉢・口縁部~胴部 | 口縁部:押圧縄文 LR 縦位施文。胴部:縄文 LR 縦位施文。       | -     | 219-16 |
| 3   | A-60970 | ①・②層 | 深鉢・口縁部~胴部 | 口縁部:横位隆沈線文、弧状沈線文、円形刺突文。胴部:縄文 LR 縦位施文。 | 突起剥離。 | -      |

第450図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(37)

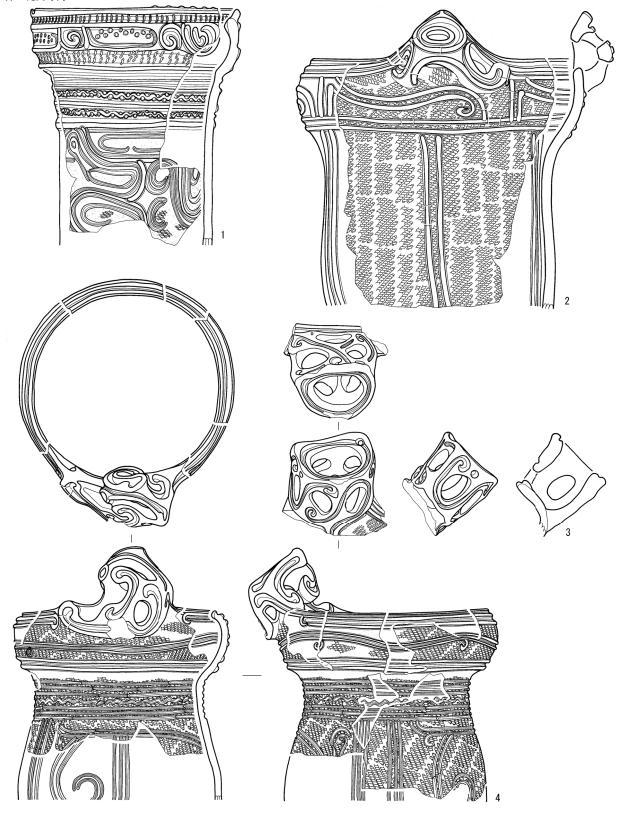


| No. | 登録番号    | 層位   | 器形・部位    | 文様等                                | 備考 | 写真図版    |
|-----|---------|------|----------|------------------------------------|----|---------|
| 1   | A-60971 | ①・②層 | 深鉢・胴部〜底部 | 胴部:渦巻・横位・縦位隆沈線文、縄文 RL 縦位施文。底部:網代痕。 | -  | 217 - 9 |
| 2   | A-60972 | ①・②層 | 深鉢・胴部〜底部 | 胴部:縦位沈線文、縄文 LR 縦位施文。底部:網代痕。        | -  | 219 - 6 |
| 3   | A-60973 | ①・②層 | 深鉢・胴部〜底部 | 胴部:渦巻・縦位沈線文、縄文 LR 縦位施文。底部:ナデ。      | -  | 219 - 7 |

第451図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(38)



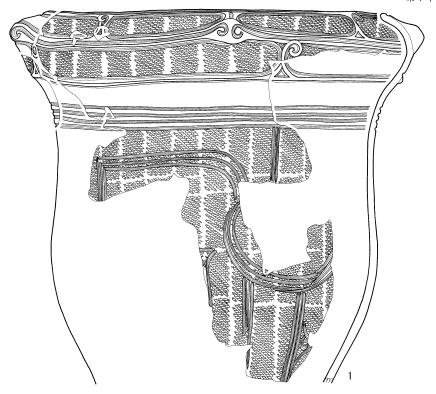
第452図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(39)

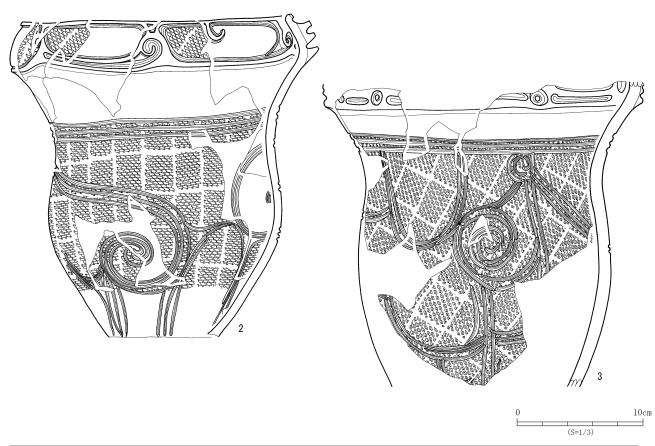


| Γ | No. | 登録番号    | 層位   | 器形・部位     | 文様等   | 備 | 考 | 写真図版   |
|---|-----|---------|------|-----------|---|---|---|--------|
|   | 1   | A-60977 | ①・②層 |           | 口縁部:縦位短沈線文、渦巻隆沈線文、円形刺突文、押圧縄文 LR 縦位施文。頸部:横位隆沈線文。胴部:曲流渦巻沈線文、円形刺突文、縄文 LR 縦位施文。 | _ |   | 219-8  |
|   | 2   | A-60978 | ①・②層 | 深鉢・口縁部~胴部 | 口縁部:袋状把手、渦巻・波状・横位・縦位隆線文、縄文 RL 横位・縦位施文。胴部:縦位隆線文。口縁部~胴部:縄文 RL 縦位施文。           | _ |   | 219- 4 |
|   | 3   | A-60979 | 堆積土  | 口縁把手      | 袋状把手、渦巻沈線文、円形刺突文、縄文 RL 縦位施文。  | - |   | 221-6  |
|   | 4   | A-60980 | ①・②層 | 深鉢・口縁部~胴部 | 口縁部: 袋状把手、波状・横位隆沈線文。頸部: 横位沈線文。胴部: 渦巻・横位・縦位沈線文。口縁部〜胴部: 縄文 LR 斜位施文。           | _ |   | 219- 5 |

10cm

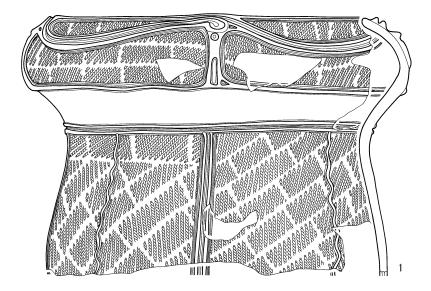
(S=1/3)

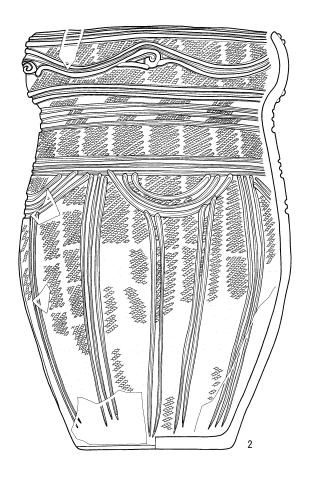


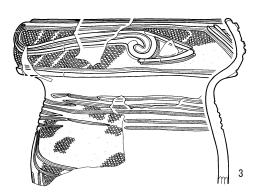


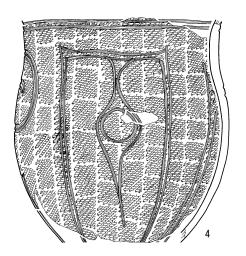
| No. | 登録番号    | 層位   | 器形・部位     | 文様等   | 備 | 考 | 写真図版   |
|-----|---------|------|-----------|---|---|---|--------|
| 1   | A-60981 | ①・②層 |           | 口縁部:渦巻・横位隆沈線文。頸部:無文+横位沈線文。胴部:渦巻?・弧状・横位・縦位沈線文。口縁部・胴部:縄文 LR 縦位施文。 | _ |   | 218-8  |
| 2   | A-60982 | ①・②層 | 深鉢・口縁部~胴部 | 口縁部:渦巻突起、渦巻隆沈線文、縄文 LR 斜位施文。頸部:無文+横位沈線文。胴部:曲流渦巻沈線文、縄文 LR 縦位施文。   | _ |   | -      |
| 3   | A-60983 | 堆積土  |           | 口縁下部:区画隆沈線文、円形刺突文。頸部:無文+横位沈線文。胴部:曲流渦巻沈線文、縄文<br>RLR 斜位施文。        | _ |   | 218-15 |

第454図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(41)





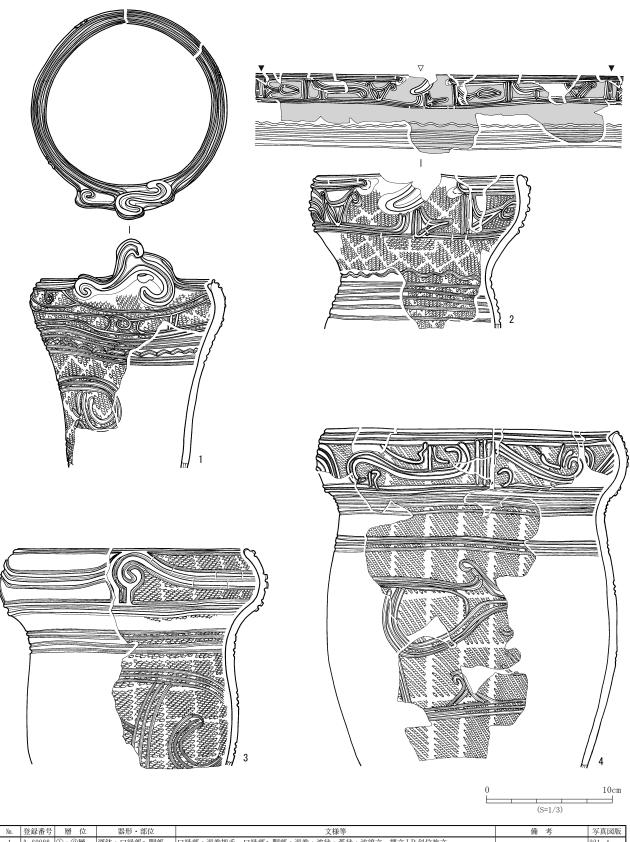




| 0 |    |       |   | 100 |
|---|----|-------|---|-----|
|   | (; | S=1/3 | ) |     |

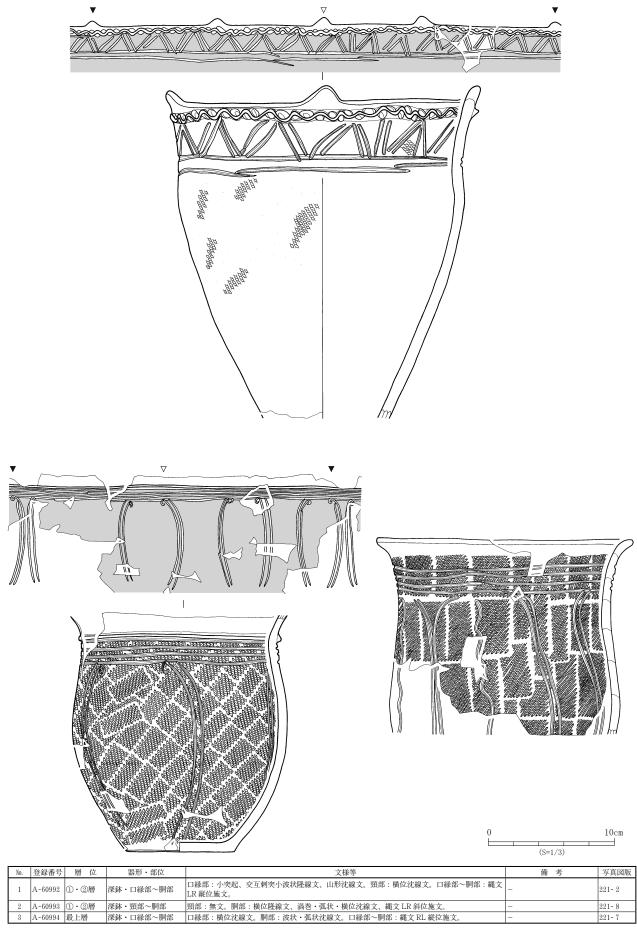
| No. | 登録番号    | 層位   | 器形・部位 | 文様等  | 備 | 考 | 写真図版   |
|-----|---------|------|-------|--|---|---|--------|
| 1   | A-60984 | ①・②層 |       | 口縁部:渦巻隆沈線文、短沈線文、刺突文、縄文 LR 横位施文。頸部:無文。胴部:波状・横位隆線文、縦位隆沈線文、縄文 LR 横位・斜位施文。 | _ |   | 219-9  |
| 2   | A-60985 | ①・②層 |       | 口縁部: 有棘渦巻・横位隆線文。頭部: 横位沈線文。胴部: 狐状・横位・縦位沈線文。口縁部〜胴部: 縄文 RL 縦位施文。底部: ナデ。   | _ |   | 219-17 |
| 3   | A-60986 | ①・②層 |       | 口縁部: 有棘渦巻・波状・横位隆沈線文。頸部: 無文。胴部: 弧状・横位沈線文。口縁部・胴部:<br>縄文 LR 斜位施文。         | - |   | 219-10 |
| 4   | A-60987 | ①・②層 | 深鉢・胴部 | 有棘渦巻・横位・縦位沈線文、縄文 RL 縦位施文。  | - |   | 219-11 |

第455図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(42)

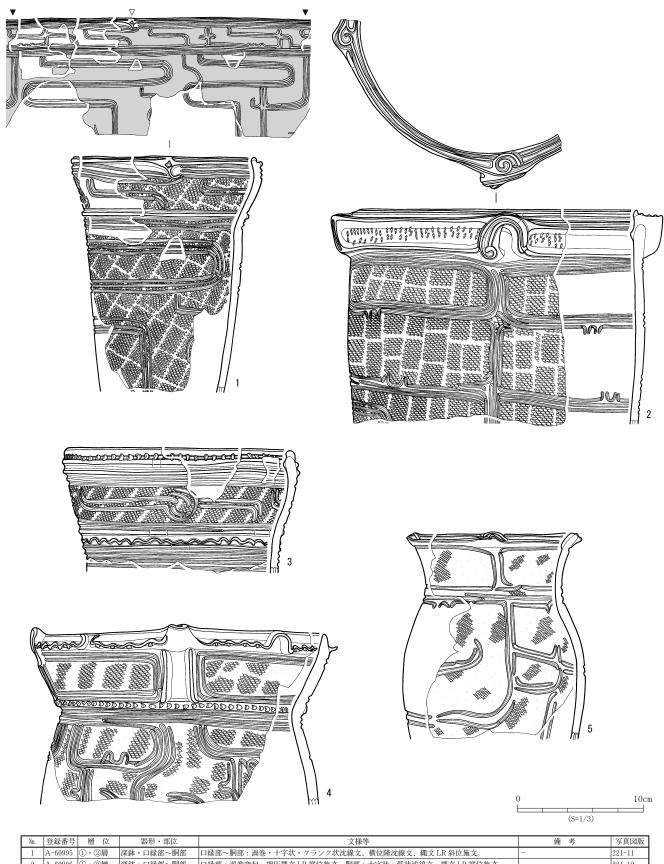


| No. | 登録番号    | 層位   | 器形・部位     | 文様等   | 備考    | 写真図版  |
|-----|---------|------|-----------|---|-------|-------|
| 1   | A-60988 | ①・②層 | 深鉢・口縁部~胴部 | 口縁部:渦巻把手。口縁部~胴部:渦巻・波状・弧状・沈線文、縄文 LR 斜位施文。              | -     | 221-4 |
| 2   | A-60989 | ①・②層 | 深鉢・口縁部~胴部 | 口緣部: 渦巻·三叉状隆沈線文。胴部: 波状·横位沈線文。口縁部~胴部: 縄文 RL 縦位·斜位施文。   | 突起剥離。 | 221-3 |
| 3   | A-60990 | ①・②層 |           | 口縁部:渦巻・弧状隆沈線文。頸部:無文。胴部:渦巻・横位沈線文。口縁部・胴部:縄文 RL<br>縦位施文。 | _     | -     |
| 4   | A-60991 | 堆積土  | 深鉢・口縁部~胴部 | 口縁部: 渦巻・弧状・横位隆線文。頸部: 横位沈線文。胴部: 渦巻・横位沈線文。縄文 LR 縦位施文。   | _     | -     |

第456図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(43)

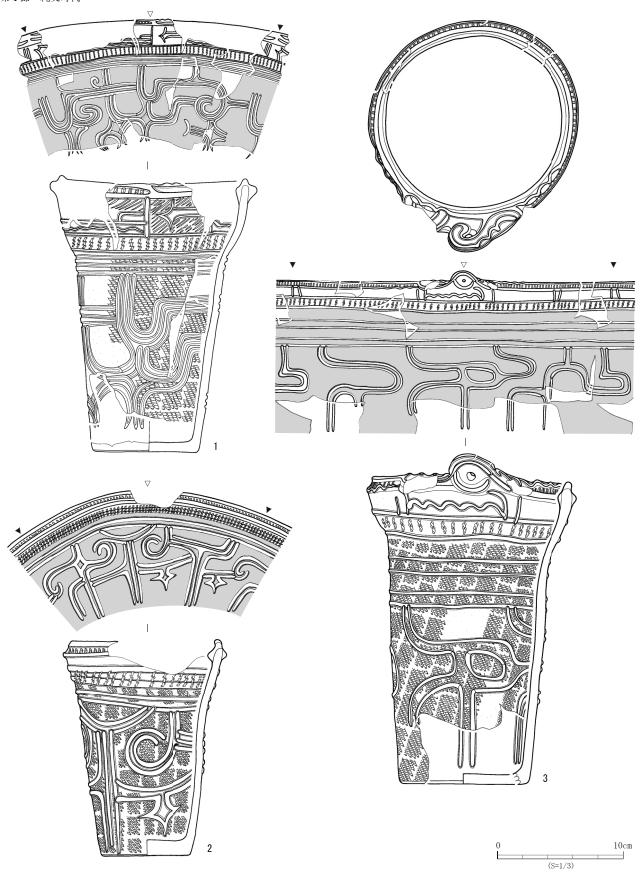


第457図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(44)

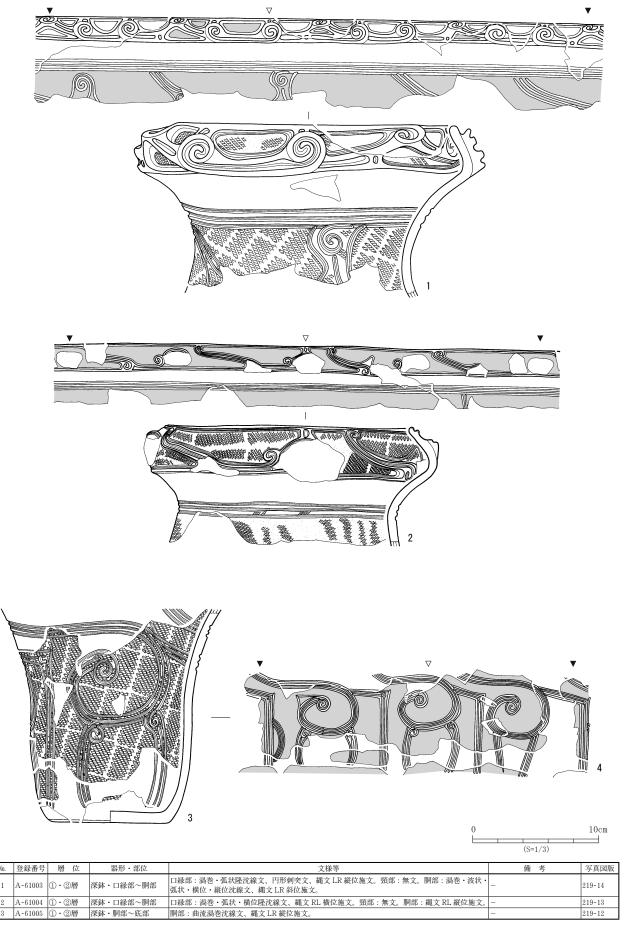


口縁部~胴部:渦巻・十字状・クランク状沈線文、横位隆沈線文、縄文 LR 斜位施文。 口縁部:渦巻突起、押圧縄文 LR 縦位施文。胴部:十字状・弧状沈線文、縄文 LR 縦位施文 深鉢・口縁部~胴部 221-12 A-60996 ①・②層 口縁部:渦巻・クランク状沈線文、連続刺突文、横位隆沈線文、縄文 LR 斜位施文。胴部:波状隆線文、 ①・②層 深鉢・口縁部~胴部 221-9 横位沈線文。 口緣部: 刺突小波状隆線文、連続刺突文、胴部: 曲線状光線文。口緣部~胴部: 縄文 LR 縦位施文。口縁部: 小突起。口縁部~胴部: 弧状・横位・縦位沈線文、縄文 LR 縦位・斜位施文。 深鉢・口縁部~胴部 221-10 A-60998 ①・②層 A-60999 ①・②層 深鉢・口縁部~胴部 221-13

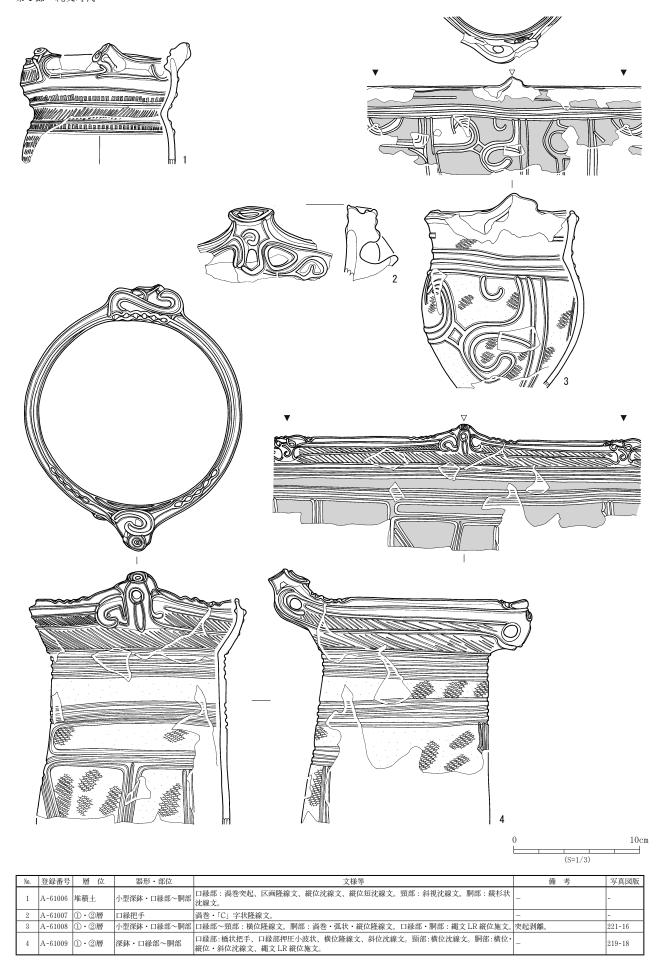
第458図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(45)



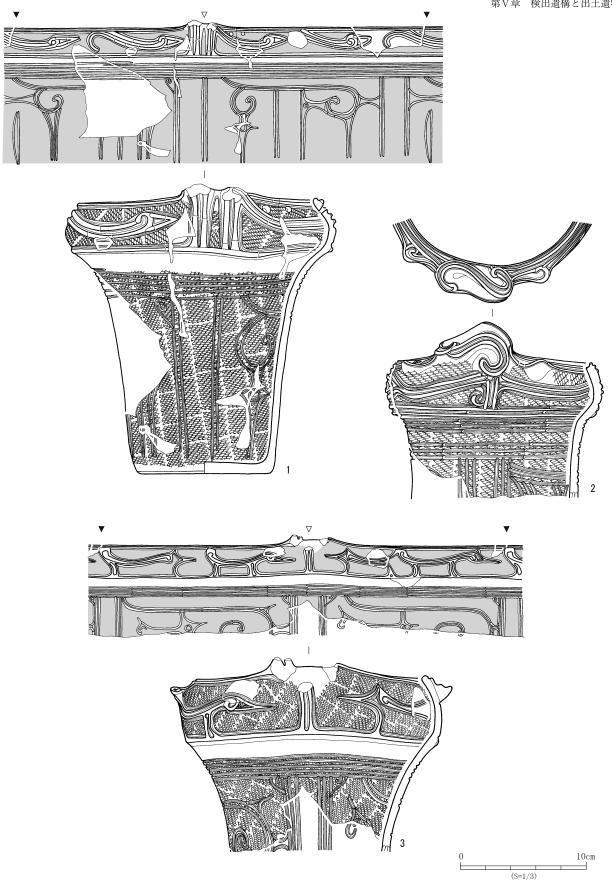
| No. | 登録番号    | 層位   | 器形・部位 | 文様等  | 備 | 考 | 写真図版   |
|-----|---------|------|-------|--|---|---|--------|
| 1   | A-61000 | 堆積土  |       | 口縁部:連続刺突文。剣先状・波状隆線文、斜位連続沈線文、押圧縄文 LR 縦位施文。頸部:横位沈線文。胴部:クランク状・弧状沈線文。頸部~胴部:縄文 LR 縦位施文。底部:ナデ。 | _ |   | 221-14 |
| 2   | A-61001 | ①・②層 |       | 口縁部:連続刺突文、横位隆線文、横位沈線文、押圧縄文 LR 縦位施文。胴部:渦巻・剣先状・弧状・縦位隆線文、縄文 LR 縦位施文。底部:ナデ。                  | _ |   | -      |
| 3   | A-61002 | 堆積土  |       | 口綠部:渦巻把手、連続刺突文、弧状·波状·縦位隆線文、押圧縄文 LR 縦位施文。頭部:横位隆線文。胴部:弧状・縦位・横位隆線文。頭部~胴部:縄文 LR 斜位施文。        | _ |   | 221-15 |



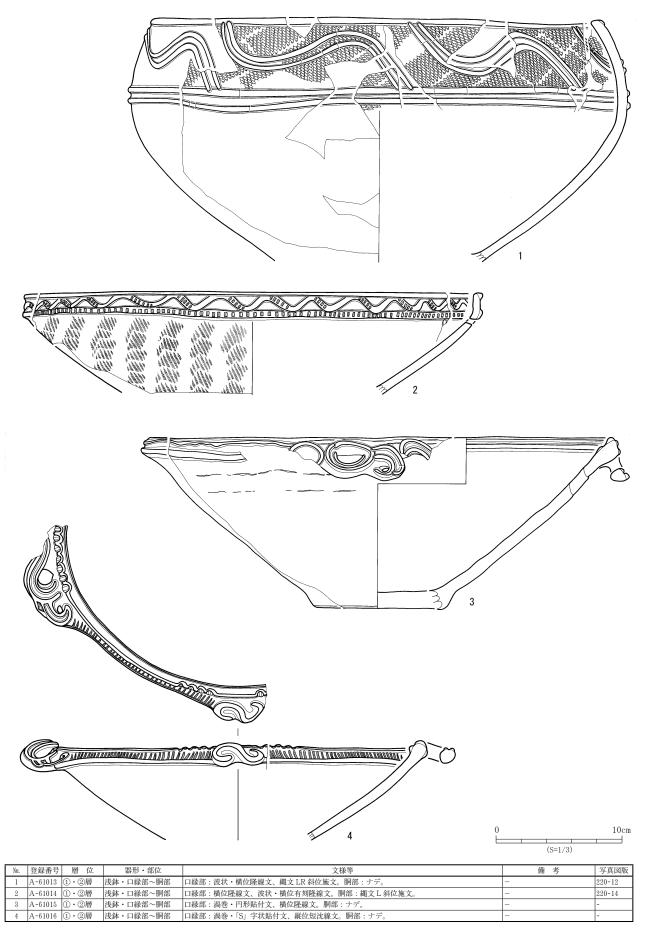
第460図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(47)



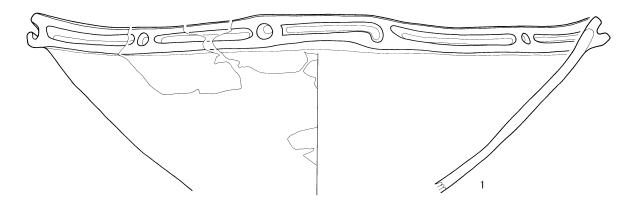
第461図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(48)

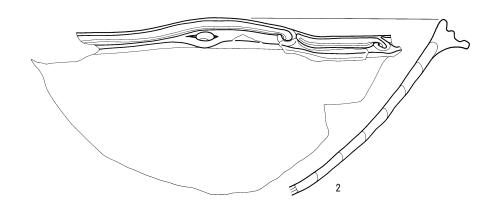


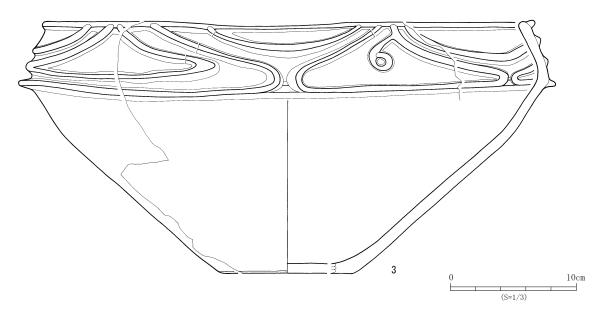
| No. | 登録番号    | 層位   | 器形・部位     | 文様等   | 備 | 考 | 写真図版   |
|-----|---------|------|-----------|---|---|---|--------|
| 1   | A-61010 | ①・②層 |           | 口縁部: 有棘渦巻・弧状隆沈線文、縄文 RL 横位・斜位施文。頸部: 無文。胴部: 有棘渦巻・横位・縦位沈線文、縄文 RL 縦位施文。 | - |   | 219-21 |
| 2   | A-61011 | ①・②層 | 深鉢・口縁部~胴部 | 口縁部:「S」字状把手、渦巻隆沈線文。胴部:弧状・横位・縦位沈線文。口縁~胴部:縄文 LR<br>縦位施文。              | _ |   | 219-19 |
| 3   | A-61012 | ①・②層 |           | 口縁部: 渦巻突起、有棘渦巻隆沈線文。預部: 無文。胴部: 有棘渦巻・横位・縦位沈線文。口縁部・胴部: 縄文 LR 斜位施文。     | _ |   | 219-20 |



第463図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(50)

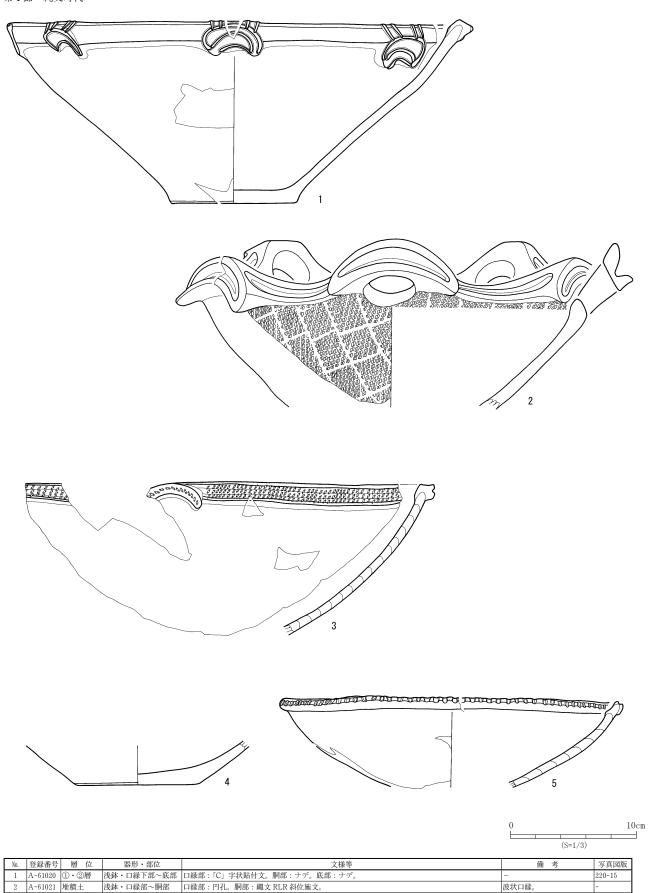






| No. | 登録番号    | 層位   | 器形・部位     | 文様等                     | 備考 | 写真図版   |
|-----|---------|------|-----------|-------------------------|----|--------|
| 1   | A-61017 | 最上層  | 浅鉢・口縁部~胴部 | 口縁部:横位沈線文、円形刺突文。胴部:ナデ。  | -  | 220-13 |
| 2   | A-61018 | ①・②層 | 浅鉢・口縁部~胴部 | 口縁部:渦巻隆沈線文。胴部:ナデ。       | -  | 220-11 |
| 3   | A-61019 | ①・②層 | 浅鉢・口縁部~胴部 | 口縁部:渦巻・三角形・弧状隆線文。胴部:ナデ。 | _  | -      |

第464図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(51)



第465図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(52)

口縁部:「S」字?貼付文上に押圧縄文 LR、押圧縄文 LR 位斜位施文。胴部:ナデ

A-61022 ①・②層 A-61023 ①・②層

A-61024 堆積土

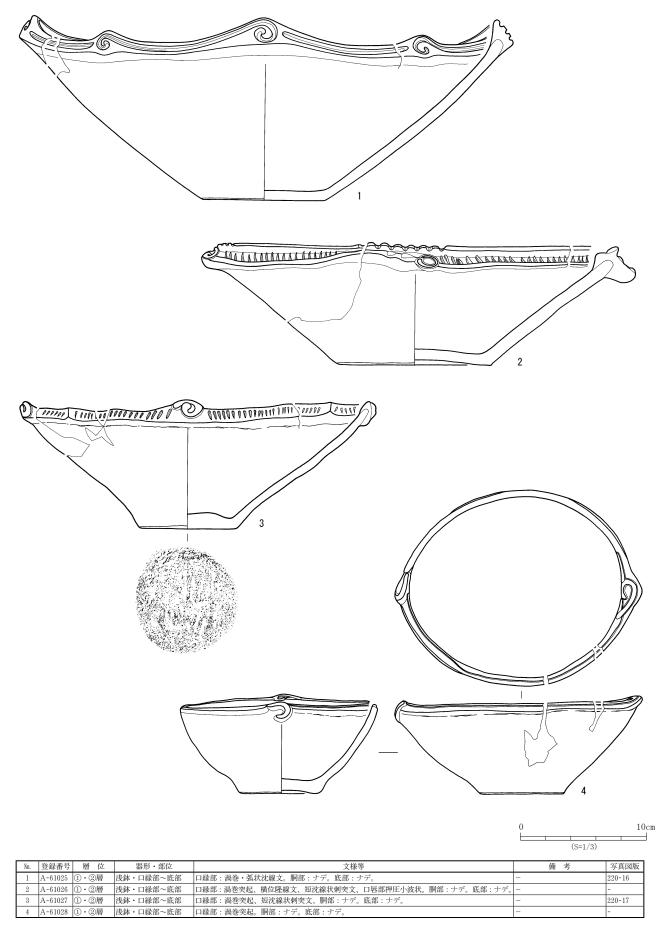
浅鉢・口縁部~胴部

浅鉢・口縁部~胴部

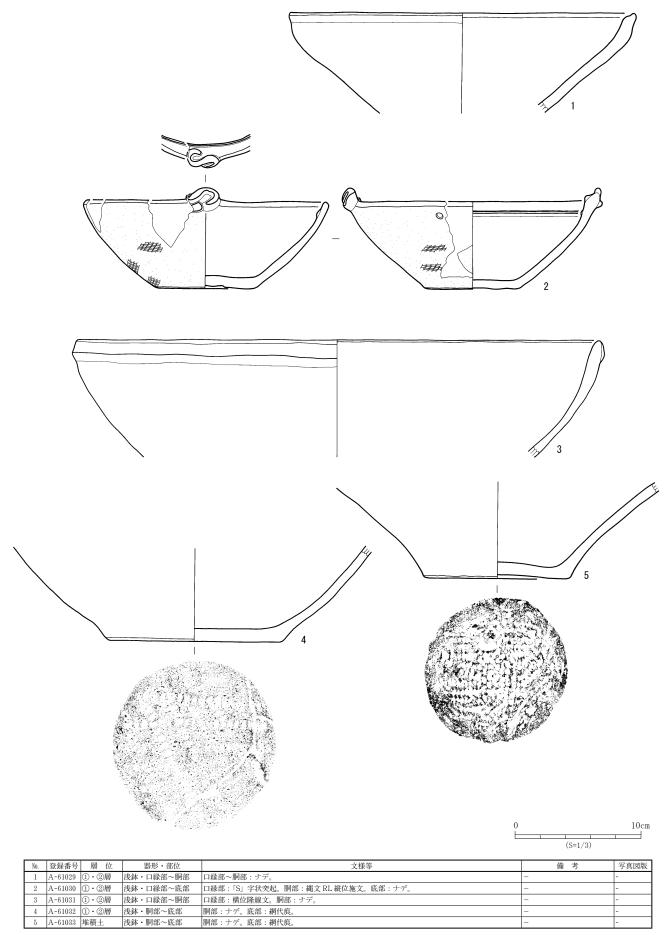
胴部:ナデ

口縁部:有刻隆線文。胴部:ナデ。

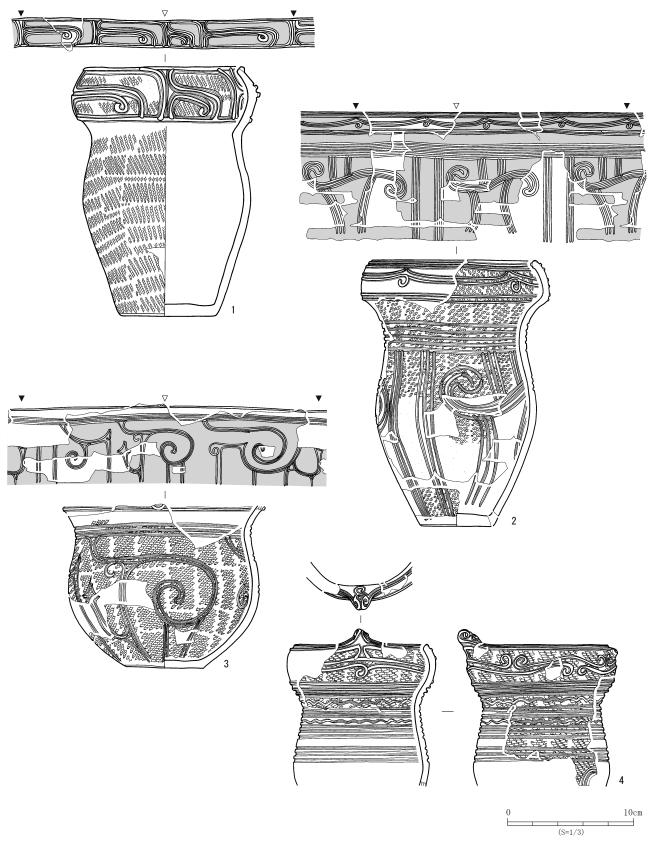
浅鉢・底部



第466図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(53)

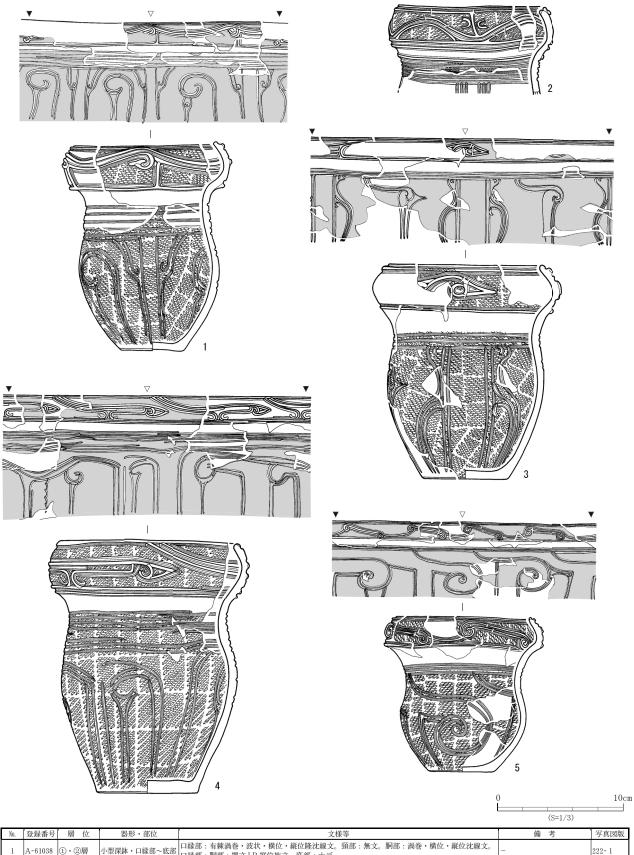


第467図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(54)

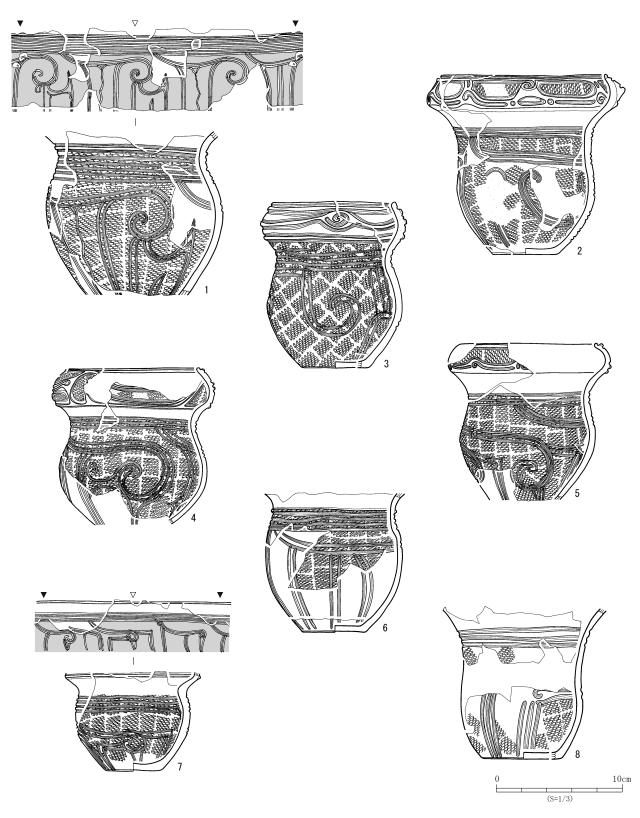


| No. | 登録番号    | 層位   | 器形・部位        | 文様等   | 備   | 考 | 写真図版   |
|-----|---------|------|--------------|---|-----|---|--------|
| 1   | A-61034 | ①・②層 | 小型深鉢・口縁部〜底部  | 口縁部:渦巻・クランク状・横位隆沈線文。口縁部~胴部:縄文 RL 横位施文。                                    | -   |   | 218-11 |
| 2   | A-61035 | ①・②層 |              | 口縁部渦巻・弧状・横位隆線文。頸部:横位沈線文。胴部:渦巻・弧状・縦位沈線文。口縁部~胴部:縄文 RLR 横位施文。頸部~胴部:RLR 縦位施文。 | _   |   | 218-12 |
| 3   | A-61036 | 堆積土  | 小型深鉢・口縁下部~底部 | 口縁部:区画隆線文の一部。頸部:無文。胴部:渦巻・剣先状・横位・縦位沈線文、縄文 RL 縦位施文。                         | -   |   | 221-18 |
| 4   | A-61037 | ①・②層 | 小型深鉢・口縁部~胴部  | 口縁部:小突起、渦巻・横位隆沈線文。胴部:波状・横位沈線文、縄文 LR 縦位施文。                                 | í – |   | 221-17 |

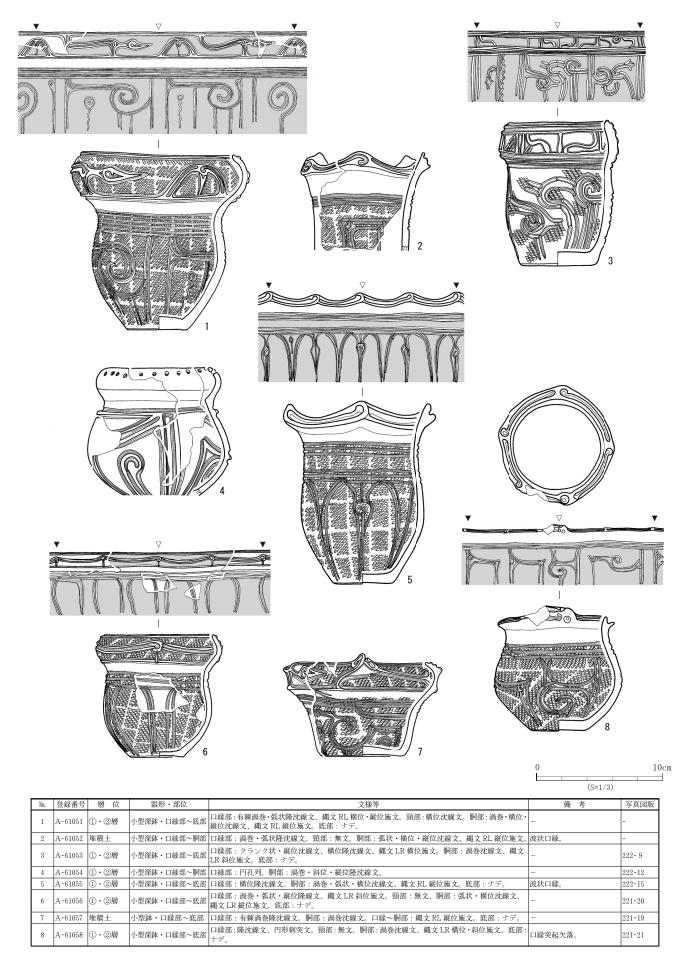
第468図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(55)



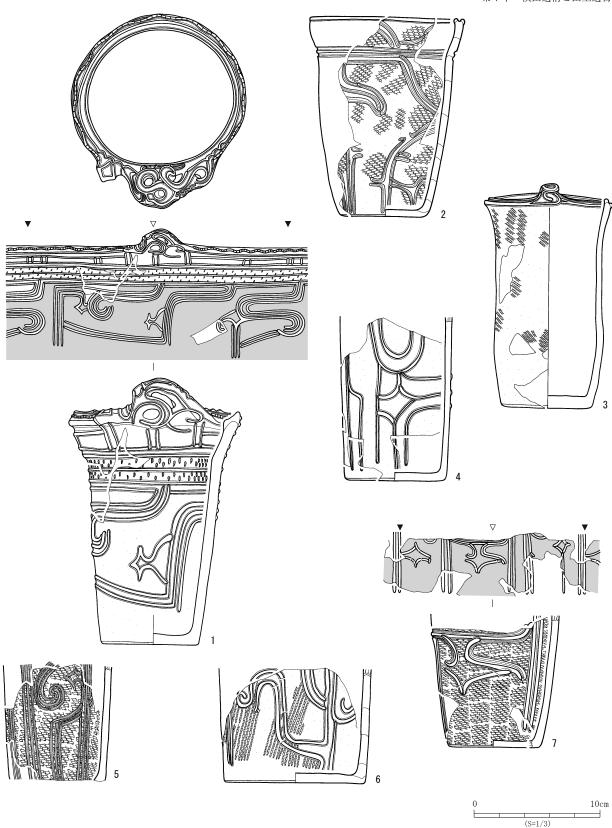
| No. | 登録番号    | 層位   | 器形・部位       | 文様等   | 備考 | 写真図版   |
|-----|---------|------|-------------|---|----|--------|
| 1   | A-61038 | ①・②層 | 小型深鉢・口縁部〜底部 | 口縁部:有棘渦巻・波状・横位・縦位隆沈線文。頸部:無文。胴部:渦巻・横位・縦位沈線文。口縁部・胴部:縄文 LR 縦位施文。底部:ナデ。 | _  | 222- 1 |
| 2   | A-61039 |      |             | 口縁部:波状・弧状・横位隆沈線文。頭部:横位沈線文。胴部:縦位沈線文。口縁部~胴部:縄<br>文 RL 縦位施文。           |    | 221-22 |
| 3   | A-61040 | ①・②層 | 小型深鉢・口縁部〜底部 | 口縁部:有棘渦巻隆沈線文。頸部:無文。胴部:渦巻・弧状・横位・縦位沈線文。口縁部・胴部:縄文 LR 縦位施文。底部:ナデ。       | _  | 222- 2 |
| 4   | A-61041 | ①・②層 | 小型深鉢・口縁部〜底部 | 口縁部:有棘渦巻・弧状隆沈線文。頸部:無文。胴部:渦巻・横位・縦位沈線文。口縁部・胴部:縄文 RL 縦位施文。底部:ナデ。       | _  | 222- 3 |
| 5   | A-61042 | ①・②層 | 小型深鉢・口縁部〜底部 | 口縁部:渦巻・弧状隆沈線文、縄文 RL 横位施文。頸部:無文。胴部:渦巻・弧状沈線文、胴部:縄文 RL 縦位施文。底部:ナデ。     | _  | 222- 6 |



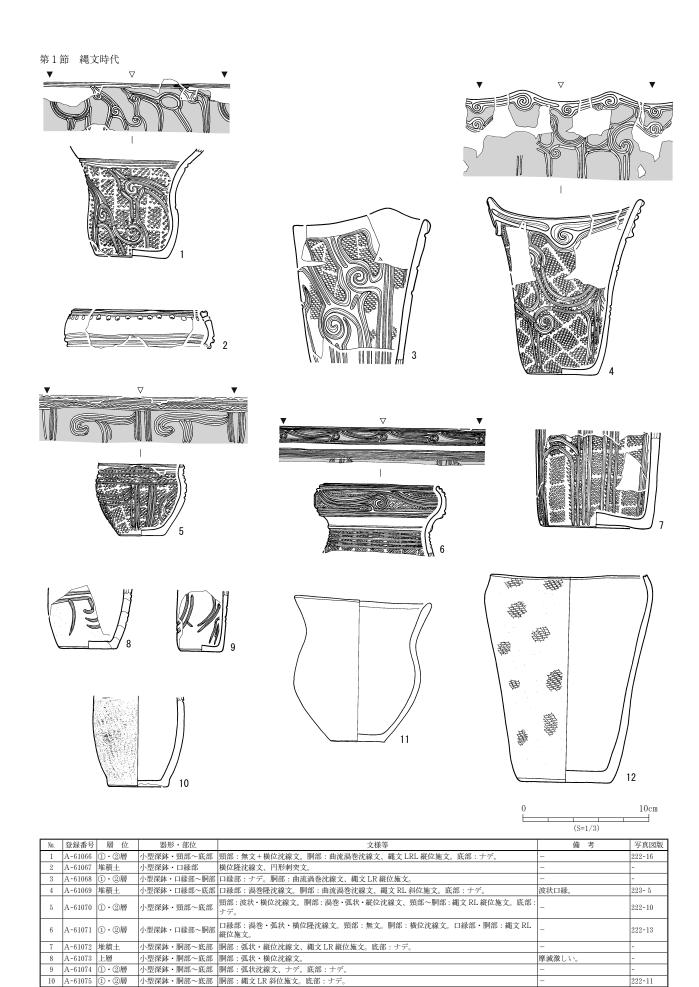
| No. | 登録番号    | 層位   | 器形・部位       | 文様等   | 備考 | 写真図版   |
|-----|---------|------|-------------|---|----|--------|
| 1   | A-61043 | ①・②層 | 小型深鉢・頸部~胴部  | 頸部:横位沈線文。胴部:有棘渦巻・波状沈線文。頸部~胴部:縄文 LR 縦位施文。                            | =  | 222-7  |
| 2   | A-61044 | ①・②層 | 小型深鉢・口縁部〜底部 | 口縁部:渦巻突起、渦巻隆沈線区画文、円形刺突文、縄文 LR 横位施文。頸部:無文。胴部:渦巻沈線文、縄文 LR 縦位施文。底部:ナデ。 | _  | 222- 4 |
| 3   | A-61045 | ①・②層 | 小型深鉢・口縁部〜底部 | 口縁部:渦巻・弧状・横位隆沈線文。頸部:横位沈線文。胴部:渦巻沈線文。頸部~胴部:縄文<br>LR 斜位施文。底部:ナデ。       | _  | 222- 5 |
| 4   | A-61046 | ①・②層 | 小型深鉢・口縁部~胴部 | 口縁部:隆沈線区画文、縄文 RL 縦位施文。頸部:無文。胴部:有棘渦巻沈線文、縄文 RL 縦位施文。                  | -  | -      |
| 5   | A-61047 | ①・②層 | 小型深鉢・口縁部~胴部 | 口縁部:渦巻隆沈線区画文、縄文 LR 横位施文。頸部:無文。胴部:渦巻沈線文、縄文 RL 縦位施文。                  | -  | 222-8  |
| 6   | A-61048 | ①・②層 | 小型深鉢・頸部〜底部  | 頸部:横位沈線文。胴部:弧状・縦位沈線文。頸部~胴部:縄文 RL 縦位施文。底部:ナデ。                        | -  | -      |
| 7   | A-61049 | ①・②層 | 小型深鉢・頸部〜底部  | 頸部:無文。胴部:渦巻・横位・縦位沈線文、縄文 LR 縦位施文。底部:ナデ。                              | -  | 222-14 |
| 8   | A-61050 | 最上層  | 小型深鉢・頸部~胴部  | 頸部:無文。胴部:渦巻・横位・縦位沈線文、縄文 RL 縦位施文。底部:ナデ。                              | -  | -      |



第471図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(58)



| No. | 登録番号    | 層位   | 器形・部位       | 文様等   | 備考     | 写真図版   |
|-----|---------|------|-------------|---|--------|--------|
| 1   | A-61059 |      |             | 口縁部: 渦巻把手、有刻波状隆線文、渦巻・横位・縦位隆線文。頸部: 横位隆線文、短沈線状刺突文。胴部: 渦巻・剣先状・クランク状隆線文。底部: ナデ。 |        | 223- 1 |
| 2   | A-61060 | ①・②層 | 小型深鉢・口縁部〜底部 | 口縁部: 弧状沈線文。胴部: 三叉状・弧状・横位沈線文。口縁部〜胴部: 縄文 LR 縦位施文。底部:<br>ナデ。                   | _      | -      |
| 3   | A-61061 | ①・②層 | 小型深鉢・口縁部〜底部 | 口縁部:渦巻突起、横位隆沈線文。胴部:縄文 LR 縦位施文。底部:ナデ。  | _      | 223-2  |
| 4   | A-61062 | 堆積土  | 小型深鉢・胴部〜底部  | 胴部:剣先状・曲線状・縦位隆線文。底部:ナデ。   | 摩滅激しい。 | -      |
| 5   | A-61063 | ①・②層 | 小型深鉢・胴部     | 胴部: 渦巻・剣先状・縦位沈線文、縄文 LR 縦位施文。  | -      | -      |
| 6   | A-61064 | ①・②層 | 小型深鉢・胴部〜底部  | 胴部:渦巻・クランク状・弧状隆線文、撚糸R?縦位施文。   | _      | -      |
| 7   | A-61065 | ①・②層 | 小型深鉢・胴部     | 胴部:剣先状・弧状・縦位隆線文、縄文 LR 縦位施文。   | _      | -      |



第473図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(60)

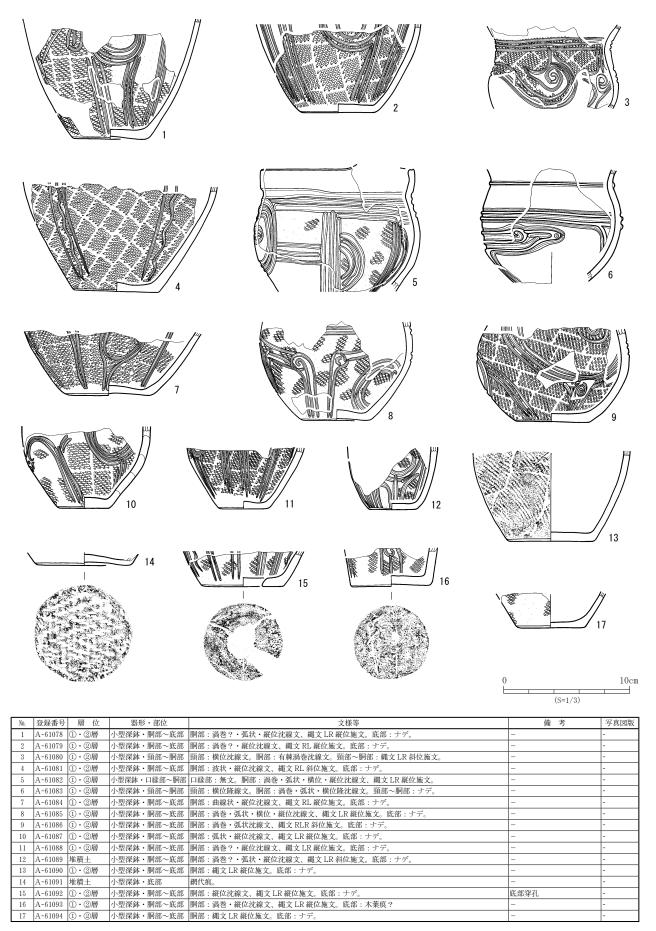
223-4

A-61076 堆積土

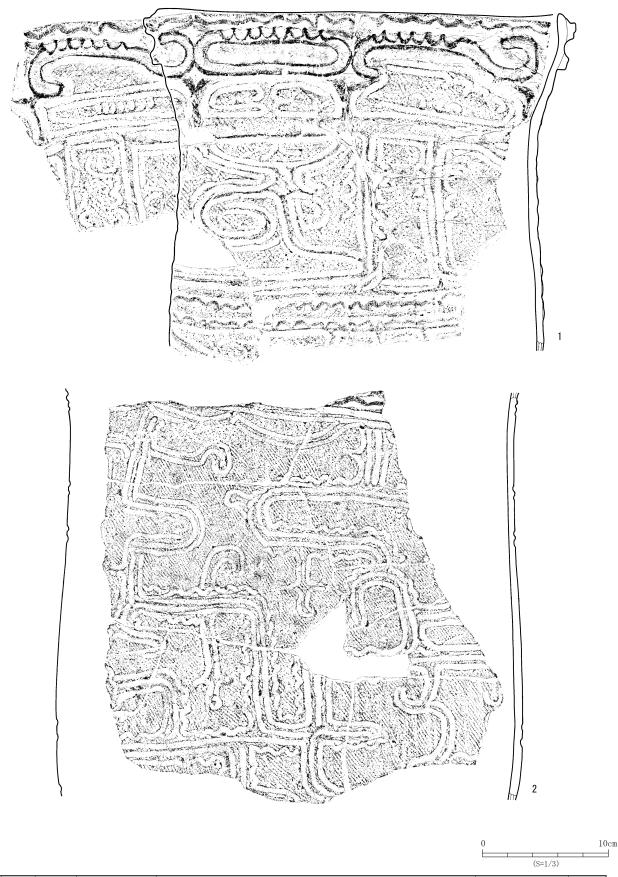
A-61077 ①・②層

小型深鉢・口縁部〜底部 口縁部〜胴部:ナデ。

小型深鉢・口縁部~底部 口縁部~胴部:縄文 LR 縦位施文。底部:ナデ。



第474図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(61)



| No. | 登録番号    | 層位   | 器形・部位     | 文様等   | 備考    | 写真図版  |
|-----|---------|------|-----------|---|-------|-------|
| 1   | A-61095 | ①・②層 | 深鉢・口縁部~胴部 | 口鬆部:渦巻・小波状・楕円・「Y」字状隆線文。胴部:渦巻・剣先状・弧状隆沈線文、小波状隆線文。口縁部~胴部:縄文 LR 縦位施文。 | 2と同一。 | 220-1 |
| 2   | A-61096 | ①・②層 | 深鉢・胴部     | 小波状隆線文、渦巻・クランク状・弧状沈線文、縄文 LR 縦位施文。                                 | 1と同一。 | 220-2 |

第475図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(62)



第476図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(63)

弧状・横位・縦位沈線文、縄文 LR 縦位施文。

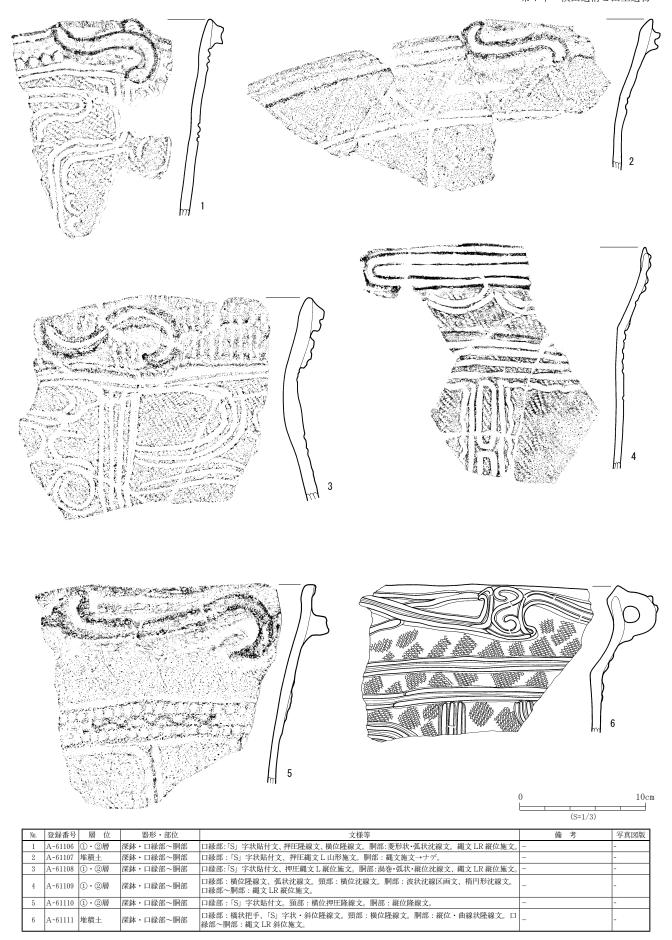
A-61100 ①・②層

深鉢・胴部

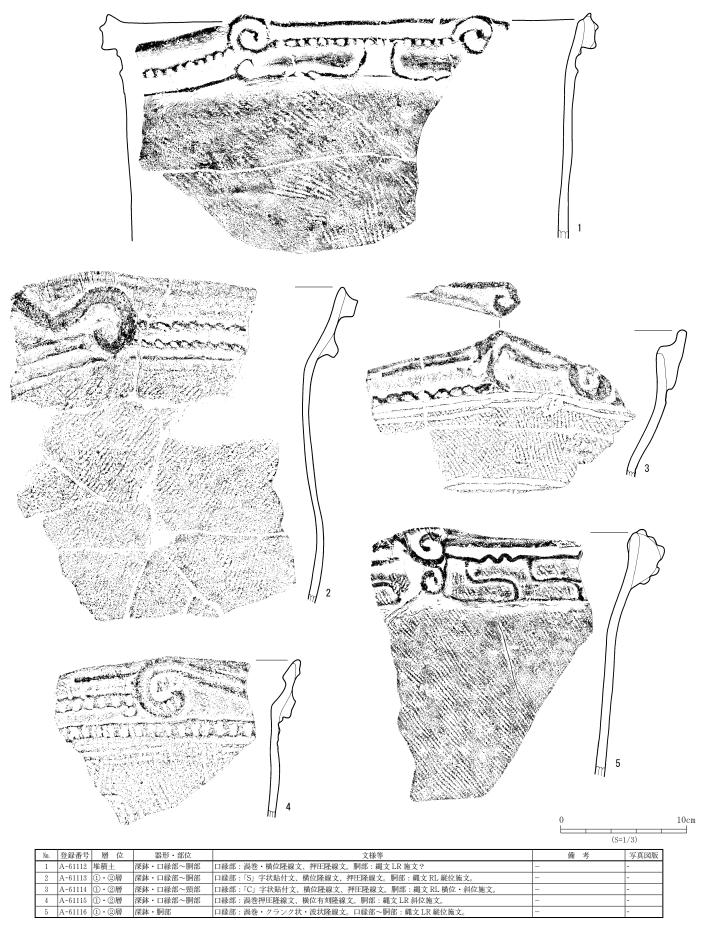
220-5



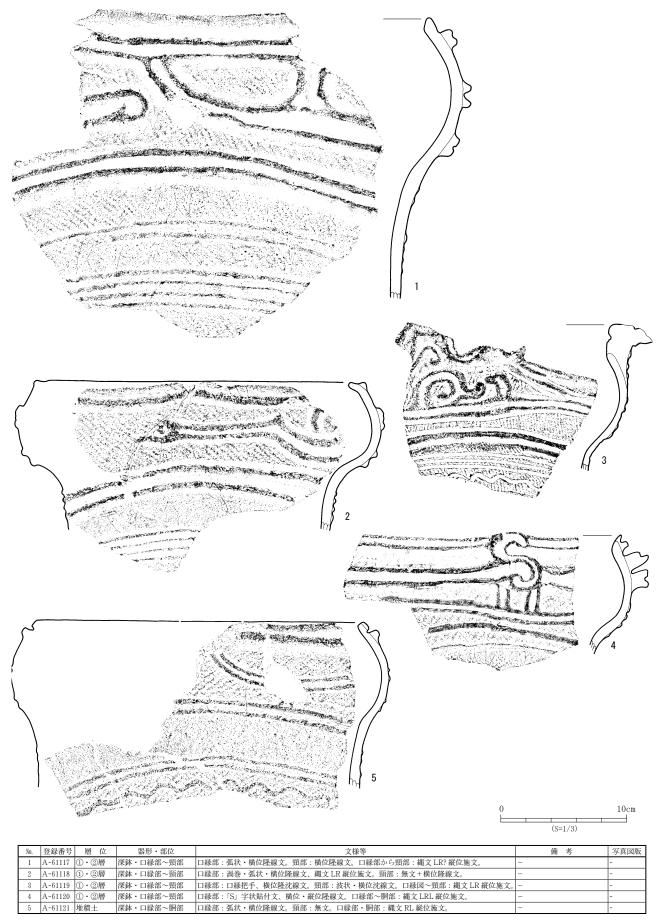
第477図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(64)



第478図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(65)



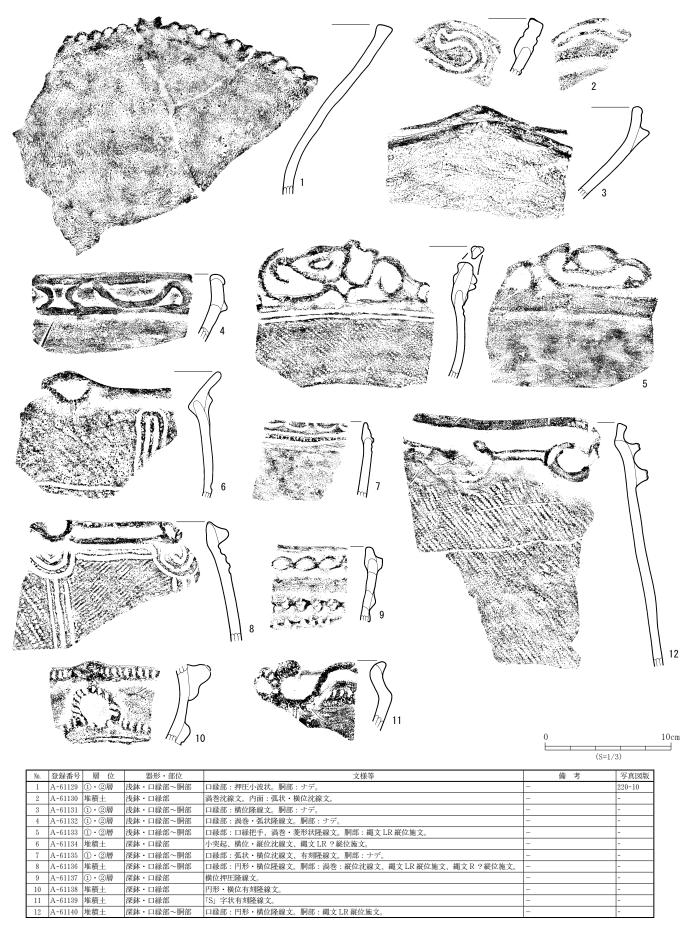
第479図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(66)



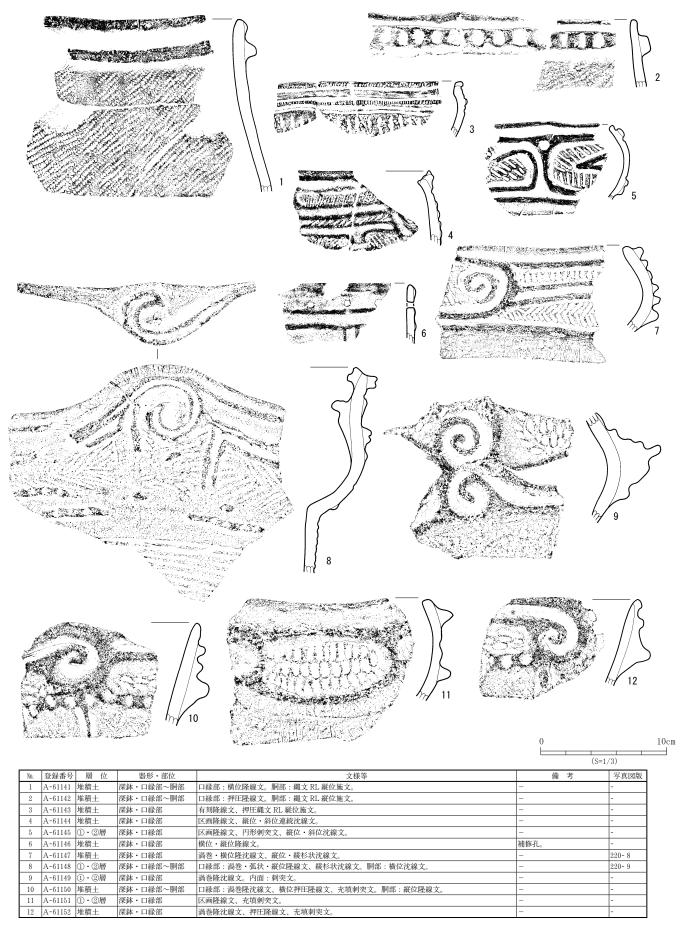
第480図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(67)



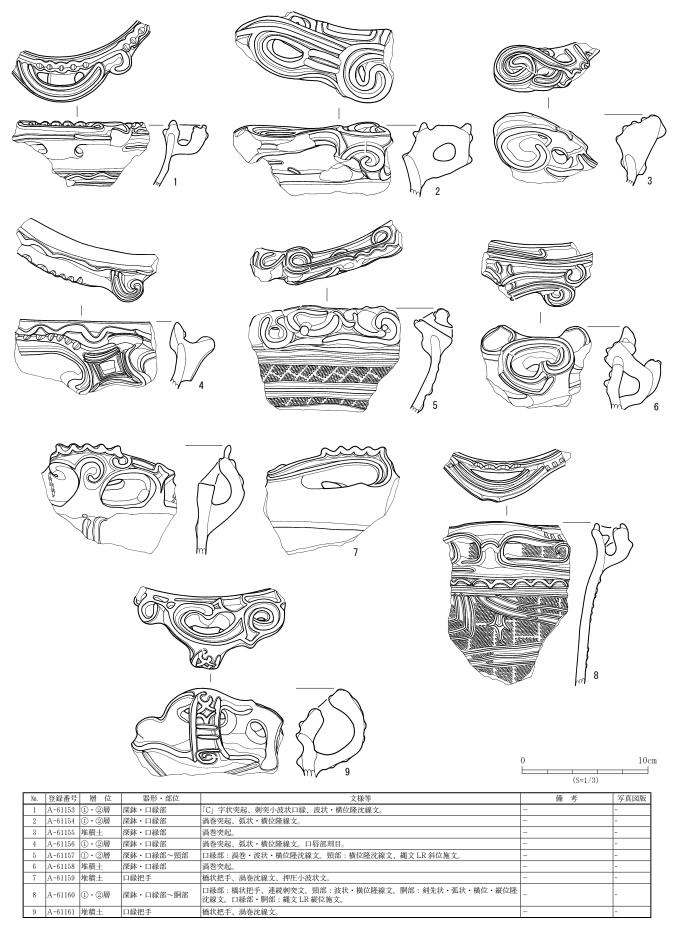
第481図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(68)



第482図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(69)

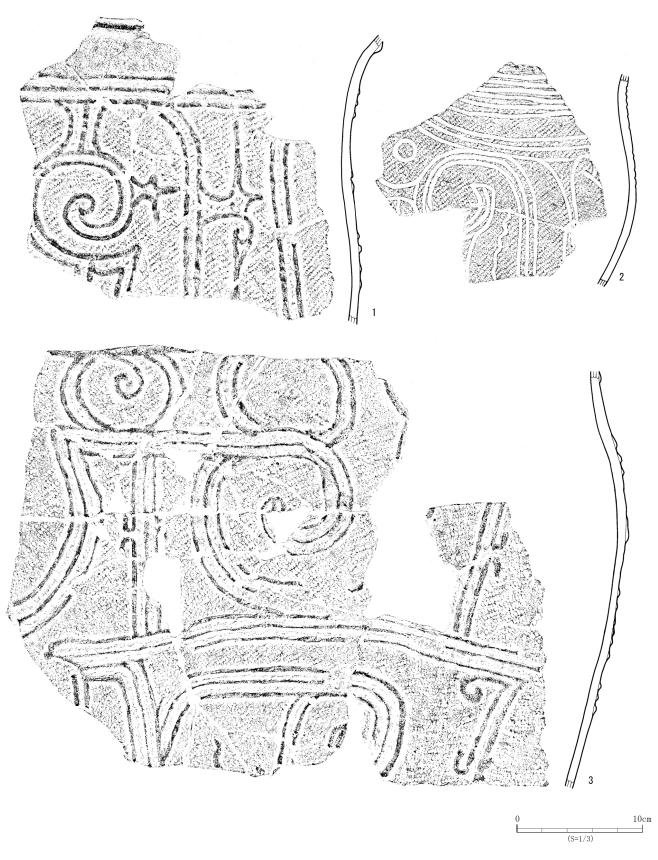


第483図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(70)



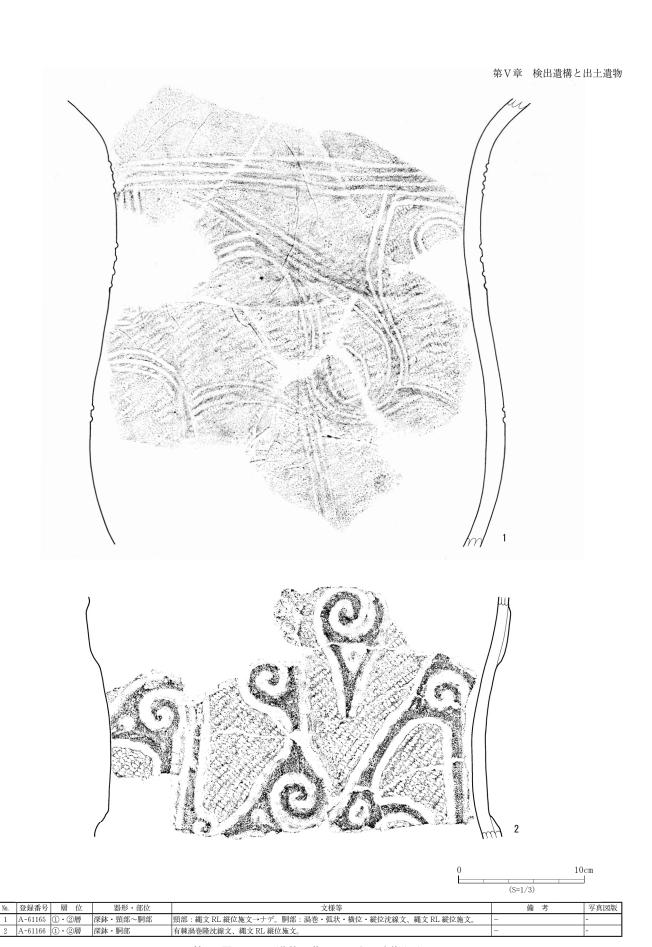
第484図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(71)

第1節 縄文時代

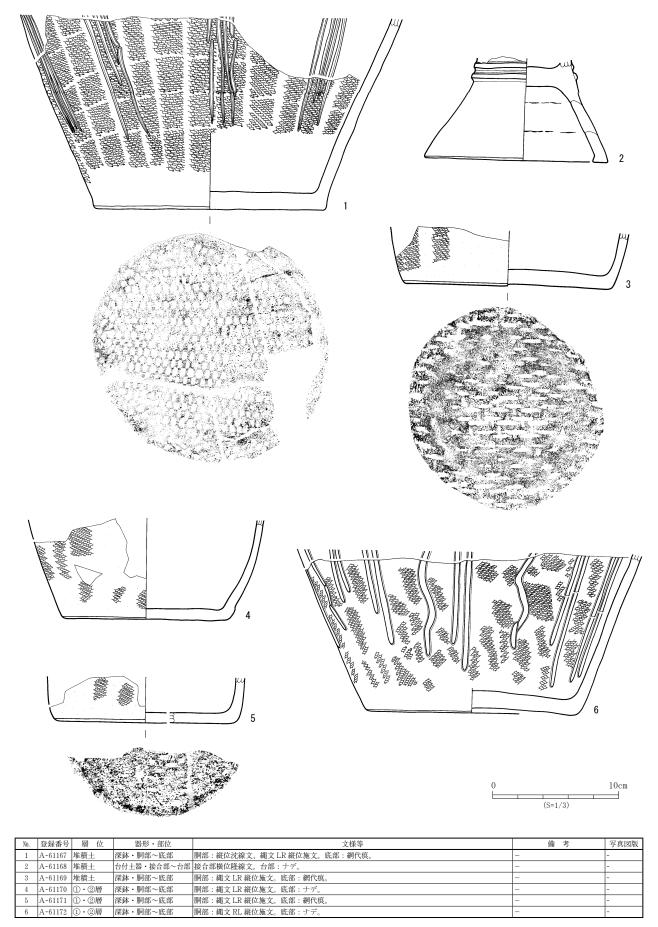


| No. | 登録番号       | 層位    | 器形・部位    | 文様等                                     | 備 | 考 | 写真図版 |
|-----|------------|-------|----------|---|---|---|------|
| 1   | A-61162 (1 | 1)・2層 | 深鉢・頸部~胴部 | 頸部:無文。胴部:渦巻・剣先状・弧状・横位・縦位隆線文、縄文 RL 縦位施文。 | _ |   | -    |
| 2   | A-61163 (1 | 1)・2層 | 深鉢・胴部    | 渦巻・波状・円形・弧状・横位沈線文、縄文 RL 縦位施文。           | - |   | -    |
| 3   | A-61164 (1 | 1)・2層 | 深鉢・胴部    | 渦巻・弧状・横位・縦位隆線文、縄文 RL 縦位施文。              | - |   | -    |

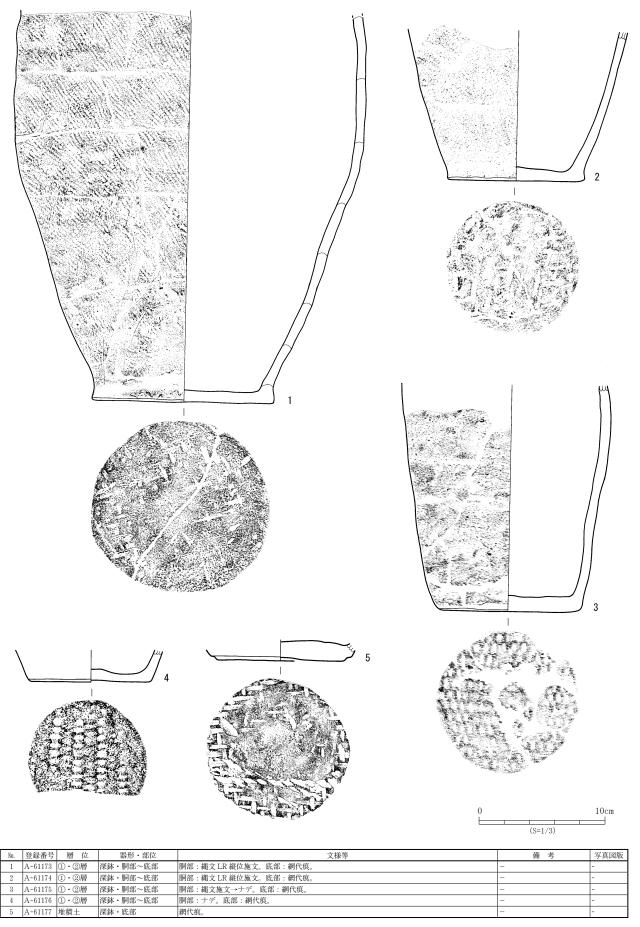
第485図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(72)



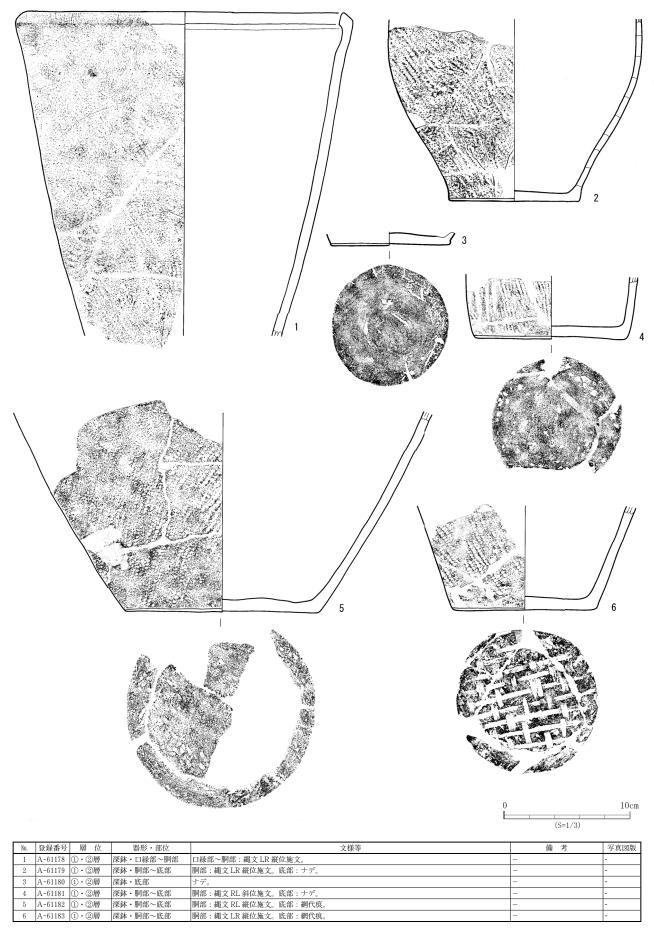
第486図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(73)



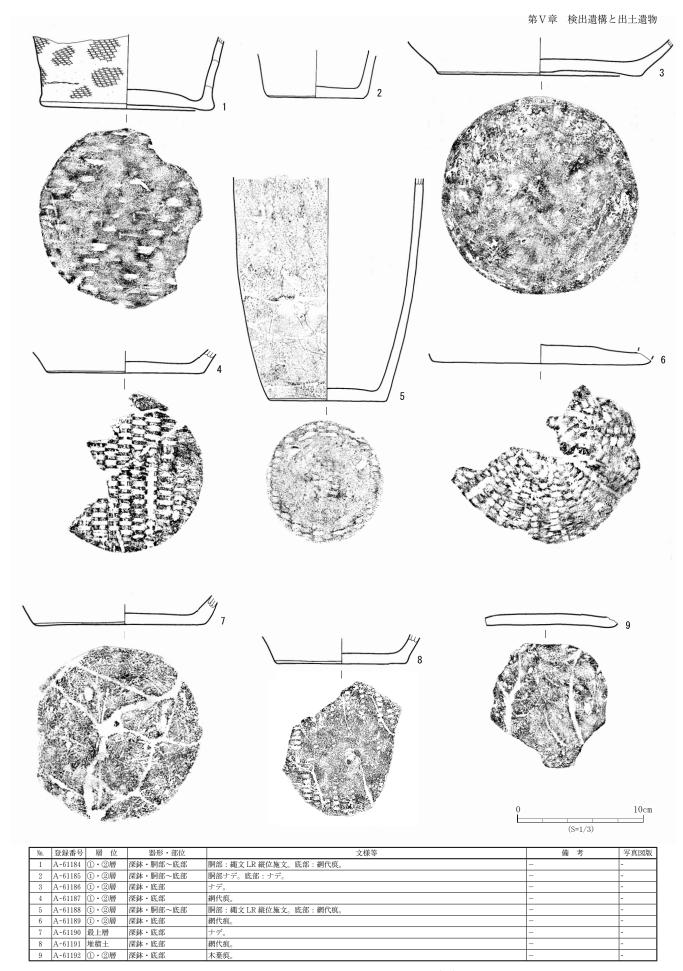
第487図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(74)



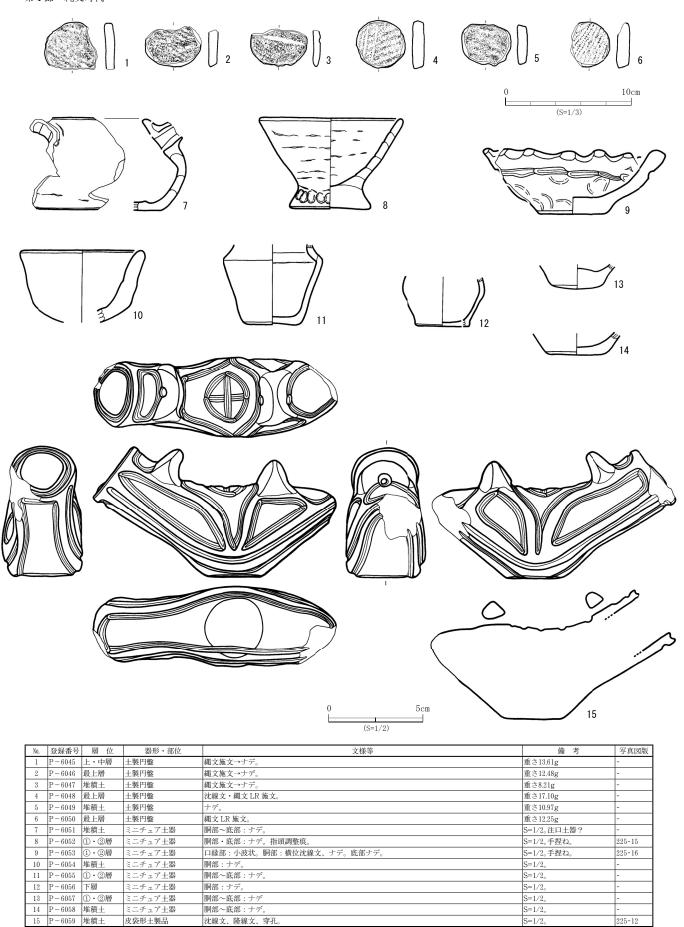
第488図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(75)



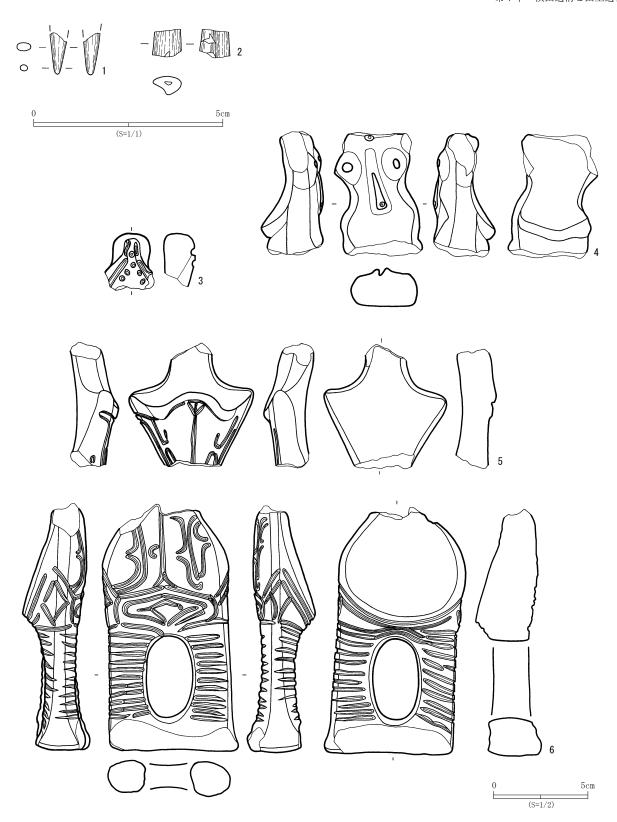
第489図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(76)



第490図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(77)

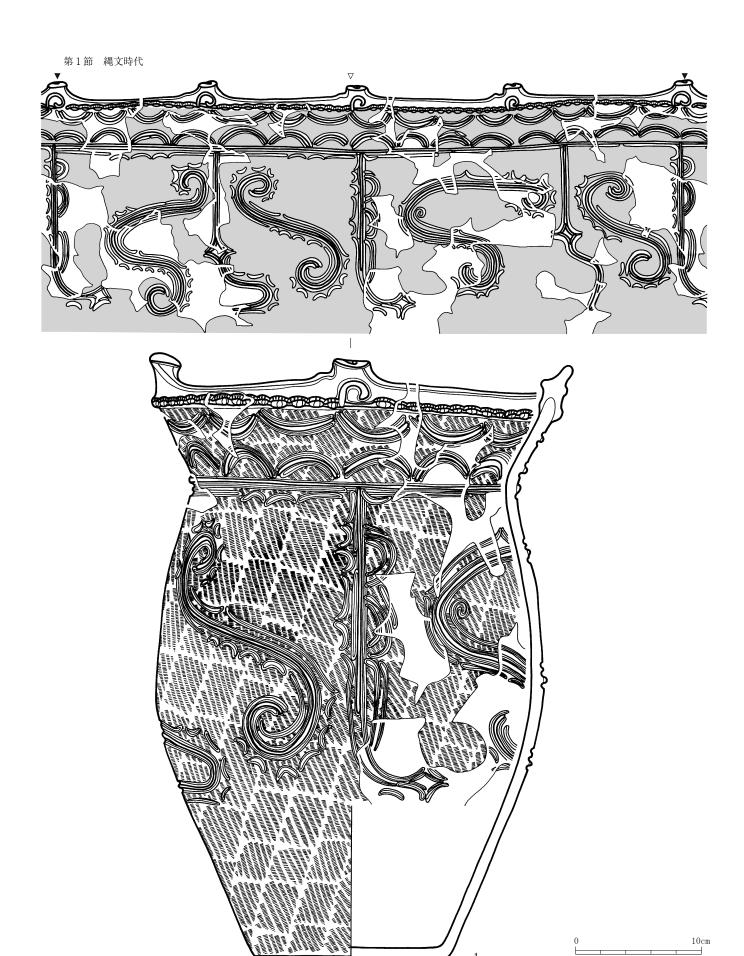


第491図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(78)



| No. | 登録番号   | 層位   | 器形・部位       | 文様等                            | 備考                 | 写真図版   |
|-----|--------|------|-------------|--------------------------------|--------------------|--------|
| 1   | Q-61   | 堆積土  | 骨角器・骨針      | 現存長1.15cm。重さ0.07g。鹿角製。         | S=1/1 <sub>o</sub> | -      |
| 2   | Q - 62 | 堆積土  | 骨角器・ヤス状刺突具  | 現存長7.35mm。重さ0.26g。鹿中足骨もしくは中手骨。 | S=1/1 <sub>o</sub> | -      |
| 3   | P-6060 | 最上層  | 土製品         | 沈線文。円形刺突文。                     | 土偶頭部? S=1/2。       | 225-17 |
| 4   | P-6061 | 最上層  | 土偶・胸部~腹部・尻部 | 乳部。腹部に隆線貼付・円形刺突文。              | S=1/2 <sub>o</sub> | 225-13 |
| 5   | P-6062 | ①・②層 | 土偶・胸部       | 「J」字状沈線文。                      | S=1/2 <sub>o</sub> | -      |
| 6   | P-6063 | ①・②層 | 土偶・腹部・尻部〜脚部 | 腹部:菱形状・弧状沈線文。脚部:連続横位沈線文。       | S=1/2 <sub>o</sub> | 225-14 |

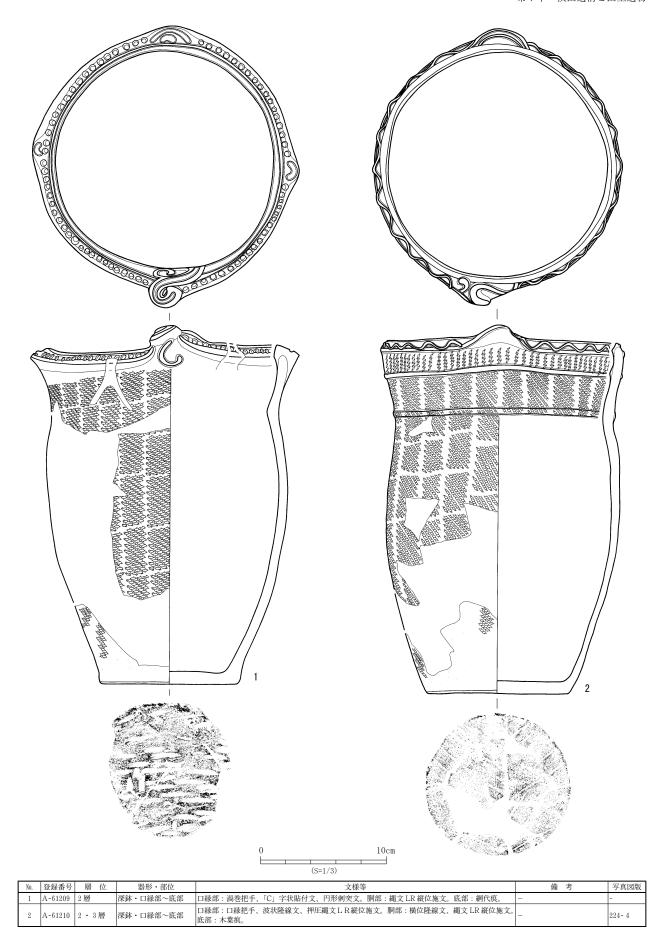
第492図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(79)



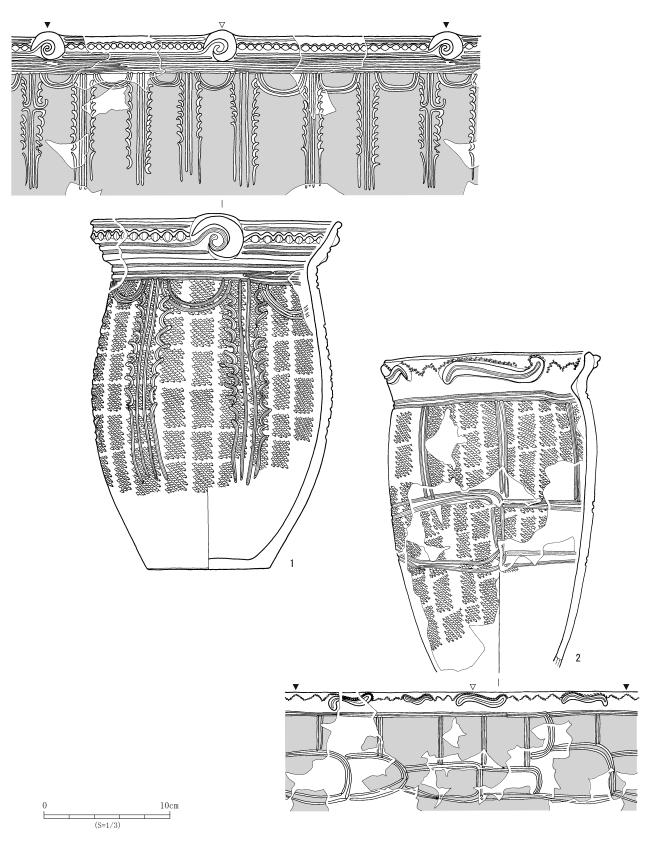
| N | 0. | 登録番号    | 層位 | 器形・部位     | 文様等   | 備考 | 写真図版   |
|---|----|---------|----|-----------|---|----|--------|
|   | 1  | A-61208 | 3層 | 深鉢・口縁部〜底部 | 口縁部:口縁突起、「C」字状貼付文、刺突小波状有刻隆線文、弧状沈線文。胴部:渦巻・剣先状・弧状沈線文。底部:ナデ。 | _  | 224- 1 |

(S=1/3)

第493図 SX639溝状の落ち込み出土遺物(1)

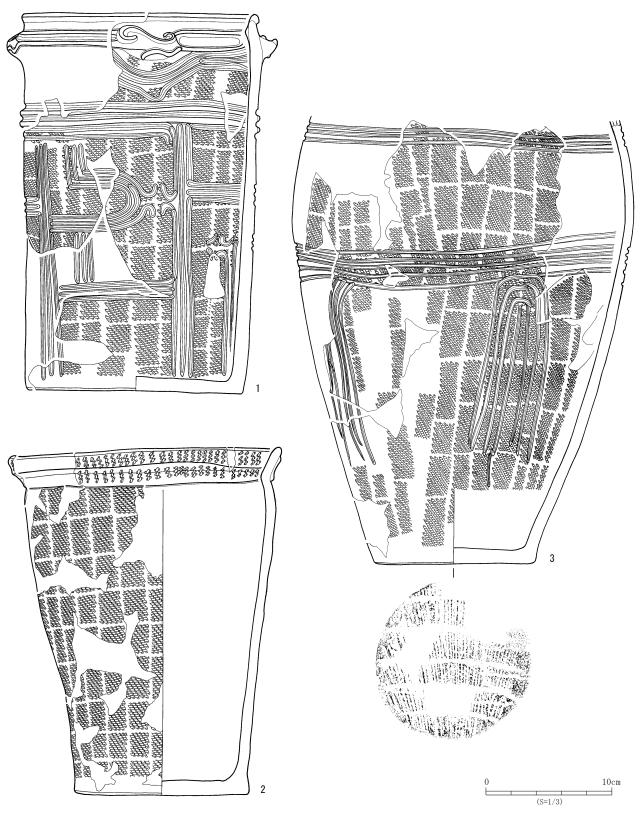


第494図 SX639溝状の落ち込み出土遺物(2)



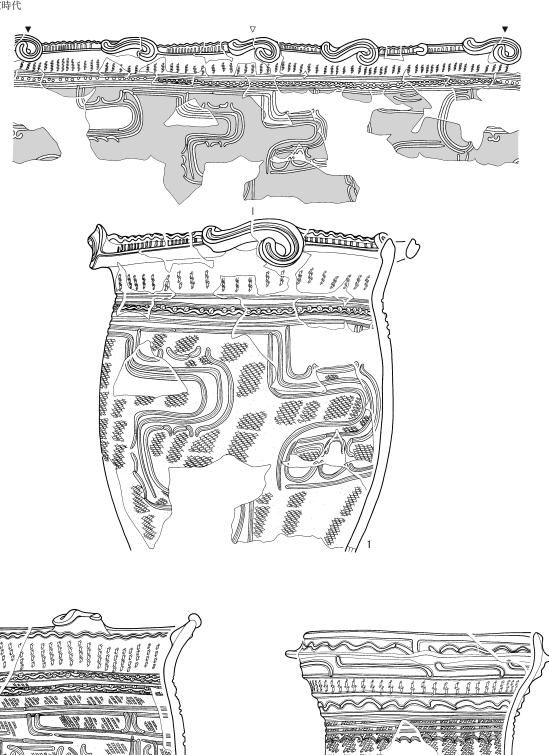
| No. | 登録番号    | 層位  | 器形・部位     | 文様等   | 備 | 考 | 写真図版  |
|-----|---------|-----|-----------|---|---|---|-------|
| 1   | A-61211 | 3層  | 深鉢・口縁部〜底部 | 口縁部: 渦巻突起、刺突小波状隆線文、横位隆沈線文。胴部: 弧状・縦位沈線文、縄文 LR 縦位施文。底部: ナデ。 | _ |   | 224-5 |
| 2   | A-61212 | 堆積土 | 深鉢・口縁部~胴部 | 口縁部:「S」字状貼付文、押圧縄文 LR 山形施文。胴部: 横位・: 縦位沈線文、縄文 LR 縦位施文。      | _ |   | 224-6 |

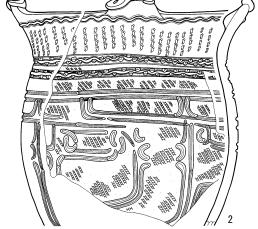
第495図 SX639溝状の落ち込み出土遺物(3)

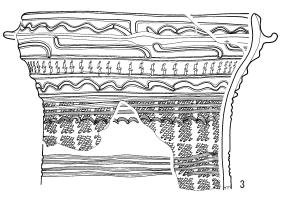


| No. | 登録番号    | 層位  | 器形・部位     | 文様等  | 備 | 考 | 写真図版   |
|-----|---------|-----|-----------|--|---|---|--------|
| 1   | A-61213 | 2 層 |           | 口縁部:「S」字状貼付文、横位隆沈線文。胴部:横位隆沈線文、弧状・横位・縦位沈線文、縄文<br>LR 縦位施文。底部:ナデ。 | - |   | 224- 8 |
| 2   | A-61214 | 2層  | 深鉢・口縁部〜底部 | 口縁部:押圧縄文 LR 縦位施文。胴部:縄文 LR 縦位施文。底部:ナデ。                          | _ |   | 224-7  |
| 3   | A-61215 | 最上層 | 深鉢・胴部〜底部  | 胴部:横位・縦位沈線文、LR 縄文縦位施文。底部:簾状圧痕。                                 | _ |   | 224-9  |

第496図 SX639溝状の落ち込み出土遺物(4)





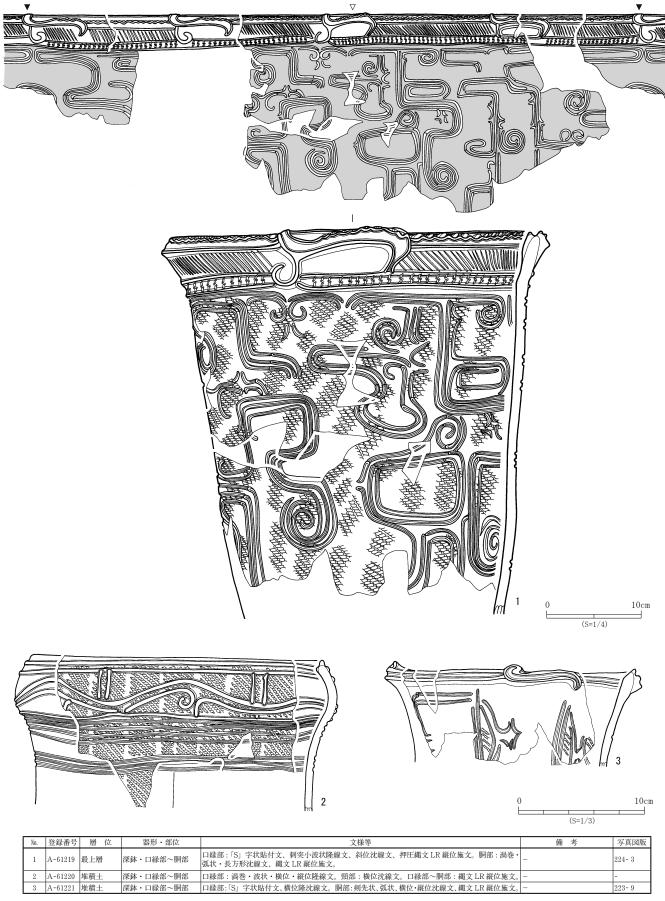


10cm

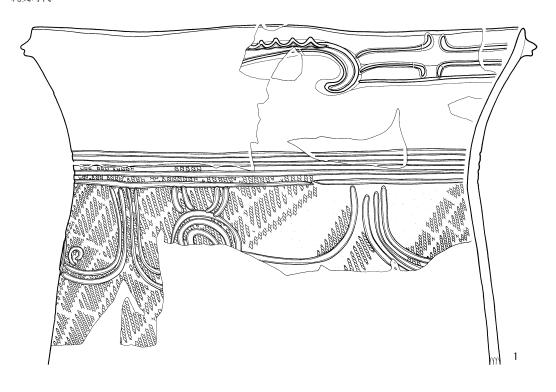
(S=1/3)

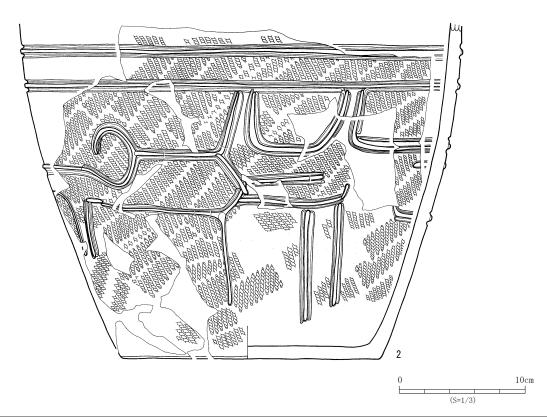
| No. | 登録番号    | 層位  | 器形・部位     | 文様等   | 備 | 考 | 写真図版   |
|-----|---------|-----|-----------|---|---|---|--------|
| 1   | A-61216 | 2層  | 深鉢・口縁部~胴部 | 口縁部:「S」字状貼付文、横位隆沈線文、押圧縄文 LR 縦位施文。頸部:横位沈線文、刺突小波<br>状隆線文。胴部:クランク状・弧状沈線文、縄文 LR 斜位施文。 | _ |   | 224-10 |
| 2   | A-61217 | 堆積土 | 深鉢・口縁部~胴部 | 口縁部:口縁把手、波状隆線文。頸部:交互刺突小波状隆線文。胴部:渦巻・弧状・横位・縦位<br>沈線文、押圧縄文 LR 縦位施文。                  | _ |   | -      |
| 3   | A-61218 | 堆積土 | 深鉢・口縁部~胴部 | 口縁部:クランク状・波状・横位・頸部:押圧縄文LR縦位施文。頸部:波状隆線文。胴部:横<br>位波線文、縄文RL縦位施文。                     | _ |   | 223-6  |

第497図 SX639溝状の落ち込み出土遺物(5)



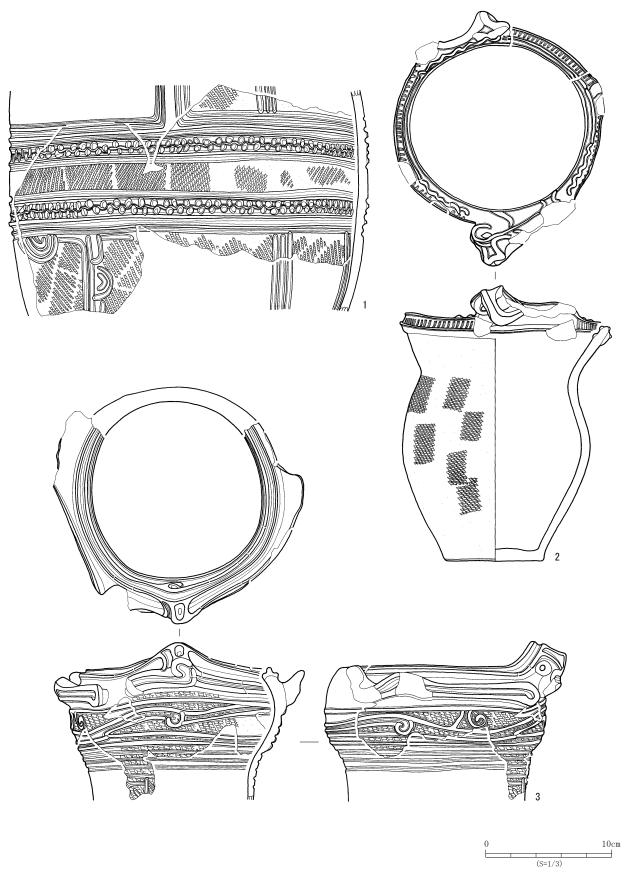
第498図 SX639溝状の落ち込み出土遺物(6)



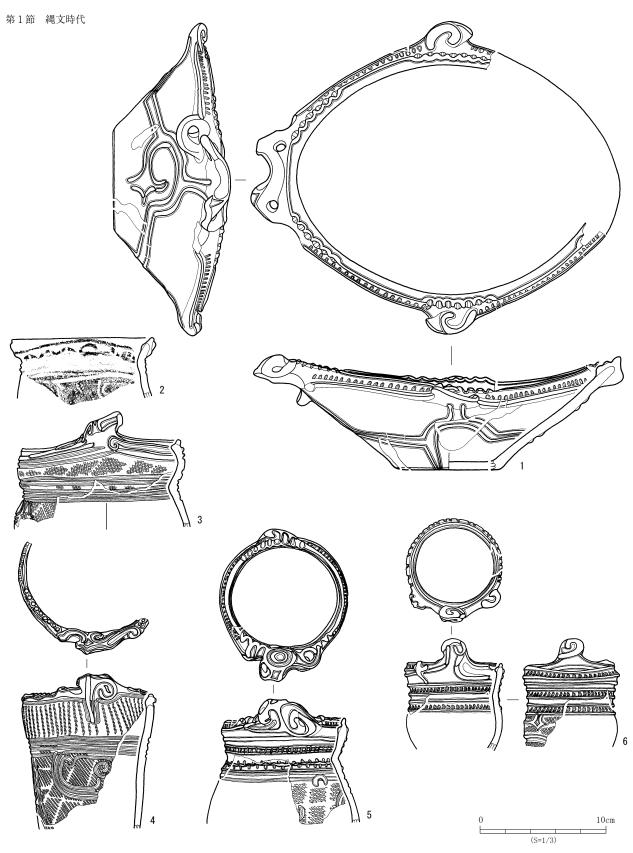


| No. | 登録番号    | 層位   | 器形・部位     | 文様等   | 備考 | 写真図版 |
|-----|---------|------|-----------|---|----|------|
| 1   | A-61222 | 2層   |           | 口縁部:「S」字状?貼付文、波状・十字状隆線文、ナデ。頭部:横位沈線文。胴部:渦巻沈線文。縄文 LR 繰位・斜位施文。 | _  | -    |
| 2   | A-61223 | 2・3層 | 深鉢・口縁部〜底部 | 胴部:渦巻・横位・縦位・斜位隆沈線文、縄文 LR 斜位施文。底部:ナデ。                        | -  | -    |

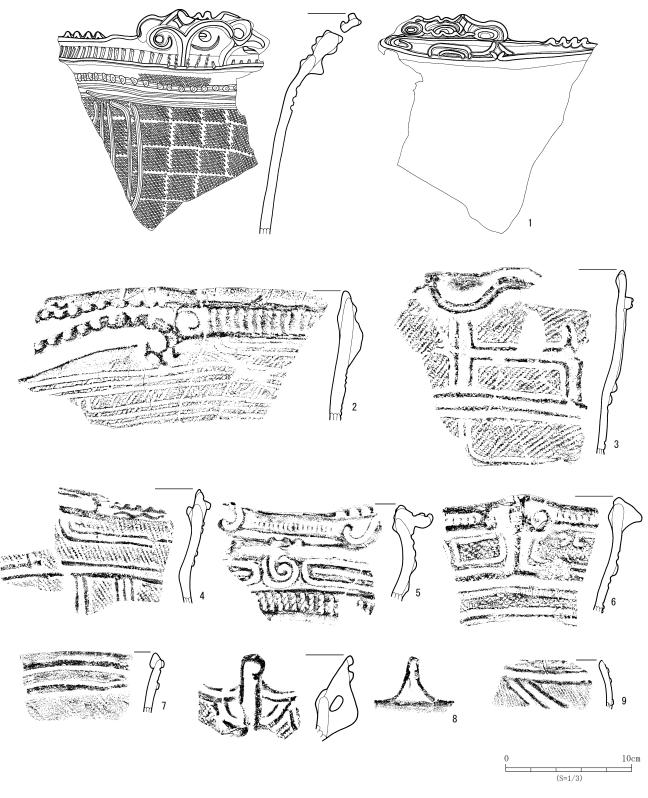
第499図 SX639溝状の落ち込み出土遺物(7)



|   | No. | 登録番号    | 層位    | 器形・部位     | 文様等  | 備考   | 写真図版  |
|---|-----|---------|-------|-----------|--|------|-------|
| Г | 1   | A-61224 | 3層・8層 | 深鉢・胴部     | 交互刺突小波状隆線文、横位隆沈線文、弧状・横位・縦位沈線文、縄文 LR 横位・斜位施文。                       | -    | 223-7 |
| Γ | 2   | A-61225 | 2・3層  |           |  |      | 224-2 |
|   | 3   | A-61226 | 堆積土   | 深鉢・口縁部~胴部 | 口縁部: 口縁把手、渦巻・横位・斜位隆沈線文。頸部:横位隆沈線文。胴部: 沈線文の一部。口<br>縁部~胴部:縄文 LR 縦位施文。 | 突起剥離 | 223-8 |

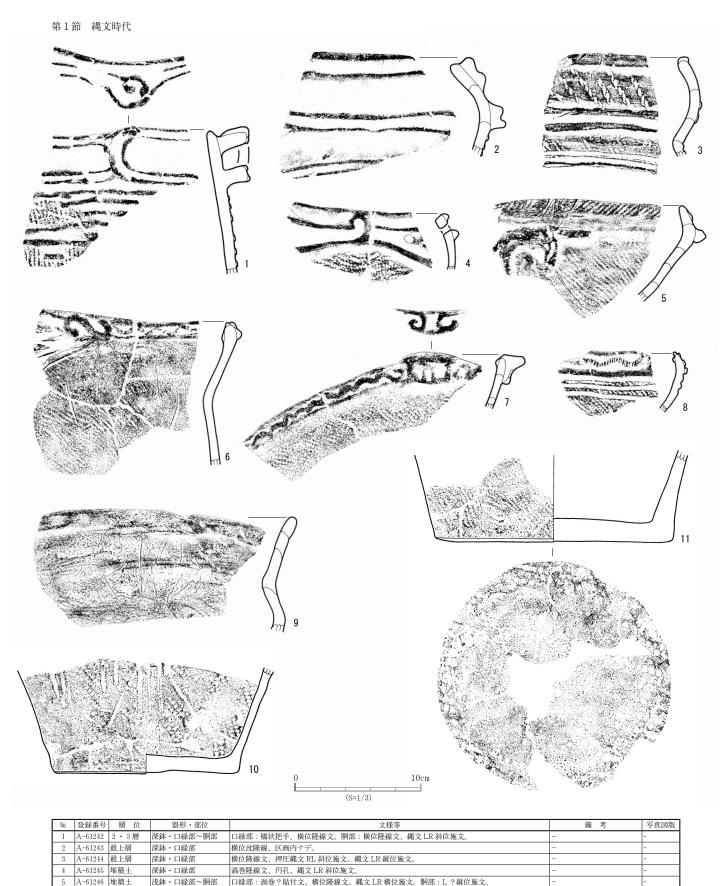


| No. | 登録番号    | 層位  | 器形・部位       | 文様等   | 備 | 考 | 写真図版   |
|-----|---------|-----|-------------|---|---|---|--------|
| 1   | A-61227 | 2層  | 浅鉢・口縁部〜底部   | 口縁部:口縁把手、口唇部押圧小波状、連続刺突文。胴部:渦巻・剣先状隆線文。底部:ナデ。                               | - |   | 223-11 |
| 2   | A-61228 | 堆積土 | 小型深鉢・口縁部~胴部 | 口縁部:有刻小波状隆線文。胴部:弧状・横位沈線文、縄文 RL? 斜位施文。                                     | - |   | -      |
| 3   | A-61229 | 堆積土 | 小型深鉢・口縁部~胴部 | 口縁部:口縁把手、「S」字状貼付文、渦巻・横位隆沈線文。頸部:横位沈線文。胴部:弧状沈線文。口縁部~胴部:縄文 LR 斜位施文。          | _ |   | 223-10 |
| 4   | A-61230 | 堆積土 | 小型深鉢・口縁部~胴部 | 口縁部:渦巻把手、口唇部押圧小波状、押圧縄文LR 縦位施文。頸部:横位沈線文。胴部:渦巻沈線文、縄文LR 斜位施文。                | - |   | -      |
| 5   | A-61231 | 2層  | 小型深鉢・口縁部~胴部 | 口縁部: 渦巻把手、口唇部刻目・押圧小波状、横位隆線文、連続刺突文。胴部: 交互刺突小波状<br>隆線文、弧状・横位沈線文、縄文 LR 縦位施文。 | - |   | -      |
| 6   | A-61232 | 堆積土 | 小型深鉢・口縁部~胴部 | 口縁部:渦巻把手、連続刺突文。胴部:横位隆線文、連続刺突文、剣先状・弧状隆線文、縄文<br>LR 斜位施文。                    | - |   | -      |



| No. | 登録番号    | 層位   | 器形・部位     | 文様等   | 備 | 考 | 写真図版 |
|-----|---------|------|-----------|---|---|---|------|
| 1   | A-61233 | 2・3層 | 深鉢・口縁部~胴部 | 口縁部:渦巻把手、押圧縄文 LR 縦位施文。胴部:円形刺突文、弧状・横位沈線文、縄文 LR 縦位施文。 | - |   | -    |
| 2   | A-61234 | 1層   | 深鉢・口縁部~胴部 | 口縁部:渦巻・横位押圧隆線文、押圧縄文 R 縦位施文。胴部:横位沈線文、縄文 RL 縦位施文。     | - |   | -    |
| 3   | A-61235 | 堆積土  | 深鉢・口縁部~胴部 | 口縁部:弧状貼付文。胴部:十字状隆沈線文、縄文 RL 縦位施文。                    | - |   | -    |
| 4   | A-61236 | 2・3層 | 深鉢・口縁部~胴部 | 口縁部:波状・横位隆線文。胴部:横位沈線文。口縁部~胴部:縄文 RL 横位施文。            | - |   | -    |
| 5   | A-61237 | 2・3層 | 深鉢・口縁部    | 口縁突起、縦位短沈線文、横位隆線文、渦巻・横位沈線文、押圧縄文 RL 縦位施文。            | - |   | -    |
| 6   | A-61238 | 堆積土  | 深鉢・口縁部    | 区画隆沈線文、連続刺突、横位沈線文、縄文 LR 縦位施文。                       | _ |   | -    |
| 7   | A-61239 | 堆積土  | 深鉢・口縁部    | 横位隆沈線文。胴部:LR 縦位施文。                                  | - |   | -    |
| 8   | A-61240 | 2・3層 | 口縁把手      | 弧状隆線文、縄文 RL 縦位施文。内面:三叉状沈刻。                          | _ |   | -    |
| 9   | A-61241 | 堆積土  | 深鉢・口縁部    | 横位・斜位隆線沈文、斜位連続沈線文。                                  | - |   | -    |

第502図 SX639溝状の落ち込み出土遺物(10)



第503図 SX639溝状の落ち込み出土遺物(11)

A-61247 堆積土

A-61248 1層 A-61249 堆積土

9 A-61250 堆積土 10 A-61251 2・3層

11 A-61252 堆積土

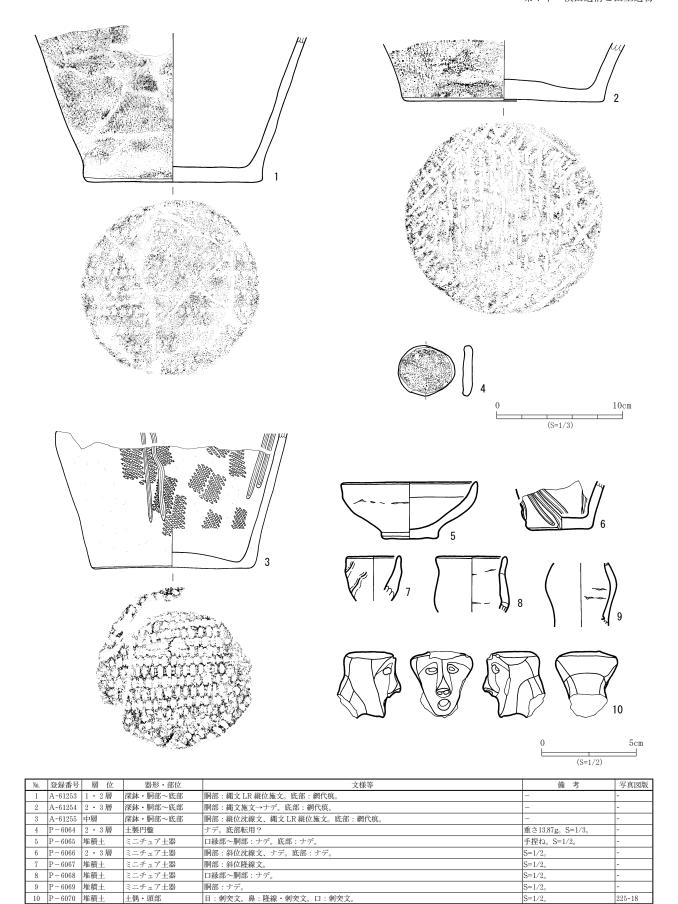
深鉢・口縁部〜胴部 深鉢・口縁部〜胴部

浅鉢・口縁部~胴部

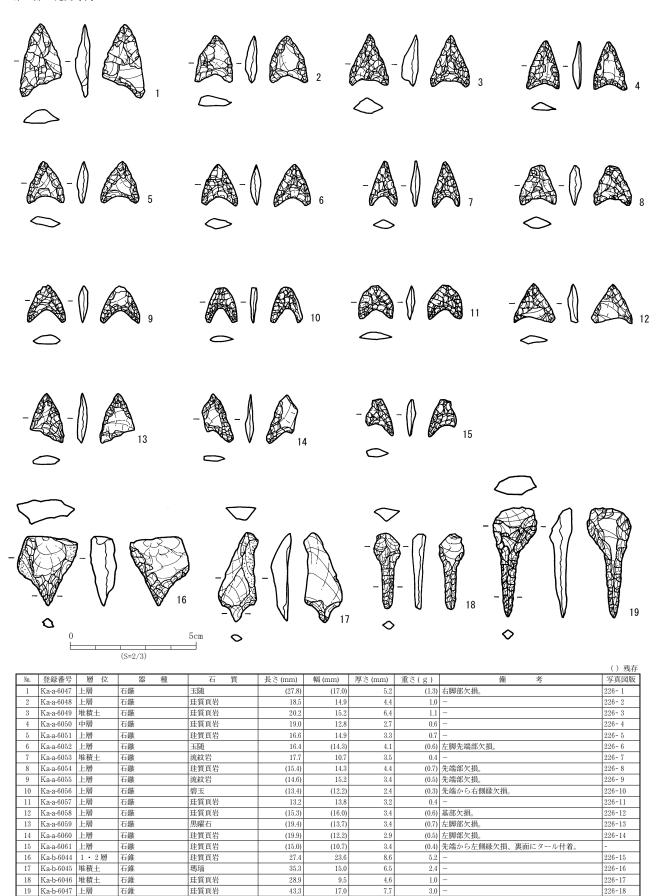
深鉢・胴部〜底部

深鉢・胴部〜底部

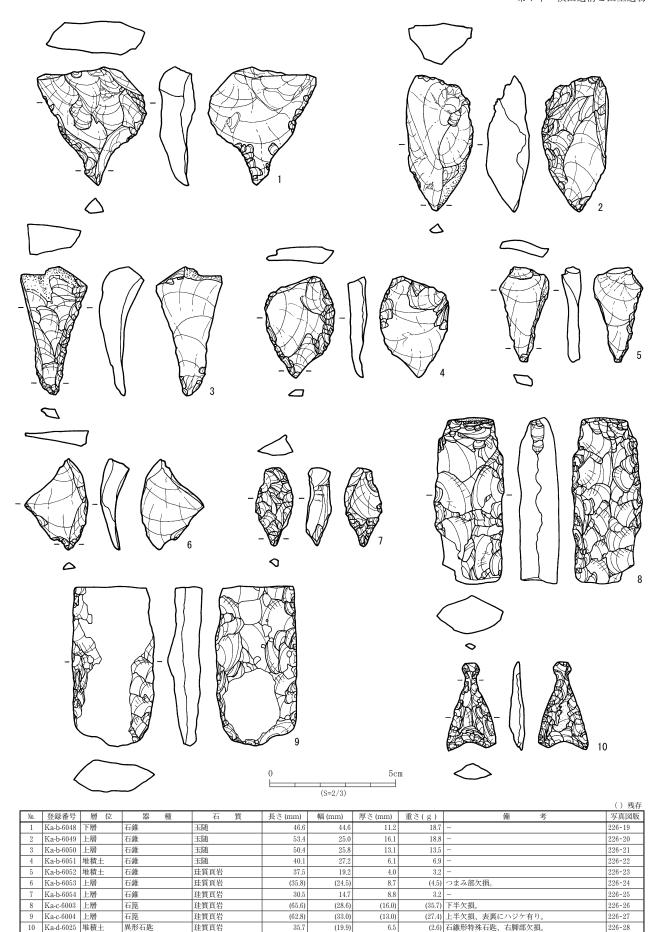
深鉢・口縁部



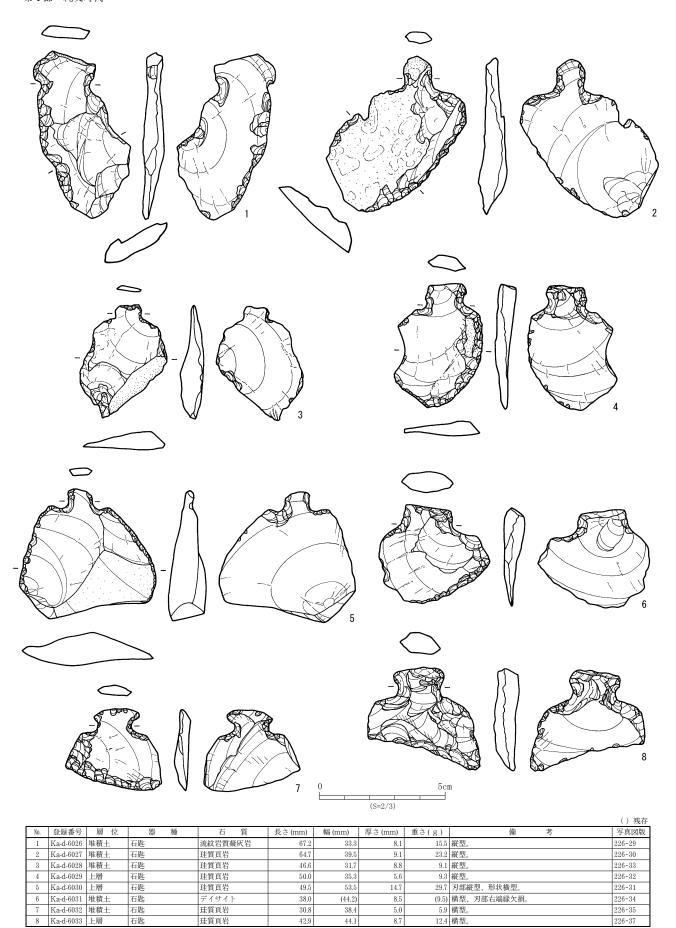
第504図 SX639溝状の落ち込み出土遺物(12)



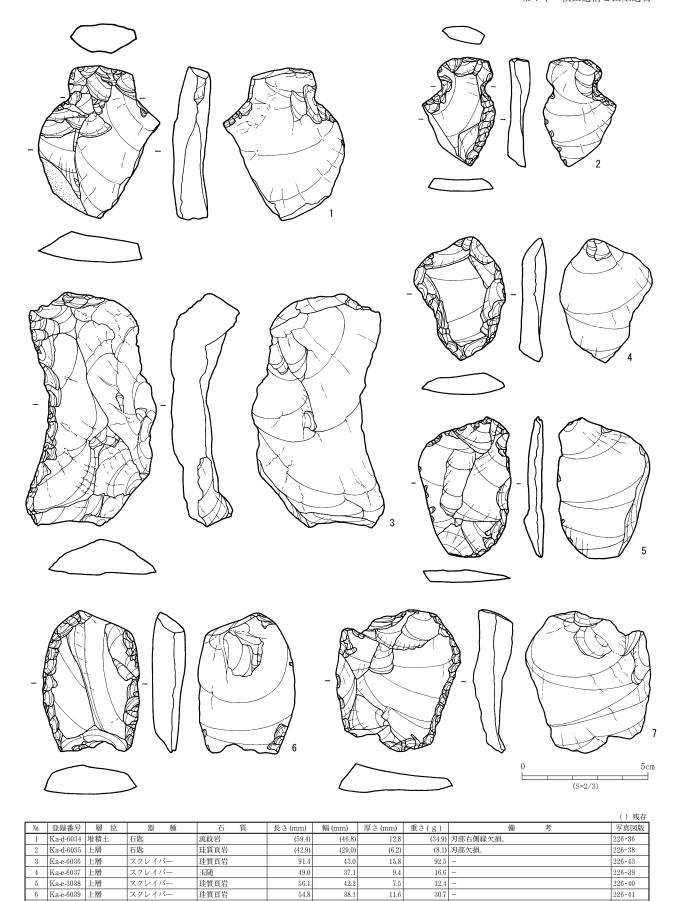
第505図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(39)



第506図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(40)



第507図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(41)



第508図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(42)

48.4

32.3

14.3

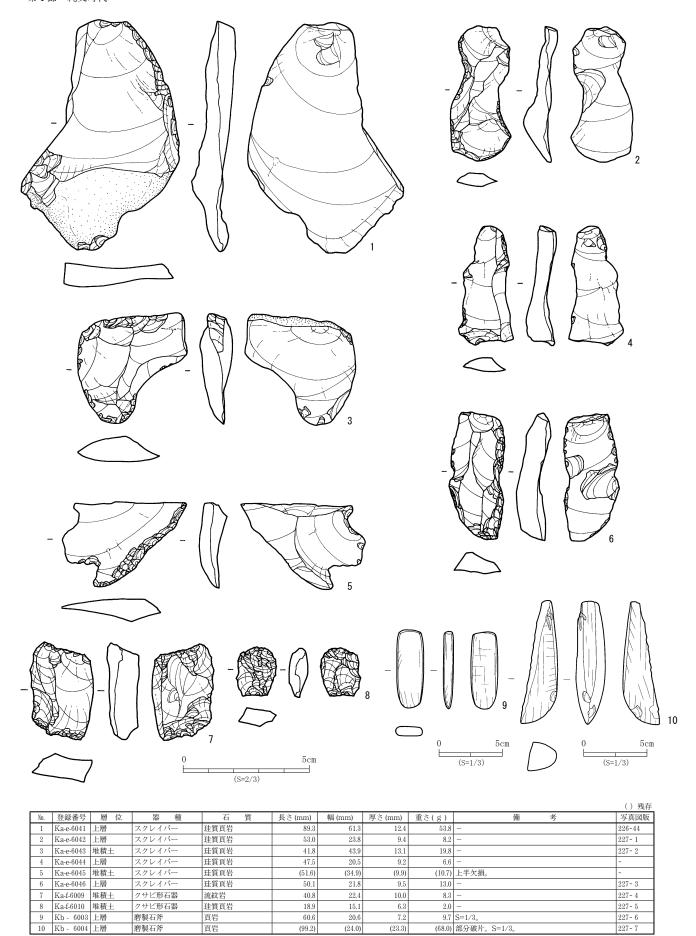
56.7

7 Ka-e-6040 上層

スクレイパー

玉随

第1節 縄文時代



第509図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(43)

20.6

(24.0)

(23.3)

9.7 S=1/3

(68.0) 部分破片。S=1/3。

227-7

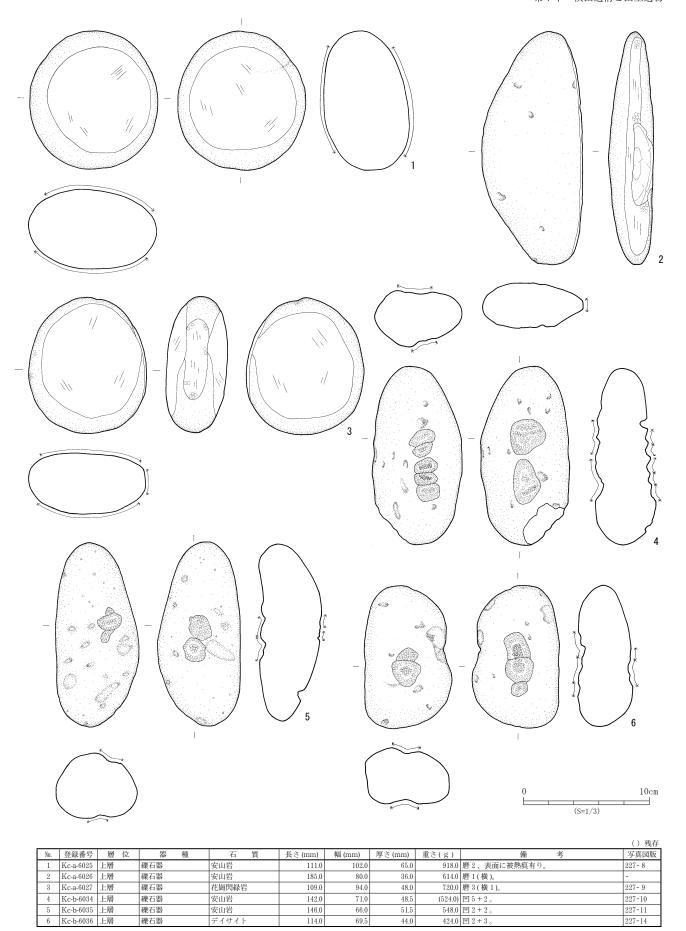
60.6

(99.2)

10 Kb - 6004 上層

磨製石斧

磨製石斧



第510図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(44)

71.0 66.0

69.5

142.0

146.0

114.0

(524.0) 凹 5 + 2。 548.0 凹 2 + 2。

424.0 凹 2 + 3。

48.5

51.5

44.0

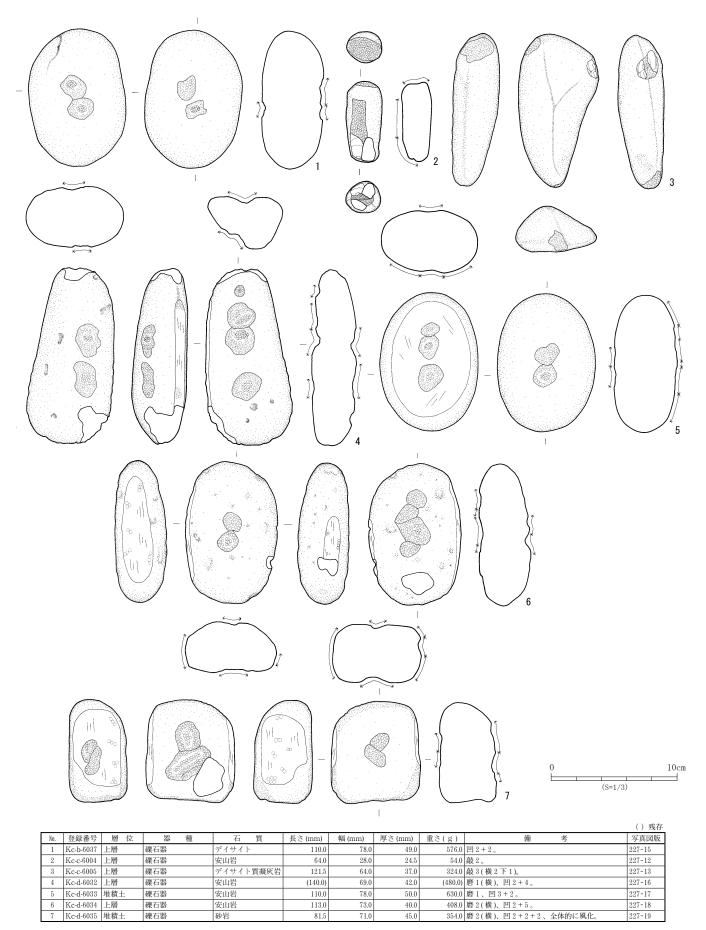
安山岩安山岩

デイサイ

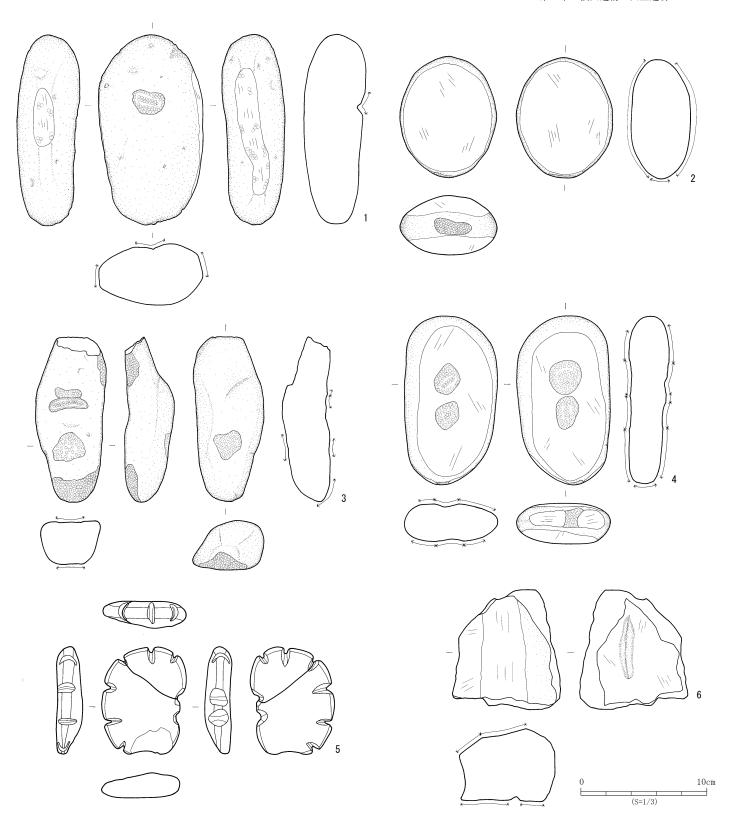
礫石器 礫石器

礫石器

227-10 227-11



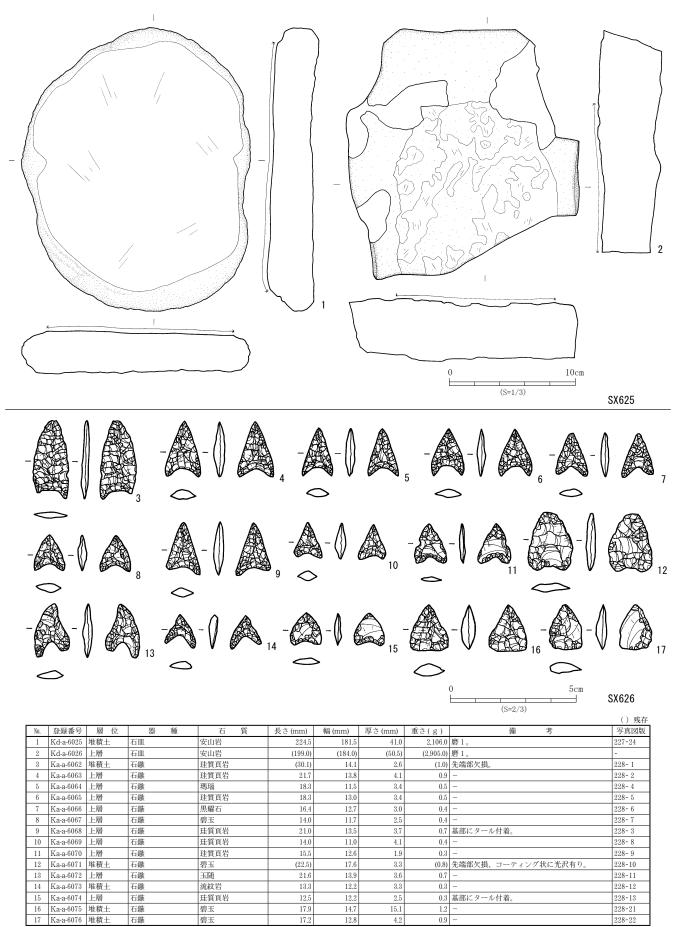
第511図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(45)



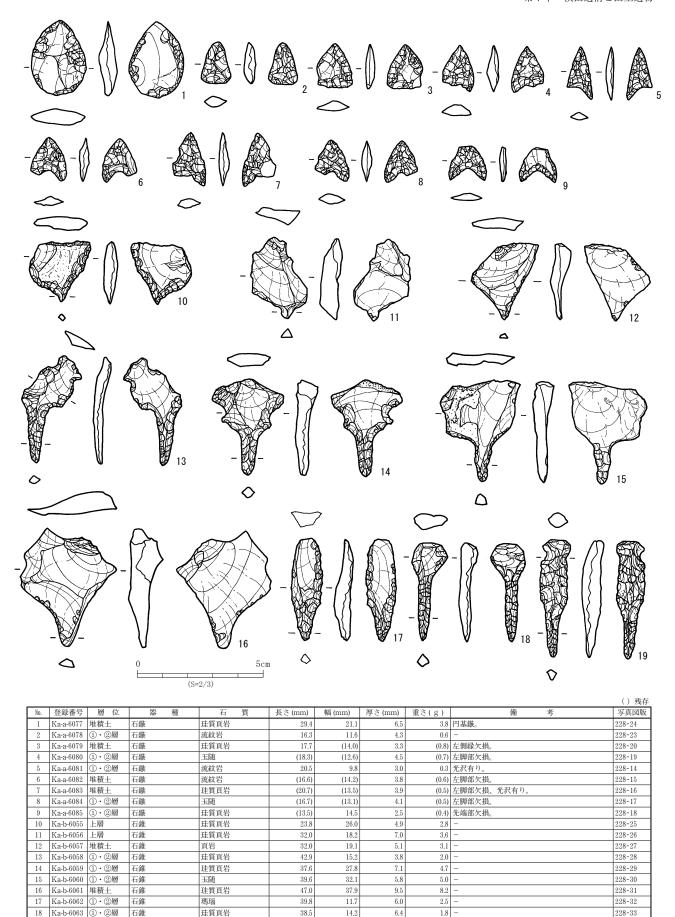
() 残存

| No | . 登 | 登録番号     | 層位  | 器種    | 石 質   | 長さ (mm) | 幅 (mm) | 厚さ (mm) | 重さ(g)   | 備考              | 写真図版   |
|----|-----|----------|-----|-------|-------|---------|--------|---------|---------|-----------------|--------|
| 1  | K   | c-d-6036 | 上層  | 礫石器   | 安山岩   | 151.0   | 83.0   | 46.5    | 790.0   | 磨2(横)、凹1、被熱痕有り。 | 227-20 |
| 2  | K   | c-e-6008 | 上層  | 礫石器   | デイサイト | 96.0    | 77.0   | 47.0    | 474.0   | 磨2、敲1(下)。       | 227-21 |
| 3  | K   | c-f-6004 | 堆積土 | 礫石器   | 安山岩   | (131.0) | 56.0   | 36.5    | (348.0) | 凹2+1、敲2(横下)。    | -      |
| 4  | K   | c-g-6006 | 上層  | 礫石器   | 安山岩   | 134.0   | 74.0   | 31.5    | 482.0   | 磨3(下1)、凹2+2、敲1。 | -      |
| 5  | K   | d-g-6001 | 上層  | 不明石製品 | 凝灰岩   | (72.3)  | 60.7   | 19.4    | (72.1)  | SX626出土の小破片と接合。 | 227-23 |
| 6  | K   | d-a-6024 | 上層  | 石皿    | 安山岩   | (95.5)  | (86.0) | (58.0)  | (518.0) | 磨 3。            | 227-22 |

第512図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(46)



第513図 SX625溝状の落ち込み出土遺物(47)·SX626溝状の落ち込み出土遺物(80)



第514図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(81)

46.1

14.2

10.9

6.4

3.2 先端部に摩耗痕有り

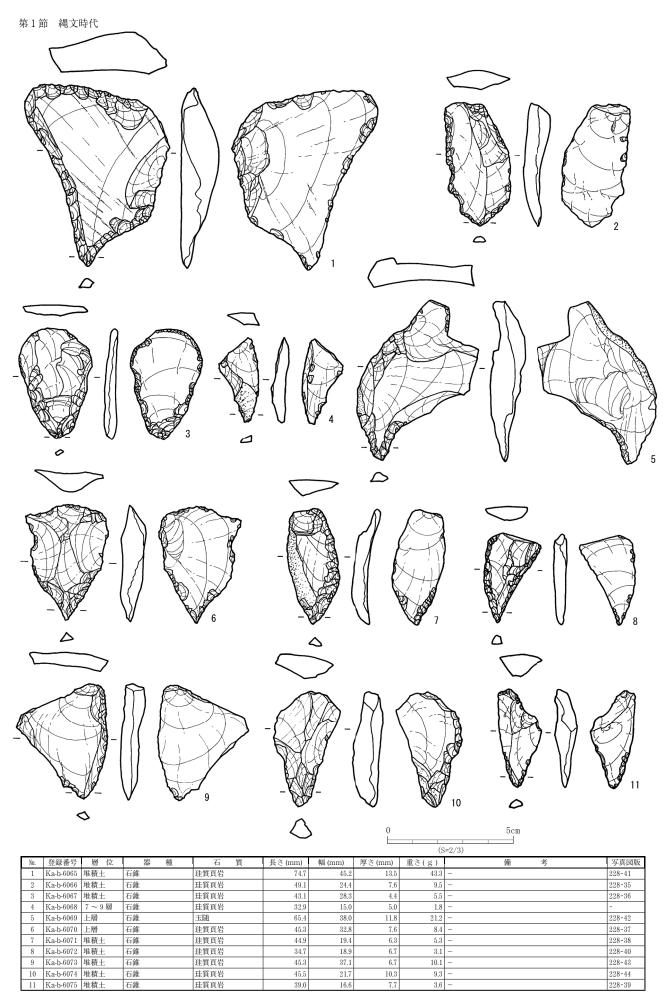
石錐

珪質頁岩

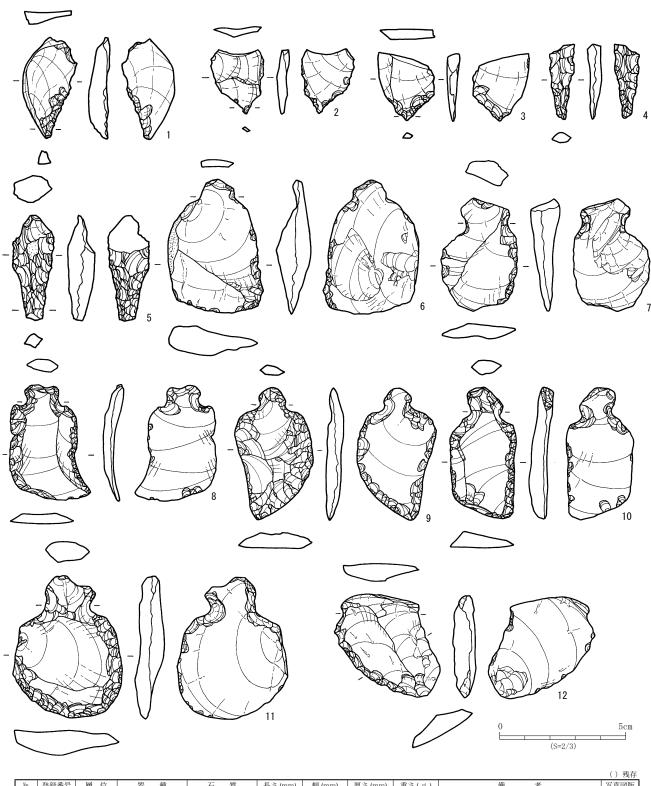
石錐

19 Ka-b-6064 ①・②層

228-33



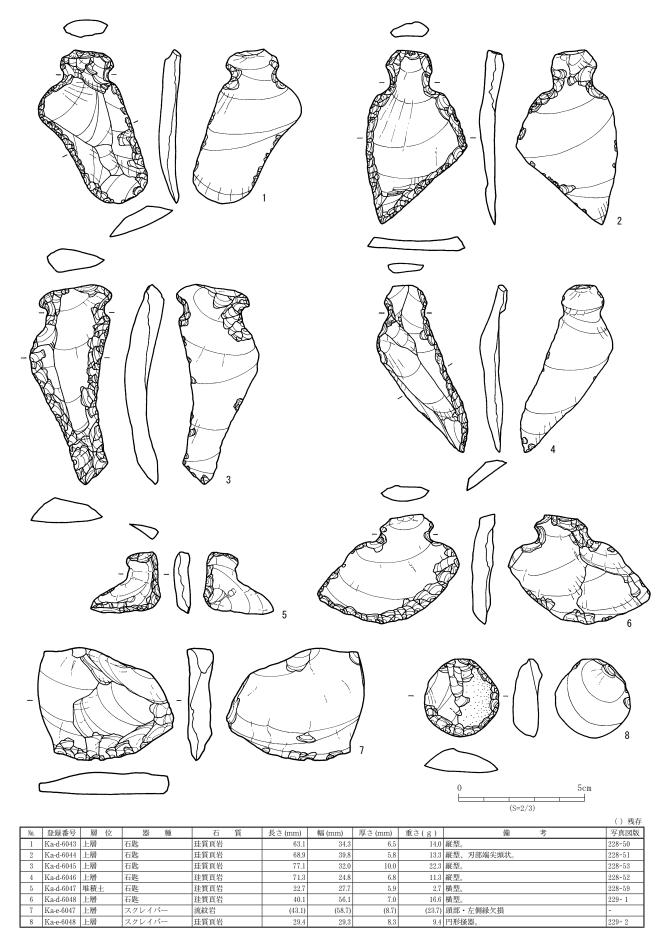
第515図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(82)



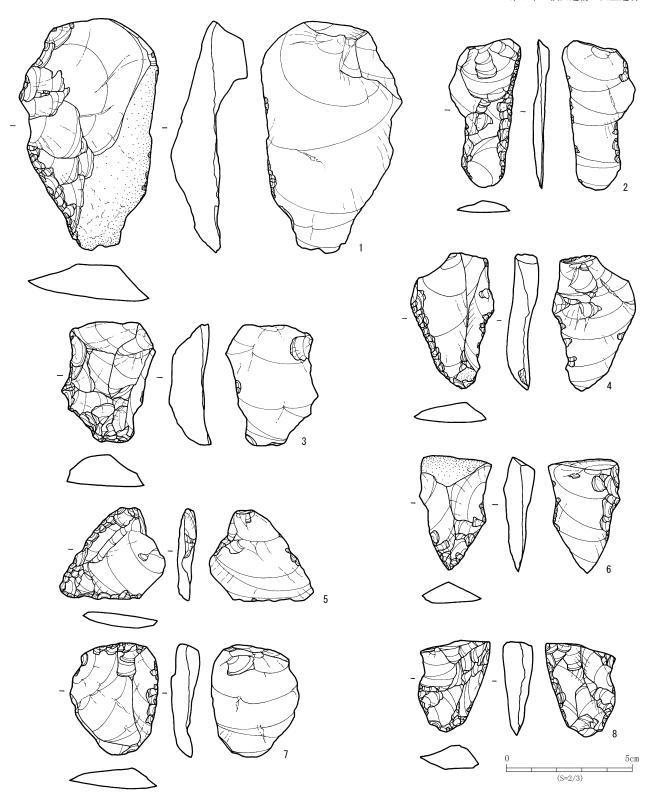
| 228-45 |  |
|--------|--|
| 228-46 |  |
| 228-47 |  |
| -      |  |

| No. | 登録番号      | 層位  | 器 種 | 石 質  | 長さ (mm) | 幅 (mm) | 厚さ (mm) | 重さ(g) | 備考        | 写真図版   |
|-----|-----------|-----|-----|------|---------|--------|---------|-------|-----------|--------|
| 1   | Ka-b-6076 | 堆積土 | 石錐  | 珪質頁岩 | 39.3    | 18.9   | 6.0     | 3.4   | _         | 228-45 |
| 2   | Ka-b-6077 | 堆積土 | 石錐  | 珪質頁岩 | (27.5)  | 20.6   | 3.1     | (1.6) | つまみ部上半欠損  | 228-46 |
| 3   | Ka-b-6078 | 堆積土 | 石錐  | 珪質頁岩 | (28.5)  | 20.5   | 4.8     | (2.6) | つまみ部上半欠損。 | 228-47 |
| 4   | Ka-b-6079 | 堆積土 | 石錐  | 珪質頁岩 | (29.0)  | (9.4)  | (4.7)   | (1.2) | つまみ部欠損。   | -      |
| 5   | Ka-b-6080 | 堆積土 | 石錐  | 頁岩   | (41.2)  | (16.2) | (10.2)  | (5.4) | つまみ部欠損。   | -      |
| 6   | Ka-d-6036 | 堆積土 | 石匙  | 珪質頁岩 | 53.0    | 36.1   | 11.1    | 18.7  | 縦型。       | 228-48 |
| 7   | Ka-d-6037 | 堆積土 | 石匙  | 流紋岩  | 42.9    | 30.6   | 11.4    | 8.3   | 縦型。       | 228-54 |
| 8   | Ka-d-6038 | 上層  | 石匙  | 珪質頁岩 | 45.6    | 31.7   | 4.9     | 6.6   | 縦型。       | 228-55 |
| 9   | Ka-d-6039 | 上層  | 石匙  | 珪質頁岩 | 52.3    | 30.0   | 6.5     | 10.0  | 縦型。       | 228-49 |
| 10  | Ka-d-6040 | 堆積土 | 石匙  | 珪質頁岩 | 52.1    | 26.5   | 7.5     | 10.2  | 縦型。       | 228-56 |
| 11  | Ka-d-6041 | 堆積土 | 石匙  | 珪質頁岩 | 56.3    | 43.6   | 9.9     | 23.9  | 刃部円形。     | 228-57 |
| 12  | Ka-d-6042 | 堆積土 | 石匙  | 流紋岩  | 38.3    | 45.2   | 9.1     | 13.9  | 縦型?。      | 228-58 |

第516図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(83)

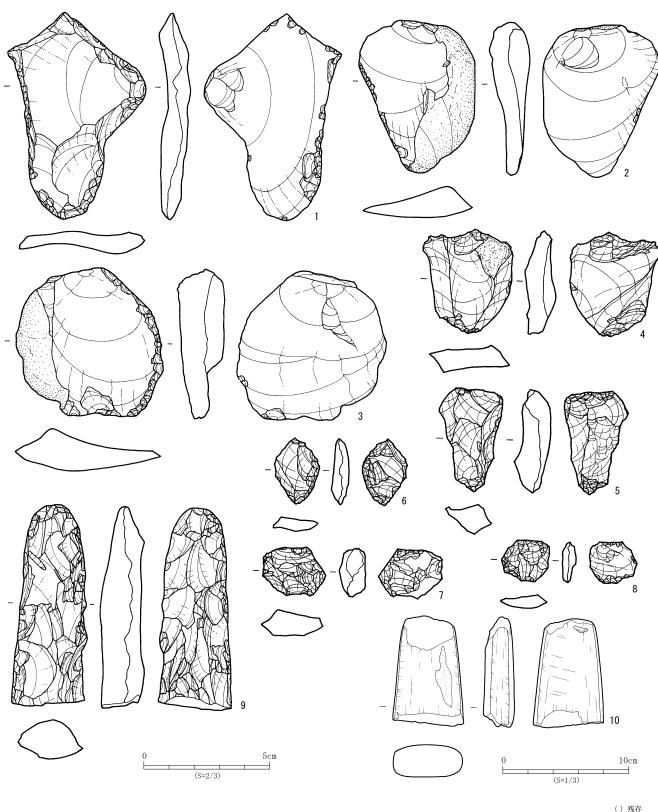


第517図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(84)



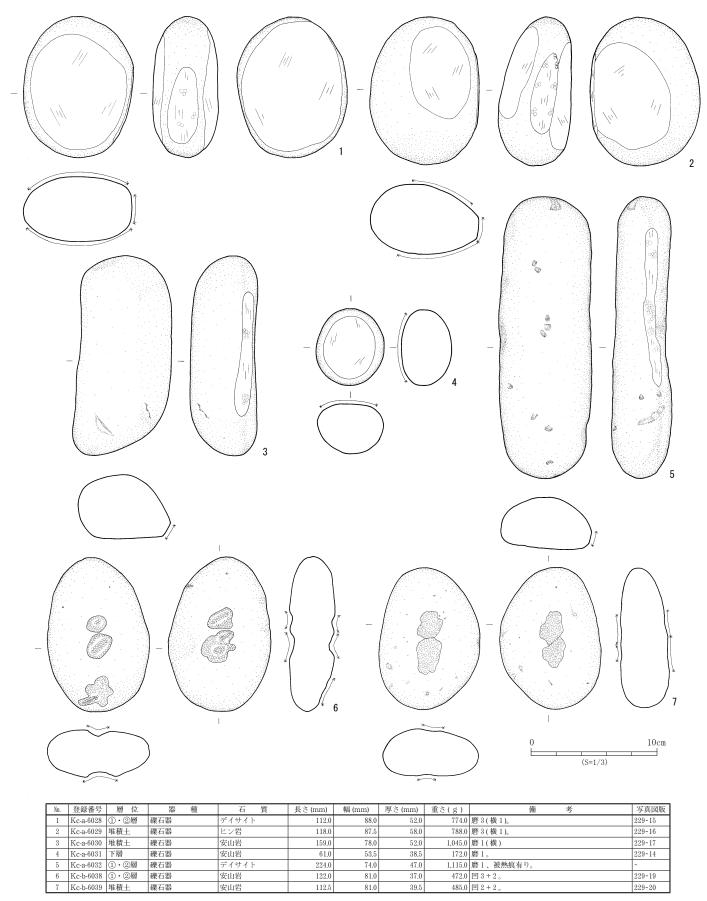
| No. | 登録番号      | 層位   | 器種     | 石    | 質 | 長さ (mm) | 幅 (mm) | 厚さ (mm) | 重さ(g) | 備考              | 写真図版  |
|-----|-----------|------|--------|------|---|---------|--------|---------|-------|-----------------|-------|
| 1   | Ka-e-6049 | 上層   | スクレイパー | 珪質頁岩 |   | 90.6    | 55.9   | 16.9    | 76.2  | _               | -     |
| 2   | Ka-e-6050 | 堆積土  | スクレイパー | 珪質頁岩 |   | 59.5    | 27.3   | 4.8     | 7.2   | _               | 229-3 |
| 3   | Ka-e-6051 | 堆積土  | スクレイパー | 珪質頁岩 |   | 47.9    | 34.4   | 14.1    | 25.9  | -               | -     |
| 4   | Ka-e-6052 | 上層   | スクレイパー | 珪質頁岩 |   | 54.1    | 33.0   | 8.9     | 14.9  | -               | 229-4 |
| 5   | Ka-e-6053 | 1~5層 | スクレイパー | 頁岩   |   | 42.2    | 35.9   | 4.6     | 7.8   | _               | -     |
| 6   | Ka-e-6054 | 堆積土  | スクレイパー | 珪質頁岩 |   | 44.8    | 28.0   | 11.6    | 11.2  | _               | 229-5 |
| 7   | Ka-e-6055 | 堆積土  | スクレイパー | 流紋岩  |   | 44.5    | 34.7   | 10.3    | 13.2  | _               | -     |
| 8   | Ka-e-6056 | 堆積土  | スクレイパー | 珪質頁岩 |   | 36.8    | 27.4   | 11.4    | 10.6  | 欠損面から彫刀面状の加工有り。 | -     |

第518図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(85)

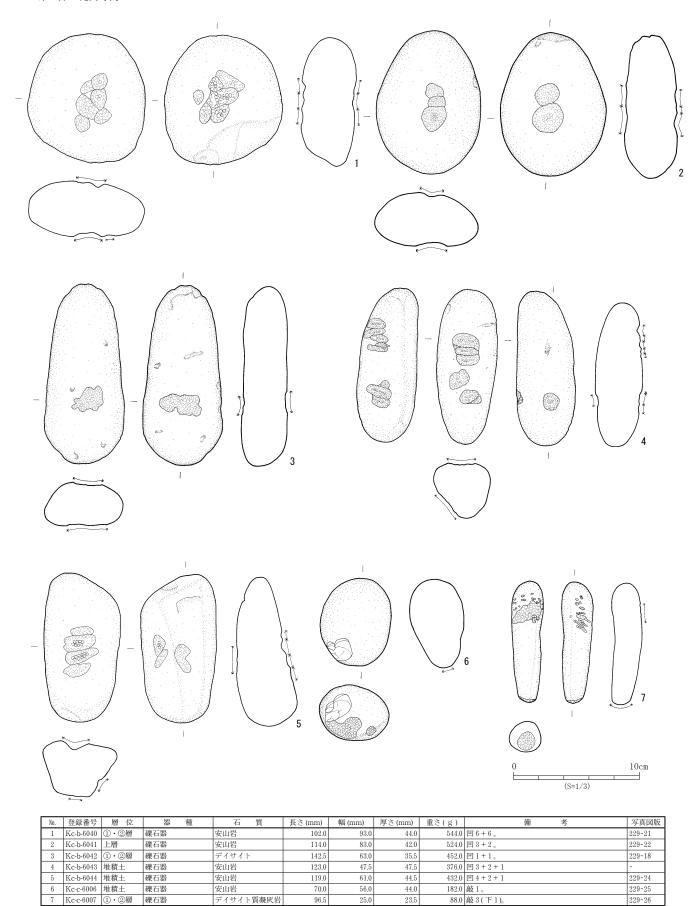


|     |           |     |        |      |         |        |         |         |          | () 发什  |
|-----|-----------|-----|--------|------|---------|--------|---------|---------|----------|--------|
| No. | 登録番号      | 層位  | 器種     | 石 質  | 長さ (mm) | 幅 (mm) | 厚さ (mm) | 重さ(g)   | 備考       | 写真図版   |
| 1   | Ka-e-6057 | 堆積土 | スクレイパー | 珪質頁岩 | 52.5    | 81.8   | 8.5     | 33.5    | _        | 229-6  |
| 2   | Ka-e-6058 | 上層  | スクレイパー | 珪質頁岩 | 59.4    | 49.4   | 14.7    | 29.1    | _        | -      |
| 3   | Ka-e-6059 | 上層  | スクレイパー | 流紋岩  | 63.6    | 56.1   | 17.5    | 48.6    | _        | -      |
| 4   | Ka-f-6011 | 上層  | クサビ形石器 | 珪質頁岩 | 40.0    | 35.2   | 9.5     | 13.8    | _        | 229-7  |
| 5   | Ka-f-6012 | 堆積土 | クサビ形石器 | 玉随   | 41.0    | 25.4   | 11.7    | 9.5     | _        | 229-8  |
| 6   | Ka-f-6013 | 上層  | クサビ形石器 | 珪質頁岩 | 25.9    | 17.8   | 6.1     | 2.7     | _        | 229-9  |
| 7   | Ka-f-6014 | 堆積土 | クサビ形石器 | 黒曜石  | 25.3    | 19.5   | 10.0    | (4.2)   | 周縁部欠損。   | 229-10 |
| 8   | Ka-f-6015 | 上層  | クサビ形石器 | 珪質頁岩 | 16.2    | 18.4   | 5.1     | 1.5     | _        | 229-11 |
| 9   | Ka-c-6005 | 上層  | 石篦     | 珪質頁岩 | (79.1)  | (29.2) | (16.5)  | (43.2)  | 下半部欠損。   | 229-12 |
| 10  | Kb - 6005 | 堆積土 | 磨製石斧   | 蛇紋岩  | (87.4)  | (54.6) | (24.6)  | (224.0) | 刃部・頭部欠損。 | 229-13 |

第519図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(86)



第520図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(87)



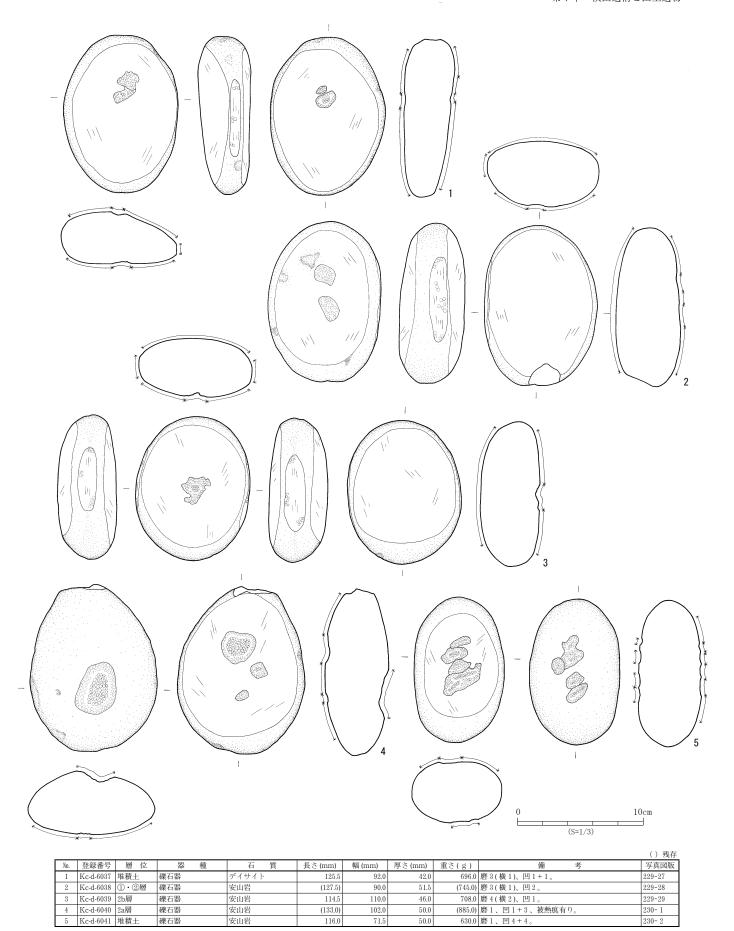
第521図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(88)

88.0 敲 3 (下 1)。

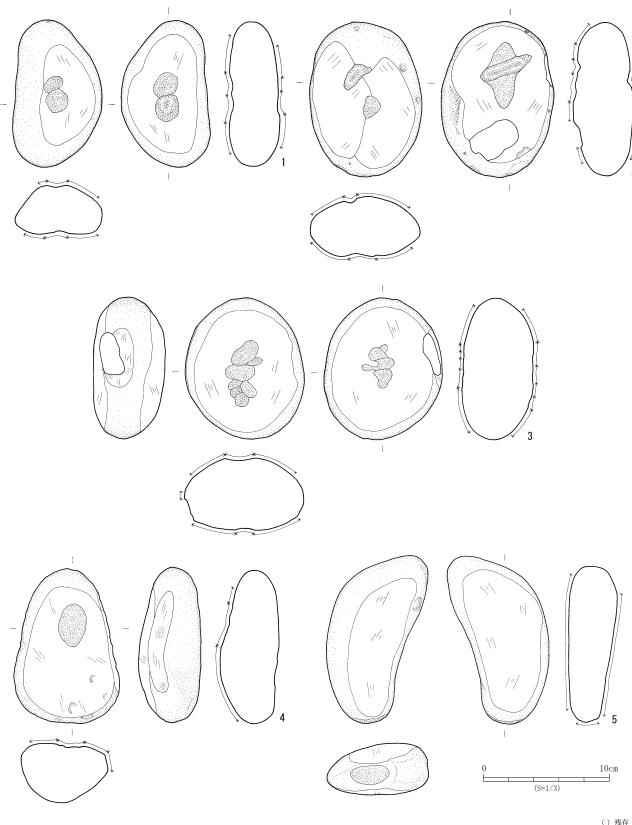
229-26

96.5

礫石器

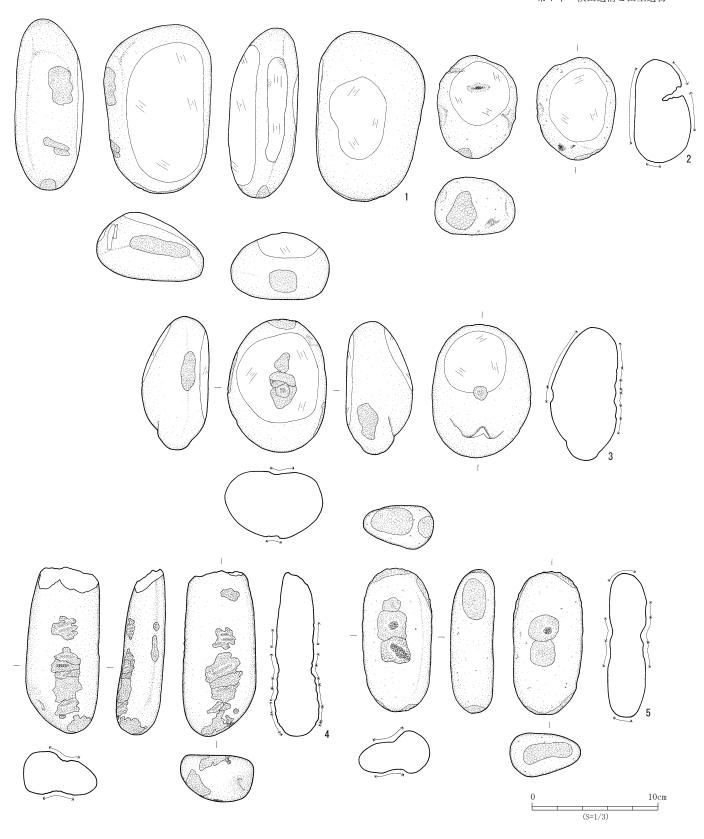


第522図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(89)



|     |           |      |     |       |         |        |         |         |              | ( / /~ 1) |
|-----|-----------|------|-----|-------|---------|--------|---------|---------|--------------|-----------|
| No. | 登録番号      | 層位   | 器種  | 石 質   | 長さ (mm) | 幅 (mm) | 厚さ (mm) | 重さ(g)   | 備考           | 写真図版      |
| 1   | Kc-d-6042 | 堆積土  | 礫石器 | デイサイト | 116.5   | 71.0   | 39.5    | 444.0   | 磨2、凹2+2。     | 230-3     |
| 2   | Kc-d-6043 | ①・②層 | 礫石器 | 安山岩   | 124.0   | 90.0   | 48.5    | (685.0) | 磨2、凹2+1。     | 230-4     |
| 3   | Kc-d-6044 | 堆積土  | 礫石器 | 安山岩   | 112.0   | 95.0   | 57.0    | (845.0) | 磨3(横1)、凹3+2。 | 230-5     |
| 4   | Kc-d-6045 | 堆積土  | 礫石器 | 安山岩   | 123.0   | 85.0   | 49.0    | 546.0   | 磨 2 (横)、凹 1。 | 230-6     |
| 5   | Kc-e-6009 | 堆積土  | 礫石器 | デイサイト | 133.5   | 81.0   | 41.0    | 512.0   | 磨2、敲1。       | 230-7     |

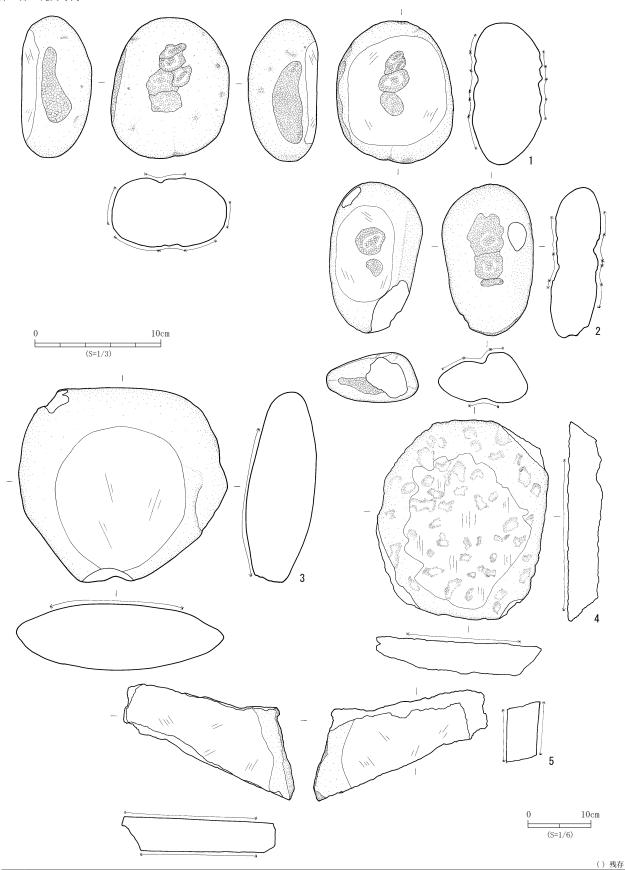
第523図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(90)



() 残存

| No. | 登録番号      | 層位   | 器種  | 石 質   | 長さ (mm) | 幅 (mm) | 厚さ (mm) | 重さ(g)   | 備考             | 写真図版   |
|-----|-----------|------|-----|-------|---------|--------|---------|---------|----------------|--------|
| 1   | Kc-e-6010 | 堆積土  | 礫石器 | 安山岩   | 135.0   | 85.5   | 53.5    | 904.0   | 磨3(横1)、敲2(上横)。 | 230-8  |
| 2   | Kc-e-6011 | 堆積土  | 礫石器 | デイサイト | 82.5    | 64.0   | 45.5    | 282.0   | 磨2、敲1。         | 230-12 |
| 3   | Kc-g-6007 | ①・②層 | 礫石器 | 安山岩   | 160.0   | 78.5   | 53.0    | 594.0   | 磨2、凹3、敲3。      | 230-9  |
| 4   | Kc-f-6005 | ①・②層 | 礫石器 | 砂岩    | (132.0) | 58.0   | 36.0    | (434.0) | 凹4+5、敲2(横下)。   | 230-13 |
| 5   | Kc-f-6006 | ①・②層 | 礫石器 | 流紋岩   | 114.0   | 56.0   | 34.0    | 260.0   | 凹5、敲3(横)。      | 230-14 |

第524図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(91)



|     |           |      |     |       |         |         |         |            |                   | ( ) /2413 |
|-----|-----------|------|-----|-------|---------|---------|---------|------------|-------------------|-----------|
| No. | 登録番号      | 層位   | 器種  | 石 質   | 長さ (mm) | 幅 (mm)  | 厚さ (mm) | 重さ(g)      | 備考                | 写真図版      |
| 1   | Kc-g-6008 | ①・②層 | 礫石器 | 安山岩   | 112.0   | 93.0    | 54.5    | 834.0      | 磨1、凹4+3、敲2(横)。    | 230-10    |
| 2   | Kc-g-6009 | 堆積土  | 礫石器 | 安山岩   | 119.5   | 73.0    | 39.0    | (424.0)    | 磨1、凹2+2、敲1(下)。    | 230-11    |
| 3   | Kd-a-6027 | ①・②層 | 石皿  | 安山岩   | (313.0) | 331.0   | 109.0   | (15,400.0) | 磨 1 。被熱痕有り、S=1/6。 | 230-17    |
| 4   | Kd-a-6028 | ①・②層 | 石皿  | 安山岩   | (317.0) | (222.0) | 55.5    | (5,650.0)  | 磨 1 、S=1/6。       | 230-18    |
| 5   | Kd-a-6029 | ①・②層 | 石皿  | デイサイト | (180.0) | (275.0) | (54.0)  | (2,842.0)  | 磨 2 、S=1/6。       | 230-15    |

第525図 SX626溝状の落ち込み出土遺物(92)